薬事・食品衛生 m 表

平成23年3月8日 厚生労働省共用第8会議室 午後4時から

٠.					高台	13		審		3	51				
	• •				橋 <del>经</del> 委 县			横				l:			
大戸	÷.										策課長	事務局			
大平町田		<b>B</b>									策企画官 へ -				
小帽		1								1	日:本 赤 十				
左 川	委 丿					· 				:	字 注 ン				
		L	上 花 井	幕	三音	<b>委山</b>	吉澤	<u></u>	لبا		ſ		(欠席委)	10名)	
			委員	委員	委員	照	委 員		•			朝倉委員	員 稲田 委員	委員 大 鈴木委員 前野委員	石委員 L

薬事·食品衛生審議会薬事分科会

平成22年度 第2回血液事業部会 議事次第

日時:平成23年3月8日(火)16:00~18:00 場所:厚生労働省共用第8会議室(6階)

#### 議題:

議題1 平成23年度の献血の推進に関する計画(案)について

議題2 平成23年度の献血の受入れに関する計画(案)の認可について

議題3 平成23年度血液事業部会運営委員会の審議結果について

議題4 平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画(需給計画)(案)について

議題5 その他の報告事項

### 配付資料:

委員名簿

### 謹題1関連:

資料 1-1 平成23年度の献血の推進に関する計画(案)について

平成23年度の献血の推進に関する計画(案)に対するパブリックコメントについて

### 議題2関連:

資料 2 平成23年度の献血の受入れに関する計画(案)の認可について(日本赤十字社提出 資料)

#### 議題3関連

資料3-1 血液製剤及び献血に関する感染症報告事項について

資料3-2 XMRVに関する文献報告(続報)

資料3-3 献血血液の研究開発等での使用に関する指針(案)

資料3-4 英国滞在歴に関する制限緩和に伴う献血状況(報告)(日本赤十字社提出資料)

資料3-5 採血基準の改定に伴う準備状況(報告)(日本赤十字社提出資料)

資料3-6 フィブリノゲン製剤等に関する報告について

### 議題4関連:

資料4-1 血漿分画製剤の供給のあり方に関する検討会中間報告

資料4-2 平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画(需給計画)(案)について

### 議題5関連:

資料 5 血小板がすべて成分献血由来となった経緯等について(日本赤十字社提出資料)

## 血液事業部会 委員名簿

	氏 名	ふりがな	現職
	朝倉正博	あさくら まさひろ	医療法人社団博栄会理事長
	稲田 英一	いなだ えいいち	順天堂大学医学部教授
0	大石 了三	おおいし りょうぞう	国立大学法人九州大学医学部附属病院教授·薬剤部長
	大戸斉	おおと ひとし	福島県立医科大学輪血・移植免疫部教授
	大平勝美	おおひら かつみ	はばたき福祉事業団理事長
	岡田義昭	おかだ よしあき	国立感染症研究所血液・安全性研究部第一室長
	小幡 純子	おばた じゅんこ	上智大学法科大学院長
	佐川 公矯	さがわ きみたか	久留米大学医学部附属病院臨床検査部教授、副院長
	嶋緑倫	しま みどり	奈良県立医科大学小児科教授
	鈴木・邦彦	すずき くにひこ	社団法人日本医師会常任理事
0	高橋 孝喜	たかはし こうき	国立大学法人東京大学医学部附属病院輸血部教授·輸血部 長
	花井十伍	はない じゅうご	ネットワーク医療と人権 理事
	半 田 誠	はんだ まこと	慶應義塾大学医学部輸血·細胞療法部長
	前野 一雄	まえの かずお	<b>読売新聞編集委員</b>
	幕内 雅敏	まくうち まさとし	日本赤十字社医療センター長
	三谷絹子	みたに きぬこ	獨協医科大学血液内科教授
	三村 優美子	みむら ゆみこ	青山学院大学経営学部教授
	山口 一成	やまぐち かずなり	国立感染症研究所血液·安全性研究部·客員研究員
	山口照英	やまぐち てるひで	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 生物系審査第一部 テクニカルエキスパート
	吉澤 浩司	よしざわ ひろし	広島大学名誉教授
	渡邊治雄	わたなべ はるお	国立感染症研究所長
. •			

(計21名, 氏名五十音順)

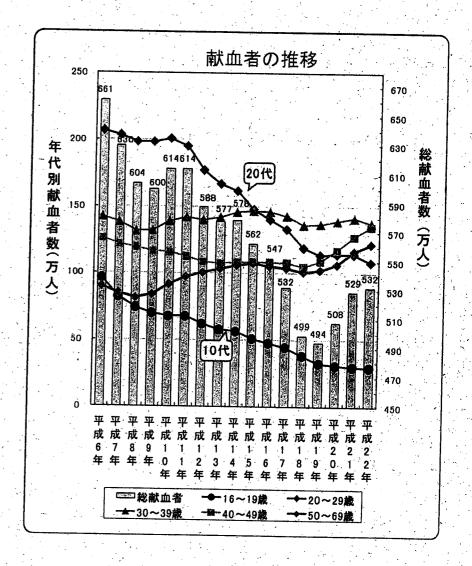
#### ◎部会長 ○部会長代理

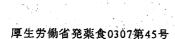
## 資 料1-1

## 平成23年度の献血の推進に関する計画(案)について

•	WILLIA	ク推移	•		•	• • •	• •	• •	• •.	• •	. •	• '	•	
	諮問書		. •	• • •			•	•		•	•			•
	平成 2	3 年度	の献』	血の推進	紅こ関	する語	計画 (	(案)	•		•	•	•	

# 4 # 0 # 14





平成 2 3 年 3 月 7 日

東事・食品術生審議会会長 望 月 正 隆 殿

厚生労働大臣 細川 組



路 問 割

平成23年度の献血の推進に関する計画を定めることについて、安全な血液 製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)第10条 第3項において準用する同法第9条第4項の規定に基づき、貴会の意見を求め ます。

# 平成23年度の献血の推進に関する計画(案)

平成 年 月 日厚生労働省告示第 号

## 目次

<b>削文・・</b>	• • • • • •					1
第1節	平成23年度	に献血により確例	<b>杲すべき血液の目</b>	標量・・・		1
· Septer of septer	対なっ口様国	+ 76/0 7 +				
第2節		を確保するために		する事項・		. 1
	1 献血に	関する普及啓発活	5動の実施・・・			1
	(1)	効果的な普及を	8発、献血者募集	等の推進		
	(2.)	献血運動推進全	国大会の開催等			
	(3)	献血推進運動中	中央連絡協議会の	開催		2.
	(4)				••	
	(5)	その他関係者に	1.9			. 1,
		が安心して献血で		· • • • • •		5
第3節	その他献血の	推進に関する重要	事項・・・・			5
	1 献血の	推進に際し、考慮	すべき事項・・		مان و د	5
	(1)	血液検査による	健康管理サービ	スの充実		
	(2)	献血者の利便性				·
		血液製剤の安全		なの対策のお	‡ <b>:</b> #	
i .	(4)		The second secon	~> ~> V1 >K 0> 15	EAR	
	(5)	まれな血液型の	and the second s			<i>: .</i>
				- 46	_	•
		到の在庫水準の常 **にかける***ナラ		の的確な対応		6
	and the second second second	等における献血の 54く				6
	4 献血推	進施策の進 捗 状況	兄等に関する確認	8と評価・・		. 6

## 平成23年度の献血の推進に関する計画

#### 前文

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)第10条第1項の規定に基づき定める平成23年度の献血の推進に関する計画であり、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成20年厚生労働省告示第326号)に基づくものである。

### 第1節 平成23年度に献血により確保すべき血液の目標量

- ・ 平成23年度に必要と見込まれる輪血用血液製剤の量は、全血製剤O.02万リットル、赤血球製剤54万リットル、血 漿 製剤27万リットル、血小板製剤17万リットルであり、それぞれO.02万リットル、54万リットル、27万リットル、17万リットルが製造される見込みである。
- ・ さらに、確保されるべき原料血漿の量の目標を勘案すると、平成23年度には、全血採血による145万リットル及び成分採血による62万リットル(血漿採血27万リットル及び血小板採血35万リットル)の計207万リットルの血液を献血により確保する必要がある。

### 第2節 前節の目標置を確保するために必要な措置に関する事項

前年度までの献血の実施状況とその評価を踏まえ、平成23年度の献血推進計画における具体的な措置を以下のように定める。

### 1 献血に関する普及啓発活動の実施

- 国は、都道府県、市町村(特別区を含む。以下同じ。)、採血事業者等の関係者の協力を得て、献血により得られた血液を原料とした血液製剤の安定供給を確保し、その国内自給を推進するとともに、広く国民に対し、治療に必要な血液製剤の確保が相互扶助と博愛精神による自発的な献血によって支えられていることや、血液製剤の適正使用が求められていること等を含め、献血や血液製剤について国民に正確な情報を伝え、その理解と献血への協力を求めるため、教育及び啓発を行う。
- ・ 都道府県及び市町村は、国、採血事業者等の関係者の協力を得て、より多くの住民 の献血への参加を促進するため、対象となる年齢層や地域の実情に応じた啓発、献血 推進組織の育成等を行うことにより、献血への関心を高めることが必要である。
- ・ 採血事業者は、国、都道府県、市町村等の関係者の協力を得て、献血者の安全性に 配慮するとともに、継続して献血に協力できる環境の整備を行うことが重要である。

- このため、国、都道府県、市町村等の関係者と協力して効果的なキャンペーンを実施すること等により、献血や血液製剤に関する一層の理解と献血への協力を呼びかけることが求められる。
- 国、都道府県、市町村、採血事業者及び医療関係者は、国民に対し、病気や怪我のために輸血を受けた患者や、その家族の声を伝えること等により、血液製剤がこれを必要とする患者への医療に欠くことのできない有限で貴重なものであることを含め、献血や血液製剤についての普及啓発を実施し、又はこれに協力することが必要である。また、少子高齢化の進行による血液製剤を必要とする患者の増加や献血可能人口の減少、血液製剤の利用実態等について正確な情報を伝え、献血者等の意見を踏まえつつ、これらの情報提供や普及啓発の手法等の改善に努めることが必要である。さらに、血液製剤の安全性の確保のための取組の一環として、感染症の検査を目的とした献血を行わないよう、献血における本人確認や問診の徹底はもとより、平素から様々な広報手段を用いて、国民に周知徹底する必要がある。
- 国、都道府県、市町村及び採血事業者は、平成22年1月27日に実施された英国 滞在歴による献血制限の見直し及び平成23年4月1日に施行される採血基準の改 正について、国民に対して十分に広報を行い、献血への協力を求める必要がある。
- ・これらを踏まえ、以下に掲げる献血推進のための施策を実施する。

### ① 効果的な普及啓発、献血者募集等の推進

血液製剤について、国内自給が確保されることを基本としつつ、将来にわたって安定的に供給される体制を維持するため、幼少期も含めた若年層、企業・団体、複数回献血者に対して、普及啓発の対象を明確にした効果的な活動や重点的な献血者募集を実施し、以下の取組を行う。

### < 若年層を対象とした対策>

- 国、都道府県、市町村及び採血事業者は、献血推進活動を行うボランティア組織等の協力を得るとともに、機能的な連携を図ることにより、若年層の献血や血液製剤に関する理解の促進及び献血体験の促進に組織的に取り組む。また、若年層への啓発には、若年層向けの雑誌、放送媒体、インターネット等を含む様々な広報手段を用いて、同世代からの働きかけや、献血についての広告に国が作成した献血推進キャラクターを活用する等、効果的な取組が必要である。特に10代層への啓発には、採血基準の改正により、男性に限り400ミリリットル全血採血が17歳から可能となること等について情報を伝え、献血者の協力を得る。さらに、子が幼少期にある親子に対し、血液の大切さや助け合いの心について、親子向けの雑誌等の広報手段や血液センター等を活用して啓発を行うとともに、親から子へ献血や血液製剤の意義を伝えることが重要であることから、地域の特性に応じて採血所に託児体制を確保する等、親子が献血に触れ合う機会を設ける。
- ・ 国は、高校生を対象とした献血や血液製剤について解説した教材や中学生を対象とした血液への理解を促すポスターを作成し、都道府県、市町村及び採血事業者と協力して、これらの教材等を活用しながら、献血や血液製剤に関する理解を

深めるための普及啓発を行う。

- ・ 都道府県及び市町村は、地域の実情に応じて、岩年層の献血への関心を高める ため、学校等において、ボランティア活動推進の観点を踏まえつつ献血や血液製 剤についての情報提供を行うとともに、献血推進活動を行うボランティア組織と の有機的な連携を確保する。
- 採血事業者は、その人材や施設を活用し、若年層へ献血の意義や血液製剤について分かりやすく説明する「献血セミナー」や血液センター等での体験学習を積極的に行い、正しい知識の普及啓発と協力の確保を図る。その推進に当たっては、国と連携するとともに、都道府県、市町村、献血推進活動を行うボランティア組織等の協力を得る。
- ・ 採血事業者は、国及び都道府県の協力を得て、学生献血ボランティアとの更なる 連携を図り、大学等における献血の推進を促すとともに、将来、医療従事者になろ うとする者に対して、多くの国民の献血によって医療が支えられている事実や血液 製剤の適正使用の重要性への理解を深めてもらうための取組を行う。

#### '<50~60歳代を対象とした対策>

・ 国及び採血事業者は、都道府県及び市町村の協力を得て、年齢別人口に占める献血者の率が低い傾向にある50~60歳代の層に対し、血液製剤の利用実態や献血可能年齢等について正確な情報を伝え、相互扶助の観点からの啓発を行い、献血者の増加を図る。また、血小板成分採血について、採血基準の改正により、男性に限り69歳まで(65歳から69歳までの者については、60歳から64歳までの間に献血の経験がある者に限る。)可能となることについて情報を伝え、献血者の確保を図る。

### <企業等における献血の推進対策>

・ 国及び採血事業者は、都道府県及び市町村の協力を得て、献血に協賛する企業 や団体を募り、その社会貢献活動の一つとして、企業等における献血の推進を促 す。また、血液センター等における献血推進活動の展開に際し、地域の実情に即 した方法で企業等との連携強化を図り、企業等における献血の推進を図るための 呼びかけを行う。

### <複数回献血者対策>

・ 国及び採血事業者は、都道府県及び市町村の協力を得て、複数回献血者の協力が 十分に得られるよう、平素から血液センターに登録された献血者に対し、機動的か つ効率的に呼びかけを行う体制を構築する。また、献血に継続的に協力が得られて いる複数回献血者の組織化及びサービスの向上を図り、その増加に取り組むととも に、献血の普及啓発活動に協力が得られるよう取り組む。

#### <献血推進キャンペーン等の実施>

国は、献血量を確保しやすくするとともに、感染症等のリスクを低減させる等の利点がある400ミリリットル全血採血並びに成分採血の推進及び普及のため、都道府県及び採血事業者とともに、7月に「愛の血液助け合い運動」を、1月及び2月に「はたちの献血」キャンペーンを実施するほか、血液の供給状況に応じて献血推進キャンペーン活動を緊急的に実施する。また、様々な広報手段を用いて献血や血液製剤に関する理解と献血への協力を呼びかけるとともに、献血場所を確保するため、関係者に必要な協力を求める。

・ 都道府県、市町村及び採血事業者においても、これらの献血推進活動を実施する ことが重要である。また、市町村においては、地域における催物の機会等を活用す る等、積極的に取り組むことが望ましい。

#### ② 献血運動推進全国大会の開催等

・ 国は、都道府県及び採血事業者とともに、献血により得られた血液を原料とした血液製剤の国内自給を推進し、広く国民に献血や血液製剤に関する理解と献血への協力を求めるため、7月に献血運動推進全国大会を開催するとともに、その広報に努める。また、国及び都道府県は、献血運動の推進に関し積極的に協力し、 模範となる実績を示した団体又は個人に対し表彰を行う。

### ③ 献血推進運動中央連絡協議会の開催

国は、都道府県、市町村、採血事業者、献血推進活動を行うボランティア組織、 患者団体等の代表者の参加を得て、効果的な献血推進のための方策や献血を推進 する上での課題等について協議を行うため、献血推進運動中央連絡協議会を開催 する。

#### ④ 献血推進協議会の活用

・ 都道府県は、献血や血液製剤に関する住民の理解と献血への協力を求め、血液 事業の適正な運営を確保するため、採血事業者、医療関係者、商工会議所、教育 機関、報道機関等から幅広く参加者を募って、献血推進協議会を設置し、定期的 に開催することが求められる。市町村においても、同様の協議会を設置すること が望ましい。

・ 都道府県及び市町村は、献血推進協議会を活用し、採血事業者及び血液事業に 関わる民間組織等と連携して、都道府県献血推進計画の策定のほか、献血や血液 製剤に関する教育及び啓発を検討するとともに、民間の献血推進組織の育成等を 行うことが望ましい。

### ⑤ その他関係者による取組

・ 官公庁、企業、医療関係団体等は、その構成員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に協力を呼びかけるとともに、献血のための休暇取得を容易にするよう配慮する等、進んで献血しやすい環境作りを推進することが望ましい。

#### 2 献血者が安心して献血できる環境の整備

・ 採血事業者は、献血の受入れに当たっては献血者に不快の念を与えないよう、丁寧な処遇をすることに特に留意し、献血者の要望を把握するとともに、採血後の休憩スペースを十分に確保する等、献血受入体制の改善に努める。また、献血者の個人情報を保護するとともに、国の適切な関与の下で献血による健康被害に対する補償のための措置を実施する等、献血者が安心して献血できる環境整備を行う。

・ 採血事業者は、特に初回献血者が抱いている不安等を払拭するため、採血の手順や 採血後の過ごし方等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を十分に行い、献血者の安全確保を図る。

・ 採血事業者は、採血所における地域の特性に合わせたイメージ作りや移動採血車の 外観の見直し等、なお一層のイメージアップを図り、献血者の増加を図る。

国及び都道府県は、採血事業者によるこれらの取組を支援することが重要である。

#### 第3節 その他献血の推進に関する重要事項

### 1 献血の推進に際し、考慮すべき事項

### ① 血液検査による健康管理サービスの充実

採血事業者は、献血制度の健全な発展を図るため、採血に際して献血者の健康 管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知する。また、 低色素により献血ができなかった献血申込者に対して、栄養士による健康相談を 実施し、献血者の増加を図る。

・ 国は、採血事業者によるこれらの取組を支援する。また、献血者の健康管理に 資する検査の充実は献血の推進に有効であることから、本人の同意の上、検査結 果を健康診査、人間ドック、職域検査等で活用するとともに、地域における保健 指導にも用いることができるよう、周知又は必要な指導を行う。

・ 都道府県及び市町村は、これらの取組に協力する。

### ② 献血者の利便性の向上

・ 採血事業者は、安全性に配慮しつつ、効率的に採血を行うため、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた移動採血車による計画的採血等、献血者の利便性及び安全で安心な献血に配慮した献血受入体制の整備及び充実を図る。

・ 都道府県及び市町村は、採血事業者と十分協議して移動採血車による採血等の日程を設定し、そのための公共施設の提供等、採血事業者の献血の受入れに協力することが重要である。

### ③ 血液製剤の安全性を向上するための対策の推進

・ 国は、「輸血医療の安全性確保のための総合対策」に基づき、採血事業者と連携し、献血者に対する健康管理サービスの充実等による健康な献血者の確保、献血者の本人確認の徹底等の検査目的の献血の防止のための措置を講ずる等、善意の献血者の協力を得て、血液製剤の安全性を向上するための対策を推進する。

#### ④ 採血基準の在り方の検討

・ 国は、献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進及び血液の有効利用の 観点から、採血基準の見直しの検討を行う。

#### ⑤ まれな血液型の血液の確保

- ・ 採血事業者は、まれな血液型を持つ患者に対する血液製剤の供給を確保するため、まれな血液型を持つ者に対し、その意向を踏まえ、登録を依頼する。
- ・・国は、まれな血液型の血液の供給状況について調査する。
- ⑥ 200ミリリットル全血採血の在り方の検討
  - ・ 国は、200ミリリットル全血採血の在り方について、医療機関における使用実態等を踏まえ、検討を行う。

#### 2 血液製剤の在庫水準の常時把握と不足時の的確な対応

・ 国、都道府県及び採血事業者は、赤血球製剤等の在庫水準を常時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、その供給に支障を及ぼす危険性を勘案し、国及び採血事業者が策定した対応マニュアルに基づき、早急に所要の対策を講ずることが重要である。

#### 3 災害時等における献血の確保等

国、都道府県及び市町村は、災害時等において献血が確保されるよう、採血事業者と連携して必要とされる献血量を把握した上で、様々な広報手段を用いて、需要に見合った広域的な献血の確保を行うとともに、製造販売業者等の関係者と連携し、献血により得られた血液が円滑に現場に供給されるよう措置を講ずることが必要である。また、採血事業者は、災害時における献血受入体制を構築し、広域的な需給調整等の手順を定め、国、都道府県及び市町村と連携して対応できるよう備えることにより、災害時における献血の受入れに協力する。

#### 4 献血推進施策の進捗状況等に関する確認と評価・

- ・ 国、都道府県及び市町村は、献血推進のための施策の短期的又は長期的な効果及び 進捗状況並びに採血事業者による献血の受入れの実績を確認し、その評価を次年度の 献血推進計画等の作成に当たり参考とする。また、必要に応じ、献血推進のための施 策を見直すことが必要である。
- ・ 国は、献血推進運動中央連絡協議会等の機会を活用し、献血の推進及び受入れに関 し関係者の協力を求める必要性について献血推進活動を行うボランティア組織と認 職を共有し、必要な措置を誠ずる。
- ・ 採血事業者は、献血の受入れに関する実績、体制等の評価を行い、献血の推進に活用する。

資料1-2

「平成23年度の献血の推進に関する計画(事務局案)」に対する 意見募集結果について

平成23年3月 厚生労働省医薬食品局血 液 対 策 課

「平成23年度の献血の推進に関する計画(事務局案)」について、平成23年 1月18日から平成23年2月16日まで御意見を募集したところ、3名の方か ら御意見等をお寄せいただきました。

今般、お寄せいただいた御意見等とこれらに対する当省の考え方について、別 紙のとおり取りまとめたので公表します。

今回、御意見等をお寄せいただきました方々のご協力に厚く御礼申し上げます。 今後とも厚生労働行政の推進にご協力いただけますよう、よろしくお願いいた します。

	提出者の背景	ご意見	
	性別:女	献血をできるだけしたいと思っているのですが、体重が50キログラムなく、400miしか受け付けていないという理由でこの1年ほど献血を断られています。 計画カーア会社が開める	ご意見に対する考え方
	年齢:41 職業:会社員	の1年ほど献血を断られています。散血カーで会社や駅やスーパーなどで受け付けているいという理由でご ムに行けば200mtや成分散血ができるとの度され、乗りていて発見されているのは400mlだけで、散血ルー	献血へのご理解・ご協力ありがとうございます。
1	柳果:安红黄	ムに行けば200miや成分献血ができるとの事だが、働いていて時間がなくまた、献血ルームも遠く、わざわざ献血ルームに行く時間がありません。	輸車を受ける患者さんにとって、同じ量の輸血を受ける場合、20
-1		ムに行く時間がありません。 「贈りの女性には仕事が50キログラー・カン・マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	mi献血に比べ、400mi献血からの血液の方が、より少ない人数が の血液を絶血されることになり、関係用のはなが、より少ない人数が
۱.		関リの女性には体重が50キログラムなくて献血できない人が意外とたくさんいます。これから若い人が減っていく中、健 後の所持ちはあるのに敵血できる場所がない人たちが参加しやすい環境になるように検討してもらえないでしょうか? 400・11献血の体質下隔の表面:第445年以上ませ、メラットでは	を承機器からの400mi敵由中央の血液の発質が増えている。
-			
٠.		よくわかりません・・・)他の事前検査項目をいれる事とかで可能にできませんか?	しかしながら、将来にわたって血液製剤の安定供給を確保する影響
- [			から、KUUMIMMの任り方について、会体 医療機能の原常会員
- [			を確求え検討し、管様の善意が無為にならないよう取り組んで参り す。
- 1			また、採血基準につきましては、飲血者の健康保護と輸血を受け
-	Í		クツ女革体保養の軽点から移動を行し 堪方か私参加海海川会
1		, and the second se	・、「ぬりますか、 符条的な意画しも神野に入力、 観客。 なかよっと
1			でいるところであります。いただいたご意見は貴重な提案として示り 今後の参考とさせていただきます。
-	· · · · [		TO SECTION STATES STATE
	生別:男	労働者等に対する健康診断の際についでに献血できるようにすれば、協力を得られやすいのではないかと思うのです が、どうでしょうか?	
	<b>宇齢</b> :	が、どうでしょうか?	献血へのご理解・ご協力ありがとうございます。
٠,١٠	職業:	and the control of th	いただいたご意見については、すでに企業等の要請に基づき行っ
-			いる所もございますが、健康診断の多くは、探血を伴う血液検査が Eれております。
			このため、同日に複数回の提前を繰り返すことになり、計画ももで
.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	70/514への異想か増えることから、出来る限り健康を解め会体。
1	- 1	lo lo	は美なもはでの英葉をお願いしております。
-			今後とも献血への遥かいご理解・ご協力をお願いいたします。
	7 To 1994		
. [		and the contract of the contra	

	番号	提出者の背景		
İ		性別:男	二意見	ご意見に対する考え方
 V		年齡:45 職業:公務員	「血液製剤の安全性の確保のための取組の一環として、感染症の検査を目的とした飲血を行わないよう、酸血における は限り、同診の健康はもとより、平素から様々な広頓手段を用いて、国民に周知徹底する必要がある。(第2節 資助の	献血へのご理解・ご協力ありがとうございます。 感染症検査目的の献血をお断りしているのは、ウイルス等の感染 初期(ウインドウ期)の献血血液による疾染リスクを疾染し 展布 テク
		:	その結果を通知するが第3節 その地部曲の推進に関する重要率は「大きな機能を行い、数血者の希望を確認してによる健康管理サービスの充実」というのは、本質的な矛盾があり、実現不可能な命題ではないか。 「影像会の終帝を日的は、計算した時にはたい。」	安全を確保するために必要なことと考えております。 また。血液検査による健康管理サービスは、検査結果を希望された 方にコレステロールやグリコアルブミン健等を適知することによって、 常日頃から蘇血者に健康に留意していただくことにより、健康な献血 者の酵母を即のま物でするは、「生物を、
			すなわち、検査結果がすべて正常で、血液製剤として使用可能であった場合には、検査結果を献血者本人に通知し、 今後の健康管理と再度の献血に結び付けるとしても、懲染症関係の検査に限らず、何らかの異常が見つかり、血液製剤 として使用できなかった場合には、軟件をよっしても、	不正には異なるものとなります。 なお、日登、C型肝炎ウイルス接査、梅毒検査、HTLV-1検査の結果で適知を希望された方には、異常を認めた場合、本人が気がついていないこともあり得ることから、トジの事物と片質に開催にて活体
			楽したこと、医療機関において検査をうける必要があることのみを伝えるべきである。 現在のように、思染症関係の検査について、犠牲の結果通知を続ける限り、いくら広報を行い、周知徴度に努めようと と、「感染症の検査を目的とした敵血」を減らすことは出来ないと思われる。 ところで、血液薬薬関係素の一種には、それを含まった。	し、献血者の早期治療に繋がるよう受験勧奏を行っております。
			接査を目的とした敵血」を行っているものとして、予禁を使いて思発症が発見された敵血者について、「思染症の 悪染の事実に気が付いていないことが多く、このような非難は不当なものである。 ・こうした感染者の多くは、本人も 密染者を非する前に、献血が「感染症の検査」の検査の代用とならないように、血液事業のシステムそのものを見直 すべきである。	
			意見(2) 「低色素により献血ができなかった献血中込者に対して栄養士による健康措施を実施」(第3節 その他献血の推進に購 する重要事項: 献血の推進に際し、考慮すべき事項 ① 血液検査による健康管理サービスの充実)することは、「貧血の 検査を目的とした献血」を増加させる恐れがあり、血液製剤の安全性を摂ねる虞があるので、行うべきではない。	い、味は、は食りあっく 意思の確含を見めた」 たまが 多んいこしょしょ
			マスキー・マングル とこれ できない かんかい でいっぱい はっぱい しょうべきではない。	ても、血液製剤の安全性を損ねることはございません。
		. • f	変見(3) 「献血者の本人確認の徹底等の検査目的の献血の防止のための推置を請する以第3節 その他献血の推進に関する置 便事項 1 献血の推進に際し、考慮すべき事項 ③ 血液製剤の安全性を向上するための対策の推進しあるが「献血 なの本人権限の特定 がばつ	献血時の本人確認については、豪寧・食品新生春随会血液事業部
		4	そもそも検査目的の献血者は、検査の結果が陽性であるか強性であるかを問わず、検査結果が献血者本人に適知さ しることを放しているのであるから、実践、連絡などをあるか強性であるかを問わず、検査結果が献血者本人に適知さ	まう事例の存在等が指摘されたことから、平成16年より実施しておます。
	.	i i	た血を通じて他人へも思味させようとして献血を行う者であり、もなや犯罪者である。 「献血者の本人確認の概能」が「検査目的の献血の防止」に置するとの考え方は、思致者を犯罪者若しくは犯罪者である。 「考心者とする概要」と述う代表の字本に、関析学外本と知识できまった。	また、実施にあたっては、輪血による感染症例が発生した場合の選 調査が確実に行えるようにするとともに、自らが感染のリスケがあ のではという認識をしたうえでの検査目的の数血をご適定いただく め、献血をされるうに「責任ある数血」という意識をもって献血への 後 カキルトゲいてよりは・
			T (200)	値力をいただいております。ご理解の程、よろしくお願い申し上げま

## 資 料2

平成23年度の献血の受入に関する計画(案)の認可について
・諮問書・・・・・・・・・・・・・・・・・)
・平成23年度の献血の受入に関する計画(案) ・・・・・2 【参考資料】
・平成22年度献血受入計画(平成22年度4~12月)
における取組み状況と平成23年度献血受入計画の
策定について ・・・・・・・・・・・・・・12

厚生労働省発薬食0307第46号 平成23年3月7日

· 薬事・食品衛生審議会会長 望 月 正 隆 殿

厚生労働大臣 細川 律



熱 問 書

平成23年度の献血の受入れに関する計画を認可することについて、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)第1 1条第3項の規定に基づき、貴会の意見を求めます。 血 企 第 7 9 号 平成 2 3 年 3 月 2 日

厚生労働大臣 細川 律 夫 様

日本赤十字社 理 車 西



平成23年度献血受入計画について

標記については、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(昭和31年法律第160号)第11条第1項の規定に基づき提出いたします。

## 平成23年度献血受入計画について

平成23年度献血受入計画については、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」第11条及び同法律施行規則第4条に則り、各都道府県と協議し、当該年度に献血により受け入れる血液の目標量、その目標量を確保するために必要な措置に関する事項及びその他献血の受入れに関する重要事項について、以下のとおり計画します。

## 1. 平成23年度に献血により受け入れる血液の目標量

平成23年度に献血により受け入れる血液の目標量については、各都道府県における過去3年の輸血用血液製剤の需要動向と原料血漿の必要量から安定供給を確保するために、全血献血で145万リットル、血漿成分献血で27万リットル、血小板成分献血で35万リットルの合計207万リットルを確保することとします。

なお、都道府県別目標量については、別紙1のとおりです。

日本赤十字社では、これらの目標量を確保するために、国、地方公共団体等との連携の下に献血受入れに取り組みます。

## 2. 前項の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

### (1) 献血受入の基本方針

#### ①目標量の確保

平成23年度に献血により受け入れる血液の目標量を確保するための各都道 府県献血受入施設の稼動数及び目標量については、別紙2のとおりとし、医療機 関の需要に応じた採血に努め、400mL及び成分献血を積極的に受入れます。

### ②献血受入体制の整備

献血者の安全性と利便性に配慮し、立地条件等を考慮した採血所の設置、移動 採血車による計画的採血等、効率的な採血を行うための設備及び体制の整備・充 実を継続的に実施します。また、採血所における休憩スペースの十分な確保や地 域の特性に合わせたイメージ作り等環境整備に努め、一層のイメージアップを図 ります。

### ③献血者の処遇等の充実

献血者が安心して献血できるように、献血の受入れに当たっては、献血者を丁

1.

寧に処遇し、不快の念を与えることのないよう、職員の教育訓練の充実強化により献血者の処遇向上を図るとともに、献血者の意見・要望を把握し、献血受入体制の改善に努めます。

,また、献血者の個人情報保護や献血者健康被害救済制度についても適正な運用 に努めます。

#### ④初回献血者への対応

初めて献血をする方の献血に対する不安等を払拭するために、献血の手順や献血 後の過ごし方等の映像やリーフレット等を活用した事前説明を十分に行います。ま た、学校献血会場において、採血後の献血者をケアする者を配置し、採血副作用の 防止に努めます。

#### ⑤検査サービス等の実施

献血者の健康管理に資するため、引き続き希望者に対し生化学検査成績、血球 計数検査成績をお知らせします。

また、ヘモグロビン濃度の低値により献血にご協力いただけなかった献血申込 者に対して健康相談等を実施し、献血者の増加を図ります。

#### (2) 献血者の確保対策

血液製剤について、国内自給が確保されることを基本としつつ、将来にわたって 安定的に供給される体制を維持するため幼少期も含めた若年層、企業や団体、複数 回献血者を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施する とともに健康な高年齢層の献血受入れについても積極的に推進します。

また、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の声を伝える等により、血液製剤がこれを必要とする患者さんへの医療に欠くことのできない有限なものであることを含めた献血思想の普及啓発を図ります。

特に少子高齢化による若年層献血者の減少を踏まえ、若年層を対象とした取組みとして体験学習の継続的な実施等、献血への動機付けとしての活動も積極的に推進します。

なお、各都道府県血液センターにおける主な取り組みは、別紙3のとおりです。

#### ① 若年層を対象とした対策

#### (ア) 若年層全体に対する対策

若年層向けの雑誌、放送媒体、インターネット等を含む様々な広報手段を用いて、同世代からの働きかけ、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の声を伝える等、効果的な広報に努めます。

#### (イ) 小学生、中学生を対象とした対策

献血の意義や血液製剤について分かりやすく説明するため、ボランディア組織の協力を得ながら、学校へ出向いての献血セミナーや血液センター等での体験学習を積極的に行い、正しい知識の普及啓発と協力の確保を図ります。

#### (ウ) 高校生を対象とした対策

「高等学校学習指導要領解説 保健体育編」に献血に関する内容が盛り込まれたことから、これまで実施してきた若年層献血はもとより、献血のみならず、赤十字活動全体を含めた命の大切さ等についての献血セミナーを学校へ出向いて積極的に実施するよう努めます。

#### (エ)大学生を対象とした対策

- ・献血推進活動を行っている献血ボランティア組織等の協力を得て、連携を図り、大学生における献血や血液製剤に関する理解、献血体験の促進に努めます。
- ・学生献血ボランティアとの更なる連携を図るとともに、その組織基盤強 化を図ります。
- ・さらに、将来の医療の担い手となる学生等に対して、多くの国民の献血 によって医療が支えられている事実や血液製剤の適正使用の重要性へ の理解を深めてもらうための取組みを行ってまいります。
- (オ) 10代への啓発として、採血基準の改正により、男性に限り 400mL全血採血が 17歳から可能となることについて普及啓発に努めます。

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

(ア) 20 歳代後半~30 歳代の女性を対象とした対策

この年代の女性については、出産、あるいは子育てに忙しいという理由により献血者が減少しているものと考えられることから、その取組みとして、地域の特性に応じて献血ルームにキッズスペースを整備する等の受入体制を整え、親子が献血にふれあう機会を設けるよう努めます。

(イ) 40歳~50歳代を対象とした対策

企業や団体の中心的な存在であるこの年代に対して、「血液の使われ方」、「献血可能年齢」等について正確な情報を伝え、相互扶助の観点からの啓発を行い、社会貢献活動の一つとして、地域の実情に即した方法で企業・団体等における献血の推進を図ります。

## ・(ウ) 60 歳以上を対象とした対策

この年代は、60歳を超えたところでの献血者数の割合が急激に減少しており、その理由として定年退職することにより献血に関する情報に触れる機会が減ってしまうことや健康上の問題等が要因として考えられることから、定年退職後も引き続き積極的に献血に協力していただけるよう、情報伝達の方法を工夫するなど献血者の増加を促進するよう努めます。

70 歳以上の献血が出来なくなった方についても、個人ボランティアとして協力頂き、献血の推進に支援いただけるよう努めます。

また、血小板成分献血について、採血基準の改正により、男性に限り 69 歳まで可能となることについて普及啓発に努めます。

### ③ 企業等における献血の推進対策

社会貫献活動の一環として、献血に協賛する企業や団体を募り、地域の実情 に即した方法で献血の推進を図ります。

### ④ 複数回献血協力者の確保

複数回献血協力者を確保するため、複数回献血クラブの充実等、重点的な啓発、施策を行うよう努めます。

また、複数回献血クラブ会員の中でも、特にメールを利用した会員の増加に 取組むとともに、献血に協力いただけるよう努めます。

## ⑤献血推進キャンペーン等の実施

将来の献血基盤となる 10 代・20 代の若年層献血の推進は、血液事業にとって 喫緊の課題であり、広く国民への献血の普及啓発を図るため、戦略的なキャンペーン等の広報を展開します。

## 【平成23年度に予定されている主なキャンペーン】

- (ア)複数回献血者確保キャンペーン(4~5月)
- (イ)愛の血液助け合い運動 (7月)
- (ウ) いのちと献血俳句コンテスト (7月~12月)
- (エ) 全国学生クリスマス献血キャンペーン (12月)
- (オ) はたちの献血キャンペーン (1~2月)
- (カ)LOVE in Action プロジェクト(通年)

## 3. その他献血の受入れに関する重要事項

## (1) 血液製剤の安全性向上のための対策

国及び都道府県と連携し健康な献血者の確保に努めます。

今後も献血者本人確認を徹底するとともに、検査目的献血の防止のための「安全で 責任のある献血」の普及に努めます。さらに、問診業務の充実強化に努め、安全な 献血の受入れを図ります。

### (2)まれな血液型の血液確保

まれな血液型の献血者には、医療機関からの突発的な要請に対応できるよう、 本人の意向を踏まえて予め登録を依頼し、必要時に献血を依頼します。

## (3) 血液製剤の在庫管理と不足時の対応

赤血球製剤等の在庫予測に基づき、献血者確保対策を講じて安定供給に努めます。また、国及び都道府県にも在庫情報を提供し、万一の在庫不足時には対応手順に基づき、関係機関と連携した献血者確保方策を実施します。

## (4) 災害時等における危機管理

災害時における広域的な需給調整等の手順に基づき、国、都道府県及び市町村 と連携して需要に見合った献血確保及び円滑な血液供給に努めます。

## (5) 献血受入計画の分析と評価

献血の受入状況について、国、都道府県及び市町村へ情報を提供します。また、 その分析と評価を行い、次年度の献血受入計画の各種施策の検討に資することとし ます。

## 平成23年度に献血により受け入れる血液の目標量(日本赤十字社)

	_	1		<del></del>			) t t	<u> </u>		(単位:L)
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	No	都	道府県名		1 1 1 1 1 1 1	<u>m</u>			ψ	A #1
2   音		1	海 **							] = 1
3   差 手   1,200									19,703	108,163
4 官 城 1,932 22,000 23,932 6,528 5,861 12,389 36,32 5 耿 田 1,180 12,080 13,260 3,360 1,866 5,026 18,28 8 世 形 1,350 11,120 12,470 2,100 2,841 4,741 17,21 8 美 城 2,888 25,612 28,500 5,504 7,022 12,526 41,02 8 英 城 2,888 25,612 28,500 5,504 7,022 12,526 41,02 9 栃 木 3,374 18,360 21,734 4,972 5,144 10,116 31,85 10 群 馬 2,298 20,521 22,819 5,452 3,364 8,816 31,63 11 墳 玉 7,295 59,990 67,285 15,536 17,772 33,308 100,59 12 千 葉 5,042 58,236 63,278 13,780 14,677 28,457 91,73 13 東 京 12,324 151,248 183,572 49,672 24,402 74,074 237,64 14 神 奈 川 1,211 78,680 79,891 17,849 28,176 40,025 125,911 15 新 湯 2,037 22,215 24,252 6,353 5,839 12,192 36,44 17 石 川 876 11,368 12,244 4,376 1,927 6,303 18,54 18 橿 井 522 9,440 9,982 2,808 412 3,220 13,181 18 橿 井 522 9,440 9,982 2,808 412 3,220 13,181 18 橿 井 522 9,440 9,982 2,808 412 3,220 13,182 19 世 製 880 7,920 8,780 0 5,040 5,040 13,827 21 岐 皇 2,180 18,720 20,900 4,720 5,180 9,900 30,800 22 静 岡 1,901 35,412 37,313 8,884 6,330 10,170 25,152 23 黄 知 4,880 69,000 73,680 20,160 21,190 41,355 115,035 11 1,001 33,81 2,237 12,262 12,779 4,062 3,698 7,760 20,532 23 黄 知 4,880 69,000 73,680 20,160 21,190 41,355 115,035 23 黄 知 4,880 69,000 73,680 20,160 21,190 41,355 115,035 24 至 皇 2,881 14,980 14,886 3,840 6,330 10,170 25,152 25 景 月 7,716 19,444 21,160 5,124 5,095 10,219 31,375 25 景 月 7,716 19,444 21,160 5,124 5,095 10,219 31,375 25 景 月 8,880 7,920 8,780 0 5,040 13,820 27 大 阪 4,511 113,030 117,541 28,011 12,319 40,330 187,871 28 月									6,900	22,260
55   日本									5,987	20,747
18,28	7	딃.							12,389	36,321
7					274					18,286
18			自	1,350						17,211
9									7,599	34,469
19   19   19   19   19   19   19   19									12,526	41,026
19									10,116	31,850
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.									8,816	31,635
13 東京   12,324   151,248   163,572   49,672   24,402   74,074   237,644   14 神 宗   11   1,211   78,680   79,891   17,849   28,176   46,025   125,911   15 新 潟   2,037   22,215   24,252   6,353   5,839   12,192   36,444   17 石   11   876   11,368   12,244   4,376   1,927   6,303   18,544   17 石   11   876   11,368   12,244   4,376   1,927   6,303   18,544   18 掛 井   522   9,440   9,962   2,808   412   3,220   13,187   18 掛 井   522   9,440   9,962   2,808   412   3,220   13,187   18 掛 井   522   9,440   9,962   2,808   412   3,220   13,187   19   14   14   15   15   15   15   15   15									33,308	100,593
14  神 奈 川									28,457	91,735
15 新   月	12	쥷	<del>支</del>						74,074	237,646
16						79,891				125,916
17 石	16	曾			22,218				12,192	36,444
18   福 井   522   9,440   9,962   2,808   412   3,220   13,18;	17	품							4,986	15,396
19   山 梨 860	18	垣								18,547
21 岐 阜 2,180 18,720 20,900 4,720 5,180 9,900 30,800 20,180 1,901 35,412 37,313 8,884 8,471 17,355 54,666 23 愛 知 4,680 69,000 73,680 20,160 21,190 41,350 115,030 24 三 重 28 14,960 14,988 3,840 6,330 10,170 25,155 26 京 都 248 31,832 32,080 7,540 6,073 13,613 45,693 27 大 阪 4,511 113,030 117,541 28,011 12,319 40,330 157,871 28 兵 庫 1,597 59,467 61,064 12,984 10,907 23,891 84,955 29 奈 良 640 15,080 15,720 3,640 2,835 6,475 22,195 30 和 歌 山 688 14,198 14,886 3,720 3,283 11,152 4,324 19,210 32 8 長 34 6,560 6,594 1,956 1,927 3,883 10,477 33 28 唐 根 34 6,560 6,594 1,956 1,927 3,883 10,477 34 広 島 660 31,720 32,380 14,364 4,133 18,497 50,877 34 広 島 660 31,720 32,380 14,364 4,133 18,497 50,877 36			差り							13,182
21 岐 阜 2,180 18,720 20,900 4,720 5,180 9,900 30,800 20,180 1,901 35,412 37,313 8,884 8,471 17,355 54,666 23 愛 知 4,680 69,000 73,680 20,160 21,190 41,350 115,030 24 三 重 28 14,960 14,988 3,840 6,330 10,170 25,155 26 京 都 248 31,832 32,080 7,540 6,073 13,613 45,693 27 大 阪 4,511 113,030 117,541 28,011 12,319 40,330 157,871 28 兵 庫 1,597 59,467 61,064 12,984 10,907 23,891 84,955 29 奈 良 640 15,080 15,720 3,640 2,835 6,475 22,195 30 和 歌 山 688 14,198 14,886 3,720 3,283 11,152 4,324 19,210 32 8 長 34 6,560 6,594 1,956 1,927 3,883 10,477 33 28 唐 根 34 6,560 6,594 1,956 1,927 3,883 10,477 34 広 島 660 31,720 32,380 14,364 4,133 18,497 50,877 34 広 島 660 31,720 32,380 14,364 4,133 18,497 50,877 36			野							13,820
22   静										31,379
23   数										30,800
24   三   重										54,668
25   法 質   517   12,262   12,779   4,062   3,698   7,760   20,538   20,538   31,832   32,080   7,540   6,073   13,613   45,693   27 大 版   4,511   113,030   117,541   28,011   12,319   40,330   157,871   28,5										115,030
26 京 都 248 31,832 32,080 7,540 6,073 13,613 45,693 27 大 阪 4,511 113,030 117,541 28,011 12,319 40,330 157,871 28 兵 庫 1,597 59,467 61,064 12,984 10,907 23,891 84,955 31 8,132 18,885 31,72 1,152 4,324 19,210 32,8										
27  大阪   4,511   113,030   117,541   28,011   12,319   40,330   157,871   29						32,090				
28 兵 庫 1,597 59,467 61,064 12,984 10,907 23,891 84,955 29 奈 良 640 15,080 15,720 3,640 2,835 6,475 22,195 30 和 歌 山 688 14,198 14,886 3,172 1,152 4,324 19,210 31 鳥 取 330 7,120 7,450 1,860 1,164 3,024 10,474 333 岡 山 1,326 23,668 24,994 7,703 3,048 10,751 35,745 335 山 口 380 18,892 19,272 3,648 4,133 18,497 50,877 355 山 口 380 18,892 19,272 3,648 4,1486 5,134 24,406 37 香 川 101 11,926 12,027 2,326 1,872 4,198 16,225 39 高 知 631 9,876 10,507 2,326 1,872 4,198 16,225 39 高 知 631 9,876 10,507 2,326 1,124 3,450 13,957 11 佐 賀 48 8,872 8,920 2,064 3,037 5,101 14,021 14,021 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	27	大								
29 宗 良 640   15,080   15,720   3,640   0,907   23,891   84,955   30 和 歌 山 688   14,198   14,886   3,172   1,152   4,324   19,210   31 島 取 330   7,120   7,450   1,860   1,164   3,024   10,474   322 島 根 34   6,560   6,594   1,956   1,927   3,883   10,477   33	28	兵								
30 和 歌山   688   14,198   14,886   3,172   2,533   6,475   22,193     31   泉 取   330   7,120   7,450   1,860   1,164   3,024   10,474     32   島 根 34   6,560   6,594   1,956   1,927   3,883   10,477     33 岡 山 1,326   23,668   24,994   7,703   3,048   10,751   35,745     34   広 島 660   31,720   32,380   14,364   4,133   18,497   50,877     35   山 口 380   18,892   19,272   3,648   1,486   5,134   24,406     37   香 川 101   11,926   12,027   2,326   1,872   4,198   16,225     38   慶   慶   53   18,132   18,185   3,912   2,185   6,097   24,282     40   福 岡 196   61,135   61,331   12,448   9,668   22,116   83,447     11   佐 賀 48   8,872   8,920   2,064   3,037   5,101   14,021     12   長 崎 700   18,560   19,260   4,680   1,620   6,300   25,560     14   大 分 372   14,524   14,896   2,836   2,048   4,884   19,780     15   宮   崎 200   13,680   13,880   3,080   2,688   5,768   19,648     17   沖   8   200   16,764   16,964   3,022   3,757   6,779   23,743     20   16,764   16,964   3,022   3,757   6,779   23,743     20   20   16,764   16,964   3,022   3,757   6,779   23,743	29	奈	良							
31   鳥 取   330   7,120   7,450   1,186   1,164   3,024   10,474   19,210   1,326   23,668   24,994   7,703   3,048   10,751   35,745   35   山 口 380   31,720   32,380   14,364   4,133   18,497   50,877   35   山 口 380   18,892   19,272   3,648   1,486   5,134   24,406   37   香 川 101   11,926   12,027   2,326   1,872   4,198   16,225   38   28   28   28   28   28   28   28	30	和	歌山							
32   唐   根   34   6,560   6,594   1,956   1,927   3,883   10,477   33   10   1   1,326   23,668   24,994   7,703   3,048   10,751   35,745   33   10   1   1,326   23,668   24,994   7,703   3,048   10,751   35,745   33   10   1   1   1   1   1   1   1   1	31	梟	取	330						
33			根	34				1,104		
34 広 島 660 31,720 32,380 14,364 4,133 18,497 50,877 355 山 口 380 18,892 19,272 3,648 1,486 5,134 24,406 6,366 意 64 9,916 9,980 2,168 888 3,056 13,036 77 香 川 101 11,926 12,027 2,326 1,872 4,198 16,225 89 高 知 631 9,876 10,507 2,326 1,124 3,450 13,957 89 6			Щ	1,326						
38   18,892   19,272   3,648   1,448   5,134   24,406     36   18   10   11,926   19,980   2,168   888   3,056   13,036     38   10   10   11,926   12,027   2,326   1,872   4,198   16,225     39   18   13   18,132   18,185   3,912   2,185   6,097   24,282     39   18   10   13,132   18,185   3,912   2,185   6,097   24,282     40   10   10   196   61,135   61,331   12,448   9,668   22,116   83,447     41   42   48   8,872   8,920   2,064   3,037   5,101   14,021     42   43   48   48,872   8,920   2,064   3,037   5,101   14,021     43   44   45   45   45   45   45   45			島							
36   後				380						
101	36 1	惠	島		9,916					
18   変   接   53   18,132   18,185   3,912   2,185   6,097   24,282     19   高				101						
19   19   19   19   19   19   19   19				53	18,132					
196				631			2 326			
11				196	61,135					
12    12    13    15				48						
33   15   15   15   15   15   15   15	-	_			18,560					
14 大 分   372   14,524   14,896   2,836   2,048   4,884   19,780     15 宮 崎   200   13,680   13,880   3,080   2,688   5,768   19,648     16 康 児 島   333   20,996   21,329   3,816   2,314   6,130   27,459     17 沖   18   200   16,764   16,964   3,022   3,757   6,779   23,743	_			196	24,152					
5				372					***************************************	
6  鹿児島   333   20,996   21,329   3,816   2,314   6,130   27,459   17   沖   200   16,764   16,964   3,022   3,757   6,779   23,743				200	13,680					
<b>万</b> 伊 縄 200 16,764 16,964 3,022 3,757 6,779 23,743										
会計 90 CAC 1 074 004 1 4 5 007 0 0,770 23,743	7/2			200						
		合	<b>it</b>	80,646	1,371,621					

| 301,021 | 1,371,021 | 1,492,207 | 301,102 | 204,044 | 010,096 | 2,007 | ※山梨県の血小板成分献血目標量については、血小板製剤製造が東京都において行われているため、東京都に併せて計上している。

平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための各採血所毎の目標書及152種動

1985   1986	1.00   1.00	/			一人と	. 1	L		E E	原血ルーム(出張所	(F			7	建甲基磺胺		ľ		1	1		-		
1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	/	からませ	4.00		. 3		子の意味の	成分		小計	-	全血酸血	一位公司		-		と無数を	# (7.2)		ŀ	т	なる事を	お客を数
1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	1, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10,	1	1	X.	200	4	ŀ	1	自和	-1	(二) (本)	_		H	#				1	4	_	÷		
1,2,2,2,3,3,1,1,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,		100	0.57	0,440	ł	1		1,719	8,240	29,925	1.423	64 220	t	₽	84 920	1000	1	T X				77.20	Ì
Color   Colo	Carro   Carr		200	aca .	1,464	1	_		1,842	2,936	7.358	729	380		1	1090	35.5	1	1		5		108,163	S
Carrollong   Car	1,000   1,00					0		2,205	1,693	3519	7417	792	19.40	107		1		1	1	-	٥		22,280	81
Column   C	2.04         3.04         1.04 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td>9.552</td><td>5 861</td><td>6.578</td><td>21 041</td><td></td><td>1000</td><td>5</td><td>187</td><td>13.269</td><td>926</td><td>62</td><td></td><td></td><td>62</td><td>•</td><td>20.747</td><td>2</td></t<>					0		9.552	5 861	6.578	21 041		1000	5	187	13.269	926	62			62	•	20.747	2
Column   C	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,		645	557	1,200	2.402	L	L	790	1 804	8 800	97,	3	-	-	14,034	984	346			346	12	38.321	-
Column   C	Column   C					٥	L	L	2 641	2016	1000	2/2	100	615	500	9.076	621				0		18.286	٦
State   Stat	State   Stat		2,017	1,039	3,704	6,780		1,203	089	2176	4.050	286	27.860		+	11,390	3				0	-	11271	2
State   1,575   2,574   2,584   1,515   1,515   1,515   1,514   1,515   1,51	State   1,575   2,524   2,524   2,524   2,524   2,525   2,524   2,525   2,524   2,525   2,524   2,525   2,524   2,525   2,524   2,525   2,52					•	L	4.412	7007	5 504	16.036	200	24,000	1	1	000,52	428				0	L	34.469	2.4
C   C   C   C   C   C   C   C   C   C	0   2,270   1,271   1,525   6,152   1,525		1.160	1,888	2120	5,168	L	1,676	2737	2,604	10.07	1,000	24,000			24,088	1,544				0		41.026	12
0         23.00         1.62.0						٥	L	8 730	1364	2 463	17.646	200	200	*	8	18,177	0,170	768	472.	248	1,488	120	31.850	20
0   91444   25.00   14.00   1						6		32 847	17.775	35.00	0007	200	3,918			13,918	828	171		-	Ē	•	31 635	-
0   41572   2115   221	19					6		22.710	1 1 2 1	2,230	200	2,829	34412		-	34.412	1,856	92	-		26	-	100563	
1.200   1.120						•	I	20,120	100	3,780	22.167	2,120	38,935			38,935	2345	633	-	-	203	. 9	20, 30	
1,100   1,100   2,10	1,115   1			Ī	1	9			24,402	49,672	165,558	4,610	51,042	-	-	51 042	7.617	21 046			3 3		9	9
10.387   1.458   2.558   2.579   4.589   2.579   4.589   4.589   4.589   4.589   4.589   4.599	1,118   1,124   1,125   1,			1	1	1		41.512	28,176	17,849	87,537	2,808	38.379	-	-	3.07.0	2 248	5	1	1	21:00	127	237,646	2
11.0   1.	11   12   12   12   12   12   12   13   13					5		10,382	.5,839	6,353	22,574	1,091	13.870	-	+	12870	1	1	+				125,916	S
1998   1540   1544   2500   4884   301   2814   329   329   340   1348   13	1998   1998   1999	Ĺ	Jor.	62.0	***	3		9	2218	2,768	6,102	363	9.294	-	-	9 294	480	$\mid$		+			1	
1.500   1.150   5.040   5.		I	1	3	2	4.035		1,640	1,054	2 200	4.694	301	8.814		ŀ	7100	900	1	+		0		15.396	*
1,140   2,140   2,446   2,546   2,	1.240   2.164   2.	I	3		2,808	4,050	٠		H		•		8.892	-	-	8 802	2 2	9,0		1	-	1	18.547	0
1500   15158   25158   25158   2525   2150   21715   2150   2	1.500 131 2.500 2.610 2.620 1.100 1.110 1.110 1.120	I				b		1,240	5,040	۲	6,280	364	7540	+	1	1540	200	3	+		240	7	13,182	٠
13.0   1.0   2.	19   19   19   19   19   19   19   19	I	970	2029	2,360	7,017	341	2,156	2,466	2,564	7,186	88	17,176	-	1	17.7	Coad	+	+	1	-	-	13,820	•
1,500   144   5.55   7.50   1.50   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56   1.52   1.56	1,500   144   5,515   1,510   1,510   1,512   1,512	I	200	6.304	200	6,820	313	2,980	2.818	2322	8,120	677	15.860		-	298.51	200	1	+		8	1	31,378	
2.45	1985   1985	I	775	3/2	3	200	149	5,059	7,900	8,283	21,242	1,094	31.842		+	31 842	200	30			0		30,800	20
13.50	13.20	Ī	237		2.436	6.941	289	25,162	18,641	17,724	61.527	2,374	44.420	+	+	44 420	105	3 50	1	+	2	2	54.068	=
6.077 345 5255 109 7 524 178 754 178 755 105 2227 7 549 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	6.077 345 35939 1.076 2.2247 3.045 3.04	T	1 410	1,555	7007	3,408	212	1/1	4,596	2,560	7 930	557	13,760	-		13 760	720	1	-	1	77.77	2	12,030	3
6.077 345 3953 14427 25.884 25.24 1 128 3.24 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	607) 345 39529 1467 72586 7559 1508 72247 71441 71441 3259 4001 400 500 500 500 500 500 500 500 500 500	Γ	+		200.5	0.0	3	422	119	748	1,781	161	10,838	763	L	11.915	100		1	+	7	+	25,158	5
25.55 27.7 1,550 10.97 12.586 75.55 21.50 12.590 12.590 400 400 400 400 12.590 13.580 15.590 400 400 400 400 12.590 400 12.590 400 12.590 400 12.590 400 12.590 400 12.590 13.590 13.500 12.590 13.500 12.500 12.590 13.500 12.500 12.590 13.500 12.500 12.590 13.500 12.	25.50   25.51   1.05   2.586   75.52   2.50	Γ	3060	802	21.06	50.00	1	9,784	6.073	7.540	23,397	1,076	22,247	-	ŀ	22.247	1.085	69	+		2	,	8000	7
2.555 277 (125 1476 1274 4574 1574 1574 1574 1574 1574 1574 15	2.555 277 4.559 2.107 2.249 46.571 1.5249 45.51			1	2	0	2	33038	12411	25,886	76352	358	1441	H	-	71441	3928	9		-	2 2	, 6	200	7
	2.70		940	675	1.240	2 855	702	1 860	10.00	76.	46.574	1.926	38,381			38,381	1,999	-		+	c	+	197,61	
12.00   151   1524   1524   1524   1525	12.00   151   1524   254   446   244   251   2520   254   2520   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252   254   252	ŋ	-			0		000	153	21.10	2	196	12,920			12,920	700	L	-		•	-	27 104	3:
2.5.0   2.5   4.4   4.4   4.4	12.20   237   237   244   249		716	940	1474	2.770	351	707	107	31172	7	=	13,866			13,866	174				-	+	19 210	1
12:0   19:0   17:1   23:0   17:1   23:0   17:1   23:0   18:1	12:0   19:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   17:1   27:0   27:1		227	1.483	1.520	3,230	787	155	100	436	7.40	516	2300			5,300	284	-	-	-	-	1	10.474	
	1.8   1		916	1,334	4,000	6,250	296	1958	71.	2 707	337	2	6.310	+		6,310	Ş	Н	L		-	-	10477	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	17-6 311 1.520 7.72			-	-	ō		5.112	133	2012	1000		21,664	-		21,664	1,044	456	-	-	456	•	76 745	
1872   256   2054   500   1,500   4,004   211   1,124   1,524   1,525   250   1,500   1,500   1,500   2,466   1,000   1,500   2,500   1,000   2,466   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,500   1,000   2,50	18   18   18   18   18   18   18   18		860	766	2120	3,746	E	1520	202	1 528	8027	2	26,543	1	-	26,543	1,295	525			525	52	50.877	-
0 250 1.87 2.87 2.87 8.87 3.87 3.87 8.87 8.87 8.87 8.87 8	0 250 1872 2.256 6.659 341 4.14A 1.14A 1.15A 6.650 3.45 1.15A 6.850 0.11B 6.25 1.16 1.15A 6.15B 6.15A 6.15B	1	792	388	879	1,828	260	2.064	2005	1 520	27,00		16,892	1	1	ا:	868	Н			0		24.406	-
0 3605 2.185 2.215 2.187 2.226 4.707 3.00 14.464 14.464 6.22 116 6.22 11	0 3605 2185 2315 4772 3470 3470 3470 3470 3470 3470 3470 3470	1			-	٥		2501	1872	377.6	8 800	1	127		+	_ {	ŝ			L	•	-	13,036	-
1 120 1226 1226 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 4270 1226 1226 1226 1226 1226 1226 1226 122	14.00 1.128 2.00 1.128 2.120 4.770 38.2 3.00 1.00 1.00 1.128 1.18 1.18 1.18 1.18 1.18 1.18 1.1	1				0		3,605	2.185	3812	9 703	5 5	3.328	-	-		Š				•	-	16,225	-
1958   58.27   84.73   10.729   36.529   4.33   40.539   40.53	1985   1982   1982   1984   1984   1985   1453   1453   1454   1455	1		1		0		1,420	1.124	2,326	4870	26.2	1000		+	⊥	628	9	-		116	5	24,282	•
252 244 3.360 1.440 2.04 2.04 2.04 2.04 2.04 2.04 2.04	1928   346   1440   3244   546   546   547   548	Ť	1454	195	1719	4,368	295	16,827	8.473	10,729	36.029	12	40.050	+	1	_	250	-	1	-	•		13,957	8
1.582   244   2.340   2.344   5.34	13.02   13.04   13	†	1,926	3,037	2,064	7,029	362	-	_	-	0	L	6 902	1	-	L		2,132	1		2,192	8	83,447	3.4
198   28	1987   288   4,233   1,266   2,889   2,899   2,899   3,18   1,197   1,207   2,899   2,999	t	9,00	3	936	1.532	244	3 360	1,440	3,144	8.544	L	15.484		+	1	200	+		1	0	-	14,021	3
0         7,700         2,004	0         4 730         2.826         9.846         361         10.00         5.00         15.	t	9000	100	7.231	6,796	298	4.253	1,266	2,689	8,208	L	17071	-	1	1	200	-	1		0		25,560	1,67
2.47         2.90         2.68         3.000         7.88         3.000         7.88         3.000         7.88         3.000         7.89         9.80         1.800         9.90         9.90         9.90         1.800         9.90	247         2500         258         3.060         7.08         3.65         1.660         6.00         7.09         1.570<	t	1	$\dagger$		-	1	4.730	2048	2,836	9,614	L	10,008	-	-	1	3 5	150	1	+	3	-	32,081	7
18,548 204 13,542 21,00 7,046 204 13,547 21,00 7,046 20 10,048 204 204 204 204 204 204 204 204 204 204	- 1944 - 23 - 2504 - 1342 2 100 7.046 384 (16.66 16.		1 550	023	1000			2000	2,688	3,080	7,768	L	11,880			L	650	3	+	1	801	-	9,780	=
13.67 3.264 427,453 203.07 34055 95.07 40.614 354,593 13.67 665 665 73 20.70 327,442 52.58 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.68 33.68 472 52.58 33.	13879 3246 427453 200,507 234055 3520,506 40514 554,505 1620 660 57,405 660 47,705 660 73 24,705 73 47,705 73 73 73 73 73 73 73 73 73 73 73 73 73	t	+		+	,,,,	187	200	1342	2100	7,046		16,168	_		L	820	-	1	1	,		9.048	2
等の、事業ので、第一次ので、1997年17月 1892年 1984年 1984年 1984年 1984年 1982年	等し、事業所や学校の会議等を発して行う該の会入れ方式。 特別に事業所や学校の会議等を発して行う該の会入れ方式。 部別を表し、事業の目標を発放の会議等を発して行う該の会入れ方式。 報酬の職人、報知の場合を行うでは一定の場所へ、発放して行う該の会入れ方式。 報酬の職人、報知人・第一項の関所へ表演出版を表して行う。 第個の場合を行うには、第個人・第一位の関係へ表演出版所と、即の関係へ出輩出版所と、 第個の場合を行うには、「100 1146)には、「100 1146」には、一位、1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、「1146)には、11	t	36.165	31 942	55 969	12400€	4		4		4		13,879	H		L	1	999	-	+	39	2	27,403	7
都可能将,等者按据者在我们是中的独立了它的理想来了话说。 春草五年,是其中国的部分,护一人对西门共和国和教教中心。 第二月二年,其间的部分,将一人对西门共和国和教教中心。	第四個所、等数部組織では同事的を「一つが異型人作が以、 新聞月職・発動には同事的を「十一」が発向では著句の表現でした。 新聞月職・大戦・上傷の部所へ流布ないを「一)、「本社のは一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二二十二十二十	ľ	い無種が打	A G	子類の 雑子	- FEE	- THE	- 17 ( TO )	100,000	234,055	52,026		954,958	1,623	L	L	ł	3.680	472	L	1	Ι	201/45	
<b>梅週月艦・米艦・土曜の間所へ、米でカンターン</b> 81)は、 <b>集週火・金・土曜の間所へ表示力を下</b> ン 81)は、集週火・金・土曜の間所へ表示力楽形と、 も故楽	精練月編・本編・土編の部所へ採的センケーン 51)は、集韻犬・食・土織の部所へ東ボ田路所>、総故県	を	たは、血液・	ラングー	カーイル	计算数日表	2. A. A. A.	はないない。	まりが をした はままれ しょう	ノしてつ事品	**************************************									1	].	1		5
51)は、毎週火・食・土曜の関所<長浜出張所>、島福県	81)は、韓國火・食・土曜の器所<長浜田装所>、島被乗	がある	ンター体電池		(148)	は、神道が	第・米隆・土	語の配形へ	解析カング	\ \ \ \ \	H H M	THE TOTAL		٠.		•								
		ĺ	利用して	1) 疾寒寒		.(161)#	推圖火	・土曜の間	下人表形田站			大龍龍江(	* + MB	モン教育の	横田王郎								٠.	٠.

		月1日現在の制	血受入施設對	等について		平成23年度の截血受入施設整備予定について							
٠.	血液センター (※)	献血ルーム	移動探血車	成分採血装置	血液	ンター		献命1/.			栗血車	成分課	血装置
と海道	4(4)	6	16		机似了定数	环境止予定数	新設予定數	休廃止予定	事程·拡張予定量	增減数	更新数	增減数	更新
Į.	2(1)	2				11	1		1	0	0		
手	1(0)	1	5	22					) . 0	Ö		0	
城	1(0)	2							0	Ö		ō	<del></del>
k EEE	1(1)	- 2			0					Ö		- 0	
形	1(0)						0	7		ő		0	
	3(3)		3				0			. 0		- 0	
城	1(0)	- 3	9		0		0			. 0			
沫	10)	3	<u> </u>		. 0	Ö	Ö			0	. 0	. 0	
馬	1(0)		6		0	0	0			0		0	<u> </u>
3					0	0	Ö					. 0	
*	1(0)	8	10		0	Ö	, 0		- 4	0	. 0	0	
黄	1(0)	6	. 10		. 0		0		<u> </u>	0	0	5	
	. 2(0)	13	19	223	0	0	Ÿ				1	- 0	
奈川	2(0)		12	138	Ö	, , 0	0		0	. 0	1	0	
潟	1(0)	3	. 4	32	0	0			1	. 0	0	0	
Ш	1(0)	- 11	3	11	0		0			. 0	0	0	
<b>JI</b> I	1(1)	1	4	21		. 0		0	. 0	. 0	O	1 0	
井	1(1)	0	3	13	0	. 0	0	. 0	. 0	0	Ö	ō	
梨	1(0)	- 1	- 4		0	0	/ 0		0	a	0	0	
<b>9</b> 3	1(1)	2		15	0	. 0	. 0	0	0	Ö	o	ŏ	
	1(1)			35	0		0	1	1	ő	0	0	
<b>E</b>	3(1)			32	. 0	0	0	O	0	Ö	- 8	0	
知	2(2)		9	53	. 0		C	0	o	Ö			
î	1(1)	- 4		115	0	0	a		- 1	0		0	· · ·
₽	165	3	4	26	. 0	. 0	Ö	-		- 0		2	
<u>a</u>	2(0)			26	. 0	0	a	<u> </u>	o		. 0	- 4	
嚴 .		3	6	34	o	. 0	a	- 0		. 0	0	. 0	
	3(2)	10	18	142	0	0	0	- 6	2	. 0	1	0	
	1(0)	6	. 9	78	0	Ö	0	- 0	. 0	0	3	3	
ġ.	1(1)	1	4	27	o	0				. 0	0	3	
数山	1(0)	1	5	13	Ö	0	0	0	0	. 0	. 0	Δ5	
<b>Σ</b>	1(1)	1	2	15	0		. 0	0	0	`0	0	Δ2	<del></del>
<b>E</b>	1(1)	1	3	15	Ö	0	. 0	0	0	0	0	a	
Ц	1(1)	1	6	25	- 0	0	0	0	0	0	10	ō	
8	1(0)	2	6	44		Ö	. 0	0	. 0	.0	2	Ö	
	1(1)	- 7	5			0	1	0	0	0	1	10	
	1(1)	<del>- il</del> -	3	21	0	0	0	. 1	1	- 0	0	10	
11	1(0)		- 3	20	0	0	0	1	. 1	a	0	0	
# T	1(0)			14	- 0	. 0	- 0	1	1	- 0	6	- 8	
B .	1(0)		4	24	0	0	0	1	il-	0	- 1	- 0	<del>.</del>
1	3(1)		3	12	0	0	o	of of	Ö	- 0	- 0	- 0	
t l	1(1)		11	65	0	0	. 1	0	0	- 0	- 0		
1	2(1)	0	2	11	0	0	0	0	- 0	- 0			
7		2	, 5	21	. 0	Ö	Ö	- d	- d	- 0	0	. 0	
<del>}</del>			5	26	0	Ö	o o	o o	0		0	0	-
-	1(0)	1	- 4	15	O	0	Ö	- 0		0	1	- 0	
	1(0)	1	4	14	. 0	0	0		0	_ <u> </u>	0	0	
	1(1)	1	- 5	24	O O	0	- 0	. 0	. 0	0	- 1	0	
	1(0)	1	3	18	Ö	0	- 0	0	0	0	0	0	
r 1	64(32)						<u> </u>		. 0	. 0	. 1	. 0	-
	01(32)	123	289	1,926	ol			13	13	0	17		

※平成23年4月1日現在の献血受入施設(血液センター)について・・・()数は、実際に受け入れを行っている血液センター数。張りの32施設については、血液センターの 立地条件等の理由により、献血ルーム、移動媒血車、ボーブン酸血によりの要な献血者を確保している。

別紙 3

## 各都道府県血液センターにおける主な取り組み

<u>①</u> 若年層	を対象	とし	た対	带
dell' internation and the	of the later of the later of			

	集体的対策: 「大学」 「大学」 「大学」 「大学」 「大学」 「大学」 「大学」 「大学」	
	2 献血に関する勉強会を行い、その後、街頭献血にて献血呼びかけボランティアを行う。このことにより、献血への理解を深めてもらい、得来の献血へのきっかけづくりを行う。	10代、20代の若年層 小学生・中学生、高校生、その他学生
.[	3 中学2年生を対象とした社会人体験学習受入施設に登録し、各議の実務等を体験しながら血液センターへの理解を深めてもらう。	<del> </del>
	スペート・スペース・フェスペース・ソリを用を求め(もら)。	中学2年生

## ②献血者の年齢層に応じた献血推進対策

まンズスクールを開催し、保護者同件の元、血液センター自学業業スプログロ	The state of the s
1 キッズスクールを開催し、保護者同伴の元、血液センター見学等親子で献血について学んでもらい、将来の献血者確保及び保	R護者への献 小学生と父親、母親
2 過去に成分献血登録していただいた方に献血基準の変更案内と成分献血を依頼する針書を郵送する。	ハナエC入税、 草税
3 400mL 献加経験表で60法から64法主で一計の年のケンセン	55歳から60歳の方
3 400mL献血経験者で60歳から64歳までに献血歴の無い方に、献血依頼及び69歳まで献血を継続いただけることの周知を図	る。 65歳以上の方

### ③企業等における献血推進対策

1		
	数血協力のない企業のPなど開覧し社会貢献活動をしている団体に対して電話等を使い、数血の影響性について説明し協力依頼をする。 献血協力団体に対しブループ企業で敵血をしていない企業を移位してきる3、5名かと参考した。	<b>3.8</b>
.	する。	献血実施していない事業所や献血協力企業等への啓発活動
2	献血ルーム周辺企業及び大学・専門学校に、協力期間を1適間程度として献血協力を目的とした献血協賞を依頼する。また、献血ルーム にて献血協力をいただいた企業等に対しては、ホームページに掲載する等、協力企業のアピールを行う。このことにより各企業の知名度を上 げることにより献血協力(社会貢献活動)を実施しやすい環境で入りを行う。	献血ルーム近隣企業・学校等への啓発活動
[3	次年度役員の方に献血研修会を実施し、継続的な協力のお願いをする。	献血協力団体・企業

### ④複数回献血者の確保対策

1 款血会場に複数回款血クラブ会員登録誘導装置(サイトスタンパー)を設置し登録手順を簡素化し登録しやすい環境を整備する。	。 [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]
2 平成22年度初回献血者に継続的に献血していただくよう、居住地(市町村)ごとに献血要請業書を送付する。	献血者
3 献血後6カ月を経過した献血者に対して送付しているバースディハガキを、献血可能日を過ぎたタイミングで送付する。	初回献血者
4   65度~69度までの献血再来推進のため、60歳~64歳の方に苦寒寒に FLI400~1 計画 15 大き	献血者
5 400mL献血の推進	60歳から64歳の方
	400mL截由可能表

#### ⑤その他の具体的対策

	一接動をいなりませる。は、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	
1.	一接動あたりの協力者が多い休日の街頭献血会場に配車するにあたり、市町村担当者、大型ショッピングセンター担当者に理解を求め、休 日しか献血できない会社員等の協力者確保を目指す。	
. ] ."	日しか献血できない会社員等の協力菩薩係を目指す。1 61-67に外、市町行祖当者、大型ショッピングセンダー担当者に理解を求め、休 タ市町対担当者、計画・ 2 かっま は 2 かっま 2 かっま は 2 かっま 2 かっ	1
2	大学 真門学校第二「由小坂市仏社市のか」のとは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	ŀ
_	大学、専門学校等に「血小板成分献血の協力のお願い」ポスターを配布に、固定施設での成分献血の参加を呼び掛ける。 大学生・専門学校生等	1

#### 参考資料

平成23年3月8日

平成22年度献血受入計画(平成22年度4~12月)における取組み状況と 平成23年度献血受入計画の策定について

日本赤十字社 血液事業本部

1 平成22年度4~12月における各都道府県別の血液確保量、 確保目標量に対する達成率及び比較

別紙1のとおり

#### 2 血液確保目標量と確保量及び供給量との比較に基づく分析

各血液センターにおける献血受入計画(平成22年度4~12月:平成22年度の受入計画を3/4したもの)の目標量151.7万しに対する確保量は155.4万しで、達成率は102.4%となっており、確保量が目標量を上回っています。これは、献血受入計画を基本としながらも、医療機関からの受注状況と血液の在庫状況を勘案して、安定供給を確保するため、各血液センターが状況に応じた採血を行った結果です。また、全体の血液確保量155.4万しに対し、原料血漿及び輸血用血液製剤の合計使用量は148.3万し(使用量に対する確保率104.8%)です。7.1万し(確保量の4.6%)が未使用量として計上しておりますが、この中には検査不合格と期限切れが含まれています。

以上のことから、平成22年度は、安定供給が確保されています。なお、安定供給を確保する上で、ある程度の未使用量が発生しますが、引き続き、より一層需給管理の精度向上と需給調整による有効活用を図ってまいります。

#### 3 血液製剤の安定供給等に係る取組み

輸血用血液製剤の在庫の過不足の早期把握、安定的な供給を図るための必要な措置 の検討と実施及び需給計画の検証を行うため、血液事業本部及び血液センターにおい ては次の取組みを行っています。

#### (1) 血液事業本部の取組み

血液事業本部においては、献血者確保及び血液製剤の供給等について審議する 「血液事業推進委員会」を設置しています。特に輸血用血液製剤の安定供給を確保するため、同委員会の下に「安定供給促進小委員会」(原則毎週金曜日開催)を設置し、全国の輸血用血液製剤の需給状況及び原料血漿の確保状況を把握し、安 定供給を実現・維持するための対応策の検討を行い、各血液センターへの指示・ 監視・指導を実施しています。

#### (2) 各血液センターの取組み

各血液センターにおいては、「需給計画委員会」(原則毎週開催)を設置し、採血・製造・供給の予測に基づく在庫シミュレーションによる赤血球製剤・血漿製剤・血小板製剤の需給計画の検証を行い、基本となる献血受入計画に調整を加え、翌月・翌々月の中期的需給計画を策定しています。

また、基幹センターは、上記の血液センターとしての対応に加え、管内血液センターの需給状況(採血・製造・供給状況等)の把握、需給計画の検証及び指導を行うとともに必要に応じて血液の需給調整を行っています。

#### (3) 在庫量の情報管理と危機管理対応

① 血液事業本部は、休日を除く毎日、午前6時現在の全国各血液センターの赤血球製剤の在庫を把握(別紙2)し、注意報水準・警報水準に陥らないよう常に全国の需給状況を確認するとともに、赤血球製剤の在庫状況を厚生労働省へ報告しています。

また、各血液センターからは各都道府県及び各都道府県支部へ同様に情報提供 しています。

② 注意報水準あるいは警報水準に陥った血液センターについては、「危機管理水準の情報報告書」により危機管理水準の現況、それに至るまでに講じた方策等を、 基幹センターを通じて血液事業本部へ提出させ、それを受けて血液事業本部は 「危機管理水準の対応指示書」により具体的な対策等を指示しています。

平成22年度については、注意報水準が2回発生していますが、全て一過性のもので、需給調整等の早急な対応により翌日には回避しております(警報水準発生はなし)。

- ③ さらに、需給予測によって血液不足が見込まれる血液センターについては、今 後の採血計画の見直しや増班体制などの具体的な対策を講じるよう指示しています。
- ④ また、平成17年4月に本社及び各血液センターに献血推進本部を設置し、万一、安定供給の確保が懸念される場合には、国及び都道府県と連携して迅速に効果的な対応がとれる体制を整備しています。

⑤ 更に、赤血球製剤在庫が減少する冬季対策として、各ブロックの赤血球在庫が 適正在庫数の120%以上で推移するよう需給管理を図っております。

#### (4) 冬季·春季献血者確保対策

平成22年10月、平成23年1月に基幹センター需給管理担当課長会議を開催し、 赤血球製剤の在庫が全国的に逼迫する冬季及び春季の在庫予測シミュレーショ ン等に基づき、進捗状況確認及び対策の検討を行いました。

また、各基幹センターにおいても管内の血液センターを招集し、そこに血液事業本部からも職員を派遣して冬季・春季献血者確保対策の検討を行いました。

4 平成22年度献血受入計画の進捗状況

平成22年度献血受入計画として、核となる対策と取組みを血液事業本部から各血液 センターへ指示し、各血液センターでは都道府県との連携のもとに受入計画を策定・ 実施しています。なお、その対策と各血液センターにおける主な取組みの実施状況は 次のとおりです。

#### (1) 若年層を対象とした対策

・ 小中高生を対象とした血液センター等の見学受入れの推進 (体験学習を通じて 献血に触れ合う機会を創出し、献血への理解を求める)

〈平成21年度実績〉

実施回数589回 参加人数34,642人

〈平成22年度上半期実績〉

実施回数402回 参加人数17,765人

- 10代後半から30代前半の若年層を対象に献血への理解促進を図るために血液センター施設などを利用し、血液事業の紹介等のセミナーを開催
- く平成21年度実績>

実施回数380回 参加人数41,091人

〈平成22年度上半期実績〉

実施回数208回 参加人数13,939人

- (2) 企業・団体における献血の推進対策
  - ・ 新規協力企業及び団体の開拓
  - 献血ルームや移動献血会場への協力企業の開拓
  - ロゴマークの活用 (ロゴマーク取得促進のだめの専用ウエブサイトの運営、ステッカー配布など)

#### <平成21年度実績>

ロゴマーク配布数1,450件 協賛企業・団体数4,794件

(協賛企業・団体数は事業開始の平成18年度からの累計は43,193件、ロゴマークの配付数は6,130件となっている)

#### 〈平成22年度上半期実績〉

ロゴマーク配布数1,204回 協賛企業・団体数1,292件

### (3) 複数回献血者確保対策

- ・「複数回献血クラブ」会員の募集を増強
- 「複数回献血クラブ」会員への献血依頼及び理解促進のための情報提供を実施
- 〈平成22年度上半期実績〉

複数回献血クラブ会員数251,696人(平成18年度末より156,703人増)

<献血実人数に占める複数回献血者の割合>

(平成21年4月1日~平成22年3月31日実績:31.0% (前年同比1%上昇))

### (4) 目標量を確保するための全般的な対策

(献血受入体制への取組み)

献血者が安心して献血できるように、職員の教育訓練の充実強化を図るため、全 国研修会を開催

#### (広報活動への取組み)

- ・ 7月「愛の血液助け合い運動」
- ・ 7~12月「第5回いのちと俳句コンテスト」
- ・ 12月「全国学生クリスマス献血キャンペーン」
- ・ 1~2月「はたちの献血」キャンペーン
- ・ 通年「LOVE in Action プロジェクト」

を全国で展開しました。この他、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、 そのご家族の声を伝えるための映像を製作したことから、各血液センターにおいて、講演会や、施設見学時、学校等での上映会を実施し、効果的な広報を実施した。

### (血液センターにおける献血者確保への取組み)

・ 複数回献血協力者を確保するため、複数回献血クラブ会員へ情報誌の発行や、 AED 講習会等を実施する他、電子メールを活用した献血依頼を実施。また、リ ーフレットを作成する等して、新規クラブ会員の確保を実施

- ・ 需要に応じた400mL 献血を推進
- ・ 需給予測に基づき、固定施設における受付時間の延長や移動献血バスの増車に よる献血受入等の措置を実施
- 新規献血協力企業・団体の開拓を行うとともに、既存協力団体の献血実施回数の増加を依頼
- 学生献血推進ボランティアと連携して、若年層献血者確保対策として大学等に おける献血を実施
- ・ 地域の特性に応じてキッズスペースを整備し、親子が献血に触れ合う機会を設 け、献血者確保を実施

#### 5 平成22年度献血受入計画の策定

(1) 当該年度に献血により受け入れる血液の目標量

各血液センターにおける平成 21 年度供給数の実績と平成 22 年度上半期の供給数を中心に、過去3年の供給動向(別紙3)から傾向を分析し、当該年度の供給数を見込み、都道府県との協議のうえ、献血の目標量を算定しました。

- (2) 前号の目標量を確保するために必要な措置に関する事項
  - ・献血受入体制の策定

各血液センターにおいては、献血の目標量を確保するため、献血種別にも配慮しながら、過去の献血実績に基づき、施設別(献血ルーム、献血バス、出張採血)の 月別、週別、日別の献血受入体制を策定しています。

これらをもって、都道府県と献血受入計画等を協議し、基礎となる年間の献血バスの配車計画等を定めています。

#### 献血者の確保対策

血液事業本部では、献血者の確保に関する基本的対策について、国の基本方針及 び献血推進計画に呼応した献血者確保対策を基本とし、各血液センターへ指示して います。

血液センターでは、血液事業本部の指示による献血者確保対策を基本としながら も、それぞれの地域事情を反映した「都道府県献血推進計画」と連携した献血者確 保の取組みを計画しています。

一年を通して安定供給を維持するためには、地道な日々の取組みの積み重ねによる献血者の確保によるところが大きいと言えます。また、不足が予測される場合には早めの対応が重要です。各血液センターで実施されている各種取組みは、これまで過去に行ってきた取組みの中でも効果的なものが継続的に実施されています。

平成22年度の赤血球製剤の在庫推移は、別紙4のとおりです。

平成23年度の各血液センターにおける献血者の確保対策については、別紙5のとおり血液事業本部が示した基本となる確保対策項目に、各血液センター自らが数値目標を設定し、具体的取組みの進捗状況を評価することとしています。

なお、血液事業本部においては、各地の情報を収集し、全国会議等において各地 の取組み事例を紹介する機会を設け、また、各地の取組みを月間情報として配布す る等、献血者確保のための情報共有を図っています。

#### (3) その他献血の受入れに関する重要事項

血液事業本部では、国の基本方針及び献血推進計画に基づき、日本赤十字社として、これら方針及び計画に沿った献血の受入れに関する重要事項について、計画しています。

## 各都道府県別血液確保量等一覧(平成22年4~12月)

Γ.				血液样	保量		<u>da</u>	<b>A</b>	<b>E</b> A	*	献血量-	単位
	Va.	都道府県名	受入計画量	献血量			供給量 自センター+他 センターへの払	原料血漿 .送付量		血液 使用率	<b>未使用量</b>	未使用
H	-	· · ·	, A	В	B-A	. B/A	出		С	C/B	D=B-C	D/B
ŀ	1	北海道	77,255	82,002.26	4,747	106.1%	43,178	33,549	76,827	93,7%	5,175	. 6.
H	괵	青 森 県	16,704	16,423,95	△ 280	98,3%	7,334	8,542	15,878	96.7%	548	3
├	3	秋·田 県	13,641	14,559.80	919	106,7%	6,423	7.123	13,546	93.0%	1,014	7
L	4	<b>T. A. R.</b>	25,358	27,787,83	2,438	109.6%	12,328	13,893	26,221	94.4%	1,567	5
L	5	<b>X 14 R</b>	30,166	29,514.06	△ 652	97.8%	13,048	15,044	28,092	95,2%	1,422	4
L	6	樹木 県	22,413	24,025,58	1,613	107.2%	10,532	12,297	22,829	95,0%	1,197	5
L	7	# <b>5</b> %	22,952	24,746.40	1,794	107.8%	11,377	11,388	22,765	92.0%	1,981	8
L	8	神奈 川 県	101,748	94,973.01	△ 6,775	93.3%	41,931	52,997	94,928	100.0%	45	
L	9 1	断涡県	26,019	28,658.42	2,639	110.1%	12,316	14,118	28,434	92.2%	2,224	. ,
1	o į	<b>声 岡 県</b>	41,194	41,364.02	170	100.4X	17,679	22,188	39,867	96,4%	1,497	3
1	4	文 都 府	33,716	33,921,20	205	100.6%	17,130	15,056	32,186	94.9%	1,735	. 5
.12	2 3	<b>R &amp; W</b>	15,741	16,373.11	632	104.0%	7,848	7,377	15,225	93,0x	1,148	. 7
1;	3 1	y p y	17,549	18,150.57	502	103,4%	8,487	8,474	15,961	93,4%	1,190	6
14	, ,		17,102	17,135.56	34	100.2%	8,485	8,203	18,688	97.4%	448	2.
_		が 場手、山形)	54,243	56,339.80	2,097	103.9%	23,920	29,617	53,537	95,0%	2,803	5.
_2	٠.	玉(長野)	97,227	98,432.87	△ 794	99.2%	41,958	52,148	94,106	97,6%	2,327	2.
3	تلا	(京 山梨、千葉)	254,537	257,214.96	2,678	101.1%	132,394	121,798	254,192	98.8%	3,023	1.
4		川 裏山、福井)	34,499	36,813,53	2,315	106,7%	18,439	18,235	34,875	94.2%	2,139	
5		(知 抜學、三重)	123,650	128,993,90	5,344	104.3%	55,703	65,796	121,499	94.2%	7,495	5.1
6	£	庫(滋賀)	77,328	77,389.53	62	100.1%	35,456	38,318	73,774	95.3%		5.8
7	×	阪(和歌山)	129,203	135,867.35	6,654	105.2%	62,937	62,986	125,923	92.7%	3,616	4.
8	٠ ه	山(鳥取)	32,721	33,281.75	561	101.7%	15,953	14.820	30,773		9,944	7.
9	4	島(島根)	44,386	45,026,88	641	191.4%	. :	22,186		92,5%	2,509	7.5
10	**	() 毒、高知、素燥()	49.725	52,861,46	3,136	106.3%	26,362		43,075	95.7%	1,952	4.3
	(住	質、長崎、加本。 、宮崎、庭児島)	158,120	163,817.26	5,697			24,847	51,209	96,9%	1,652	3.1
4		e e	274年46日	11.70	生物化工程	103.6%	72,282	79,322	151,804	92.5%	12,213	7.5
		受入計画量は、	1,517,197 平成22年度登	1,553,675 入計画を3/4した	36,478	102.4%	722,409	60,403	1,482,812	95.4%	70,863	4.6

平成22年4~12月各都道府県別献血者数一覧

. 1					献血者数			1.		7.7	年代別献重	**	-	単位
•	都道	府県名	血小板獻	血漿酸血	400mL款血	200mL <b>款</b> I	台計	16-19	20-2	9 30-31			60-69	台計
4	t.	海道	31,60	9,682	146,579	26,88	1 214,74	15 13,24	5 37.	757 49.	81 51,8	33 42,8	74 20.27	+
2	*	<u> </u>	7,567	4,956	25,099	6,455	44,07			984 11,1				
3	*	手票	6,972	5,815	22,239	8,884	43,91		-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
4	•	<b>从</b> 果	11,525	14,338	36,551	8,548						- 177		
5	<u> </u>	田県	6,973	4,799	20,628	7,301	39,70			88 10,1		7		
s L	11 1	15. 興	4,392	4,251	19,446	7,173								
ŀ	<u> </u>	<b>5</b>	10,103	8,371	43,486	12,032	73,99							
Ŀ		生 県	11,058	10,401	43,277	14,003	78,73				7			T.
ψ	7	<b>*</b>	9,167	11,566	32,154	12,163	65,05	7			17.7			
ı	L	果	10,682	7,911	37,389	10,461	86,44		AI .				1	
1	فسا	E. :	27.231	28,722	102,196	31,701	189,85		36.9		7			
b		. 4	25,459	27,978	100,227	25,327	178,99	7						
'n		<b>AL.</b> 3	87,029	54,976	272,347	49,004	463,356		128,9					
'n	藂	崩霧	32,488	47.885	148,587	4,555	233,495		45.4	1				
¥	1 3	1	11,642	12,817	40,050	8,185	72,684	1	16,10					
1	للائـــا		5,331	3,795	18,087	2,758	29,971	1,476	6.1	7				72,6
ō	1	上果	8,761	5,078	21,588	3,843	39,268	1,828	8,2					T
8	_#	果	5,162	1,677	18,101	2,327	27,267	1,175	4,76		<del></del>		1	39,7
ш			0	8,010	14,844	3,515	26,369	2,565	4.87		7			27,2
£	. 37		8,479	9,915	34,477	7,039	59.910	2,650	10.76		1.	., .,		26,3
虹			8,328	10,307	33,868	8,352	60,655	2,879	9.57			7	3,533	59,9
n	<b>2</b>	<u>"</u>	17,235	14,842	65,382	7,578	104,837	5.018	19,20			1-12-2	5,580	80,8
z	動		37,175	39,901	. 133,169	22,032	232,277	12,664	53.12				6,111	104,8
Ξ	_1	4	7,849	10,454	28,111	89	46,503	1,057	7.66				12,159	232.2
Ħ	X		5,454	5,414	21,764	2,219	34,851	1,163	6,36			1	2,295	46.5
京	-	府	12,768	12,385	57,830	817	83,800	3,982	19,581				2,823	34,85
<u>አ</u>	版	亷	45,644	46,638	197,503	15,524	305,309	10,244	56,32				7,328	83,80
Ę.	4	я.	25,525	22,154 -	103,141	8,256	159.076	6,612	30,054				27,191	305,30
ŧ.	A	果	6,471	5,883	26,427	2,758	41,539	1,792	8,187		10,754	28,235	12,735	159,07
0	B i		5,078	3,200	23,121	2,517	33,916	1,598	5,167			7,744	2,925	41,53
Ĺ	Pχ	-18.	4,112	1,959	12,459	1,023	19,553	520	3,879		9,350 5,181	8,570	2,900	33,91
L	担	78.	4,468	2,394	12,756	257	19,875	600	3,573			3,325	872	19,55
١.	ш	凍	11,978	7,952	41,481	5,830	67,241	2,731	13,124	17,125	5,447	3,789	1,011	19.87
:		98	21,414	11,511	58,791	3,260	94,976	3,694	18,277	25,504	16,717 25,284	12,170	5,374	67,24
L	п	*	6,414	4,688	33,341	1,967	46,410	1,394	7,053	12,176	12,469	15,928	6,289	94,97
Ŀ		果	4,353	2,826	17,312	271	24,762	782	4,497	8,754		9,594	3,724	48,410
	Ш	98	4,809	3,736	22,273	448	31,266	1,342	5,723	8,438	6,209	4,891	1,629	24,762
_	<b>H</b>	<b>"</b>	7,556	6,547	33,687	67	47,857	1,886	9,308	12,396	7,860 12,221	5,698	2,205	31,286
_	知	果	5,558	2,057	17,418	4,575	29,608	1,967	6,026	7,746		8,745	3,301	47,857
_	B	<b>A</b>	23,083	19,417	111,428	122	154,050	7,568	32,397	38,358	6,809	5.123	1,937	29,808
	x	県	4,334	5,208	17,054	200	26,796	1,061	5,035	7,109	36,176	26,555	12,996	154,050
_	崎	県	8,479	4,297	34,428	2,210	49,412	2.360	9,434	12,269	8,736	5,166	1,689	26,798
_		я.	9,854	8,549	45,755	803	62.961	2,802	12,063		12,552	9,696	3,101	49,412
-		果	4,772	4,591	26,720	1,263	37,446	-1,578	.,	15,714	15,934	12,288		62,961
	-	県	5,687	5,398	24,418	725	36,228		6,820	10,436	9,658	8,654	2,300	37,446
7		*	8,186	6,853	37,137	1,328	53,504	1,699	8,586	9,348	9,247	6,864	2,384	36,228
	4	果	5,401	7,547	30,073	815	43,836	2,253	10,526	14,173	13,311	10,072	3,169	53,504
			10.11		Contract district	Sec. 7. 15.10		2,394	10,191	13,304	10,536	6,205	1,206	43,836

### 平成21年度各都道府県別血液確保量等一覧

10	道府以	1	<u> </u>		* -								単位:
	_				1 液 键	保 重	<del></del>	供給量	液包	用		献血量-6	
Ne	•	進序	课名	受入計画量	献血量		計画達成單	島センター+他 センターへの払	原料血漿 送付量	21	血液 使用率	未使用量	未使用
-	┼				8	B-A	B/A	#		_ <u>c</u>	C/B	D=B-C	D/8
_1	1	海	道	99,217	110.321,38	11,104	111.2%	56,319	45,148	101,467	92.0%	8,854	8,
	1	蘇	ж.	22,515	21,283,74	∆ 1,231	94.5%	9,470	10,897	20,367	95.7%	917	4
	秋	B	*	18,562	18,936,75	375	102.0%	8,836	8,914	17,750	93.7%	1,187	6.
:	12	8	県	32,037	34,732.57	2,696	108.4%	15,975	16,868	32,843	94:8%	1,890	1
	莱	被	県	40,492	37,517.14	△ 2,975	92.7%	16,855	19,502	38,357	96,9%	1,160	3.
	杨	*	県	29,504	31,492,14	1,988	106.7%	13,362	17,240	30,602	97.2%	890	
. 7	群	馬	県	30,538	32,642.59	2,107		14,087	17,673	31,760	97.3%	883	2.
	7	莱	蝋	88,922	91,397.98	2,476	102.8%	41,758	46,723	88,481	98,8%	2,917	3.
	**	奈 川	集	132,785	129,257.68	△ 3,527	97.3%	54,896	75,398	130,094	100.8%	Δ 836	-0.
10	新	温	ji.	35,302	37,929.37	2,627	107.4%	15,709	18,660	34,389	90.6%	3,560	9.
	19	<b>8</b>	県	. 55,443	55,158,24	△ 285	99.5%	22,455	29,905	52,360	\$4.9%		
	京		1.	42,661	48,656,37	3,995	109.4%	,				2,798	5.
٠.	亲		県	21,558	21,643.28	85	100.4%	21,528	22,677	44,205	94.7%	2,451	5.
	ш	П		23,664	24,051.53	388	101.6%	9,973	10,293	20,266	93.6%	1,377	6.
	爱			23,278	25,583,59		٠.	14.4	11,380	22,857	95.0%	1,195	5.
	沖			23,530		2,306	109.9%	10,809	11,255	22,064	86.2%	3,520	13,
	宫林	1			23,735.71	208	100.9%	11,413	10,668	22,081	93.0%	1,655	7.
ζ,	(岩			71,699	72,828,75	1,130		31,740	38,979	70,719	97.1%	2,110	2.9
	埼玉			126,320	131,901.88	5,582	104.4%	54,193	71,104	125,297	95.0%	6,605	5.0
	東京石川	·		247,918	253,752.35	5,834	102.4%	119,610	125,912	245,522	96.8%	8,230	3.2
_4	(室) 受知		#)_	47,571	49,415.92	1,845	103.9%	21,217	26,355	47,572	96.3%	1,844	3.
_ 5	(岐)		<b>(1</b> )	162,561	173,609.84	11,049	106.8%	70,903	93,642	164,545	94.8%	9,065	5.2
6	兵庫	(進	<b>T</b> )	103,455	100,829.97	△ 2,625	97.5%	45,118	48,983	94,101	93.3%	6,729	6,7
7	大阪	(10	改山)	170,006	179,279.73	9,274	105.5%	84,739	84,442	169,181	94.4%	10,099	5.6
8	開山	(8)	( <u>x</u> )	42,221	44,055,44	1,834	104.3%	20,964	20,290	41,254	93.6%	2,801	6.4
9	広島		復)	59,601	62,827.81	3,227	105.4%	27,726	31,602	59,328	94.4%	3,500	5.6
10	香川 (使)		( <b>\$</b> Q)	42,856	44,850.27	2,194	105.1%	22,847	22,699	45,546	101.6%	△ 696	-1.6
1.1	(佐賀	. 長崎		212,735	221,404.95	8,670	104.1%	94,160	111,567	205,747	92.9%	15,658	7.1
		ń	2.2	2,008 749	2,077,097	70,348	103.5%	927,959	1,048,776	1,976,735	95.2%	100,362	4.8

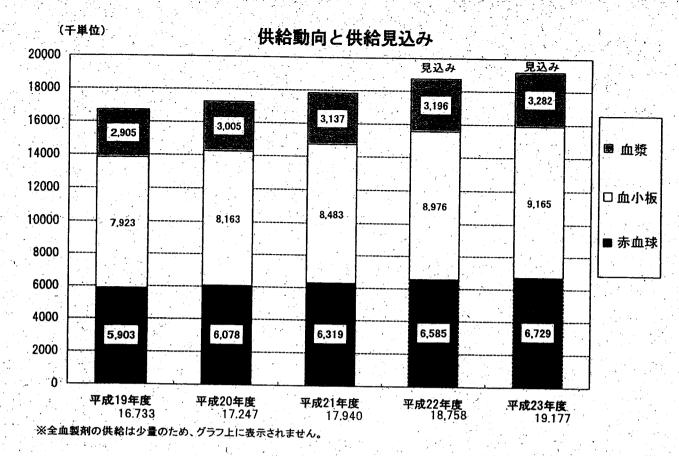
## 平成21年度各都道府県別献血者数一覧

									1.6	単位:人			
Ha.	都道府県名			献血者数	1				<b>#</b>	代別献血書			
		血小板散血	血漿製血	400m上献血	200m上散曲	±H±	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	80-69	合計
_1	北海道	40,748	15,473	194,655	36,276	287,152	16,845	52,227	67,518	67,889	57,275	25,598	272,872
2	景 森 集	9,432	6,583	32,890	7,868	56,773	3,983	10,828	14,750	14,370	9,813	3,029	58,983
3	岩手県	8,896	8,411	29,636	10,522	57,465	5,491	11,482	13,914	12,887	10,572	3,139	53,746
4	<b>医 城 県</b>	14,720	17,837	48,563	10,838	92,058	7,428	24,074	23,539	21,108	12,301	3,508	90,430
5	秋 田 県	8,834	5,656	27,909	8,722	51,321	4,554	11,389	13,829	11,922	7,713	1,914	46,881
6	山形県	4,948	4,982	24,933	8,643	43,506	4,430	9,010	10,829	10,279	7,223	1,735	38,947
_2	福島県	13,169	11,158	53,539	13.988	91,854	4,773	16,698	24,271	23,390	17,748	4,974	89,356
-8	茨 城 県	13,403	14.651	54,507	16,415	98,976	6,998	17,688	25,243	24,684	17,615	6,848	98,92
. 9	栃木県	12,045	16,331	40,840	15,131	84,147	10,495	16,729	22,678	18;534	11,976	3,735	80,49
10	群馬県	13,518	13,821	46,950	12,237	86,326	6,734	16,325	24,504	22,102	12,582	4,079	83,841
11	埼玉県	34,828	47,375	131,971	46,760	260,934	23,187	51,882	68,039	61,537	38,574	17,705	247,63
12	手 莱 県	31,315	45,595	127,374	40,478	244,762	17,225	50,181	66,035	59,336	36,389	15,596	230,01
13	東京都	110,406	95,997	345,228	67,674	619,303	40,047	177,878	168,613	135,803	71,703	27,259	575,30
14	神奈川県	41,913	80,952	189,622	4,377	316,864	12,623	65,639	87,473	85,089	47,240	18,800	305.18
15	折涡県	15,177	16,471	54,077	10,728	96,453	6,982	22,054	24,705	22,357	15,914	4,441	95,06
16	富山県	6,752	5,183	23,990	3,832	39,757	2,393	8,029	11,857	9,565	6,096	2,017	41,41
17	石川県	10,473	7,961	. 28,647	5,103	52,184	2,421	11,260	14,597	12,774	8,142	2,990	51,06
18	福井 県	5,725	3,395	22,372	2,308	33,800	1,252	6,154	8,591	8,794	6,728	2.281	33,48
19	山 梨 県	0	11,157	19,368	4,317	34,842	3,480	6,861	8,643	8,763	5,253	1,842	35,00
20	長 野 県	10,502	15,631	44,686	11,192	82,011	3,613	14,955	23,328	21,989	13,449	4,677	79,22
21	妓 阜 県	11,615	16,419	39,350	8,757	78,141	3,367	12,702	19,140	20,005	14,320	6,607	73,65
22	神 岡 県	22,470	22,695	85,716	B,704	139,585	6,024	26,310	38,422	37,437	23,548	7,844	140,47
23	爱 知 県	46,240	69,555	169,504	27,881	313,180	17,695	75,957	86,601	74,699	42,952	15,276	289,75
24	三 重 県	9,369	11,554	36,530	92	57,545	1,471	9,781	18,884	17,035	9,571	2,803	58,73
25	柱 質 県	7,666	7,238	27,770	3,198	45,872	1,606	8,614	12,435	11,484	8,216	3,517	45,02
28	京 都 府	17,799	19,079	78,494	1,189	114,561	5,025	28,071	27,276	26,002	18,779	9,408	107,41
27	大阪府	61,842	82,025	259,817	18,991	402,675	13,247	78,796	107,490	104,804	65,985	34,363	386,17
28	兵 庫 県	30,812	30,637	133,961	12,950	208,360	8,441	40,627	54,953	52,270	36,291	15,778	199,15
29	<b>亲 良 県</b>	8,346	8,306	34,503	3,561	54,718	2,608	11,107	13,654	13,749	10,003	3,595	51,58
30	印数山県	6,107	4,406	30,201	3,172	43,886	1,710	6,879	11,278	11,870	8,461	3,688	42,20
31/	取集	5,239	1,613	16,421	1,891	25,264	768	- 5,407	7,222	6,593	4,286	988	24,131
32	8. 根果	6,189	2,876	17,525	346	26,936	763	5,022	7,621	7,278	4,928	1,324	24,87
33	山県	14;427	11,482	54,246	6,429	88,584	3,376	17,538	22,549	21,099	15,386	6,556	83,337
34 [	5 島 県	29,925	19,322	77,562	4,008	130,817	5,201	27,009	36,352	32,966	21,187	8,102	123,070
35 L		8,202	6,436	42,997	3,426	61,061	1,904	10,037	16,349	15,750	12,390	4,631	61,093
16	5 B R	5,886	3,984	22,471	. 293	32,636	834	6,347	8,898	8,067	8,523	1,969	30,82
17 1	1月 및	5,941	4,898	29,344	636	40,819	1,704	7,911	11,291	10,090	7,261	2,582	41,254
18	果果	11,011	8,597	42,596	399	62,603	2,155	12,960	18,854	15,542	11,088	4,006	58,880
19 7	5 知 県	6,720	4,454	22,389	5,575	39,138	2,255	8,126	10.402	9,015	8.835	2,505	35,371
10 7	网条	27,416	28,878	140,844	263	197,401	9,171	43,398	50,466	44,934	33,386	16,048	192,339
11 6	<b>X</b> %	5,142	6,969	22,773	179	35,063	1,396	6,782	9,395	8,753	6,597	2,140	38,059
2		10,644	7,875	43,539	3,653	65,511	3,669	13,047	16,412	16,249	12,343	3,791	60,645
3 8	本県	12,689	10,177	60,846	1,061	84,773	3,534	17,420	21,470	20,691	16,445	5,213	80,813
14 7		6,427	7,338	33,228	1,574	48,567	2,134	8,908	13,756	12,263	8,550		
15 2		6,380	7,553	31,652	814	46,399	1,605	8,657	12,508	11,898	8,856	2,956	48,017
_	児島県	9,119	11,273	50,079	2.967	73,438	3,591	15,582	18,742	17,666		2,875	45,016
17 >		6,670	11,665	39,741	1,336	59,412	3,678	14,595	18,477	13,521	13,637 7,739	4,220	70,380
-	He S	807,099	Action and the second	3,183,754	480,884		293.696	1720,931	10 12 141 /4 20 1	1,294,882	7 10-2	1,402	58,692 5,303,481

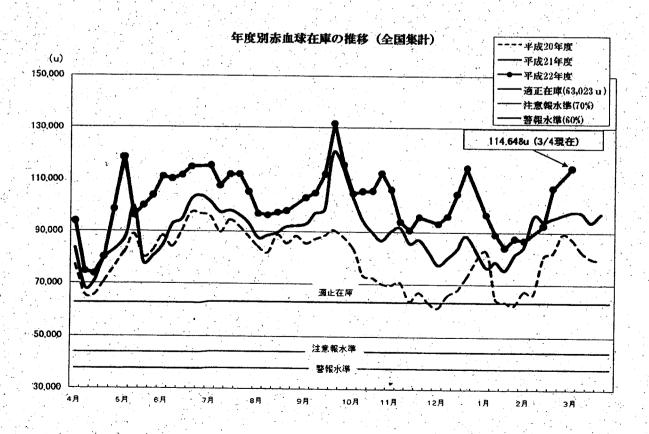
10

(別紙2-2)

175	OF SHEET				-	全国の	赤血球	の在庫	状況(平	乙成22年	度)				1 1		(万) 和人之一之	•
		2 2 2 0 1 2 4	2	RCCLR+	照射RCCL	R(換算	数)		Τ	上段:RC					L 674	. naát n	<u> </u>	<u> </u>
	. 7	プロック名	上段:適正在				足数・対過不	足率	1:	中段:RC			•			R-RCCLR1		
			-					1. 7	1		CLRZ CLR (換算	r <b>3</b> 6-)				R-RCCLR2		
-		適正在庫数	A	0	В	AB	計	過不足率	Α	0	B	AB	計	<b>-</b>		HRCCLR (换		T
	.467	海道プロック	1,570						29				71	A 233	O 150	B	AB	計
	1.	4 500	2,520	California in the California California	1412	960	6.742	1509	173		70	-	413	956	1		1	1
		4, 500	950		,	410		2	, iv		1.5			930	Market Post Andrews	342	227 C Stranging	
$\vdash$	宮	城プロック	161%						E-2001207-0612	ANICOMORPHICO.	-249775		AS A SAME THE	NAME OF TAXABLE PARTY.	NEW TOLS	3741841	22.005	
		<b>3</b>	2.544		.,	494			2	0	3	· · 1	6	314	312	320	143	1,08
1	٠:	4, 840	836	CONTRACTOR OF STREET		946	AND ROUGHLAND	4	The same of the sa	horizon i	16		64	1,088				
Ŀ		-, 0 20	149%		1, 351 228%	452 191%		<u> </u>			j.	-	Same.	7 2 PB	14 14 TOV	2.47	-	
Г	東	京プロック	7, 270			2, 105		1	057			1:0				Vocation of		AND SHAPES
		12 12 12	3703	F1.863	8:531	4.218			257 2, 067	205 1,773	182	101	745	860	698	1		_, _, _,
1		19,725	6, 433	.,	4, 241	2, 113	18, 590	4	2,007		1, 263	544	5, 647	4, 226	3,707			
-	型	知ブロック	188%		199%	200%	**		STREET, SQUARE	NAME OF STREET						<b>100</b>	STATE OF	2/6/27/0
١.	<b>2</b> C	カレノロック	3, 605	1	1, 982	966	9, 348		29	19	21	15	84	348	284	283	140	
		9, 348	Caracter William	4761	200494	1,655	16737	179%	538	410	251	133	1, 332	2, 357	1,819		617	-,
	: ~	. ə, ə <del>4</del> 0	2, 562 171%	1, 966 170%		689	7, 389				1.4		- 20 M	4,0052				
F	大	阪プロック	4, 225	3, 310	210% 2, 265	171%	**					THE STATE OF THE S	CONTRACTOR AND ADDRESS.		AND AND SECTION	W. 2007 W. 2007	200	
	٠, ١		10.13	3,310	2, 265 4, 114	1, 240 2 3 3 6	I1, 040		27	23	15	11	76	244	194	109	95	64:
		11,040	4, 118	2, 461	1, 849	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20,564	186%	020	196	109	80	714	3, 707	2, 581	1, 886		-
			197%	174%	1, 849	1, 096 188%	9, 524 * *		1 × 1		40.43			- Q		Seat and	Santa:	
	岡	山ブロック	2, 474	1, 810	1, 260	706	6, 250											- The second second
	1		05.70	2.895	\$ 72258	1228	340959	175%	105	5 63	73	3	14	134	100	100	55	38
		6, 250	2, 104	1, 085	998	522	4, 709		103	Section 1	(3)	44	285	2, 115	1, 332	1, 005	541	4, 99.
-	· 福	間プロック	185%	160%	179%	174%	**						是一樣的			i Sacho	104.80	( D. W
	165	MI / L Y /	2,900	2, 196	1, 454	770	7, 320		7	8	14	8	37	119	89	81	38	20.
ŀ		7, 320	31237.000	20,030	ACCESSES.	<b>368</b>	200 July 1	175%	136	113	89	35	373	2, 344	1.505	1, 210	784	32° 5, 84:
ŀ		1,020	2, 186 175%	1, 137 15 <b>2%</b>	1, 239	914	5, 476		27.01		- V		7	Carl York				3, 64.
	1	合 計	23, 752	19, 121	185% 13, 319	219%	**								World Control	A	-	THE CANADA
	٠, ١	-	#42941	23, 121	25.57	6, 831	63, 023		355	276	258	144	1,033	2, 252	1, 827	1, 605	885	6, 56!
		63, 023	19, 189	12.000	manner of the Contract of the		MP 648	182%	3, 374	2,667	1, 871	916	8, 828	16, 793	12, 836	9, 983	5, 083	44, 69!
	`	, <i>020</i>	19, 189	13, 988 173%	12, 252 192%	6, 196 191%	51, 625			45.87	a de territ	5.374	104(53)	ON NO	19 703	320 B.Z.	57491	
		<del></del>			1340	1219	**									AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN	الاستبساد	







#### ① 若年層献血者確保分類

平成23年度の数値目標	<b>平業名</b>	新技-線線			· .	<u> </u>	
0者 70名以上		表 医	対象者	<b>工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工</b>	88	体的な対策・事業内容	
NE VOERE	学生家血檢查協議 会会議	維統	道内各センター管内の学生ポランティア代			7.248	内室(詳細に記載すること) グリスマス新典名 - パー・カンド
力者数 2,000名以上	ティーンズドナー献				38	血液センター	グリスマス就皇キャンペーン及びサマー献皇・オンペーンの報告会や反省会と て、皇淑事皇の現状や皇波製剤の知識などを美ってもらう。内容はパワーポイン 映像素材を使用する。
力者 700名以上	カキャンペーン サマー放金キャン		小学生から20代の若年度	71月から12月	188	全道各款金施設	乏期道との共興等差で、若年度に高端数率を誇るラジオ番類とライアップをして 組内からのバーソナリティがリスナーへ献血に対する呼びかけなどを行う。また 高数へ収入ター提示を仲間する。
74 700-BUE	ペーン	- 程級	かれを中心とした苦者	7月	A-11-1-	アリオル根-MORLE中島・付うM	\$079277#44
7者 700名以上	クリスマス献血キャ	***	<b></b>	ļ	全道計5回	個所が大 シャー   開業温	る蔵画機道を表も言う
<del></del>	ンペーン	,	20代を中心とした若者	(2月	全進計5曲	アリオ札幌・MORLE中島・什っ畑 川西SC・イン製器電和SC・長崎	\$50 mm
7者數 70名以上	無小板成分配血性 達研修会	維統	皇小被成分歃血協力団体	· · · · · ·	-	是MEGAL > 4-7年前在	1
者 200名以上	聚血核道源注意			2月.6月.11月	3售	血液センター・放血ルーム	日頃から血小を成分配点に関係でご協力いただいている大学生を対象に、更な 禁血の理解を振めてもらうため、1時間確皮の駅血性単級演を行う。内容はパワ ボイントと映像景何を使用する。
		超级	高校生、看接学生	4角、6月、10月	36	山の平高校、武術館高校、北海	学校是于他的教育的思想的社会,
者 200名	札幌台両大学祭	複株	礼福市社				学校長を始め他員の地震のもと、1時間性液の減血接過過激を行う。内容はパポイントと映像銀付を使用する。
数 30点	献金権選ポスター			10#	1億・	大連公開	礼便市内近郊の大学10枚以上が会同で実施する大学祭に献血推進ポランティの展示ブースを出版し、パンフレットやチラン、ゲームなどをして市民にアピール
<u> </u>		難棟	デザイン系の専門学校生等	6月~9月	169	and the second s	<del></del>
者 240名	グループ放出	框架	大学生	4月~5月、10月~11月			禁醐技術を有する礼徒逐知の学校へ厳粛広報用ポスターの作成に参加してもに
献血者の年齢層に応じた献血	-		<del></del>	sa, (0) ~[[]	60 <del>(</del> 1)	移動採血車	大学での存為技会率による協力時、グループ(3人以上)で協力があった場合。 1 地温品を用意する。

平成23年度の数値目標	*#6	新規 報経				<u>. 1</u>	
参加者 300名 以上	施教見学の受入		対象者 小・中・高・短大・大学生	天皇寺房	NA.	体的在列策·事業內容 予定場所	<b>戸室(基礎)を発すること)</b>
参加者 1,500名以上	サタテー・ナーリン		2+X.X2	. 連年	3089,	血液センター	直域センターを見早してもらい、血液等素の液状を散明することで、影血の必要性を 環境してもらう。広報用器子とオリンテルクリアホルダを配付。
	7	機械	小学生(高学年)	4月~9月まで	26@3	泉液センター	礼帳市主催のスタンプラリー・サラサルリー・
50歳以上の献血者を5%増加させる	60能代數血差差		<b>60歳</b> 以上	7月~(1月まで	588	多數卓異数	
4力者 100名	55以上の男性に会 小板成分献会の推 油		55以上の男性成分献血者				60歳~64歳の献血者で80歳以前に献血をしていない方を対象として、家血要請はがきの退付やデランの配付・個質等を実施する。
2 4	<u> </u>			4月、5月	18	血液センター	平成23年度から55歳以上(男性)の家血者も血小板成分級血の協力が可能になることについて、チランやハガキにより開始するとともに、血小板成分級血を依頼する。
) 企業等における献血の推進対策	ŧ.	•		•	,		

	- 12.427	~;						
平成23年度の敷殖日4	4	事業名	<b>斯爾·維維</b>			-		
1021	: :- '	新規製血事業所の		<b>月東省</b>	東集時期	1 10	学校研覧:事業内を 予算条件	
		聯拓·確保		新規献金革業所やその家金会場周辺会業	選年	(SEE)	64254	○ 食業網のネポワークやライオンスクラブなどを通して、新規飲血等意味を紹介してもらう。また、会社の施設などの指導を終してある。
10社	100	特観型事業所の確	細線	規模地小・移動技術車の駐車場所がない企		+		もらう。また、会社の施設などの情報収集に努める。
117#		単血サポーター裏	<del></del>		44	1588	各事業所等	景象時に家庭の協力を得られるよう、定期的に広報番子を配付するなどをして献 の推議を行う。
		*	無保	献血への理解があり、複数額の献血実施の 実績がある企業	温年	60ER		
24社以上	1. 1	研修会実施				40,5	<b>泰事業所等</b>	歌血協力企業に対して、より耐血への意識を高めてもらうために、移動作血車でで 実施の際に「献血サポーター」まPRする。
<b>参加40団体</b>			推模	事業所· <b>西</b> 体等	選年	1000	<b>各事業所等</b>	SHEET WAS THE TANK THE TOTAL THE TANK T
A WILLIAM CONTRACTOR OF THE CO		ライオンズクラブ音 修会	機械	ライオンズクラブ会員	78~IIA			素材を使用する。
12団体	1	成分献血協力団 体・企業の審集	MAR	T==	/A~IIA	18	木子ル製造金場	パワーポイントと映像素材を使用して、家血推進の誘演を行う。
		77. 元素の音楽	— <del></del>	平息府·西体等	選年	1200	<b>各平北所等</b>	ブイオンズクラブやローセリークラブセリュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
						1	<del></del>	や登録者名類の作成体領を行う。
1. T.						- " "		

#### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の製菓品版	·	·					
	¥#6	新規・維練	対象等	T		体的な対策・事業両者	
总力者数 3,000名以上	血小板成分散血者 への再来の要請	**	前屋採血から期間が開いている献血者		68	78	内容(抑制:尼葉すること)
李度新規会員 4,000名以上	複数回転金クラブ の運営	框板	被数回放血者(メール会員)	+	-	ハガネ・剣者・電話英語	前面控金から減隔が開いている款金者に対して、被表際の協力を要請する。
3方者 5,000名以上	献血の案内を発送		<u> </u>	34	一 日時 、	級ユニットを有効理解し、教授的 に新規会員を募集する。	テラシや非接触型携帯サイト接種ユニットを有効活用し、 製価的に新規会員を基 する。
	<b>単型の条件を発送</b>		前回または前々届に協力があった献皇者・	24	FERN	要請ハガキの発送	前側または前々機に協力があった駅卓者に対して、家血支施日・場所等を記載し ハガキを1週間観察に発送する。
加斯員 250名	献血フォーラム	推設	日来表彰受賞団体、被教団家由者、家在 メールクラブ会員、各ポランティア団体	ня	18	ホテルまたは礼装布管轄の会場	98989784 <b>220</b> 224
敷娜の血小板成分散血能力者(端陽内3ヵ 間で3億以上)の割合を25%以上とする。	血小板成分散血液 連キャンペーン	機能	典小征成分献曲協力者			時の展演などを行う。	演などを行う。
阿協力数 至べ8,000名	「また来て放血」	1		年期間3☆月間	18	ポイントカード、テラシ、ポス ター、新聞広告	ポイントカードを作成し、周囲内に2個もしくは3個以上の協力者に対して、接触が配本品の程度を支えて返走する。また、プロスポーツ団体とのタイアップを検討する。
	カード配布		全血ルームにて独自の複数曲数点者確保 を目的に展開	20年	福時	ポイントカード、テラシ、ポス	全意製造の国家施設において ガクトル じゅうか
年早の後における新規献政者の再来事を3 3とする。	新規献血者に対す る再来率の由上	***	前回または前々間に協力があった単血者	24	NA.		
その他		<del></del>	•			要請ハガキ、電子メール送信	前側すたは前々間に協力があった原血者に対して、飲血実施日・場所等を記載し ハガキモ・道路短前に発送する。
			<u> </u>				
平成23年度の数量目標	<b>平果名</b>	新規・複雑・				MANUEL READ	_

平成23年度の数量目標	<b>事業名</b>	新規-複線	対象者				体的な対策・事業内容	
	個歌使进事業	報報	複數學家直書			-	方達	M#(##:P#18C2)
	クラブ情報誌の作 成と配付	MM.	松敦國家產者		11 #		*********	者の程度を促進する。
	広告模能	機模	議会	$\dashv$		<del></del>	****	RTS.
1.1	<del></del>	<u> </u>	<u> </u>		3年	155	等へ献血接通用の広告を掲載する。	学内新聞及び大学祭パンフレット等へ献血推進用の広告を掲載する。

### ① 若年謄献血者確保対策

						具体的な対策·事業内容	
平成23年度の亜値目標	丁 事業名	新規·維統	対象者	天並特別	国数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
100人以上の参加	セミナー関係	単枝	県内の大学生	5-6-7-10-11-1月	6@	劳森県庁他	平和22年12月京東市で背景県平生館画施金道場会の参加校は5次半となっている。平成22年広社大学場やして、大学に2名画像会とする。東西連携会を開催し、最高の開始会やキャンペーン等の企動を立案して、最高を展展につなける。そとナーには背景線タタ銀路とタイプップして作成した。最高中期や各版点ルームを組まれているののを活用する。
1,500枚以上の記布で 応諾率5% 76人以上を確保する	若年居飲血者確保対策	維持	新成人	ıя	38	各市町村成人式金場	平成22年度に記念した認会デランは、各版会ルームの紹介テランで、記名した市所 に取金ルームが設置されていなっかたこともあり、インパントがなった、平成23年 度は、成金テランを選択し、パムパンちゃん」や背景橋の放金を選手やラウラー「ブ ラット書は検索した配金テランを記者する。1,500枚以上記者し、応替率5以上とは3 布容例を175人以上に様する。
1,500人以上の協力	若年度献血者证保対策	#4	各大学·短期大学	4~3月	至べ40回	各大学·短期大学	青森集学生政由施選連絡会の学生ポランティアが中心となり、学校産血学学園条 献血(4度)において呼びかけを行う。学園像パンフレットに広告(6大学・有別を残骸 して発像にあたる。
10-20代の敵血率を28%にする	若年層獻血者確保対策	新規	10-20ft	9~11 <b>/</b> 3	128	各献皇金唱	上記京東上野化、16-20歳の原金電子(平度21年間1人)1人、平度22年度12月1、54人)の中から龍血線域方金官10,000人に第3年後後、、5(8巻子管40上方に定念を包上げ、10-20代の龍島車を2枚がにする。(平度22年12月末現在25の) 平成23年度本計画の原金事業344の人で、10-20代253段度すると、14-250人となる。平度22年度より1,540人場やす。

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

							具体的な対策·事業内容	
- 1	平成23年度の牧籠目標	事業名	新規·模様	対象者	実施時期	B 数 · /	<b>子定场</b> 務	内容(詳細に記載すること)
- (	70人以上の参加	献血領子セミナー	- 雑模	小学校4~6年と保証者	7月下旬	3⊞. ્		スライド等を使用しての勉強金。故血バス等の乗車体験。
	50歳以上の献血者を55場加させる	年齡層數曲者確保対策	模块	50~-69准	12~3月	.18	<b>名献由会场</b>	50~60歳の歌曲者(平成21年度12,842人・平成22年12月10,146人)の中から歌曲性 振対ま者7,500人に対容体領し、引換券を持参した方に記念品を受し上げる。平成 22年度の50歳以上の歌曲者曲から55アップさせる。

### ③ 企業等における献血の推進対策

	<u> </u>		<del></del>				具体的な対策·事集内容	
- 1	平成23年度の数値目標	事業名	新規·維理	対象者	京者 実施時期 回復		予度場所	内容(詳細に記集すること)
	- 20社以上の開拓	献血協力団体増加対策	素級	<b>就由未实施事業所</b>	4~3月	RH	各事業所	平成21年底は年間502実事業所(市役所・街頭鉱血含化)で鉄血実施したが、土 日 役日は耐雨鉱血が中心で、天後等に左右され、安定的な確保が見込めないので、 各市町銀当者から未実施率集所(40市町村、10零集所化ビップアップしてもらい、可 板であれば土・日・役日に圧取できる新城平黒所を開始する。
	至べ360以上の訪問	家血協力者增加対策	単様 .	献血实施事業所	4~3月	REPR	各事業所	放血変態予食の事業所等に各市管村部長者と一緒に防御、事業所等の献血人 数の旅移やキャンペーシ等のお知らせ、血液の在面状度等を誘導して、資保につな げる。 従業員の人衆等を把握して、実施制限帯の参考にする。

### 値数回献血協力者の確保対策

	T					具体的な対策·事業内容	
平成23年度の強節目標	事業名	新規·維殊	対象者	実施時期	. 回收	方法	内容(詳細に記載すること)
<b>技数限クラブ会員を20%増加させる</b>	被被磁配血協力者確保対策	新規	全家魚者	4~3月	120	サイトスタンパーの発用 計事による募集	各金埠にサイトスクンバーを設置(7合明入予定。 ルて、協設開献血クラブ会員を募 気する。 平成21年度末入会省460人を目標としている。 平成23年度は入会省4800人を目標としている。
2,600人以上の応諾人数	複數回獻血協力者確保対策	報技	複数部製血クラブ会員	4~3A	程件	4~11.1111人製由佐部	議論、被職部部成分ラブを長の歌曲寄集者に依頼メールを連復する。 月1回倉蔵版回歌曲クラブを貫へ着センターのイベント等の情報を通信する。(上紀 と例せて単純2500通送信。広間等時以上を提得とする。)
/ 4,200人以上の応諾人教	複數函數血協力者確保対策	機技	献血依疑対象者	4~3月	戏件	はがきによる献血依頼。	献曲・にか返告する各市町村の歌曲旅籍対象者へ はがきで体報する。(年間 84,000通告波。応諾平55以上を自得とする。)

#### ⑤ その他

ъĖ	平成23年度の登録器機						具体的な対策・事業内容			
- 1	平原23年度の気能器係	<b>事業名</b>	新規-雑級	対象者	<b>实施時期</b>	自敷	方法	内容(詳細に記載すること)		
. [								平成22年度に青竜美少女器艦とタイアップして、献皇手順や各献皇ルームを紹介し		
- İ	無知用DVD300枚の作成	献血ルーム周知対策	視鏡	青森県民	8,9	100	各ルーム簡知用DVDの配	た内容のDVDを作成したので、平成23年度も300枚作成して発見に無料配布し、各 放金ルームの否在地の製物を図る。上記(T)に記憶した10-20代の数点者20%をで上		
			1					げるための、一環でもある。		

### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の数値目標	*#6	- 新城-旅游			<u> </u>	具体的な対策・事業内容	
協力者数2. 900人以上	高校生への普及巻 発率第	***	対象者 高校生 (主に高校3年生)	表面外理 通年	70	集内各国等学校内での 献金実施及び献金ルーム	方部(京都)工程すること) 第4等への参加を発するの一位して、最内すべての高等学校(当4枚、生活変化 の、097人に基礎等・市町村・センター組織が削し、等事業可及が協力を領域で は、最近くなる70位として記事する。また、他の主義をはまるルールのが成功 資料に基金ルールのポスター機等を接受して、当成生の設金セラールを成功等 別を開催した企業の自己を参加を
協力者最4、600人以上	大学・領大・専門学 校での献血実施者 及管発事業	44	大学·短大·等門学生	通年	45		
若年是故重者(10代~20代)34, 1%以上	献象セミナー	維接	大学·領大·専門·高校金	①歌曲トークをコン サート 3月 ②歌曲セミナー 5月 ③年に高校生大会 献曲セミナー 7月	3	イベントホール	版画トークルコンサート等を開催し苦年間に広く総会を提の向上を図る。また、放成 セミナーを選じ平全ポランティアの可能に努め、JRC高校生大会等においてもセミ ナーを行い、著年版 (16)代~20代) そ5年前のHIS早級34.1%(H2) 年度25.5%) の3 検索で引き上げる。

#### ② 献血者の年齢際に応じた献血推進対策

平成23年度の数値目標	. 革業名	新規 推練	Man			具体的な対策・事業内容	
参加者350人以上	観と子の血液セン ター見学会	推拔		表施時期 地域小学校の宣体み期 間	12	│ 単版センター	内容(健権に記載すること) 小学生の国体ル期間(7月下旬~8月上旬)に併せ、親とその血液センター見学会 を実施する。1億あた940名、基ベ12億社、スライドを用いた放血ウイズ並び施設 内・救血・ス等の見学、090の損職等産品の言葉を発を行う。
参加者350人以上	血小板成分散血強 化	新坡	年令55億~69億男性	選年		Main	#金基準の改正に作い、金銀成分款金協力者で新たに血小板成分数金が可能に なった男性(約1,300名)を対象に依頼ハガキを送付する。

### ③ 企業等における献血の推進対策

I	平成23年度の敬範負標	##6	新規 模模	月本者	支施時期	 具体的な対策・事業内容	
		新規製血協力企 集-個件確保	***	企業·原体	選挙	 現代金属・団体	内容(辞職に記載すること) 政由未完施を京・個体等に、市町村担当者・血気センター報員が訪問し、享集説明 及び協力依頼を行う。また設益金場両辺を指等へも根極的に訪問し、ポスター・テラ
		年2回以上の協力 使機	報報	全集-団体	通年	集内企業·商体	ン等を配布し収金への参加を呼びかける。 年1個実施の放金協力企業・団体へ、中町村担当者・血液センター環長で訪問し、 協力企業の享集状況・安化規等を被収し、年2個(特に2個目は血液が不足する時 間)の放金協力を必要する。

#### 値数回献血協力者の確保対策

平成23年度の散鏡目標	事業名			<del></del>	<del></del>	具体的位対策·事業內容	<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>
		新授·維統	対象者	突旋時期	93	方施	内容(詳細に記載すること)
応務者(実協力者費)+00人以上	メールによる放血要 競	## 技	被数据献金クラブ会員	不足時		不足している壁の敵血可 能な会員を抽出	策準依頼ノールを送信
応諾者(安協力者敦)8,000人以上	ハガキによる家園 要請	報練	同一会場における前面、 前々個の家庭者	基金の1週間前		家血可能な鉄血者を輸出	ハガキで献命金塔を案内し献血佐植
応諾者(実協力者数)1,500人以上	対容による飲血基 語	模棱	複数回数点クラブ会員を 株く登録者	7月、12月	289	原用可能な英雄者を構造	総由登録者(約3,900名)で献血可能な方を抽出し、計書で夏季・毛頭の放血者 保上や乾燥文を遂付する。最新情報(英国連款原規制機和・微血基準の改正等) ルーム海内翻及び敵血金組一質等も併せてお知らせをする。
英 9,000人	メールによる情報配信	##	複数固能表クラブ会員	<b>5239</b>	<b>•@</b>	441-107	お知らせ、イベント案内、早度メールなどを年に6根、至9000名に対して配信し、後継数金への協力者後継続につなげる。
複数函数血クラブ会員200人増	チランの配布	維統	教皇者	4A~3A		仮由ルーム、放血会場で 配布	物質テラシを作成(平成22年度は3,000枚)

### ⑤ その他

	平成23年度の微値目標	##4			<del></del>		ENAPSE TEAT			
	<u> </u>		新規·機械	対象者	突旋時景	- 商表	74		央京(発生に発音する	
٠,			1.					<del> </del>	<b>竹を(件業に配業する</b>	CE) -
		L	ئلىنا						1. At 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	
			•							

## ① 若年層獻血者確保対策

平成23年度の数値音標	事業名					具体的な対策·事業内	
TANTON	- TA10	新級・雑鉄	対象者	実施時期	自改	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容(詳細に記載するごと)
10代の献血率をも35、20代の献血率をも75 まで増加させる	新規數血者紹介強化	報税	大学、専門学校生	4月から6月	蓬ベ20圈	各大学、専門学校	当集では、10代開血者率4.45、20代放血率4.45(平成21年度実施)となっている。これは、放血性流に係る新たな中間目間(放血性流2014)を上陸っているが、更に上 表皮をもための対象して、系表放血管に関係していただき、最小電 および新規数血管に対してポイント制度のポーナスポイントモ付加等する。
i O代の家血率を6.5%。20代の家血率を6.7% まで増加させる	<b>お礼状进付</b> 。	難級	10代、20代の新規献血省	4月から3月			新規に献血協力した10代。20代の方にお礼状を送付し再来を使す
O代の歌曲率をも38、20代の献血率をも78 まで理論させる		雑枝	大学、専門学校生	4月から1月	・ 選べ 95個以上	4大学、専門学校	能血支援の高い(受付が50名以上)大学、専門学校への復数回記率が平成22年8 は第ペ31日ののところ平成22年度は35日以上の記率を依頼する
10代の放血率を6.3%、20代の放血率を8.7% まで増加させる	学生ポイントリアカード	新規	大学、専門学校生	4月から3月		各家権ルーム	個定施設での学生が高者者が減少してきているため、当本のポイントカードとは努 に学生のみのポイントレアカードを発行し学生のみの特異と設けて再来協力を促す
10代の放血率を6.5%、20代の放血率を6.7% まで増加させる	禁止セミナー	維統	高校、大学、専門学校生 事業所新規採用者	4月から1月	108以上	各金場	高校から大学に対しては、文書でセミナー実施の東内を進付し著学者に対する歌』 セミナーを実施する。
新規献血協力学校を1校以上開拓する		維接	大学、専門学校生	4月から3月	19J.E	大学、専門学校	新規に開始する大学、専門学校や、まだ単血を実施していない学校(含計5枚ほど) に対して収金扱入れの依頼をする

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

- 1	平成23年度の数値目標	¥#6			<del></del>		具体的な対策・事業内容	
- 1	<b>マルルマルの放置を持</b>	<b>***</b>	新娘-幾模	対象者	<b>求疑時期</b>	图数	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
	参加者300名以上	放血キッズスクール	##	県内小学生 およびその保護者	8,5	79	血液センター	県内の小学生対象にキッズスクールを閉催し保証者同样の元、血液センター見学 等、数子で放血について学んでもらい将来の放血者被係ならびに保証者の方への 原血を研える。
	60歳以上の家血者を394増加させる		斯接	60株以上の依頼対象者	4月から3月			60歳以上の佐篠対象者や、牧敦極歌曲クラブ会員に対して献血技術を学問道じて 行い協力者を33増加(約110名)させる。

#### ③ 企業等における献血の推進対策

ſ	平成23年度の養殖哲理	事業名 <sup>*</sup>	· .				具体的な対策・事業内容	
-1	TANTEONES	720	新規·維殊	対象者	実施時期	四東	予定場所	内容(詳確に記載すること)
	新規禁止団体50団体確保	新規団体強化	維税	献血協力団体	4月から3月		官城東内歐血器体	継続的に協力できる新規制血団体の従業を行う
	.15团体被保	ルーム協力団体確保	報報	献皇協力団体	4月から3月		製曲ルーム	家血ルームにて定席的に協力いただける団体を確保する

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

	平成23年度の数値自復	336					具体的な対策·享集内容	
<u> </u>	十年43年後の数数回旋	420	新维·维接	対象者	实施時期	98	方法	内容(詳細に記載すること)
	【教昭献血クラブ会員1,000人場	放弃国家业者论是	推板	使模対象者	4月から3月		対害による複数的会員金 球体報	依頼対象者に対して、依数額款点クラブ会員登録依頼を対容にて行う
ŧ	(数母家島クラブ会員1,000人地	视数函数血管破保	報報	果内献血協力者	4月から3月		家由会場での複数回献命 クラブ会員登録後代	放血炎場に被激回放血クラブ全員を蒸誘導放置(サイトスタンパー)を設置し登録 手順を開業化し業績しやすい環境を作る
15	放原家血協力者17,500人確保	複數函數血者發係	被殺	複数回飲血クラブ会員 使預対象献血者	4月から3月		トンサードな	平成21年度17,031人の復敗勘診血協力者を17,500人にするため、放驳開放血クラブ会員にはメールで、その他の收職対象者については、ハガキや地談での収息依 現を指索的に行う。

### ⑤ その勉

1	平成23年底の最終目標	平京名	L				具体的な対策・事業内容	
٠,			新規·義務	対象者	美施時期	<b>B</b> 数	方法	内容(詳細に記載すること)
- 1	休日の配車を32%から33%にする(年間約10台			L			WHITE PER MOR	一権効あたりの協力者が多い休日の衝撃撤棄会場に配車するにあたり、市町村権
- 1	收)		維模	泉内飲血者	4月から3月		書を開かせ	監書、大型ショッピングセンター担当者に理解を求め、休日しか献金できない金社員
·				<u> </u>		L		等の協力者確保を目指す。

### ① 若年層獻血者確保対策

	平成23年次の数値目標	<b>事業名</b>	新报·编辑	対象者		<u> </u>	具体的な研集·事	
٠.	20代の祭业者比率を25%にする (21年度22.2%23年度25%)	家庭セミナー	新規	大学生及び社会人	实施特別 6月~12月	3個	予定编版	内容(接触:記憶すること) 徹底に関するセミナーを開催し、蒙血への理解を混めてもらい、歌血協力をいただ したオナーは年級とし、秋田県の歌血の現状(年齢別家血音説の発帯)を訴える) と物語
· ·	② 献血者の年齢層に応じた献血推	進対策						上脚頭

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の数値登標					•,•		
16歳~19歳の家血者比率を9.3%まで上げ	事業名	新推·模模	784	支施時期	<b>国</b> 教	具体的な対策・事 ・ 予定場所	
る。 (21年度8.8%→23年度9.3%)	出前調度	維接	高校生	4月~3月	3	各学校	内容(詳細に記載すること) 高校へ計画に収血の必要性についての講話をし収血への環境を頂く。 400ml 禁血(行権)の安全性と必要性を理解して頂くよう出面試験等を行う。
ふれあい事業を2回実施する。	ふれあい事業	粗枝	小学生及び中学生	5月7月	269		当英家の為のイベントを開催し放血吸収体験や救血の必要性、八月の二重要等で 意味認識をする。
③ 企業等における献血の推進対策		in the first					

平成23年度の教徒目標	*#5	-	<u> </u>		表体的交列號·塞爾				
献血サポーター協資企業24社増加させる	献血線質団体増加	新規・組織		<b>共真時</b> 月	<b>予定电</b> 所		E CHEERTS.		一.
(31社→23年年度S5社)	対策	雑雑	企業と個体	4月~3月	5 F R F W	現在約1,000社ある企業に取る 頭くたの出資訊度等も実施す	協会事業について説に る。	外に電解を頂きく。これ	世際を
Ø 1000									

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

Water the same of	<del></del>			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C. 10 "	,	
平成23年度の改能自復	華楽名	新模·複模				具体的在附置:事	
新規金員500人の増加を目標とする。	複数関係を含めの		州章者	英族時期	暴敗	方法	内室(技術(-10年十五十七)
(現在587人一23年度1087人)	增加	雑枝	全ての献血者	4月~3月		食飲食金塩にて金貝	「「「「「「」」「「」」「「」」「「」「「」「「」「「」「」「」「」「」「」
54歳から64歳の幽小挺献血辻率を30%ま	で食小板製血の呼び	<del>                                     </del>					等簡専用端末を使用する事により2値の登録者が増えると先表があった。 現在月辺 名画家の応募者を月40名家で増加させる事が可能と考えられる。
引き上げる。約400名の地加 (21年度21.6%—23年度30%)	かけ	新規	54歳から84歳の放血者	4月~3月		メールヤハガキ coics	知識から94歳までの血液放血接致者1430名に対し年に4回血小板放血接道のハガ キを好。強化においる
		<u> </u>			'	att &	キを悠く、破倒に努める。 ・ 140名に対し年に4回血小板家直接進のハガ
⑤ その他	*						<u> </u>
		· .			٠,		
	<del></del>			**			

#### ⑤ その他

	•
具体的心外質·事業內容 完集時期 健康 方法	
· 内容(詳報(:	(様すること)
in an in the second sec	
加州中央主流12 新国区县与南南福州报报会汇载申录车通4	レ警免する
·月~4月 4個 情報核等を発行 新聞広告や地味情報核等に放弃等を掲載	しを見する

## 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

山影県 赤十字血液センター

平成四年度の数値目位	事業名	新規・授機	対象者	東海神湖		具体的存储量。事業所	
実施校を2校にする。	出典課金	<b>##</b>	至門坐坊,七令	6月(学祭等のイベント に骨せての開催)	2回	大学	内象(詳細に記載すること) ・厳島のお客 ・歌島ウイズ
実施校を2枚にする。	##	推模	医療関係専門学校	6Л-еД	26	看被事門学校等	- 少数人数でのHow to 就会 - スライドを使用しての説明 (執血の歴史 ~ 就血の歴史 ~ 放血の表状 ~ 病院 構力法)
3個体に対応実施する。	製物会	#E##	企業-推進団体	6月~2月	36	TO BERCHMING	選上型無明については、放血機温線及び学術複単にで各45分づつ実施 ・放血の必要性 ・スライドを使用しての数明(山部県の放血の要状)
2枚を予定する。	數明金	***	基準學校	元 無事	20	-	・家島の会質性 ・支勢については持参するが、説明については口頭にて実施

平成23年度の散集目標							
	李素名	新州·加黎	MRS	<b>RAPH</b>	一個數	人体的交易策·事業內理 予定權務	
15枚を実施する。	出病缺乏	相談	中学校(概3年生)	9月~3月	158		内室(原稿)に記載すること) ・スライドを使用しての説明(独血の歴史・故血の歴史・故血の現状・病論での使用方法)。
1枚を実施する。		A - 1	100				・DVO/ありがとうっていっぱいまわせて」
	禁病·誘演	##	中學校(全校)	1月(文化祭等に合わせ	182		- スライドを使用しての影明(輸出の歴史 - 家血の歴史 - 家血の現状 - 病験での使用方法) - OND ありがとうっていっぱい言わせて」
4校を対象に実施する。	英数元学		中学生		<u> </u>	<del></del>	•DVDfLoveinAction (
<u> </u>		***	高校生	10月以降(2学期)	. 58	宮城県非十字曲域センター	・スライドを使用しての説明 ・集製内見学(叙州・執査・供義・執資金度・高血/(ス)
A		•					THE RESERVED OF

### ③ 企業等における献血の推進対策

京会学が一十四体を22の知恵とせる	平成23年度の景観音器	¥#6.	FR 40				A GENERAL STATE		
新規數與因体を12份依賴的する。 開放 自然 中央 一	献金サポート団体を220加盟させる	家会協力部体増加 対策		対象者 事業所並以:維進機体	英国英国 4月~3月		子主集所	内容(詳細に記載すること)	
④ 複數回載血協力者の確保対策	新規献血団体を12団体制拓する。	献血管力医体增加 対策	mat	平泉原並びに推進団体	4 <b>月~</b> 3月			いいことにとまいれている場合の	
	<ul><li>④ 複数回献血協力者の確保対策</li></ul>	*				<u> </u>		打成と共に正常的国を行い要求関係	そ行う。

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成22年度の教施収提	李章名 新規・製	MAA		<b>具体的心材度·家里由来</b>	
	複数國家血會確保 対策 親被	年(他の事業所並びに 推進指体	克施哈湖 4月~3月	・「商品の保血実施の際、 ・・企業の企業を表現の際、	内容(御風に配載すること) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
年1日の家血者(現状45%)に対し複数回家血の 協力依根を行い、2%(約450名)増加させる。	被数据放业者证例 対策 維統	年1部の献血者	4月~3月	・電子メール及びハガキに・4	
		<del></del>	<del></del>	よる家主義力使報   佐:	質を行う。

#### ⑤ その他

	9	₹のŧ	9			· .				·, ·				14							1	 · .	<del></del>			`.	· · ·	٢
	_		平成23	年度の数	種目葉		半業名	F	BM-R	<b>4.</b> 1.		1余者	_	-		-, -,-		<b>A</b> ##	9な対策	事業內集	<u> </u>	 		<u> - 1 </u>				٠.
4	L	Taka <del>Zala</del>	<del>:</del>		-						7.7	3 <b>8 8</b>	1		A34_	+	- 一	-	方生			 	内事(	<b>共有仁尼</b> 意	すること)			Ξ.
							 1,4			×. 7			-						,			 ·				5 2 . *		1

### ① 若年屋献血者確保対策

平成23年度の数値 回復	事業名			<del></del>		具体的な対策・事業内容	
十月24年後97以後 副年	780	新規·維練	対象者	実施時期	- 国歌	于定場所	内容(詳細に記載すること)
参加者200名	音年層献皇セミナー	絶鏡	高校、大学、専門学校生	4月:7月、8月、12 月、1月	58		家血についてのセミナー及び施設見学を開催し、鉄血の意在や血液質用の正しい 知識の普及を見を行う。 質算しては、「愛のかたち放血」及び「家血と輸血用血液」スライド、ビデオ上映等 を実施予定。
<b>∳10≅100</b> €	献血出的深度	斯規	小。中、高校生	7月~11月	.5@		若年度へ就血の意能や血液制制についての変しい制度の参及を発を行う。 それぞれの年代に合わせたスライド資料を作成し普及警先に努める。 小学生であれば血液の無事なクイズをも行う予定。
1存保当た9赤血球80単位以上	大学献血への増革	模技	大学生	4月~12月	688		大学領内での販金パスの培革を行い献金の普及警告を行う。 平成22年4月~12月の要領は、1款輸送トリ727単位であるため、23年度は、実 施時期等も検討を加え、80単位以上を目標とした。
1稼働当たり赤血球80単位以上	学生ポランティアと 連携した献血実施 (サマー献血、クリ スマス献血)	雑妓	高校、大学、専門学校生	7月~8月、12月	58	街頭、大規模スーパー等	着年間の学生が製血を呼び掛けることにより商年代の製血を装角上を行う。 学生が全面等も行うため楽し、製血に参加できるとともにポランティア学生の表達等 も飲血していただけるため製血の物が広がる。
② 献血者の年齢療に応じた献血	使進対策	7.1					

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

1	平成23年度の被領 四様	***				具体的な対策・事業内容	
. 1	<b>マル23年後の東西 22 体</b>	7#0	新牌·維織	対象者	<b>家庭時期</b> 1	明像 予定場所	内容(詳細に記載すること)
-1		l					夏休み等に競子施設を学会等を行い献命の意義や血液整例の正しい知識の書及
- 1		青少年献血ふれあ	4-1-				御免を行う。
- 1	参加者100名	い事業	組模	小、中、高校生	5月、7月~8月、10月 3億	別以上 会液センター	「愛のかたち献血」及び「禁血と輸血用血液」スライド、ビデオ上映等を実施予定。
- 1						ŀ	さらに施設見学実施後に献金クイズ等も実施予定。

### ③ 企業等における献血の推進対策

	平度23年度の数値 色標	*24	具体的4分类·多黑内容									
₩	丁/020千度の数量 日第	7.0	新規·維統	対象者		<b>四数</b>		内容(詳細に記載すること)				
		新規散産協力企業 等の確保	級級	献血協力部体等	4月~3月		福島集内	県、市町村及び献血協力団体との連携を密にし、新城協力団体の関拓を行う。				
		休眠献血団体等へ の働きかけ	粮粮	現在体観中の鉱血団体等	4月~3月		23条内	表在休眠剤血節体等へ過去における実績等を検討し今後の原血協力を依頼する。				
<b>(</b>	複数回献血協力者の確保対策											

### 復数回献血協力者の確保対策

1		T	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del></del>			具体的な対策・事業内容	
Į	平成23年度の敷殖 四標	<b>事業名</b>	新娘·維候	対象者	実施時期	自集	方法	内容(詳細に記載すること)
	応諾數1000名以上	メールによる協力 要請	#級	複数回献血クラブ会員	4月~3月	•	ノール記憶	成分数点のできる方中心にメールでの放血協力要請を行う。 平成22年12月松現在で、メールを負数とは4名の受情があるが血小板の製別不定 状況に応じての協力体験を行うこととしている。
	応路数1000名以上	ハガキ・電話によ る要請	維統	剪四400mL献血協力者	4月~9月		ハガキ・電話による要請	型別で不足が生じる恐れがあるときに献血協力要損をハガキ及び電話で行う。 特に上、日等に実施している大規模スーパー放血時に血液型剤の不足執設に応じ て協力を顕はがはの発送を予定している。
	複数図メール会員年間500名以上の増加	会員事業用リーフ レット作成	報提	400mL放血、成分脓血協 力者	4月~3月		リーフレット配布	40mL家金及び成分款曲協力者で被重額家金クラブ未加入の方へリーフレットを 20,000枚以上記布L加入の方間・をする。 平成22年12月現在の会員故は、284名の登録があるが、500名以上の増加を目 届としている。

#### ⑤ その他

. 1	平成23年度の数値目標	事業名					其体的な対策·事業内容	
	<b>一种以手段的复数目标</b>	7#0	斯维-維振	対象者	实施時期	自動	方法	内容(詳細に記載すること)
		成分献血薬消のダ イレクトメール発送		成分献血可能な方	4月~3月		変月に誕生日を向かえる 成分献血者へDMの発送 を行う。	
. [		放血ルームの放血 省雑保	権級	献命可能な方	7月~8月、12月~1月		イベントの実施	原血ルーム開定のイベント等を実施するとともに広報強化を行う。 現在他計している内容としては、周陽限度特別記念品ブレゼントを計響している。 7月~8月はカップアイス、クリスマスは、マフィン等のプレゼントを予定している。

栃木県 赤十字血液センター

### ① 若年謄献血者確保対策

							and the second second		
. 1	平成23年度の数値目標	事業名	FM-44			<u> </u>	具体的な対策・事業内容	/	
				<b></b>	<b>末基時度</b>	90	<b>ラ東場所</b>	内容(計劃に記載すること)	]
		献皇七三十	機線	高校大学生及び一般	9月-10月-11月	58	学校及び血液センター		
	. 若年辰献血者(10代~20代)を27%にする	L			<u> </u>	<del></del>		CRESS.	1
	(平成21年度:24.9%)	苦年着キャンペーン	機線	小学生~一般	8月-1月-2月	38	似血会場及び脓血ルーム	学生ポランティア主催で実施し、クイズ及びゲーム等を行い放血の要角を図る。	
		夏休み銀子を含							ı
Į		及体の製工製造	解获	<b>小中学生</b>	8 <b>月</b>	2数	血液センター	映像無材(ありがとうっていっぱい言わせて) - 血液に関するパワーポインドを使用 し、また、クイズや草柄等の最単体験等を行う。	ŀ,

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

	平成22年度の最後日標	<b>事業名</b>	F#-##	対象者			異体的な対策・事業内1				
	20代の徹金書を18%にする。			78.1	天然神川	- 53	子宝笔表		内容(其相に記載	(76CE)	
.l	(21年度:16.4%)		新規	20#2	1月~2月		各献金ルーム	現と共観で実施、ルー』 力体報をする。	近前市町村の成人式	等でチラシを配布し各ルームでの値	İ
			·	·	L	L		30,00000 (9 00) 204-00			1

#### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の数値目標	<b>本業名</b>	新規·報技	- 月末春			具体的左射管 事業內容	
新規事業所を50ヶ所を開拓する。	献卓協力団体増加 対策		全業及び団体	表施特別 4月~3月	- 日東	7255	内容(辞編に記載すること) 使業員兼100名以上の全集リスト及び市時村市投所等から信仰で新規事業所の結 指を行う。
休暖状態の事業所20ヶ夜間拓する。	献血協力団体増加 対策	概報	企業及び団体	4 <b>月~3</b> 月			湯会の個体を領を活用し体理状態の事業所の関拓を行う。

### 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の数値目標	事業名	新規·機線				具体的な対策・事業内容	
メールによる献象要請を実施する。 音様:応答率 20%	被強御献血協力者		対象者	実施時期	- 88	方法	内容(禁頓に記載すること)
	確保対策	<u> </u>	***	血液不定時		被数据放在クラブを指用 し協力使用を実施する。	血液不足時に必信し協力を依頼する。 メール会員約4,000人に緊急時に依頼する。
音集:化器率 20%	被集团献血能力者 確保対策 - ´	##	<b>基本可能</b> 管	4A~3A		岩面を出等中心に協力体	約(年前までの前望及び前々継承血変統者に協力依頼をする。
実施場所(企業・団体)の年間風景の増加	被数回献血经力者		#18 of on the				"パー12月までに順点74件に最近し、応能率10.1%
目標:10分形	磁保対策		年1億・2回の献血実施企 泉及び新規実施事業所	4月~3月			年1回-2個の原血資施企業及び団体や新版事業所等に複数団献血資施を依頼する。
				<u> </u>			特に、新規事業所中心に半年後の家血実施を依頼して行く。(12月間在10年展示

#### ⑤ その他

平成23年度の数額目標	TR6	新規-報線			<del></del>	具体的空间架 事業內容	<u> </u>
次回献血の予約を推進する。 予約者:日禄を2,000名			対象者 ルームでの家血実施者	美龍時期 4月~3月	<b>@</b> *	方法	内容(詳細に記念すること) 各数車ルームに対いて 対点的であって仕事を示された。
電話及びハガキによる依頼を実施する。 応携者1,500名を確保する。		程模	ルームでの飲血実施者	4A~3A			各家会人一人に対して、6ヶ月以上が会とを担いていた。
	<u> </u>			*#~3H			依頼を実施する。100名ぐらいを目安にし、名月支施する。電話依頼:1,295件 協力 者:274名 応義率:273% /・切字を解えな7番。 他力者:1,071名 応義率:24.3%

## 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年層獻血者確保対策

平成23年度の散策目標	*#6	-				<b>具体的存射策·事業内容</b>	
100人以上	若年者献血セマ ナー事業	新規·維技 地統	対象者 10代数学〜30代数学の 若年度	<b>東海時期</b> 4月~3月	7億以上	予定場所 様木県非十字血液セン	・
8,000人以上	大学·复大·専門学 被等級血	維維	18~22歳の学生	4A~3A	50回以上	<b>集内対象校数18枠</b>	では天内を示い場合者を英雄。 学生限などを滅して学校の承難を得て横向に提曲者を乗り入れ希望者を対象に実施している。平成22世度傷肉対象が終いがのうたちができませい。 4.5 - 1.0 -
② 献血者の年齢層に応じた献血者	建対策	-1			<b>.</b>	•	の表現は4.297人、1月一3月までの気温みは500人。

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

.	平成23年度の鉄道直標	726	- MM-RM	NEW	表施時期	-	ARRENT TRAFF	
	320人以上	労少年等献血ふれ あい事業(		小、中、高性生(保護者会 む)の寄年者	4月~3月	10個以上.	予定場所 領木県赤十字血液セン ター会議室	内事(辞報)に記載すること) 観子参加型のAED誘音と拡散見学、家桌クイズなどを併せて実施
	1.000 A EL E	高等学校放血	無模	16~18最の高数生	4Я-3Я	80億以上	各基本本权	高等学校の生徒を対象に希望者を高り配点を実施、長期歌曲を通して学校に扱力を得ている。 早日任金物優を歌いて記念を寄放している。 ほぼきめん スパーフレ
	③ 企業等における献血の推進対策							CERL Te65-TUS.

÷	平成功年度の数値目標	*26	新城-城镇	NAT	天施時期	1 44	具件的交易表·掌葉內掌	
	20 <u>H</u>	新規協力個体發展 対策				20回以上	于皮塔斯 各企業·事業所等	内容(製物に配催すること) 新規款曲絡力全集・団体の開拓。「愛のかたち」ノ・シフレット等を用い飲血協力要談 する。
	20 <del>11</del>	体配理体への働き かけ	無機	事業規模線小等により献 血実施できなかった企業・ 団体		20回以上	S全京·平高所等	体理部体へ再放散血資施の領接をする。「愛のかたち」」(シフレット等を用い放血能力を設する。
	② 複数回献血協力者の確保対策							

平度23年度の景価目標	事業名	新規·複製	- HR4	突旋時期		具体的专列策 事業內事	
応路省景(英協力者景)500人	聚血蛋质剂效	-	被数回禁止クラブ会員。 会員数1,030名。	4月~3月	1069	万法	内を(詳細に記載すること) 会球不定時に会長に対し款金組力英額する。月1回復度、年間12回程度配復する。
応募者量(実施力者後)500人、もしくは2個 以上の複数回数曲率対前年比3%増。	英語はがきによる 献血佐報対策	<b>维税</b>	一定消损未依由者	4 <b>5~3</b> 5	108		金原不足時や管理組織等に設金組力要請する。平成21年度は10,000枚送付予定。
⑤ その他					:	<u> </u>	THE TAXABLE PARTY PROPERTY PRO

平成23年辰の张道昌福	事業名	新規·規模	MRT			具体的左列號·事業內包	
上包心被数据放血者随保对策に含む	はがき・メールによ る献血依頼			突旋時期 4月~3月	1081	方法 ノール配信・はがき事法	内容(資報に記載すること) 多数免金塔での400m線金支援委請。
	,,,,,	###	400mi聚曲可能者	4月~3月	10個	400mi放金推進をもし ポスター等90枚作成し起 布	200金歳(団体)、約高技へ献血技術時に5らし等を記布し推進を書る。400mi献成 受付のみの新規献血を企理支援。
	高等学校原金にお ける400m/家血権 選	## ·	400mi就血可能者	4月~3月	<b>7</b>	校長会や景製教諭寄修会	学校及び報告申請へ学校創金技術時などに、製金基準改正に伴う400mi献金可能が動きを行わちらしなどを用い推進予定。

### ① 若年層献血者確保対策

1				<del></del>			具体的な対策·革集内容	
-	平成23年度の微値目標	平東名 —	新規-組統	対象者	支援時期	東南・	予定填液	内壁(詳細に記載すること)
	60名以上の参加	献血セミナー	維統	若年居会員	8月	16	天理教材系教養支庁	天理教の若年島を含めた会員への血液や散血についての説明で放血を身近に感じてもらう。そして必要性を理解してもらい、放血への参加及び審負活動への参加への動機付けを図る。映像素材、パワーポイントを使用
	500名以上の参加	華血感謝デー	保証	若年層から高齢者まで	11月	199	大型の商業施設	日頃の販金〜の感謝たしかて、製血機経帯で検索を納を混るしたが、毎年者でき 総献血者に対しての感謝状態産まず、学生ポランチンドとなる起源が、複雑品 ノールンラブを息の高減や観測を繋出、デアリーディングンローなどで核広い大勢の方 に減血に関むを持ってもらう。報道機関へのニュースリリースの発信及びのA及び様 発起デールを見、の参加等びかけの情報提供
	500名以上参加	献血セミナー	維統	若华屋	2,月	199	公的な協論	等年層が高さる他し物体系会化が化し、終血についてのセミナーを開催し敗血への電視を認めてもらう。映像素材を使用。提達機関へのニュースリリースの美信及 UCM及び複数酸メール会員への参加呼びかけの情報提供を突進。

### ② 献血者の年齢階に応じた献血推進対策

_		1					具体的な対策・事業内容	
l	平成23年度の敦建目 標	事業名	新規·維統	対象者	支統時期	回魚	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	100名以上	春の献血ふれあい キャンペーン		小学生とその保護者	4月	16	県立ぐん家の数	事業就会会場で、青少年向けのアトラクションを展開し 家血を認の事及と既接令への献血参加の呼びかけ 報道機関へのニュースリリースの免遣及び被強懲メールを員への参加呼びかけの 情報要係を実施。
	200名以上	春の飲血ふれあい キャンペーン	超技	小学生とその保護者	5月	38	雅立群馬こどもの間	移動配血金易で、青少年向けのアトラクションを展験し 放血登録の答及と便服者への放血参加の呼びかけ 相道機勝へのニュースリリースの免官及び複数終メール会員への参加呼びかけの 情報提供を実施。
_	60-8	変体が観子体験教室	権権	小学生と保護者	7月~8月	3日間/1回	血液センター	金原や家血についての説明や血液センターの施設見学を行い、家血を身近に感じ てもらう。そして必要性を観子で理解してもらい、子供たちが被血可能な年齢になっ たときに放血への参加を助機付ける。映像素材、パワーポイントを使用
Γ	500名以上	サッカーJ2ザスパ 草津と運携し献血P R活動の実施	- 模様	若年度とその保護者	10月	42	<b>医食物性 (大学会工</b>	著年度に人気の地元プロスポーツテーム(サナー以のする、草本)選手の協力でする。 19一の作成プレセントや、都熱性血率による試合金橋での歌曲実施の際に、選手に、 る広報活動や37年のオリンチルケップとフィなどで放血思想者を掴る

### ③ 企業等における献血の推進対策

③ 企業等における献血の推進対	<b>*</b>				-		
平成23年度の最後目標 目標30社(団体)	平集名 歌血協力団件及び 推進団体の増加対 策(休眠を含む)	新規被接	対象者未実施の企業及び団体	支援共同 通年	<b>居敢</b>	具体的な対策・事業内容 予定場所 各団体及び事業所等	内容(接触に記載すること) 対に上り配慮を見想動をおこない新技権進密体及び享集所 0本規解等の再協力依頼を含む)
<ul><li>④ 複数回線血協力者の確保対象</li></ul>	i .						

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

						具体的な対策・革集内容	
平成23年度の数値目 様	事業名	新维·維提	対象者	実施時期	多数	方法	内容(詳細に記載すること)
· 応諾者数(実協力者数) (2,000以上	被撤回撤血協力者 確保対策	屋块	前回家会から一定財闘 未実施家皇者	遵年	約48開	、はかをによる家血技績	治療飲命金場を基本に、年間を通し安定した命法確保が書覧な金塔を中心に、1億に約,500連のDMハガキを免送し旅数部の都会協力依頼をする
応募者数(実協力者数) 12,000以上	被赎回献由協力者 破保対策		征数回款点メール会員で 前窓配血から一定期間 未実施配血者	<b>3</b> #	194 <b>0</b>	メールによる配面を利	部職家血会塔で、年間を通し安定した血液液保が開発な会場を中心に、1 酸に約 1,500種の電子メールを免疫し複数酸の酸血塩の使材をする
50名以上 / 1個	複数簡潔素協力者 確保対策		複数回放血メール会員及 び前回放血から一定期間 未実施放血者	2月~3月	\$360 <b>(8)</b>	被数据放血メール会員及 び開催組血から一定消除 未実施制血者に協力依頼	集内3ヶ所の家血ルームで日本リフレクソロジー協会メンバーによる健康アドバイス 並びにリラクゼーションの実施 特に2月 3月の家血協力者の増加を図る。

						6.		
- 1							異体的な対策・事集内容	
	平成23年度の敦徳昌福	事業名	新维·維核	対象者	男族內湖	密数	方法	内容(詳細に記載すること)
į	8000名/年降	複数因血小板成分 献血者確保対策		平日の献血ルームでの 血小板成分散血者	温年		血小板成分酸血管への 推進	歌血ルームで放血終了後の除温時に血小板酸剤の 必要性や有効機能などを説明し、次回の血小板成分療由の予約を受ける。また 日々電影が50場合や型別変熱等か免生した場合は、複要機関血者に電話温格 で予約を依頼する

#### ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の数額6億	<b>平業名</b>	新規-経験				具体的位列策 事業內容	
参加者1,000人を目標として献血化的研度を 実施	若年度献血セミ	報報	対象者 小、中、高校、専門学校生 等	安施時間	開放	予定电报 実施学校計画	内寮(註額に配置すること) 集センター服開が相手先を訪問し、血液の知識から成血の重要技まで誘演を行う。
子供の参加400人を目標として献血キャン ペーンを実施	著年層破保対策	<b>,概数</b>	幼児、児童とその父母	未定	1	ショッピングセンター	一様たちにお父さん。お母さんの故島する姿を見てもらい、故島を舎近に感じてもら うことにより女後代の献島者を育てることを開始とする。
参加者500人を見込んだクリスマス献血キャンペーンを実施	<b>有平局领保对策</b>	<b>推获</b>	若年間	12月23日			ンC/会場では地面西部使ライオンズの選手を超えて、トークショー、享更機能等変施
年副高校生献金14,200人を音響として高校生 献金を答角	若年度確保対策	MM	其校生	上申期	20~40	高等学校	献血未完施高技に対し、県、市町村、血液センター3者で対解し、校内及び放外で の献血参加の容免
	著年際確保対策	機械	高校生	2月~4角:	1.	各献金八一ム	県内の含高等学校にボスターとテランを記布し、高校3年生の家卓を推進する平泉 家島キャンペーンと実施する。
	若年原政条列策	報報	異数生	4月~4月	.•		県内全高校1年生にカードを配布し、原金ルームにカードを持参した方に記念品を基 上げ、カードにスタンプ中心。さらに、支因スタンプしたカードを持参し設金した方に 記念品プレゼント。

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

	平成23年度の数額目標	- 李集名	新班·福度		具体的位列號 事業內容		
·	年間で60歳以上の献金11,000人を目標とし、 破保	高年齢階の 献血者被保	<b>維統 50歳~64歳</b>	実施時度 領象 8月~9月	予定場所		MICE # 16CE)
١				1月~2月 2	教金ルーム	で配金を組織いただけることの開始	Eでに飲血器の無い方に、飲血体概及び砂点を を唱る

٠	平底23年度の敷殖目標	事業名	WM-1848	<b>分表</b> 者		具体的な対策・事業の			<u> </u>
	献卓協変企業の79団体の要領を目標とする	献血塩質企業活動 推進事業	44	団体・企業・	年期を選して	724%	電影	内字(詳細に記載すること) 血能力限性為てに特米の家血者の安定確保に向け 協質企業を係の裁判助調を行う。	
į	新娘献卓団体30部体の破保	都血協質企業活動 推進事業	***	団体・企業	学問を通して		20	本実施を高足び団体に対して県・市町村・血液セン また。 献血協質を高からの新規協力団体を紹介い	ター・の3者により新規制拓を ただく。

	平成23年度の数値目線	事業名							
		新規·複雑	. 対象者		具体的な対策・事業内容				
٠.	第1回対象を集団体のよう 40円以上で			表面表現 田敦	方法	A 5	(辞稿に記載すること)		
٠.	年1回献血実施団体のうち10団体を年2回以 上の実施にする	複数回数金鉱力者   編練			県、市町村との選携のも				
		[FE	団体、企業	年間達して	と複数の事業を含	血液の器質増加状況のグラフ、9			
		<del></del>			06.	一本の世界相応なるのグラブ、す	「共を命に、家主協力団体に	2説明を行う。	-

	平成20年度の数値目標 書意久	The second secon			
•	平成23年度の歌館目標 事業名		具体的な対策・事業内室		
		思・模様 対象者 / 電影曲盤 / 電子	- AU-TEAR TENE		
		7977	75	内書(推編に記載す	X-1-1
					45C1
		<del></del>		and the second s	

## 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の教諭自福	<b>李惠</b> 名	r —	-				
	/ <del>**</del> **********************************	新城·報號	HRA	東維持派		具件的交换数·多集件数 多类组形	内容(詳細に記載すること)
10代の領域家血者を5%増やす	家血セミナー	粗粮	其校主	9月~12月	3	英等学校	映像素材・パワーボイン小を使用して、飲血に関するセミナーを行い、放血に対する 理解を課める
•	飲血管免決期 上映会	新規	其校生	道年	- 5	英等学校	放血等発を重めたして、放血管免状器「八月の二貫美」を高等学校での授業で上映 し、放血への理解を認めていただく。
県内応募学校査を10%遵令す	献电管免状スター 界集事業	維統	中学生-高校生	5~9A	1		中学を・高校生を対象として、放血管炎ポスケーを等り、人質作品を使った放血管炎 活施を行う。(グラスの要作、広報路への免要性)
10代の新規放出者を5%遵令す	血液センター 広報建製作	機械	主に高校生・大学生	基年	•	_	議論に学生家血性進駆後の活動や、家血に協力していただいている学校・専門学校などを根据的に取り上げ、家血管発に強行る

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

1	平成23年度の数額目標。	事業名	新規·複雜	HRT	東北中川 1		人体的交换量 事業内容	
	50名以上的参加	小学生学習会 (青少年等飲血ふ れおい事業)	***	小学生とその保護者 及び家族	7~8 <b>月</b>		*定	内容(辞稿に配修すること) 宣体みを利用した小学生向けの放血セミナーや放血や物血に振わる施設の見学や 体験を選じて、放血に避済を認めていただく。
	5枚以上の参加	血液センター体験	## ME	主に中学生	7~12月	:5	食液センター	中学生を対象とし、執機器材・パワーポイントを使用した飲食セミナーと、実際に設 食みームで極速や協力呼び掛けを体験し、就会に確保を課めていただく。

### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の数値目標	***	-	月泉春			<b>具体的20里 多果内容</b>	
高時献泉要請可能な企業の確保10団体	極時意由要請可能 な企業の提係		事業所-大学等	年間		7248	内容(群様に記載すること) 増殖内等の機能能を製鋼可能な事業所・大学の確保をする。
新規獻血協力団体40団体増加	新規製血協力機体 の破保	***	<b>「事業所・大学等</b>	44			年々確保単位表が増加しているため新規協力団体の増加や既存団体の増固を個 る。
<b>献血サポーター協賞企業79団体</b>	献血镍黄金素溶粉 推進平果	鞭撻	各事業際·建建設体等	华展			極率補助事業
製血拡黄企業を増やす	献血管発 ポスター制作	機能	製血能力企業	6 <b>月</b> ~		-	総金銭管企業のスポーツテーム出来の旅島管発ポスターを製作・活用して、献島管 男とともに、各蔵金銭力団体へ製金銭質を扱す。
<ul><li>④ 複数回献血協力者の確保対策</li></ul>					•		

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

	平成23年度の数値目標	¥#6	W 1: 4/4 4		<b>具体的な対策-事業内容</b>	
		<b>SA</b>	<b>※ 対象を</b>	表施時度	力量	内容(辞録に記載すること)
.		被数据数点临力者		4	1. 要購入ガキおよびメー 1. 年1 ルによる製血体質 安た、4	部の飲息者に対し、要扱いガキやメールにより複数値の産品体領をする。 すでに被数値に協力扱いている故患者にも、定場的にご協力能くよう体質をす
	複数団家血協力者を35%まで増加させる	現保事業 規模	年1個の家血者	4月~3月	2、配由会場に対いてお「中。	
١					微量を止うりがを担るる 2. 金利	<b>ミセンケーホームページや英語ハガキに複単個家血クラブへの募集室内を提</b>
					の募集を強化する。	また、家金ルームには、サイトスタンパーを設置し、新規会員の登録を促

ı	平成23年度の散後 部 標	¥#4				,	具体的な対策・事業内容	
Į			新規·維統	対象者	実施時期	回敷	方法	内容(詳細に配置すること)
1	長季・年末年第・年度末の家血・宿を5%増やす	冬季·华京年始·年 夏末確保	難號	開陽内実施協力団体	12月~3月		記念品を用意して事前PR をする。	環臨内突施協力団体への事前PRを行い終年両端膜内の徹血者被を5%増加させる。
	業族による家山要請5%増やす	電話離血要誘	新規	400mL可能な献血者	速车		電話による英語	400mL放血可能な放血者へダイレクトメールを修送した方に再度電路要譲して確保に努める。
	冬期における協力者を5%増やす	香糖提供による 戴血情報放送 (FM放送)	螺铁	県内在住者	11月~4月	24		放送局 bayins 信温金曜日 17:18頃 ~5分番組で基礎の血液センター名のクレジット及び40秒生CMによる放血情報の顕恢及び放血呼び掛け
		血液型別数血呼び 掛けCM放送 (コミュニティFM)		県内在住者 (名津地区・京夏地区)	12月~2月	期間中毎日	コミュニティFM角によるC Mを在屋状況に応じて選 替わりで毎日放送	地元FM高(かずさFM・市川FM)で在庫状型に応じて血液型別の呼び掛けCMを選択(全12パターン)選挙わりで毎日2個放送
		テレビCM放送	推験	主に県内在住の著年者種	12月~3月		地元千葉ゲレビにて 収血CMを放送する。	12月~3月中に合計150本以上のCMを被進。千葉BCオリジナルCM 及び 本 社提供条材を併用

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

	平成23年度の数領費 程	事業名					具体的な対策・事業内容	
	T MANUTE OF MILE 19	7.0	新規·線統	対象者	実施時期	回业	ラ皮場所	内容(詳細に記載すること)
	短大・大学生700人対象に複数回依頼	若年度確保対策	雅袋	短大·大学生	зя		明治神宣	ラクロス協会包力のもと、家島への理解を素めてもらうことと、新規400m家島名を従 ほし複数器へ挙げる
٠.	高校・大学・専門学校献皇の新規・増盟(10班	若年唐破保対策	維統	高校·短大·大学生	4~7月 10~12月	1	学校数地内	献血への環境を繋めてもらうことと、新規400m畝血者を確保し扱数圏へ気げる
•	新提出基準に対ける400mi酸血の接進と説明 会(文化原・学療祭・地域イベント会場等)	若年階級使対策	維統	10ft~20ft	通年		聚血素場色	ML

平成22年底の改造自 様	事業名					具体的な対策-事業内容	
	7.77	新規·維技	対象者	英篇時期		<b>予定场</b>	内容(詳細に記載すること)
子育で中の方々が協力してもらえるような理 複数機	容华度联血者政策 対策	経狭	20ft~30ft	<b>≖</b> ≨	. :	単血実施場所すべて	行政との連携、HPやドナー経等による広報
③ 企業等における献血の推進対策							

平成23年間の登集者 様	¥#4					異体的な対策・事業内容		
TALLTENALER	740	新娘·線院	対象者	実施時期	回数	予定場所	内容(詳細に記載すること)	
新娘・雅総しを400箇所	協力団体地加対策	義統	企業及び団体	4月~3月		各企業·事業所等	新規企業・中鉄団体の関拓を行う。	
地毯卖施60等券	造力团体增加对策	維統	企業及び団体	4月~3月	1.1	各企業·事業所等	新規企業・中新団体の確保し、数存団体を増固する。	
④ 複数回献血協力者の確保対策		. 50 41 7			٠.			

平成23年度の数値自復	*#4					具体的な対策-事業内容	
		新規-維統	対象者	実施時期	回教	方法	内容(詳細に記載すること)
UMUMに採用者の876を表示アールソファ に加入推進する。	複数回飲血者確保 事業(携帯メールク ラブ推進)	斯線	400mL献由者	道年	常時	推進パンフレット等	複数函数 典を推進し、必要時の依頼献血を維続していく。
②AB型領血者の20%を携帯メールクラブに 加入推進する。	旅遊回献血者確保 事業(携帯メールク ラブ推進)	新規	AB型款鱼者	基年	<b>米</b> 時	推進パンフレット等	放動研制会を推進し、必要時の依頼家魚を維練していく。
複数図漱血クラブの衰焼登録者1万名確保を 目標とする	新規登録キャン ベーン	<b>模板</b>	複数圏献血クラブ未加入 の献血者	道年		震を改進し、 洗帯電路を	平成21年度における東京銀内の複数回数血管の割合は28.95であったが、複数値 数点のラブタ泉に固定すると、その割合は28.9に返している。このため、超級して5 泉数型加に変点を載いた対策を接近していてととする。
	複数回常金クラブ ポイント制	維統	放散密献血クラブ登録者	通年		ムの複雑によりポイントを	献血することにポイントを付加することにより、被表面飲血の健康を限る。平成21年 反における京京都内の一人あたり平均減止回数は1.7億であり、彼故田飲血クラブ 各員の献血的数増加を図ることによって、全体の底上げを聞ることとしたい。
依様に対する応諾率25%以上を目標とする	禁血依頼Eメール配信	<b>果</b> 获	複数耐能血クラブ登録者	4月	12	三人に力して原原収表に	関・・ 関・・ は受別・・ を受別を はたりメールを信号並の 増加を 増加を 他っていくことにより、 安全な血液の 安定的 破別に といるといる であると でると でると でると でると でると でると でると で
依頼に対する応諾率10%以上を目標とする	献血ルーム案内は がき(ダイレクトメー ル)の発送	提級	各家血ルームにおける一 定期間未創血者(複数語 家血クラブ会員以外)	48	12		Eメール送信対象外の飲血者に対してダイレクトメールを進付することで、被放應放 点に繋げていくこととする。
依頼に対する応諾率30%以上を音視とする	参助採血会場案内 はがを(ダイレクト メール)の免送	推發	終盛、何献主会場に来所 した献皇者	程料		被ーシステムによりデータ を抽出・印刷し発送する	特に、智顗・地域等の移動機由場所を中心に、定期的な献血への協力を依頼する。

#### (5) 70 H

平成23年度の数額目標	事業名					具体的な対策·事業内容	
		新煉·機額	対象者	実施時期	御放	方法	内容(排稿に記載すること)
献皇会場・献山ルームの環境警備	球块亚维	維練 - ・	16~20歳	選年	水沖	環境改善	充足感・満足感のある環境を整える
成分献血の35%以上を事前予約により確保する	成分数曲予約	***	成分敵血可能者(特任、 血小板成分畝血可能者)	選年.		各献血ルームごと、時間 帯別に予約枠を設け予約 を受け付ける	特に、被敵国献血クラブの機能による予約受付を強化することで、安定的な予約敵 血者確保に関げる。

#### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

神霊川県 素十字血液センター

#### ① 芳年层麓由春葵是分等

平成23年度の敷殖見得	- 事業名	- 新規・雑章	対象者	3500		具体的な対策: 事業内書 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内容(詳細(を整すること)
k内2センターで毎月1校程度の実施を目指	177 150400mL	新規	県内高等学校の17才以上		1200	東内高等学校(公立・名	(共産人の対象と基準) もっこ/ 集内高等学校の17才以上の男子生徒を中心とした高校献血を実施する。
	製血キャンペーン		の男子生徒		128	立)	MARGERUITELUSTY ERFOCCEARMERATO.
F間100人程度の受入れを目指す	高校生を対象とした 血液センター平果・ 単数等機能体験	新規	集內高校生	原例として、高校生が 参加しやすい資体み場 側に1日10銭程度	平日(210艦 組成	各款血ルーム・移動機血 会場	集を重じ、乗下の高等学校2軸校に募集(呼びか付)をし、実施する。
表表現(植族ジョイナス賞)の皆顧会場では、 ド十字とチームのエンブレムを配した天幕を 原刺として設置し、飲血への領しみやすさを 引とさせ、1台湾たり平均425人を450人に増 Dさせる。		<b>1011</b>	県民および徹近F・マリノ スファンの選挙者簡対象	SQM).	根 浜市内の 新額会場で 可能な難り 実施	リーグ被災Fマリノスの ホームタウンである検索 市内	版金金領に由十字とテームのエンプレムを記した天原を設備する。また、横浜駅北 日窓金メームでのキャンペー振開時制には、版金銀が台に選手のサイン色板や 様グラズを記念品として提供する等により温陶して実施する。
F成23年度以降も継続的(長期)実施をし、 加への部しみやすさを向上させ、若年度常血 首のリビーター化をはかると共に、来年度様 加計園302,212人の確保を直接す。	献血ルームにおけ る検派F・マリノスを の共興PR	纵接	気更および他派F・マリノ スファンの若年者語対象	and the	-	<b>被英联家口放金术</b> —A.	リーグ領派Fマリノスの支援により、ルーム内に選手のサイン入りユニホームを展 地により、ルームの入口やルーム内をマスコッパキャラクケーのステッカー等で装飾 することにより、ファンやサポーターの放血への協力を募る。
77ン部第デー、公式機へ可能な競り(ファン 8第デー1個 ・ 公式板1間以上)配単し、来 F皮供点計画302.212人の確保を目指す。	模派F・マリノスの公式を・ファン級第 デー会場における 共商PR	80	県民台よび被派F・マリノ スフナンの著名者層対象		ファン感謝 デー1種。 会 式歌へ可能 な個リ記草	公式後・ファン総関デー会 場	機実デ・マリノスのホームグランドでの試合器をや、ファン電影デー等のイベント類 例に記事、(平成22年成実権、ファン等影デー・第・公式集(語)
表表明(相談ジョイナス情)の皆頭会場では、 ト十字と時間のエンプレムを配した天富を順 材として設置し、献血への観しみやすさを向 とさせ、1台当たり平均425人を45.0人に増加 せる。		機械	県民名よび徹底ペイス ターズファンの若年者居 対象	<b>延</b> 時	観景市内の 戦闘会場で は可能な様 リ実体	後述ペイスターズのホー ムタウンである模式市内	他協会場に由十字上時間のエンブレムを配した天和を散置する。また、様系釈釈 版金ルームでのキャンペー展館時等には、配金協力等に選手のサイン色板や各 ダッズを記念品として提供する等により返覧して実施する。
F成23年度以降も総統的(長期)実施をし、資 なへの間しみやすさを向上させ、若年度数点 者のリビーター化をはかると共に、来年度便 批計図302,212人の確保を書物す。	献血ルームにおけ る模領ペイスターズ との共興PR	##	意見および徹底ペイス ターズファンの若年者居 対象	R#		根表表別の資金ルーム	被系イイスターズの支援により、A.一ム内に選手のサイン入りユニホームを展示したり、A.一ムの入口やA.一ム内をマスコットキャラクターのステッカー等で資格するとにより、ファットやサイーターの推発・の他力をある。 定点を保場所には非十字と時間のエンブレムを役とた実高を設置。
7ァン総別デー、公式戦へ可能な限り(ファン 6期デー・公式権合せて18回以上)配率し、 6年度保血計画302,212人の105%以上を含 8寸。	植派ベイスターズ公 女職・ファン総第 デー会場における 共同PR	##	県長および復派ペイス ターズファンの著年者展 対象	公式職・ファン感謝デー 開催時期	ファン修算 デー、公式 吸へ可能な 減り配率	全式装・ファン部間デー会 場	被退ペイスターズのホームプランドでの飲む間をや、ファン感謝デー等のイベント 他時に記載、「学校22年度実施、ファン感謝デー、公式着合せて18回)
は前市内省景会場では、多十字とチームの3 レブレムを配した天幕を可能な繰り設置し、海 島への観しみやすさを向上させ、米年度傾向 計画302,212人の確保を指指す。	Marian Prince	報報	県民および州崎フロンター レファンの若年者居対象	CEN!	州美市内の 新版会場で は可能な展 リ実施	Jリーグ別値フロンケーレ のホームタウンである例 値事内	撤血金属に第十字とテームのエンプレムを配した天富を設置する。また、川崎駅」 血ルームでのキャンペー度路崎等には、献血協力者に選手のサイン色板や各種 グッズを記念品として競棋する等により運動して実施する。
(16家会ルーム(定点広報場所)では、非十 本と財団のエンブレムを配した実際を解析と て数数し、禁止への領しみやすさを向上さ せ、来年度提出計画302,212人の確保を目指		***	県長および川崎フロンター レファンの若年者面対象	<b>與</b> 東日	<b>解析</b> 自は年 名	定点広報場所での天事製	別時プロンターしの支援により、ルーム的に選手のサイン入りユニネームを展示し り、ルームの入口やルーム内をマスコ・パキャラクターのステッカー等で接着する により、ファンやサポーターの家庭への協力を募る。東庭伝統場所にはネイギと
(※みぞのくちルームは定点広報場所での天 転数数)						2)	テームのエンブレムを配した天幕を敬意。
ファン感謝デー。 公式戦へ可能な親ゾ(1間以 上) 配率し、 末年底探血計画302,212人の役 発を目指す。	川崎プロンテーレの 公式観・ファン級謝 デー会場における 共同PR	### ###	県民および川崎フロンケー レファンの著年者服対象	公式機・ファン係動デー 開催時期	ファン部別 ゲー、会式 吸へ可能な 服り配準	会成職・ファン抵謝ザー会 場	周崎プロンターレのホームグランドでの試合開催や、ファンボンデー等のイベント! 性時に記事。
移動提点革を、期南ベルマーレのデーム数 (の授リ・横断薬)等で動動をしたり、脳沢敵の ルームでのキャンペー振舞し、歌成への領し みやすさき向上させ、集年前領血計画 1002.212人の破保を自修す。		<b>建模</b>	県民および加南ベルマー レファンの若年者選対象			I パリーグ無南ベルマーレ の独交平原をを中心とし た激素地域	等務性血液を、前向ベルマーレのテー上版(のぼり・観情事)等で信仰をしたり、自 対意血ルームでのキャンペー展開時等には、放血能力者に選手のサインを振や 程プラズを記念品として接負する等により同時支援する。
展沢松血ルーム(宣点広報場所)では、条十 キと球団のエンブレムを配した天幕を教置する あつて同辺空楽と調査は、歌座への領しの やすさを向上させ、米年を原理血計画302.212 人の確保よ日指す。	RAA-ACSH	**	京長および湘南ベルマー レファンの若年者間対象	開茶日	第アルーム は観察日CI 原木ルーム は週(機能	A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	連携ベルマーレの支配により、ルーム的に選手のサイン人リュニホームを表示し リ、ルームの人口やルーム内をマスコルキャラウラーのステッカー等で整備する。 により、ファンやサポーシーの企成への協力を募る。支点広報場所には余十字と デームのエアプルムを記した支配を整置。

						• (c)		
_ J	77ン感謝デー、公支観へ可能な限り(1回位 上)配率し、条年度保血計器502,212人の確 発を目指す。	増廃ベルマーレの 分式後・ファン抵射 デー会場における 共向PR	機構	系長および湘南ベルマー レファンの苦牟を控対象	公式報・ファン感謝デー 開催時間	ファン感謝 デー、会成 機へ可能な 競リ配章	公式戦・ファン部割デー会 場	オ 南ボイルマーレのホームグラントでの試合関係や、ファン感謝デー等のイベント開催 時に記事。
	5赛被量 250校	献血の核ポスター 歴	H.H.	<b>小中学生</b>	更体み類類中	18	入資作品の展示について は、敵政功労者を彰式会 場および飛内赤十字各施 数で実施	張下のか、中学校に募集をし、入宣作品の選手を実施。また、歴史作品を掲載した カレンダーを作動し、出品見登・主徒、家血協力を等に配布する。(平成2:年度応募 校195校・22年度(201校)
1		『FMヨコハマ』の書 細を活用した広報	果練	一般県民・高校生・大学生 のリスナー	每週火曜日	52回	FM3コハマ・スタジオおよび、敵血会場等関係を所にて収益	電温火曜日 (納からの金センターが開催している。地元FN格送書FPA5コハマルの 電報を支売し、息者稀からの「ありがとう」のメッセージの放送や都当に関する情報 号を放送する。( 歯眩音秘密の事は約2%、約18万人のリスケー)
•	加校数18大学(25団体)、来場者5,500人	第8回ボランティア フェスティイル(ボラ フェスタ)の開催	機械	一般果養 (FMヨコハマ特着との選 助によりリスナーも対象)	10月中(※土曜日)		「株成みなとみらい」地区 のイベント会場(米定)	大学生/ポランティアクラブ・サーウル)・社会質拡張体(ライオンズクラブ等)・プロ野 境、サッカ・テームの協力(出意)をいただき、ポランティア活為としての飲命を発展 にアビールする。平成22年度表議 参加収費15大学(22機体)、来場者5,000人
·lm	属する学校では、新規記車器をかけや、	ポラフェスタ参加学 生による音校での 飲血推選	雑徒 .	献血実施大学 学生 (※献血未実施技では、 他の形での広報)	移動探血率配革的等	<b>随時</b>	ポラフェスタ参加学生の所 成役	駅血実施大学では、駅尚春塔につながる広報を展開

② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

	※ 平成23年度においては、平成2	2年度まで実施し	た国庫補助す	第(青少年等献血る	れあい事業)も継紅	予定である	ことから、必ずの事1	*************************************
L	平成23年度の教徒自保	平某名	新規·維接	対象者	家庭時期	1 100	具体的公司第二字系内容 字定場所	
		小中学生夏休み観 子献血教賞	維装	小中学生と保証者		計20日開程	泉センター(原木)・鉄浜駅	内容(辞職に記載すること) 金潔についての知識や献金について理解を繋めるためスライド学者・施設児学を実施(平成22年度実施・児童生後161人、保証者128人)
5	市町村で1校程度実施	出的献血极重	維統	小学生		再能な雅り 実施	集內小学校	血液についての知識や歌曲について理解を課めるためスライドを含めた講話を実施

#### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の数値 袋標	事業名					具体的な対策・事業内容	
		新規·維技	対象者	<b>天施時期</b>	自動	干定场所	内容(詳細に配置すること)
<b>新規紹介20社 (団体)</b>	献血実施企業団体 等から関係団体(新 理)報介	新規	献血实施企業部体等	<b>阿</b> 冉	-	1	京皇主義を主要を持ちから、関係を主・関係を新たに紹介いただく。
0団地程度	各工業団地会合へ の献血協力依頼 ・	新娘	各工業団地の組合加盟金 基	題時	-	集内各工集团地	各工業団地制係者の紹介社(者)を海滑する等し、製血に協力をいただけていない (または実施しているが小規模)工業関地の会合に出席し、製血協力を呼び掛ける あるいは、取血拠温会会を開いてもらう。
听镀镍力(监管)法人100社	集合ビル等での会 向献血	#級	集合ビル内テナント各企 基	<b>随時</b>	-	原由実施集会ビルおよ	都市部での飲命実施集合ビル等。故血実施場所最辺のテナント企業が複数無定。 地域で、駒ービル内および周辺各企業に協力を呼びかける。
献血協力団体一覧』1,500部作組、新規企業   <b>92</b> 0社 (団体) の要得を自得す。	『献命協力団体ー 質』の作戦と記布	雑枝	献血協力企業及び団体 (特に新規企業)	7月前後	年间		献泉協力企業及び団体(官公庁を含む)に配布し、グループ企業等関係団体の秘 をいただく。
	献血推進恐体の会 合への出席		ライオンズクラブ、ロータ リークラブ、ソロプテミスト 協会等	M+	<b>郑</b>	<b>献血維進団体の会合開催</b> 地	駅血推進団体の例会等の会合に出席し、血液平泉の現状に続するスライド等を用いて、地域に傾付いた禁止進進活動への協力を接続する
7平先企業・団体総数900社(団体)を自指す	新娘(後活)企業の 複数団献血へのア ブローチ	- 雑枝	新規献金鑑力企業・団体 のうち、移助探由享受入 田敷増に対応可能な団体	足典	庭時	<b>献血実施時(打合せ時)</b>	新規敵血協力企業・団体(年間30~40社)のうち、移動採血率受入困量増に対応で 能と思われる団体に、働きかけを行う。

#### ④ 複数図献血協力者の確保対策

平成23年度の数数数 提 。	事業名					具体的な対策・事業内容	
1,000-100-100-1	780	新規-組織	対象者	実施時期	佛教		内容(詳細に記載すること)
0,000人の依頼に対し年期全員会借予定 000人以上	県内で登録者の歌 血メールクラブ会員 募集業者の退付	新規	メールクラブ未登録の献 出登録者	7月~8月	华1回	神奈川県内で献由登録を している方への献血ジー ルクラブ会員募集業務の 遂付	
四応第予定 3,000人以上	新規全血量排者へ の複数個協力依頼 ハガキ送付	<b>建築</b>	新規全血(400mL)登貸者	4月~3月	年65億	新規に登録をいただいた 全血登録者への被数回顧 血協力後疑ハガキの送付	御明祭恩・ 足未原皇寺に皆わせ、 新茂豊政者 (30,000人) に対しハガギによる敵点
0,000人の依頼に対し年間応諾予定 5,000 以上	家血量録者へ衝襲 献血ご協力ハガキ 送付	複鉄	全血高血量質者のうち依 額対象質調整血を提出者 関場所に推定(登録)して いる方	4月~3月	#20 <b>9</b>	使精制部内に献血実施予 定の制策制血会場を採血 希望場所に指定(登録)し ている方で、企业制血 (400mL)登録者	音曲等の在風快速により、按照機構内に放血変属予定の振飛放血金塔を採血等 場所に推定(登集)している主血販血登録者へハガキによる放展を行う。
1,000人の依頼に対し年間応能予定 16,000 以上	放血量様者へ企業 原血での依頼ハガ キの遂付	遊祭	全血家血量操者のうち、 家血実施予定の企業関体 に所属している方で、役血 希望場所に修定している 方	4月~3月	年45回	全血剤血量は者のうち、 剤血実施予定の企業団体 に新属している方で、詳血 者世場所に指定している 方への住職ハガキの遂付	全京、宇城、の家島実施に合わせ、その団体に所属している全島家島登録者へい ガキによる依頼を行う。
0.000人の佐福に対し年間の語予定 2.000 以上	献血メールクラブ会 員への献血英語		血小板・会血禁血を辞者 のメールクラブ員	4月~эд	年30個	放血メールクラブ会員へ の放血要換(支に緊急液 係が必要な場合)をメール により技術を発信する。	放血メールクラブ全員への放血要請(主に緊急途格が必要な場合)Eメールにより 様を発信する。
(教部家血協力者 70,000人の確保	複数囲家血協力者 確保用ポイントカー ド(ドナーズカード) の発行	視接	全ての献血を揮者	4月~3月		複数勝家血協力者を保用 ポイントカード(ドナーズ カード)作成し、経規協力 者に特典を与える。	家血査算者へポイント(特典)を付加することで、複数硼酸血能力者の確保を置る
、阿献血目標の23,000人に依頼	破骸回敵血協力者 確保用献血再来 カードの発行	雑徒	全歌曲協力者	4月~3月	** .	県運転免許試験場内設置 の二後川家島ルームでの 400mL駅血舎を、成分駅 車件の県内地ルームへ の振客	全血原血を主体としている特別用係運転を許額数場内設置の禁血ルームでの 400mL駅血管を、成分数量主体の特別用集内の駅車ルームへの開導

#### . 5) ₹の₩

O COM	100			£. +			
平成23年度の数値目標	事業名	新規·解接		1		具体的な対策・草葉内容	
	<del></del>	明况 电铁	対象者	实施時期	田敦	方法	内容(詳細に記載すること)
新規会員6,000人の確保	新規駅車メールクラ ブ会員の募集	維統	献血協力者全員	阿特対応	MM	献点後の歌曲者に、ポス ター・テラン等で周知する	非接触型サイト誘導薬器を飲血会場に警備し、さらなる会員確保を含る
年間 26,000人の依頼 4,000人の確保	年末年始対策ハガ 半依頼	建铁	全血及び成分放血量領者	全血 12/1~1/20 成分 12/26~1/5	年1日	年末年始対策として全由 及び成分献血量排音にハ ガキ依頼を実施	成分量終者へは、主に年末年始期間中の血小板確保対策として放血子的の依頼を 実施。
15,000人の依頼 1,200人の確保	ゴールデンウィーク 対策策書依頼 (4/29~5/8)	維烧	全血及び成分献血管銀管	4/28~S/10	年1億	ゴールデンウィーク対策と して金血を集者にハガキ 体権を実施	ゴールデンウィーク講後に各1副、合計2回の依頼を行う
・ 1日のキャンペーンで2,000人を確保し、年2日 の協力を得られると想定し、のペ4,000人破像		維統	献血來経験者	4~6月	<b>强的</b>	新入学、新入社の献金未 総数者をラーゲットに、を 献血金塔で未堪者等に呼 びかける。	製血受付場所で、FMBコハマの放送を変す等、飲血未経験者の未廃しやすい環境 を作り、新規能自者には記念品も開皇する。
<u></u>	『かながわ散血キャ ンペーン』の実施	模技	県民	夢:4/1~5/31、教: 10/15~11/30	年2回	15 m) + 0 m m m	特謝川県庁とタイアップにより変態。けんけつちゃんキャラクター(統)を使ったポスターを集内の公共協議・学校・家庭協力団体・団座機関等に掲示する後、県のたより、県庁ホーベージに掲出るを実施する。
駅曲協力企業(団体)の根税的実施と、新規 (改活)企業団体の増加50社程度を目指す	保備権祉事務所及 び市町村血液事業 規当者会議	推模	保管福祉事務所及び市町 村血液事業担当者	3月上旬	年1回	公的領国の金融宣を借用	行政組織者が血液等点の現状を観察し、配率計画作成への理解と協力を維持する ために設備する

۰f	平成23年度の教備員福	事業名					異体的な対策・事業内容	
1	干化の中医の放棄を体	***	新規·義統	対象者	実施時期	倒数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	16~29歳の款血者構成比を30%以上にする	撤退バスの配車	概報	大学生、等門学校生 高校生	4月~3月		· 古太子、明门子似 · 古集學的第	前年度と陶器に駅北バスを記算して協力を頂く「平成22年度は34枚で74合配果)。協力者には、次前版点ルームで協力要けるよう。領血ルームのPRリーフレットを配布 してする。
	相上	献金PRイベント	***	新減保民	平成23年7月 平成24年1月	26		県地市4周とライアップして公開装音放送を実施。若年間の人気のあるゲストを招き、家金への理解と協力を推進する。
	<b># 1</b>	<b>建血管及限次全</b>	業條	大学生、 京門学校生 高校生等	4月~3月	129	多大学、専門学校 高等学校等	第、布両利と協力して協同し実施の実施を行う。会校、学年、またはクラス単位で献 此への連邦を提めてもらう。DVO名号がとう!っていっぱい言わせて!。パワーポイン・仁重次の世や必然の思致、単直を探写では虚の間せや心思性を形える。故 血の現状や手順等が記憶された音楽用リーフレットを作成して配布する。
	<b>周上</b>	献血推進活動への 参加	機銃	大学生、専門学校生 高校生	4月~3月	1093		学生ポランティア計150名を予定。イベント金塔や鉱血食場等で鉱血のPR活動を実施。参加することで鉱血への理解を振めてもらい、鉱血協力をいただく。

平成23年度の数値登録	事業名					具体的な対策・事業内容	
TALISTO, 100 100 100	782	新規·維装	対象者	実施等景	- 音楽	<b>予定场所</b>	内容(詳報(ご記載すること)
50歳以上の献血者を3%増加させる		維統	50歳以上の泉長	4月~3月	ľ		50歳以上の理象率の高い県域ラジオ島を利用し、道束の家血会場の高内と家血協
		1				1	力への呼びかけを実施する。

	·						
平成23年度の数据目標	FRE				具体的な対策・事業内容		
· According to the control of the co	. +==	新規·維証	対象者	发生的线 "	<b>農业</b> 予定場所	内容(	#編に記載すること)
新規献由協力企業・団体を開拓し、10社場や							所を訪問して献血実施の要請を行う(絆領につ
T.	· .	維膜	県内の企業及び個体	4月~3月 .	直宣 各平東所等	いては根と他勝を行い実施する)。	技を観視して単単大器の大柄を行う(杯物につ
P. ·	1	·			1	い、「竹本に田田名しい。一世中との」	

<ul><li>④ 複数回献血協力者の確保対策</li></ul>							\$ 1.5		
平成23年度の数値目提	*25	新規・機能	対象者	東龍門用	<b>商</b> 数	具体的な対策・事業内容 方法		(詳細に記載すること)	
複数機能血者(平成21年度32%)の割合を 35%まで増加させる	被数函款血者硫保 対策			4月~2月		1. 電子メールによる及び はがきによる家血要請 2. 複数服能点クラブの金	1. 鉄器の献血から6ケ月間協力 血協力を蔓続する。 会場での協力者にクリアファイル んけつちゃんゲッズを提供する り、銀行の4,000名から7,000名1	かの無い方(ルーム対象、 レ人リウマ・ビンフレットの版 ドャンペーン(7月~8月、	約500名/月)へはがきです。 2. 献施パン 本や、新規加入会員へけ
<b>⑤</b> その他					:-				

-								A 11
-	平成23年度の管備資料	事業名				具体的な対策·事業内容		
L	1,000-100-100-100-100-100-100-100-100-10	720	斯規·報駛	対象者 実施	中期 開放	方法	内容(詳細に記憶	ますること)
. [								
		1-1	1	! .	1		•	

#### ① 若年層献血者確保対策

. 1		i ====			<del></del>	<del></del>	具体的左射管 事業的署	
	平成23年度の数額司標	事業名	新規·機能	対象管	突並時期	01	子主电荷	内容(排稿に記載すること)
		献曲七三十	概報	短大·大学·看提学校生	4Ä~6Ä	68		新入生を対象に、400mL減血、血小板成分散血の必要性等を理解してもらい、放 血能力をお願いする。 善子・パワーポイント等を使用する。
	10代~20代の献血率を30%にする	ポランティアと連携 するイベント	模様	特に寄年費	BA, 12A	20	ショッピングセンター	舎知用広報資材、はがき依頼、メール配信等により原始を問り実施する。
		いしょに献血キャン ペーン	維接	短大・大学・看護学校生	4月~11月	100	各学校	金婦用広報資材、メール配信等により周知を振る。ボランティアによる両数代からの 呼びかけを実施する。

平成23年度の教徒目標	李素名	新規 維維	対象を	東面中間	44	美体的位置数 事集內置 事業場所	内室(御報::配電子SCE)
鏡子で40組の参加	親子是学会	##	小学生・保護者	7A~8A	26	血液センター	放血の変れを影响し、放血パス・血液道振車の体験乗車及び救急法・非常炊き出し を実施する。
	家女管先	16.65	小学生·中学生·高校生	8,9	18	青少年自然の家	JRCHレセンで家血管発を行う。母子・ノ・ワーポイン小を使用し実施する。最米用バ 本丸も原用する。
③ 企業等における献血の推進対象	ŧ				. •		

			76.2					• .		
平成23年度の数職長標	平集名					具体的な対策・事業内容				
- TAM予以の放送技術		新規・総裁	対象者	実施的規		予定場所		内容(辞報に記載すること		
新瀬蔵血協力事業長10社増加・休眠事業	* 放血協質企業推進	1848	事業辰·団体	4月~3月	1	各基金商等	新規事業務の競拓、体報	事業所の値り起こし。	1.0	- 1
の拡大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					1					- 5

## ④ 複数回線血協力者の確保対策

平成23年度の鉄値目標	事業名				 具体的な対策 事業内容	
十四人の十度の放棄目録	. 440	新規·模様	<b>对象者</b>	主族時期	 方法	内容(詳細に記載すること)
複数回転血率を30%まで増加させる	被被回放血能力者 程保対策	44	年1四日本年	4月~3月	による献血放棄をする。 ②拡致服取由キャンペー	①はがき及び電子メールを活用し、年1回の放血者に対して、複数回の放血協力を 位面でる。 ②400mL放血者にキャンペーンカードを変し、キャンペーン開席中に400mL放血に 協力いた氏いた方に配き品を書す。
複数回献血クラブ会員を1、500名にする	被撤回献血協力者 確保対策	報報	<b>聚血管</b>	4月~3月	スタボケノンシアを守い	①会員募集イベントの実施 ②会員募集局のテラン・リーフレット、ポスターを作成する。 ①も最直会場での会員募集を強化する。
⑤ <i>₹0</i> 他						1

1		平成23年度の微値目標	事業名			(	 具体的な対策・事業内容		
- 1	_ ·	- market market market	<b>***</b> 2,	新規·轉載	対象者	<b>非常特别</b>	方法	内容(解析に配象すること)	
i							 DEAR-WEEKAN		
1	- ثــــــــــــــــــــــــــــــــــــ						協力依頼	①平日での放血協力を各担当者に依頼する。	
		ームでの一日の平均血小板成分割点 S確保する	「保保護原用処力者	解経	点小板放出可能者	4月~3月	THE WAY A TO A	化・电解学に製造物機をするとともに、 方径が33億以上のカ	仁孫此基本更更無知又
1	# 2.ZZ	- WIRTO	96.98 ·				# TANK - MARK	及び敵血能力依頼を併せて実施する。	
1		The state of the s	1				のませいべーンの事業	③七夕、パレンタインデー、ホワイトデー等キャンペーンをま	EST.O.

#### ① 若年階獻血者確保対策

平成23年度の後備目標	¥24 ·					具体的な対策·事業内容	
12072022	7	新規 模模	対象者	实施的用	图象	予定場所	内容(詳細に記載すること)
製集セミナーの受験学校数を10校、受験者1 00人を目標とする。	若年居献血セミ ナー	難模	大学·短大· 高等專門学校生	平成23年5月~ 平成24年2月		血液センター 金沢市内ホテル	石川保学生産申報追儺員会を通じて、家血の重要性を理解し、家血ポランティアに 機械的に参加してもらう。
	学生献血ポランティ アの活動推進	維权		平成23年4月~ 平成24年3月			学生単卓ポランティアを募集する。Cンフレットを集内を太学等に配布し、学生に興 をもって参加してもらう。
大学機内での献血変越を15間にする。	大学献皇の推進	雑枝	大学生	平成23年4月~ 平成24年3月	15	集内大学等	学生家卓ポランティアが歌曲を呼びがける等、浩島の場を提供すると同時に、学生 らに歌曲を体験。 優れ親しんでもらう。
	学生献血ポランティ アの活動推進:	新規	大学等数额员	平成23年6月	7.1	血液センター	平成22年11月に設立した石川県学生家血推進運締会の参加・出席者を増やし、 特に、大学教職員の家魚への理解と学生ボランティアへの協力を推進する。
② 献血者の年齢層に応じた献血物	道対策						

平成23年度の数値目標	平黒名					具体的な対策・事業内容	
TRATEVALEN	7***	新規·維接	対象者	来施特斯	羅撒	予定場所	内容(詳細に記載すること)
変体みセンター見学会参加者を100名に増 やす。	育少年献血ふれあ い事業	推設	小学生・保護者	平成23年7月~8月	. 4	血液センター	小学生-保護者を対象に血液、凝血、積血について講話を行い、その後血液セン ターを見学する。
55歳以上60歳以下の男性成分献金者を10 0名増やす。	シニア成分献血	新規	55歳以上60歳以下の男 住	平成23年4月~ 平成24年3月			1. 過去に成分製血管膜していただいた方に飲血基準の変更流向と成分酸血を依 関する対象を報道する。 2. 関度施設で成分酸血した方に酸血基準の変更流向と成分酸血を拡張いする対 者を掲載する。
③ 企業等における献血の推進対象	R .		1.7.2				

予成23年度の繁備自信	¥#4						
7,000-00000	. +===	新規·機級	対象者	実施時間	國數	予定場所	内容(詳細に記載すること)
新規協力企業・団体を10社から15社破長する。	新規協力企業・団 体の確保	維統	新規企業-関体	平成23年4月~ 平成24年3月			県内の企業・団体を訪問し、主に移動採血率での全典原血の協力を依頼する。
	新規協力企業・団 体の確保	推模	新規企業・団体	平成23年4月~ 平成24年3月			都変越接周辺で、急に全血・成分聚血が必要な時に、激血を接続し、応じていただける企業・団体を確保すべく訪問、依頼する。

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の数値負標	事業名			* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		具体的な対策・事業内容	
17023700 MAR OW	Y#10	- 英族·異報	対象者	<b>支施時期</b>	鱼数	方法	内容(詳細に記載すること)
複数回献血クラブ会員を新規に500人募集 する。	複数容潔血協力者 破保事業	. 維接	複数国家血者	平成23年4月~. 平成24年3月		技術部隊乗りラブの広報・ 開始	森波センター各種広報機に複数回撃血クラブの内容、 関便な登録方法等を記載する。
クラブ会員にメールで献命依頼し、250名以 上の応謝を得る。	複数图献血值力者 確保	維教	複数函数曲クラブ会員	平成23年4月~ 平成24年3月		複数機能点クラブシステ ムを用いたメール配信	急に血小道原血が必要な時に、投資際原血クラブ会員へ、血液型に絞った液血液 様をメールで行い、近日中での液血協力を得る。
平成22年度初日献血者の献血協力を35% 以上とする。	搜教图献血協力看 確保	新規	平成22年度初回就由者	平成23年4月— 平成24年3月		献血薬捕猟者の進付	平成22年度初陽散曲者に継続的に献血していただくよう、居住地(市町村)ごとに 歌血要請集客を遂付する。
<b>⑤</b> その他							

平成23年度の敬儀負標	平集名	7.2				体的な対策・事業内容	
11020-1007002010	7#0	新娘-維統	対象者	実施時期	回数	方法	内容(詳細に記載すること)
					1		

#### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

平成23年度の最優日保	*#6					具体的な対策・事業内容	
一十年の一年の女皇の神	7*5	新規·維接	対象者	実施時期	回数	予定場所	内容(延續に配集すること)
高等学校における出前課意の開催(年間10 校)	血液·放血 出資調車	維技	<b>本校生</b>	4月~3月	10@	各其等学校	血液・耐血に関する正確な情報提供を行い、耐血への環境を繋めてもらう。 講座では、 映画条材、パワーポイントを使用する。
小学生対象の親子献血教室開催(年間4回)	親子献血收室	維税	小学生・父兄	7月~8月	. 48	血液センター	日来支禁と合用で開催し、正確な情報接供を行い、非十字への理解を課めてもらう。 読載では、映画素材、パワーポイントを使用する。
保内含ての短大・大学での学内献血実施	学内献血強化対策	接続	短大·大学生	4月~3月	1500	各学校	特に4年制大学4校に対し、学校祭以外に学内献金を実施する(各大学: 早期2倍~ 4間実施)
中学生対象の社会体験学習受入(年5團)	社会体験学習	被技	中学生	4月~3月	59	血液センター・	中学2年生を対象とした社会体験学習受入施設に登録し、各部の実務等を体験し がら血液センターへの増解を深めてもらう。(研修は1個あたり3日間)
支部主催: JRCリーダー研修会への出席	リーダー研修会	新規	小学生·中学生·高校生	7月~8月	28	各研修会場	支部主能のJRCレーダー研修会に参加し、飲産に助する研修を行う。研修では、1 事業材、パワーポイントを使用する。

1	平成23年度の数値目媒 事業名		T				具体的な対策・事業内容	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
-	<b>マル23年級の景景日報</b>	780	新規·維接	対象者	実施時期	的数	ラ皮場所	内容(詳細に記載すること)
	50歳-60歳代の泉小板成分献島者兼を年間 1,300人以上にする(H22年:912人)	血小板成分散血者 安定確保対策	新規	55歳~64歳	4月~3月		血液センター	55歳以上の曲小板成分級血可能な方に年齢制機の変更をハガキ及びメール等で 風知する。

		1	1	ľ	1	I	
③ 企業等における献血の推進対象	•						
平成23年度の数値目標	¥#6	· 新坡·維接	1 対象者	<b>東級時期</b>	. Ga	具体的な対策·事業内容 予定場所	内容(許順:空間すること)
放血推進団体視当者献血セミナーの制催	献血者安定破保対 策		献血受入団体担当者	115	111	血液センター	各版血受入団体退集者に対し、放血事業の正確な情報提供を行い、理解を示めて もらう。
県内ライオンズクラブ研修会の開催	歌曲者安定確保対 策	難続	ライオンズクラブ	68	t	血液センター	次年度役員の方に駅血研修会を実施し、縁続的な協力のお願いをする。
新規及び復活献血協力団体の増加(年間Sf	新規·復活団体増 加対策	維挟	集内企業及び団体	4B~3B		各团体	新爆・復活半泉所団体の開拓を行う。

#### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の敬儀養福	平泉名	具体的左对策 事業供容					
	7.7.0	新規·機模	対象者	実施時期	倒妝	方法	内容(詳細に記載すること)
複数器献血者を現行の29%を31%に増加させる	複数回款血者確保	凝現	年1回献业者 初阅·新規獻血者	4H~3H			新娘・初塵故血者に対し、6ヶ月以内の協力を依頼する 企業献血計画においても依頼はがきで協力を依頼する
. ⑤ その他	: .				÷		

	平成23年度の被値目標 事業名				具体的な対策・事業内容			
	THEOTOGRAM	720	、新規·被稅	対象者	実施時期	(B)	力法	内容(詳細に記載すること)
		, ,	·					
1								

### ① 若年層獻血者確保対策

平成23年度の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	TAG	新技-製板	対象者	実施時期		<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
10代、20代の献血率を数年表後に35%にする。	献血セミナー	推袂	高校生及び大学生	6月2日、7月2日、10 月2日、11月3日、3月 1日	100	血液センター及び各級血 会場	献血に関する数域を数子受のかたち放血とDVD/WECAN資血」を上映して放血への現象と協力を頂くこととする。
19代。29代の依由率を前年間特に35%にする。 高校版会H21年度実施2、148名 H23年度目標2、300名	高校献命の全校実施	報挟	高校生	7月~2月	集內42枚	多高等学校	少子化により生態数が減少しているので、将来の献血者確保を図るために全高等 学校での献血を実施する。
10代、20代の放血率を第年関係に35%にする。	大学献血の全施数 実施	##	大学生	4月~1月	集内7大学	各大卷	大学標内放金では各大学の学生放金施選メンバーによる飲金呼び込みと飲血ルームの案内チランを配付しルームのリピーク確保を振る。
19代、20代の放血率を数年典様に35%にする。	17才男子の400m (献血推進強化	新規	養額療論	5·6A	50	集內5保健療	条件を保管所が主義する故島極遠線接受へ多高等学校から養養機能に出席要さ、400mi献金の必要性を製明し、17才男子の400mi献金への理解と協力を要 にととする。

		<del> </del>	<del></del>			異体的な対策・事業内容	
平成23年度の敬意言語	*#6	新维·维禄	対象者	<b>支盖岭岸</b>	100	子室場所	内容(辞稿に記載すること)
10代、20代の承血率を前年間様に35%にする。	青少年等献血ふれ あい事業	***	小・中・高校生	6月、7月、6月、11 月、3月		血液センター及び保血 ルーム:	献金ルームの見学とOVOの上映を行い。 飲金に飼する説明を行う。
(0代、20代の献金学を育年間保に35%にする。	中学生への献血PR	細絨	中学生	3月	長内95枚	各中学校	集内会中学校の卒業式で対象者9、000人に若年者用パンフレットを配付する。
20代、30代の敵血者を増加させる。		推获	各資年金銭廃メンバー	4月~3月	68	****	各資年会議所の定規概金で献血委員長からメンバーへ献産の開始を行い、メン パーは某人、知人へ損害電話等で呼びかけをして限くことを依頼する。
20代、30代の蘇集者を増加させる。			各祖学校(養寮、消務、自 衛隊等)	4月~3月	88	6244A	従来通り、各学校の講義スケジュールへ放血協力を入れて頂くように依頼する。

•						
事業名	WM-MM	対象者	****		具体的位列第二字及内容 字字编辑	OB(##(-PET-6-E)
	### `	企業及び団体	4月~3月		- 金平潔原等	県保健所等にも総介を観き新規事業所の開拓を行う。
	#44	全意及び団体	4A~3A		<b>各半点灰</b> 等	年1副の単血団体へ再席体領をする。
企業家血の推進	新姐	企業及び団体	4月~3月		各字章研等	展域にたくい事業所の献金者3、000名へセンターからダイレクトメールを入れる。
小優りのきく提血	新規	全集及び団体	4月~3月		各字案所等	小規模事業所へ直接接点率を記載し一日に3ヶ所、4ヶ所の事務保卓を行う。
	企業家由の推進	無疑 無統	李重を 新版・画教 対象を 組織 全席及び団体 単級 全席及び団体 全席及び団体 全席及び団体	平京名 新庭 組織 列亚音 英国阿斯 組織 全菜及び団体 4月~3月 組織 全菜及び団体 4月~3月 全菜及び団体 4月~3月	平原名 <u>名信・福祉</u> <u>対象官 策隆時間 頭後</u> 無疑 企業及び団体 4月~3月 総裁 全意及び団体 4月~4月 企業及び団体 4月~4月 企業数が団体 4月~3月	事業名 初後 超級 対象室 実施時間 報数 予定場所 超数 予定場所 超数 予定場所 超数 予定場所 4月~3月 生事政所等 超級 全意及び団体 4月~3月 任事政所等 を承託所等 を示証所等 4月~3月 日本政府等

		L1		Little and a second	l		1
④ 複数回献血協力者の確保対策					·		
平成23年度の数値容器	事業名	新樂·維頓	対象者	支援時間	- <b></b>	具体的交列里 事業內里 方法	AB (BB) (EB T & C.b.)
複数回家血協力者を32%までに増加させる。	複數個献血協力者 確保対策	維維	献皇年1日の献皇者	4月~3月.		はがき・電子メールによる 協力依頼	各当・ルームの家会者13、000名以上に対しはがきによる家会独領を幹年より多く 行い中年の応義者2700名を上限ることに努める。
複数回載血協力者を32%までに増加させる。	複数應献血能力者 確保対策	維税	全部血管	4月~3月		募集を強化するためにク	会員の募集に対して記念品の検討と多くの会員が登録されている血液センターの情報を参考に上募集他を図る。(H23、1月末登録者数2、095名、H23年成末募権登録2、095名、H23年成末募権登録2、095名、H23年成末募権
複数固蔵血協力者を32%までに増加させる。	被数据联查協力者 確保対策	新維	企業及び団体	4月~3月			1、開催して広等政務の接着者3、000名ペセンターからダイレクトメールを入れ も。2、年1日の事業所に対し2日の設血実施を依頼する。3、小規模等業所へ実施 数血事を記事する。

平成23年度の教徒日祖	##6					具体的な対策・事業内容	
1 inne toronte and		新規-機様	対象者	実施時期	題数	方法	内容(詳細に記載すること)
<b>献血ルームの献血者を300名増加させる。</b>	家島ルームの複数 画飲命協力者の確 保対策		大学生等	4月~3月		ルームのテラシを配付	等階級血率の飲血者並びに大学での飲血者に対しルームのチラン10、000枚を配付する。
京北ルームの献血者を300名増加させる。	献金ルームの複数 御献会協力者の確 保対策	親級	各事業務等	4月~3月		事業所への献血体積	ルーム構造事業所へ定期的(等・夏・冬)に放血への依頼を行い100名以上に協力を悪(ごととする。
400mlの敵血率を83%にする。	17才男子の400m  献血推進強化	新規	高校歌曲	7月~2月		各高校を訪問し依頼する	県内42款を前側し、テランを作成して17才男子からの400mは東北を推議する。() 21年成高統督庫17才男子実際的400名からH23年度は400mlへ200名以上 N版力を置てこととする。

### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の数据目標	784			<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		異体的な対策・事業内容	
子製23年度の数量目標	<b>**</b> 5	新漢·維接	対象者	夹连件册	回微	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
学生ポランティアによる街道管免活動を4会 場で実施し、10-20代構成比を35%以上確保 する。	学生放金キャン ペーン	維模	若年歴を狙った街頭鉄曲 の実施	7月、12月		長野駅前 アピタ飯田店	- 学生ボランティア(20〜30名)により行う。また音楽用質対を作成し、駅血管には学生が選択した記念品をプレゼントを行い、両世代の歌曲電を勤励する。 - 駅血管にアンケート関亜を行い寺堂の駅曲道場の参考とする。
学生を200名送遊	学生の送迎	維税	高校生、短大生、専門学 校、大学	4月~9月	25	長野県短期大学 5 長野工業高等専門学校 長野日大高等学校	・支援の(月)向)に追逐を支援し支援返還して支援を募る。(1回4名、年間20回支援) 第2 日本日は延休かに追渡実施を認識したティッシュを取得し、展集終了時に選奨 現により接急を登出えたが、 ・ 役の接触以外に乗り回送退を行い、原産施製の場所を見えていただき今後の影響 につなげる。(日間200名、早辺最大阪)
間定施設の学生献血率を10%にする	学校前での啓発物 配布	<b>米</b> 様	高校生、短大生、専門学 校生、大学生	<b>本月~3月</b>	ж	の勘定施設近隣の学校	・役内底血を支援していていた学や学校前、校内で国言推動の地面の入ったティッシュを応引意定施設へ設定に支所いただ。(183006、年の間配布) な対限血を支援している学校では、キャン・ン海、血液不足の、技術協立支援 同に、キャンペーン内容、不足血波型、販血支付時間の無内ティッシュを受称する。 (18300年、中心間配布)
10-20代の敵血率を25%にする。	家庭セミナー	被叛 .	学生(小·中·萬·短大·大学·専門学校)	4A~3A	20	各校 血液センター	- 故血を理解していただくため、学校の行事(女化祭・技業)に飲血のビデオ上映。自 加についての説明会を開催する。(10回) - 考護学生の血液センター見学に併せ解血事業の説明、禁血に協力いただく。(10 例)

平成23年間の数値曲標	*#6					具体的な対策・事業が	18
十次23年級の放展開刊	V#10	新規·雜雜	対象者	实施特殊	田敷	子業場所	内容(詳細に記載すること)
土曜-休日の街頭献血実施年120回	相広い年代の受入	維統	企業内献血をしていない 方	4月~3月		大型スーパー 催し物金塩	<ul> <li>頂い物密が多い大型スーパー、来場舎の多い能し他会場で被研釈血を実施し、小規能企席、大学、短大等度血率が適勝していない人を対象とし献血をお願いする。</li> <li>・月10期程度実施し、年頃120間を日保とする。</li> </ul>
60歳以上の献血者を5%増加させる	60代端加	新規	60歳以上献血者	4月-10月		2 各家血会場	- 80歳を通ぎて豊早前原命協力がない方の検索をし、献血体制はがをを送付する。 (約1500名ほど) - 平成18年以発40代以上の鉱血者が増加傾向にあるので、更に平成21年度の60代 以上の前成比5.794から6.594に増加を自務とする。
③ 企業等における献血の推進対	策	5.5.5					

### ③ 企業等における献血の推進対策

Γ	平成23年度の数値登標 ・	¥#6	新城-維接	対象者	実施時期	60.00	具体的な対策·事業内容 ・ 予定場所	内容(詳細に記憶すること)
*	線企業10社実施	新規協力企業の確 保		100名類様の企業	4月~3月			・提票員100名以上の企業が約500社程度あるが協会されていない企業約100社のう 520名以上総計に協力いただける企業の撤棄を指する。(年間5社) ・従票員100名未満の企業で15名程度設立いただける企業の撤車を実施する。(年間5社) ・服5社)
*	止企集10社実施	休止企業の協力依 額		3年以上休止している企 来を訪問し実施する。	4月~3月		各事業所等	- 平成20年以降版画を実施していない企業約200社の内、再度版画を依頼できそうな企業に別し依頼する。 ・ 少なくと参照10対版匠の休止企業に再度版画をしていただく。

1	平成23年度の散議名標	##6	於規-維隆	対象者	****	-	具体的位列策·事業内容	・ 内容(詳細に記載すること)
	ールによる放血協力者1,000名、応携率 0%	技能回放金クラブ 会員		技芸団クラブ会員	4R~3R	40		・23年民被盗鹿のラブ会員被を7,000名に増加させる。 ・月2回の定席、血液不足時にメール配信をし、5,000名に依頼、1,000名の減血者を 現保する。
	かきによる献血依頼2,000名、応第平10%	過去の献血者から 一定期間未献血者	堆铁	過去の献血者、献血豊強 者	4月~3月	. 24		- 1年以上献血していない方を中心に放血を依頼する。 - 年間20,000名の方に飲魚の依頼を行い、このうち16%、2,000名の叙血者を確保する。

Г	平成23年度の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
┢		740	新規·維接	対象者	実施時期	回機	方法	内容(辞稿(に記載すること)
4	前推課の80%確保	午前の血小板破像	堆模	血小板放电温力者	<b>₩</b> B		- キャンベーン - 体項 - 掲示	<ul> <li>・午前中の血小板確保のためキャンペーンを半路変施し、血小板確保する。</li> <li>・佐福崎(いがキ・メール)は午前中の協力被補を強調と、月2個程度依頼を行い午前中血小板確保を行う。</li> <li>・午前の血小板液成の必要性を掲示しそ前中の条件者を増やす。</li> </ul>
L							送迎	・市町村瀬具を午前中に透迦し血小板製血をしていただく。(年30日、100名を確保する。)
-	定集款の計画数弦像	勘定施股款血者键 碌	M 18	企業·隨大·華門学校	4月~3月	50	- 原血者送遊	・ 由小板確保、企业確保を自約に定期送迎を年の殴行う。 ・ 血液型製の不足時に送迎できる企業を10団体まで増やし不定時に送迎を行う。

#### ① 若年曆獻血者確保対策

1	平成23年度の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
-		-,	新規·維接	対象者	実施時期	回數	予定場所	内容(辞線に記載すること)
- 1		l.					血液センター	献血に関するセミナーを開催し、献血への理解を深めていただき撤血協力をいただ
現在	15. 7%の20代の献血率を30%にする	献血セミナー	- 報報	大学生及び社会人	4月~3月	108	各大学	K.
1					•n-•n	102		セミナーは年間10個行い、映像素材(ありがとうっていっぱい言わせて・人は人の力
		Laine 1	L		1			【になれる)、パワーポイント(来年度作成予定)を使用する。実施場所は未定。

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の教徒自復	¥#6	W. M. SE	ная	-		具体的な対策·事業内容 予定場所	
青少年のふれあい事業参加者を640人から 800人に増加させる	ふれあい事業	無根	中学生·高校生	4月~3月	108	島液センター 4個 中学校 3回 アネサ州 2回	内容(辞録に記載すること) 血液センター施設見学、説明会、DVD上映等。 学校に改き存成し前前艦)をする。 接来のなかで発慮について話をしていただよう依頼する。

#### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の教徳日福	事業名	-			-	具体的な対象・事業内容	
献産協力企業・団体を850から900まで 増加させる。	就血協力団体 増加対策	新規・複雑	対象者	実施時度 4月~3月	遊歌	各事業所等	内容(詳細に記載すること) 新規事業所の関応を行う。 事業所献金用に作成したリーフレットを用い、保健所、市町村担当者と関行して新規 事業所飲金行っている。

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の敬信包提	事業名					異体的な対策・事業内容	
	ļ	· 蘇漢·維統	対象者	実施特殊		方法	内容(詳細に記載すること)
1			1.0	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	, ,	1. 世子メール及びはがき	1. 年1回の家血者約30,000人に対し電子メールやはがきによる複数回の截由協力
							体施主行う。
現状31.6%の拡張回放血者を35%まで	複数需求由協力者				A .	2. 各部血会場において	2. 蘇島会場において、現在2,500名の複数囲都由クラブ会員を3,000名に増加させ
増加させる	確保対策	無税	年間1回の献血者	4月~3月	i	植物職献金クラブ会員の	るため、QRコード付きのわかりやすいリーフレットを用い、現場にて直接説明し始終
.],	1	[				事集を強化	†å.
					· ·	3. 被救職者由キャンベー	3. 一定禁錮に終力いただいた方で、指定の期間に再度協力いただいた方に記念品
L	<u> </u>	L				P .	を配布し、年2個以上の献血を促す。

	, <del></del>						
1	平成23年度の数能名様 、	**6			具体的な対策・事業内容		
- 1		斯雅·维提	対象者	友施時期 遊散	方法 .	内容(詳細に記載すること)	
			4				
ı		1.				1.4	

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

#### ① 若年曆献血者確保対策

1	平成23年度の敬雄自信	事業名	## ##	7			<b>具体的な対象 事業内容</b>	
1		<del></del>		月末春		H R	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	10代~20代の献血者を25%にする	家庭セミナー	機模	JRC·高校生·大学生·社 金人	4月~3月	25	血液センター・企業・大学	歌曲に関するセミナー(出資口を含む)を制能し、原血への加速を求めてもらい、 製工製場するとともに象曲ボランティアとして背成する。 常曲関係のDVDとうを活
1	tota cotton brim # 553.1617. A B	新成人への徹底P R新記者	#級	新成人。	I.A.	1,6	成人式会場	部的の主催する成人式等で新成人へ献血PR様を約12,000都を配布L献血の意識 を高める。
東京	1の高等学校の敵血担当教論との打合せ 関係し5校に17道の生徒の400mL献 実施してもらう。	高等学校家由打合 せ会	新規	集內高等学校家血道重要 納	7	2		係高年級との共催により高等学校の家血担当教諭との打合せ会を開催し、血液の 需義予測等を説明し献血管発に環解を求めると国時に、新保血基準の実施をお願 いまする。

# ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

	平成23年度の登録目標	*#6	新州 城線	. 対象者	- 東海神県		<b>具体的交换器 事業内閣</b>	
٠		聚血卒業防止対策	新線	の意以上の係長	4月~3月	4	子文基件 各部点会場	内容(影響に記載すること) 平成22年底に放血支援のある40歳を通ぎた方葉ペ10,000人を対象に放血拡援は が巻を進付。放血年齢の上限をお知らせい放血関わを防ぐ。
	SS集以上の産未満の家血者を100名増加させる	献血平泉防止対策	新規	56歳以上40歳未実の県長	4月~3月	4		平成22年度に献血支援のある455歳以上60歳未満の方量べ5,000人を対象に献血 依頼はがきを遂行。献血年齢の上限をお知らせし献血組れを防ぐ。

### ③ 企業等における献血の推進対策

`	平成23年度の微値目標	*#6	新羅·維維	対象者	****	-	具体的な対象 事業所要	
	蘇血協質企業を20代増加させる	献业位置企业活动 推進平准		金集及び団体	4F~3F		予定場所 各平本所	内容(詳細に記載すること) 企業及び団体に単血の環状と酸血サポータ事業の説明を行い酸血への環境を悪め てもらい観視的に飲血にご協力していただく。
.	所規・体止敵艦協力団体を50団体増加させる	家血協力団体増加 対策	***	全意及び団体	4月~3月			新規企業・団体への禁錮を引き続き強化する事で放血協力団体の実徴を増加させ る。

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

	平成23年度の敬信日標	**6	1			·	具体的な対策·事業内容	
		7.80	新順·維装	対象者	突旋時期	88	方法	内容(詳報に記載すること)
	複数原献金クラブの新規金保者を3,000人権 保する	被撤回献血協力者 確保対策	46	年1回の収金者	4 <b>月~3</b> 月	1 .	各家血会場において被数 脚離血クラブの情報体配 ホレラニより会員の事業を 社会する。	
1	複数回常点クラブ会員へのメール・はがきた よる献金要請い応謝率20.0%を目指す。	被兼回放血協力者 確保対策	MAR.	複数回旋点クラブ会員	4月~2月			メール15,000道·はがき100,000道により放血依頼要請を行う。
	5 その他				· · · · · ·			

平成23年度の数値目標	平京名 新港・総統	1 1 1 1 1 1	具体的な対策・事業内容		<del></del>
***	**************************************	万里有 克莱特州	<b>開教 方法</b>	内容(詳細に記載すること)	
<u> </u>		<u> </u>			

平成23年度の最後直標	*#6	新城-韓极	対象者	実施時期	S# 1	具体的位列策·事業內容 予定場所	「内容(詳細に記載すること)
著年暦(10代-20代)の家血率を30%にする。	若年名献血セミナー		高校生·东門学生·大学生	4月~3 <b>月</b>		血液センター または各学校	①学生放血互張のキャンペーン・4年回子変(重・4・毎)を開催者に200人の学生ポランティアを海負して収血を増での声動けや配金の退力をお願いする。 ②伊藤学生ン・デー南部会の支援。・年2日開催予定・参加学生登100人、各員の学生がフナイアに参加してもい。収益の知識や必要性などの調査を持て、の大学では学生最高型を支化は、学れて塩の管理と扱う。900代(世際開催と者と)の実施を目前で、公場下学や原理を記念3月、900代(世際開催と者と)の実施を目前で、公場下学や原理を記念3月、900代(世際開催と者と)の実施を目前で、100円で学りでは、100円で学りで学りでは、100円で学りで学りで学りで学りでは、100円で学りで学りで学りで学りできない。100円で学りで学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円で学りできない。100円
							る。・現在放血協力をいただいている学校については映像(DVD) やリーフレット(景のかたち)等を使用する。
② 献泉者の年齢層に応じた献血推進	対策						

1	平成22年度の後継事程	事業名	L		<del></del>		異体的な対策・事業内容	
	<b>ヤボカギョの気を会体</b>	中央市	新規·維接	対象者	英族時期	自無	<b>予定場所</b>	内容(辞稿に記載すること)
	親子血液セミナー(参加者200名)		維統	小学生(親を含む)	7月~8月	5	異次センター	小学生を対象にセミナーを開く、パームページでの広報や勘定施数でのポスケー機 条。セミナーを開催する施設の付近にある小学校へ事情に訪問し、セミナーの生態 を過去の開催条様なだ数まえを説明する。)
	出前セミナー(参加者500人)		維統	中海牧生	4月~3月	5		中・高校生を対象にセミナーを唱く。 接来や学療などに出向き血液の話をする。 (協力いただいている学校に訪問し映像(DVD)やパワーポイント等を使用する。)

4	平成23年度の後値目標	事業名					異体的な対策・事業内容	
	十級24年底の数量日4条	. +#0	新线-維線	対象者	实施時期	回数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	新娘-休妮団体献血実施50社	献血協力団体増加 対策		歌曲未実施企業・団体と 体曜企業・団体	4月~3月			版曲協力のない企業のHPなど開覧し社会資源活動をしている団体に対して電話等 を使い、放出の必要性は無いをする。新曲協力団体に対しブループ企業で採血をしていない企業を紹介しても65。5年以上版曲協力が高さかっている企業に再度献 曲の数様をする。

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

ſ	T-24-1-7-7-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	事業名			<del></del>		具体的位列策·苹果内容	
-1	平成23年度の教練音機	中央也	新規 稜線	対象者	实施時期	國數	<b>方法</b>	内容(辞典に記載すること)
		被被磁放电弧力者 破保事業	維統	初層、及び年1間の放血 者 放張協飲血クラブ未登録 放血者	4 <b>月~</b> 3月		1. 複数回家血クラブ登録 キャンペーンを実施し、各 駅血会場において会員登 球を発化する 2. 電子メールおよびはが きによる協力依頼	1. など物味量ソフェ共産系のでくいのもも場合とも、外に、ヘナ・キ・デザル・ の苦年毎中心の原金を扱ってい、土土の高を設定的政策のアプエを関すやサイトスタン バー等使用し、昇展性化を行う。 3. 加回学会やにが必然にて学会とは高級となる回答をクラブを終え起す。

	· · · · ·							and the second s
Г	・平成23年度の強徳日標	事業名					其体的位列策·事業内容	
_	・一年の子覧の家屋目は	<b>***</b> *********************************	新規·蘇坡	対象者	実施時期	多象	<b>力造</b>	内容(詳細仁記載すること)
40	OmL散血率88%		維領		4月~3月		1.400mL就血のみの会場 を作る。 2.勝定施設での400mL課 血の推進。	1.三次センツー主催の保護やスーハーを支持にする。ZAUMに原品かずい際定配数   のはおすせな! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8	動機会(こおける) 稼働あたりの確 保単位策 7単位		無機		4月~3月		11.事業所、担保の見載し。	1 蔵庫書振った企業・関体について内容を検尿し、今後の蔵血への協力体制の見 版す。 2.の景数を確保するため、複数密移動を増やす。

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年層献血者確保対策

Г	平成23年度の教徒日標	¥#6					異体的な対策・事業内容	
$\vdash$	TRIOTECHE	720	新規·租接	対象者	実施時期	画數	予定場所	内容(詳細に記載すること)
L	10代・20代の放血者を25%にする	献血セミナー	雑枝	高校生·大学生·菲門学 生·社会人	H24下半期	2日で100人		ショッピングセンターにて実施環境での政語やO×クイズなど大人から子供までが 走しめる内容としたイベント飲血を実施
	*	大学·専門学校学 内	維経	大学生·専門学校生-教職 員	年間を通じて	OBで900/	学内	侵索時期内での新血素施と大学祭での献血業施。 大学8・専門学校4・高校1 策施している。
ſ.		全国サーキャン ベーン	継続	高校生·大学生·専門学生	年間を通じて	8回で400人	ショッピングセンター	<b>献血当日の書見活動と三夏大学応復団による演奏</b>
	*	岩年者ペア献血 キャンペーン	新規	大学生·専門学校生	その大学献血	2回で100人	华内	2人以上の苦者が対象で敵血に協力頂いた場合相品を進直し若者の敵血域を掴る
	•	出前授業	線接	小·中·高校生	年度内	3校各1回		血液の動き、大切さを知ってもらう。 政物変質センター等と連携し、前の大切さを考えてもらう内容にする。

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

② 献血者の年齢層に応じた献血推進	対策						
平成23年度の敷掘る標	¥#6	新規·維提	対象者	英族共和	<b>回</b> 数	具体的な対策·事業内 予定場所	内容(詳細に記載すること)
200Å	新少年ふれあい事業	維統	小学生と保護者	年政中	4	血液センター	小字生の領子に対して血液の大切さや助け合いの心について架子で混しめるクイズ・ 次次会等の間度
「パパ・ママ献血しようよ!」キャンペーン 200人	年齢層に応じた献血性違対策	藝規	お父さん・お母さん	年在中	12	御曜・ルーム	干飲の目譲から干損さんがお父さん、お母さんに裏血って何と尋ねて、人の低に つことを理解してもらいながら、パットやマッが予報道に事実して飲命をして頂くデ スペーンさき、20~40代の関係さんを労争として実施で、実施のの理解と かた来から事を目的とする。基血していただいたお父さん、お母さんには子供さん 組巻を選集でき、神管後、事務をかかれたターになっ

C and the control of							
平成23年度の敬儀負担	平黒名					具体的な対策・事業内	
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7.00	新規·維接	対象者	実施再順	<b>B</b> 数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
成分截血協力団体を募集10団体増やす	献血協力部体場加 対策	維接	全典家血協力企業・団体 及び少人数の企業・団体	羊皮内		血液センター等	翻室施設周辺の各倍体・企業に成分飲血への説明と協力依頼を行い、選単位で基 血予定を続んでもらう。協力していただく際は、相手団体・企業からセンターまで収 緊血協力者の返避を行う。
	企業における献血 の推進対策	裁技	企業・団体の収典	年度内		企業·创体内	新規事業所の開拓・家血変施事業所担当者に系列企業・グループ会社等を紹介して頂く
3年以上休眠状態の敵血協力団体20箇体の復活	企業における献血 の推進対策	維統	企業・団体の職員	年度内		企業・団体内	3年以上体験企業・団体に対して協力体験する。企業担当者だけでなく幹額・トップ に高会させて頂く
	企業における創金 の推進対策	新規	企業・団体の報貨	年度内		企業-団体内	企業に新入社員及び企業での初散血に協力する人を対象に、 献血出来た方に相談を進業し、企業献血の摩辺を広げることを目的とする

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の後續日標	##6·			<del></del>		具体的な対策・事業内容	
干成の年後の最近日本	***	<b>新聞・雑様</b>	対象者	夹施時期	田敷	方法	内容(詳細に記載すること)
被教団都血クラブ会員を入会依頼ハガキで500 名増加させる	複數國數本書確保 対策	新規	放教器献血クラブ未加入者	<b>通</b> 单	12	QRコードを印刷したハガ キの郵送	毎月、移動振命で飲命した複数回飲血クラブ未加入者1CQRコード人りの加入依頼 ハガキを送り、複数機飲血クラブへの参加を促す。
新顔散血(キャンペーン・イベン・開催時)にメール による敵血要請で応騰者最を500人にする		報報	複数国家血クラブ会長	選年		メールによる飲血体質	管理放血での凝血キャンペーン等においての放血への参加を誘導するために、地 域別に複数因放血クラブ会員を対象に依頼を行う。
顕書による献血依頼で応防者敷を年間2000人に する		維統	県内在住の成分製血養機 者	温华	12	東書による献血体類	国定施設での成分飲血を誘導するために、誕生月の成分飲血登録者に依視気を 出す。
年(國実施企業を年2回実施 7企業		12.02*	企業職員	選年	30	企業担当者の理解を持て 企業収長に飲命款明会	被価値撤血キャンペーンを輸に銀鋼する。提出者へは、今後の血液不足等を丁厚 に接続する。
年2回安施史泉を年3回安施 5企業	•	難線	企業職員	選年	.20	企業担当者の理解を得て 企業職員に献出説明会	被吸回就由キャンペーンを輸に展開する。但当者へは、今後の血液不足等を丁草 に説明する。

### ⑤ その他・

	#23年度の数値目標	事業名						
	120年後の東京日本	480	新規·維統	対象者	実施時期	曹欽	方法	内容(詳細に記載すること)
成分數点登録者	を100人/月を目標に募集する		網板	成分聚血未養類者	道年		移動排血の金塩におい て、金銭者の募集を行う	移動機能会場において、徹底終了後の休憩中に成分離血の説明を行い、応能後置 建中込書への記入をお願いをする。
血液セ	ンター祭りで100人産係		新規	近順住農等	年夜内	1.	夏奈りの一つとして行う	血液センターのPR、バス・施設の見学・記念写真・出店等

#### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

准置機 赤十字血液センター

#### ① 若年層献血者確保対策

.	平成23年度の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	<del></del>
		740	新規·維証	対象者			予定権所	内容(詳細に記載すること)
	高校献皇を新たに3校以上実施	其校献血	<b>65/8</b>	高校生	4月~3月	- \$	<b>经内室等学校</b>	職状合牧の実施であり全ての学校で400mに創血の基準がある主義には静脈して いる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	献血セミナーを開催 各キャンペーン会場に50名	家庭セミナー	新坡	高拉生~大学生	4月~12月	3	県内蔵血キャンペーン会場	キャンペーン会場で「八月の二重要」などを上映し、散血の必要性や無額を伝える。 変な機由グッズが当たる極温会などを実施して著者が寄り果まりやすい工夫をす る。

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

·ſ	平成23年度の数値目標	事業名			•		具体的存货表 李集内容	
1			新規·維設	対象者	実施時期	無数	子定塩房	内容(詳細に必要すること)
٠.	小学生~高校生を400名募集					٠.		家血会場近くからすいすい寺に最級し紹内で家血クイズや家血についての勉強会を
1	引革保護者を200名募集	サクキャれおい作業学習	<b>粗根</b>	小・中学生及び保護者	7月		長漢市内部血会場	部の大学などのようでは、「一般地であり、これはシェンケを表現していての地域をで
ı								

#### ③ 企業等における献血の推進対抗

_						9.1			
1	平成23年度の微値目標	事業名					具体的な対策・事業内容		
L	A house - Land and the land	7.0	新規·維維	対象者	表面传用	自動	<b>ラ皮場所</b>	内容(禁禁に	記載すること)
1	新規等金額 10社	新規製血団体地強	無線	集件企業	4月~3月	-	遊覧集内		
٠.		***********		mrs.m	*A,OA	20	<b>EXEM</b>	新規献血協力団体を10社以上増やす	

#### 複数四献血協力者の確保対策

· [	平成23年度の数値回線	平黒名					具体的な対策·軍業内書	
Ŀ		7	新規·集級	州東省	実施時期	88	方達	内容(詳細に記載すること)
ľ		献血密体の年間実施器 数の増加依頼	推模	金属・団体等の敵血団体	4 <b>月~</b> 3月	福寺	毎月の記率計画と道徳し で開時に依頼	年1部の実施大に対し年2回の実施を依頼し、20部休平均10名の増で200名を日 保

#### **⑤** ₹の#

					, "			
1	平成23年度の鉄磁官器	事業名	***				具体的な対策・事業内容	
			新規·葡萄	対象者	<b>天集時期</b>		方生	内容(詳細に記載すること)
.	応報者数(実協力者)3,000名	メール・はがきによる敵 血依頼	報號	養殖会場等の仮認力者	4月~3月	每月開時	メール・はおきにより放血 発統・依頼をする	協力者の音様は、メールでは1、000名以上、はがきでは2、000名以上
	新版整線者200名以上	都送等によるメール会 員務集	報帳	爾定義数等の抵協力者	4 <b>月~</b> 3月	<b>每月程時</b>	OM専により新規登録者	個定施数への飲血依頼に供せて200名の新規金録を目標にメール会員の募集を 行う

#### ① 若年曆獻应者確保対策

平成23年度の登録 国 48	事業名				<del></del>	異体的な対策・事業内容	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		新撰·雜段	対象者	表施時期	自数	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記集すること)
著年者(16~29歳)の家典者領域比を315まで 上昇させる	放棄セミナー	模技	京都第一条十字看護事 門学校新入生	48		日本非十字社京都府支部	血液事業に関する誤消を実施し、飲血への理解を集めてもらい、飲血協力をいただく。参加者40人。
•	献血セミナー	兼続	京都府青少年寿十字高 校生メンバー協議会	5月と2月		血液センター 日本赤十字社京都府支部	血液事業に関する誘環を実施し、数血への理解を繋めてもらい、数血推進にご尽力 といただく。参加者第40人。
	献血セミナー	維統	京都市成人式来場者	1月 ,	1 :		はたらの家由キャンペーンの一環として献血のPR。 けんけつちゃんと一角に製血検定・写真撮影。製血権進用DVDの放映。末場者 5,000人以上。
	献血セミナー	維統	高校生	9月	-1	京都府立北極維高等学校	学習祭でけんけつちゃんと一格に献血核変。参加者300人以上。

#### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成21年度の微値 日 名	¥#4					具体的な対策・事業内容	
		新規·総投	対象者	突旋時期	自数	予定编表	内容(詳細に記載すること)
親子で400人以上の参加	歌曲セミナー 「こど(R曲田機能」 「こど(Jan 1903年)	維装	小学校高学年とその親子	7~8月		京島ルーム 日本赤十字社京都府支部	家魚の意義等の勉強を
100人以上の参加	家庭セミナー	維税	京都府青少年赤十字ト レーニングセンター参加 者(小・中生)	8.Fl	,	701.00	家山の意義等の施強会 歌曲ウルトラウイズ
300人以上の飲血協力	献泉セミナー 「高牧生だよ!! 献島キャンペー	. 雑様	京都府内の高校3年生 (卒業予定者)	1~3月	1	献金ルーム 移動図金車	高校平高予定者へのリーフレット配布
1試合あたり50人以上に検定	献命セミナー	報模	来塩者の親子	4~10月			日本女子プロ野球テームとコラボレーションした献金 推進。けんけつちゃんと一緒に試合会場で飲血検定。
1開催あたり100人以上に検定	献血セミナー	機機	行政主使のふれあいまつ リ 参加者の親子	4~11月	•	ふれあい実行委員会実施 会場	行政とコラボレーションした献血推進とけんけつちゃんと一緒に献血検定
1開催あたり100人以上に検定	献血セミナー	***	ゆるキャラ等イベント参加 者の親子	通年	4	各实行委員会実施会場	表行委員会とコラボレーションした歌曲推進とけんけつちゃんと一緒に歌曲接定
児童、保護者併せて60名参加	Kids献血控侦图	椎板	小学4~6年生	H23年7月末頃	.,	献皇ルーム京都宗前	献血に関するセミナーとルーム見学会を開催し、献血への理解を集めてもらう。また、参加された保護者には献血協力をいただく、献血説明用バネル等を使用する。

# ③ 企業等における献血の推進対策

				The Maria Control			
平成23年度の数値器 提	事業名					具体的な対策・事業内容	
	775	斯埃·維殊	対象者	実施時期	②微:	予定場所	内容(詳細に記載すること)
ロゴマークの配布目標41社(団体)	献血協質企業活動 推進活動	<b>編版</b>	企業及び団体等	4月~3月		各事業務·団体等	独自のお願い文書や説明資料を作成し、それを用いて献血協資企業等の募集を行う。
新規献血協力企業・団体等を5社・団体を自 標に増加させる。	献血協力企業·西 . 休場加対策	推嫌	企業及び団体等	4月~3月		各事業所·団体等	新規全幕・団体等の競妬を行う。
企業・団体等における年間複数回の協力を3 社場解させる。	献皇協力企業・団 体増加対策	##	企業及び団体等	4月~3月		各事案所-団体等	既協力企業・団体等に対して依頼をする。

#### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の最優日 提	平本名 .				~	具体的な対策・事業内容	
	7#4	新規·總統	対象者	実施時期	- 函数	方法	内容(詳細に記載すること)
度数回載曲者の割合を献血者全体の35%まで上昇させる。月1回の定期メール献血要類で応端率16%を首指す。	複數函獻血協力者 確保対策	超報	複数国献血クラブ会員	4月~3月	12	献血要請メール送信	毎月1日、登録会員に協力要請メールを送信する。
	複数回款血協力者 確保対策	相談	技数回献血クラブ会員	4月~3月	12	情報接供メールの送信	毎月1回程度、金典にメールで飲血助道の情報を提供し、飲血への関心の持続を かる。
*	複数個献血協力者 確保対策	裡級	複数回献曲クラブ会員	10月~12月	•	健康権限事業の実施 (3が教堂)	金具の保原地流を囲り、家血への意味をさらに高めることを告約として、専門家に、 る保原相談を実施する。1回あたり20人の参加。
	按数回 <b>总</b> 血能力者 確保対策	<b>桂枝</b>	複数回献血クラブ会員	3月	.1	請演会の実施	複数回旋角と健康管理に対する意識をさらに向上させる ことを目的として変換する。35人の参加。
F損産蜂曽保敷を年間1800人とする。	複数回献血協力者 確保対策	維疑	全献业者	4月~3月		無由Priends会員募集幣リーフレットの作成。 情報送等の作成	放政部献血クラブの金貨増加をはかるため、とくに大学・平黒所での募集活動を接 化する。また、募集する研の金旗を高め、累積にメリハリをつけるため、年に6種の 金銭値化週間を設定する。
5第平20%	複数圖家典鑑力者 確保対策	超級	6カ月前、10カ月前の献 血者	4月~3月	125	ハガキによる萎縛	6か月前、10ヵ月前の400mL家血者の歌血者にはがをにより歌血の裏頭を行う。
	複數图献血部力者 確保対策	一种组技	献金ルームでの400mL献 血者(一体の街頭献血も 含む)	4月~H24. 4月	男性3個 女性2回	キャンペーンカードの配布	献泉ルーム(一種の新瀬歌曲を含む)での400mL高泉者にキャンペーンカードを取付し、次田も献畠ルームでの400mL献皇を依頼し、次田受付時にキャンペーンカーと引き換えに配き品を返す。

#### ⑤ その他

1	平成23年度の数据目 福	¥#6			<del></del>		具体的な対策-事業内容	
1		7.00	新規·報报	対象者	実施時期	四数	方法	内容(詳細に記載すること)
	応諾率20%	お誕生月キャン ベーン	新挽	製生日月の家島者	4月~3月	120	ハガキによる要請	選集日を選えた家命者にハガキにより家命の要請を行い応答者には記念品を放 す。
	応送率2014	リターン放 <b>点キャ</b> ン ペーン		H18年度〜H22年度の献 血者	11月~3月	5@		H18年度一H22年度の協力者で、敵血関係があいている敵血者にハガキにより敵 血の要請を行い、記念品を讃す。

### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の数値目標	事業名			<del></del>	·	具体的な対策・事業内容	
		新規-機炔	N2 T	実施時期	<b>國教</b>	子主电路	内容(辞報に記載すること)
10~20歳代の徹底を25%まで引き上げる (H21年度は22, 4%)	家命セミナー	概板	高校生、専門学校生	7月~1月	5回	泉波センター	高被生を対象とした家会セミナーを由波センターで開催。専門学校生にはセミナ 及び献血ポランティア体験学習を実施。
10~20進代の献血を25%まで引き上げる	間定施設における 若年層の200mL献 血の被扱的な受入 れ	新規	10〜20歳代の苦年展	4月~3月			間支施設において、若年間を中心として、200mL放金を受入れる。(H21年度比5 人場の予定)
② 献血者の年齢層に応じた献血推	建対策	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			. :	•	<u> </u>

- 1					*			
	平成23年度の敦徽目標	事業名	<b>新版·推接</b>				具体的な対策・事業内容	
	小学生やその父兄内けの見学会の参加	-		州東省	英族時期	<u> </u>	子定場所	内容(詳細に記載すること)
	(1,200-2)	おもしろゼミナール	- 職級	小学技術学年とその父兄	7A~6A	1698	血液センター	小学技能学年間とその父兄を対象にクイズ形式の試話や施設見学を実施する。
,		L	<u> </u>				1	プロルナー場CTの人元と対象にクイス形式の英語や施設見字を実施する。

							the state of the s	
平成23年度の数値目標	事業名	新規·維統	対象者	2400	T 84	具体的左对策 事業內實		٦.
新規協力企業(団体)の確保		5 7.0		111	<del>  ■                                   </del>	子定場所	内容(詳細に記載すること)	1
(60社)	涉外活動	機能	企業・団体	4月~3月	1.	移動接血革	推進団体の協力を得。団体献血に取り組む企業団体を埋やす。	1

### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の敬道自復	##4	新维·维维	月		具体的应用量-事業	
ハガキによる応義事を10%以上にする	依備八ガキ	##	聚化碳酸盐	宴集時期 4月~3月	図数 方法 応警者キャンペーンの 実施	内容(詳細に必成すること) 応報者に対する記念品を作成する
新規Eメール会員の獲得放、年間1万人	けんけつビ集業部	新展	<b>张山村教者</b>	7A~3A	新規会長選得キャンペンの実施	新規セメール登録者に記念品を適直するキャンペーンを実施

					<u> </u>	and the state of t				
	平成功年度の数値音機	平泉名 .				具体的な	対策·事業内容		<del></del>	
			新維·維接	対象者	完革時期	音表	方法	<b>卖卖/报</b>	自に記録せること	
٠.		1					1. 7	778 1474	P-E-E) S-C/	<del></del>
		·			L	1				

## 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

## ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の衆徳日禄	事業名	新規・維控	NA.			具体的位用量 事業所書	
400-8 D.L	著年高献血セミナー		小中高校及び大学など	衰進時期 4月~4月	4建以上	予支電所 各学校及び血液センター	内寮(詳細に記載すること) 将来の安定的な家島者確保に質するため、幅広い年齢層を対象にH22年度実績で ある4個(大学生対象2個、高校2個)以上の実施を目指し、新たな実施校の関拓を行
領内の高校2-3年生全員	17歳の飲金キャン ペーン	新規	高校2-3年生	4 <b>月~</b> 3月	: 🗃	集内高等学校	/* 飲血基準変更に伴い、今年度まで実施していた「は他の家血キャンペーン」から移行。県内50,000人(H22年度実績)以上の高校2・3生を対象に家血認知の拡大を服 る。

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

ſ	W-man for m - m - m - m		<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>		<u> </u>			
٠,	半成23年底の最佳自体	. 平業名	新维·模様	<b>州東省</b>	表施時間		具体的位射策 事業內容	
٠ ١		青少年等献血を払		3.00	7474		予定等所	内容(辞稿に記載すること)
-1	320人以上	あい本意	推模	小中高校生(保護者含む)	4月~3月	58	直接センター等	各種体験学習(保護者含む)を推進し、家血の必要性及び重要性を学ぶ組金を創出
ŀ								に将来の献血者を育成する。
- 1	100人以上	原体みことも見学会	W. 65	<b>179</b>				#4F-74-7-7-8-9-
ı			77	742	7~6月	1~26	泉液センター	放血についての勉強・無数見学・本社から配付されたDVD起業等。回数については、希室者後に応じる(H22年皮実練100名)。

### ③ 企業等における献血の推進対策

4	平成23年度の数値自模					44			
	- 一下の十四の女性目気	事業名	新規·模様				其体的な対策·事業内容		
			一一百万十年第	対象者	実施時期		子主场等	A-0-/	
- 1			1 1.					内容(辞録に記載すること)	
	124個体	家血線質企業活動	mare   1		v	, ,			
		接進事業	<del>42.</del>	企業·随体	4月~3月	· (50@)	企業・団体	学内の協質企業・個体を誘動し、ロゴマークを記者する。	
		·+-				1		きいのかどかず、日本を始出し、173 4~25年のよう。	Į.
								<b>.</b>	

# ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の教領目標	平准名	新規·模様	NAT	- Alfred	 具体的位分量。事業内容		
母家献血者張に対する年2億以上の献血者 数の割合を27%を自指す。	複数因獻魚協力者 確保対策	#校	年に幾の献血者	4R~3R	 はがき・対容による放血体 械	内容(部領に記載すること) -、はがきや針客による複数回の	の献血協力依頼をする。

				a transfer of	, -				
平成21年度の敷盤目標	半葉名	-				具体的な対策・事業内容			
医療機能からの需要に応じた必要な200m		新規·継続	MAR	实施特别	想做	方法	1	内容(評価に記載すること)	
探点を行い、400mL献血を一番推進する。	- 1	1 1							
(200mL採血約4,000本/400mL放血率約	400mL獻血推進	新規	全家血管	4R~3A		(モバイル)の活用	1. 30mに産業の必要徴と4 家庭会場での300mに保金り	Oml単血の必要性のテラン、1	報等の資料の活用と
95%)	1	1					2. 英國家血可能日表PRY	人ののソナルライム表示 人をかっぱっこっと音句	

#### ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の最適目標	事業名		具体的位列策-专案内容									
	7#4	新嫂·維校	対象者	実施時期	日本	予定場所		内容(詳報に記載すること	,			
年2億時億、参加50人	セミナー開催	横纹	高校生、等門学生。 短大生、大学生、 社会人	4月~3月	2	血液センター	輸車の現状					
年10校業由実施	高校歌曲	新規	高校生	4月~3月	10	各基校	高校生への普及啓発・					
献血者撤金体の5%階保(17校対象) 上記(高被敵血含む)	大学·短大献血	新規	大学、殖大生	4月~3月	25	各大学·各班大	大学生、短大生の普及客角	: * :				
 termination of the state of the			·					<del></del>				
② 献血者の年齢層に応じた献血折	136 54 GE				1.00							
 ● 神田日の子野海(〜10℃/二級川川)	1馬門果						Association of the Control of the Co					

平成23年度の敷殖 日標	¥#6		<b>具体的位列管-寻案内容</b>						<del>-</del>
		新規·維練	対象者	夹施件期		予定場所		内容(辞報に記載すること)	<del></del>
300人以上の参加	歌曲まるわかりぜミ	報機	小学生	7月~8月		血液センター	小学生への献血知識商上		-
			······································					<del></del>	
③ 企業等における献血の推進対策	I .	*		100			the street of the con-		
					3 S	-	i	ing the last of the state of	

ſ	平成23年度の養殖 目標	***					具体的な対策・事業内容	
1			新規·總規	対象者	実施時期	色素	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	4社量鍵	新規辯拓	組紀	企業及び団体	4月~3月	24	各事業所等	新規献血協力企業・団体の確保
	2社豊株	休眠開拓	難挟	企業及び団体	4月~3月	12	<b>多事業務等</b>	休眠平泉府・団体の再路の働きかけ

#### 後数函献血協力者の確保対策

- 平成23年度の後線 自信	華業名					具体的な対策・事業内容	<del></del>				
		斯维·維接	対象者	美統時期	<b>自</b> 数	方法	内容(詳報に記載すること)				
平均年間家血磁敷1.3回	複数回献曲 キャンベーン	報技	400mL献血可能者	4月~3月		カード配布	移動機会革にて400mL旅会を2回以上協力				
400mL放血協力者の5%	複数因数点 キャンペーン	新娘 :	400mL家血可能者	4月~3月		チラシ・カード配布	移動提血率にて400mL放血者に成分放血を チャレンジ協力				
⑤ その他											

#### ⑤ その他

平成23年度の教徒 首構	事業名	新規·維維	対象者	****		具体的な対策·事業内害	
年4回实施	国定施設献血者の			8678		万法 ホームベージとメール会	内容(路線(記載すること)
	增加	斯規	献血希望者	4月~3月	4	負 に案内	ウィークディに実施し、記念品を進量

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

#### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の教徒 目標	524					具体的な対策・事業内	*
	7-0	斯規·維枝	対象者	実施時期	回数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
キャンペーン中の16歳~25歳の岩年層献康 車を30%にする	学生献血推進協議 会主催キャンペーン	維挟	有年限を中心とする 献典者	7月~2月	. 70	県下一円	サマーキャンペーン。クリスマスキャンペーン以外に 乗板断学生数血推進キャラバン隊(仮名)を軽成し、東下5市で採血車の配車並び に学生による客早期を中心に敵血の呼びかけを実施する。
高校生の献血者数を1000人にする	高校生献血学習	2. 超級	高校生	漢年	未定	保下円	電長・外部調師による放血製法を実施し、後日の校 内蔵島または役外での鉱血参加意識を高める。
4校でセミナー実施 受講者約600人	若年者献血セミナー	維統	大学生、専門学校生	通年	388	大学、専門学校	大学(2校)、専門学校(2校)で場所を確保し、決済・展示を行なう。
② 献血者の年齢層に応じた献血指	<b>E進対策</b>						

	平成23年度の微値 日福	事業名			·		具体的な対策・革集内容	
		1	新規·維択	対象者	突施時期		- 予定场所	内容(洋線(に記載すること)
	60歳台の家島率を10%にする		親統	60歳以上の条長	4-0月		1	海景は高齢者が多く、若者が少ない現である。60度代の放血可能者(特に50-64 展)1,300人に飲血の資内を送り、放血を使すことにより放血可能率終の選差を置 り、高齢者の放血を送やす。
o.	血液管理センター見学を実施にあたり、色新 関社ペプレリリース、曲センターホームページ へ掲載し希望小学生40人以上等る	管少年等献血ふれ あい事業 .	維統	小学生	7~8月	28	丸液管理センター (福知山)	小学生に放血に興味を持ってもらい、将来の敵血につなげる。また、同伴の保護者 の方にも改めて歌血について認識していただき、敵血に参加をお願いする。
	前服実施校への協力依頼及び各新開社への プレリリースを行い100人の参加者確保	青少年等献血ふれ あい事業	総統	小学生を中心とする子供 選	9~11A	2⊠	董事会場、小学校	飲血事見学、受似体験と説明により飲血に関心を持ってもらう。

#### ③ 企業等における献血の推進対策・

- 1	平成23年度の数語音標	事業名					異体的な対策・事業内容	
. }			新统·维统	対象者	类旋時期	回数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
	新規企業・団体5社獲得	新規献血協力企業 の開拓	提校	企業-団体	選年			乗、各市町村担当者から平黒所・団体の情報をいただくと共に家血協力へのアプローチを行い新規平黒所・団体の情報を行う。

### 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の数値自提	¥#8	具体的な対策・事業内容								
		新操·框模	対象者	突絡時期	曹	方法	内容(詳細に記載すること)			
1.000人の複数団献血クラブ新規加入	複數函數虛協力者 確保対策	推報	複数団献血クラブ未加入 者	選年	福時	家血会場で勧誘を行う	接適時、クラブの入金票内のテランを激し投寄する。特にメールの扱いに慣れた、 若・成年度にターゲットを絞って損極的に勧奨してみる。			
応諾教7,360人(応諾率8%)  ハガキ依頼証べ8万人  メール送付6団	複数回獻血協力者. 確保対策.	担绕	献皇者(過去3年)。 前国献血から一定期間未 献皇者	通年	超時	常力・体格	ハガキ8万温(過去3年間献血いただいた方より検索) メール12,000人(2000人×6回: 献血のイベント支送時に会員に呼びかける) 前回献血より一定期間未献血者にハガキで依頼			
150人(二氢原相接 経底相談:ルーム3倍、120人-バス3回、60 人)	包座相談	維税	献血者、献血不適格者	温年	幅	献血会場で健康権技術を	献血者、飲血不適格者に助脈硬化測定や健康措施を行なうことにより献血のアヒルと確認に関心を持ってもらい、次回の敵血に繋げる。			
) その他										

平成23年度の数値自復	- 事業名					具体的な対策・事業内容	
		新規·維秩	対象者	<b>实还時期</b>	回数	方法	内容(詳細に記憶すること)
洪漢勝数10回 うち7校・団体で献血実施。 受付表証べ300 人。	出資品産の実		小·中学校(父兄を念む) 宮校·大学·専門学校・歴 体	24	10	蒸洩の実施	探波を行うことにより故血に関心を持ていただき、今後の歃血に飛げる。

### ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の管備目標	平泉名					具体的左对策·事業內容	
	780	新規·規模:	対象者	实施岭湖	<b>6</b>	予定場所	内容(詳細に記載すること)
年間12個開催し、参加者400人を包提とする。	献集セミナー	#42	小・中学生及び保護者 大学生 県・市新提保州戦員	4月~3月	122	血液センター 県の施設 島取大学	徹血に関するセミナーを開催し、家血への理解を深めてもらい、歌血協力をいただく。セミナーは年間12回とし、パワーポイントを使用する。
キャンペーン期間中の10代20代の模成比を 30%以上にする。	著年原献血 キャンペーン	機械	高校生及び大学生	4月~3月	68	排血器定施数 等类排血率	昼の日、父の日やパルンタイン等の時期を清解し、チラン等を配布することにより禁 血の必要性を増加していただく。
18歳から29歳までの協力者の目標を年間 10,000人とする。	若年際に対する 献泉依頼の強化	維統	18歳から29歳の老者	4月~3月	488	探血酶定抗致 移動保息率	はがきやモメールにより、富血の協力を呼び掛ける。

# ② 献血者の年齢層に応じた酸血推進対策

: 平成23年度の数額目標	平黒名		. 具体的心外带-事業内容									
	7 7 7 7	新城·韓線	対象性	支施時期		7246	内容(辞録に記載すること)					
60歳以上の食血酸血者を5%増加させる。	原血管碳保対策	・・ 新規	90歳以上	4月~3月	12周	探点器定路放	はがきで放血の協力を呼びかける(200名程度)					
50歳以上の男性成分献血者を20%増加さ せる。	家血者確保対策	新規	54歳以上の男性	4共~3月	128	保血器定施設	はがきで厳劇の協力を呼びかける(200名程度)					
10代の男性400mL献本者を30%増加させる。	献血者確保対策	新規	17歳の男性	4月~3月		多為技士率	学校を訪問し、開始を認る。(15校)					
③ 企業等における献血の推進対策	ŧ	1000										

### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の敷殖目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
- I MALE THE SAME BUT	7.00	新维·维徒	州東省	突滅時期		手支撑所	内容(詳細に記載すること)
5社の増加	策急要請可能な企 集の確保	維練	提血器定施致近期企業	4A~3A		保血療定施数	新規事業所の観光を行う。
はな社の増加	体観企業・随体の 配車の方法等の拡 大	機械	授権権小により献血安施 できなくなった企業・団体	4月~3月		国家施設の周辺事業所	体紙企業の適り配こしを行う。
名力企業·団体500社	事情推進の徹底	模様	献血協力企業・団体	4月~3月		県内家血協力企業・資体	血液の要状を周知するチランを事故に持参し、周知を図る。
献血権進活動函数12億増やす	ライオンズクラブ等 の運搬強化	概報	<b>献血掩道協力団体</b>	4月~3月	24回	集内家血推進協力關体,	機体主催の事務学習金等に機理的に出向き、表状を影響し電解を求め実施研念 増加していく。
<ul><li>④ 複数回献血協力者の確保対策</li></ul>					. ,		

### 値数回献血協力者の確保対策

平成23年度の散雑音様	<b>##</b> 6					具体的な対策 事業内容	<del></del>
	720	新規·維接	- おま者	東接利用	- 日本	方建	内容(詳細に記載すること)
応護率を30%以上とする。	被被回款金額力者 確保対策	<b>##</b>	政策国献血クラブ会員	4月~3月	24期	電子メールによる協力依 補	金貴に対し、電子メールにより複数圏の献血協力値類をする。
応諾卓を30%以上とする。	街頭献血の協力者 確保対策	#48	前直接血からの一定期間 の米敵血者	4A~3A	12個	はがまによる依頼	はがきで献命の協力を呼びかける(1会場100名程度)
10企業・関体の増加	- 全京・団体の年間 撮教の増加	##	年1回実施の企業・団体	4A~3A	段時	年1億実施の企業・個体 を 効果する	血球の悪状を観明することにより、理解を求め年間実施 服験の増加を据る。
新規金員500人の登録-	新規登録者の確保 対策	施統	複数図家血クラブ未会員	4月~3月	100	各献命会場において複数 国献命クラブ会員の募集 を強化する	を飲血金塔や大学における献血時には、募集の強化を 行う。

### ⑤ その他

	平成23年度の繁値目標	事業名					具件1747万束 辛杀门答		
L	<b>一下の子庭の家庭日保</b>	<b>TRO</b>	新規・複雑	対象者	英基時期	國數	方法	内容(詳細に記載すること)	
١.	F終中の血小板製血協力者を15人に増加さ	****				2, 500@	常然による要請	490mL献血協力者にも説明し、成分就血協力者の・	
		者の数保	雑練	成分家血者	4月~3月	程度	EMMON 1	解拓を掴る。	
Ľ		E-078210		<u> </u>		- Table	1 same aby	予約何を導入することにより、安定した確保を行う。	
_									

#5	#まーセスキパリ最なの広望の血液化気があった。 よる七根である。 はましたという。 はましたという。 はましたという。 はましたという。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないといる。 はないと、 はないと。 と、 はないと、 はないと、 はないと、 はないと、 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	点無朴のくでで・一を大字 七七七年54日本記む	<b>B</b> OZ	Rc~R»	響式協能職役無謝小血	212	るれれい成績金額 素製の血糖状素	, 基本景斯人002, 1全台出版奖00. 血流化泵基小血
	(5257 # S218 #) @ A		#8	KARX.	#38	<b>發加·斯雅</b>	7¥±	製団動機の <u></u> 恵率ts数率

本、1時間地の過ぎ金油 で「中間では、10年11年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年12年	Rc-R.		森等 辛 , 三代副弟の副実由権 国権 るヤ朝英多諸実の国族教	新年、1世紀3大学の東京東京、東京日本版記 大学が大学院の東京市等(東京 東京 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年
ない。」は「古事金書主化 図0002。 長に一氏。 瀬土氏の丁昇生食第一間 期間 京都子会議局回班 コキセン・ローナル・ローナル・ローナー 東本 大学・ローナー 大学・ローナー 大学・ローナー 大学・ローナー 大学・ローナー 大学・ローナー 大学 (ロード・ディー・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロード・ロー	Rc~A+	<b>₩007</b> *	・一両 ない、J核コ音血等主応 よる で行き高美血増いなコキ	銀子政権所率とよった子。そ行う記述るよっナヤンへを金額法をのフが全点第一部 でとした。第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、第二のは、
ポティートニ例名不断曲 会に 内に一内 貴金ででぐ田俊琳 知事 取前を血部回動性 30ヶ利託らよニルートの一角全でで「田俊琳 元年 正は人のの」後書書	Rt-R.	@s	一 一	金のいかの国産がおころとで、自然では、「ないというない」というに対して、「ない」、「ない」、「ない」、「ない、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、
第内表等 単性立他が発展	医神滅天	<b>美</b> 臣	<b>客内来等・家付立作和人</b> 素式	(45.6十萬里二國君)安內
李代章を下程がかが共長 本代 本代 本で 本で 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一			集成 第フペート: (親兄不恭由 現員 第フペート: (親兄不恭由 (注)で記事由	(4.7.5 下記3二級年)を内 金のCでC個機能なご(めぶの海左路島 「AC行う形式由地フェートニ)物民不能自 の第一とよアルボラーバンでストトで会談会長、代元の子、6名が大声不知能覚視

表表、体理状態である協力の体を対象、 個外能に上を限り協力を未発のを上げす。 。	<b>林园《韓雅林多内泉</b>	At-As	<b>非超九部</b> 類朴	NA	果全質型血管 素性系動	戦の高速機構にはOS、JMに対面の高温を 。CG多齢
表を表述で、これととと可能をある。 「他のなどがの後とする。」 「他のなどがの後とけを関う。」 「他のなどがの後とは、 「他のなどがの後には、 「他のなどのでは、 「他のなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどのなどの	<b>中西式溢脱英末各内身</b>	Rc~R.	<b>朴配代展謝美未</b>	1978	東金貨品 東 東 東 東	, 5.77 主任是別別的06 , 二世二中四九益武天朱
(インター製造に財産)発出	祝鮮宮子 ・	推印 旅汽放支	<b>香蕉</b> 枝	数量·既認	9×±	
L	事内支革・素何な役割具	0.) 3/ J 30/34/0. (3/ 46/3/ 31/ 31/ 31/ 31/ 31/ 31/ 31/ 31/ 31/				製品が表の別字は条平

年、17章。5七変記者、島路供血等「され有利か」音響、二進来を十一个七下山管血場。6番学典型の音典第二載実をイートイトキュア、明子品面的の日間プリ医子間。	アンス・シャラ お金 単元 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一 第一	表f	製塩	させち欧部ペミを指着血薬の(5pos) 豊年書
(4二4十萬四二聯發)安內	製作業等・実施2004AA 高格式を 一直は 1000年	KARK PRK	別級・開発 3.3.4 ・開発 3.3.4	数日素素の選挙に集平
。 。3二5千萬東去	業事間下後、それよこる表立室手書	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		並計血格の音の音の音の音を ・

	<u> </u>				*		
成をJ近海支いで下、京原地位やJ近海大小、県内市の東京地域の東京東 、そびらけ他で呼吸の東京市の中では、JTM・プリ市・C行き東京	所 <b>成果</b> 既心非	<b>20</b> 01	Ac-A+	主教者	推辦	<b>多</b> 為保出率十卷	るす高売り分の支面報報出率十歳
。《行音展展の效理体裁表,J與最一效高各內角等文內第二面多套具象	<b>育業界 一6ペナ家車</b>	est	Rs-At	書題和ひよは主羊4.8年小	新斯	主华小-4林夏 重典都朴干姆	、J勤開國21支直路線林千號主準小杉林夏 克莱支班251兼遊城後,成後各068
の本名式の14年14年14月18日で記念ペーンペッチ、新華の超校2年間の 19年2日 - 19年7日 -	は血液 イーロ 宝木 下よる	<b>199</b> 1	Rai	主始年門年 , 史大尉 . 主年大	<b>24.24</b>	で作業制金剛主学 特殊の実施でディング 会	
音を描述OC年二一やにナ社会派型と名で記念られた反応ンせれた別と語の で記字を行う。特に受賞をいまない。 「では今年代」を表示する。	77数 一6/(74)多数图		Rt-R.	主学大 . 主效高 主效学門事 . 主大政	HH .	HW7043	そ行機制のT子血素機等のサーをごか視を譲る
これにでいている はまま 海道 大学 とうかん は はまり かんしん しんりん しんりん かんりん かんしん はいい かんしん はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい		;	Rc∽R+	· 放李門事 , 主大夏 , 主学 ;	100	で本産業金集主学 成の一部製TトTへ 差別の参数量	をおちぬかめとまめ間のお料てトラインをお出る原金を
(4二5本第3二解稿)を向	新製金子	無囚	原料基実	#8.8	製稿·新媛	224	
	毎の末本・東代が治科具					744	数目競技の恵学に東平

• .		 				<del></del>	L	
		容内高等・景代な代表具			774	79 73	. 9#±	禁 日勤労の治学52条平
	(3こる下海第二階略)室内	 <b>\$</b> 4	#0	医神滅末	25K	<b>新新 新</b> 集		
		1				-		
		 1				<del>/ </del>		<u> </u>
				er di editor				
and the second of		•		100	•	٠. '.		
		 1						

### 朝の子 ⑤

		<del></del>					
産業十つとういいでは、	の元当 トモサエジ	• !	Ast	製革業の製一	200	春代遊曲第個遊覧 東找泉宴	はあられる。 よの参加者を得る。
直着の上が回って同学セニューキャット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日本が でいるがあればなん。 でいる解析に関るよう	HXMM	Ac-A+	者血液の倒り字	1978	春代線血薬回療政 素灰最重	ち回都ケ末がSE予書庫準優級類のそ0と対策 るサ
英貴金でで企会を提出、アンジニングを選出を、 はまままれて、 「新春田 かんしん」 「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	自集会 でしていいのででも血管 いる。 できまれの長を、J室子	高美种政	RE~R.	李重集の優1字	25 76	春代創血殖極機動 農校影響	二級補子(員会・ハート) 真全でで企業関係別。 400名を登録する。
(4に合す事項に開発)を内	事件表帯・単作されれる 素式・	14.67	K # A Z	18年	NW-NA	2×x	- 韓国歌遊の記字22条平

#### **素枚条新の養丸盆血剤回接財 ④**

	。るヤノ無さ多数をの一そ一小や血薬コ(物間)素なな利息の制表化型	<b>全光家录号</b>	Rt R4	<b>中国订五票金</b> 類編	成群林图代副 由 落 東 改	成型より近25m(内内)表の一个一个本面 です
•	(3.23.7是第三階段)参名	客内集事・変化な代制表 形容字子 寿田	RAME	ARK REAR	9×±	森森 最後の恵羊25条平

### 煮快差素の血油を付は二等業金 ⑤

	るわせむ特技は他血液の主然高い万子美帯及者ブルビニ帰庭影曲や自		· ·					
. :	島章むる下村に同名称。別年の直施、J遊安芝遊覧報化直施了J倫部1名第第、 施、JJ夫くる才提包教育による打印式・リア」はありな安下フー原原や十フ・ルビコとな した。	22-6-9-6	平均國之	<b>2</b> *	主公本	26.00	小さ血液等を含質 果事/1点	
į,	(5.26十萬年:)銀机)合内	<b>されます・ませつ代れ点</b> 売品まで	¥8	MWWX	###	NO 83	9**	米山田丁士 12 時を、北方の外帯等高で5内房
	<del></del>	OAST SUCHE	<del></del>	<del></del>			748	製品 業権の宏学に発手

## 東校澎計血域式3次13番種羊の苦血糖 ◎

養校のあさるヤ界新き量縣目の永血る水人受りよニ|血糖二歳辛52気平

	f							
•	、シャーが指導点端内学や一大5か点場別学家、シペケーを設計点域の専門、学大 ・ 1 内内音音をよい語彙学学、仏容子根語で音光学計のプロ何二差式過過やは二等で 春点場別学院、パロさい心心中へ具容等血道で的学校プロ例子品配合へにそれ ・ 2回子は当か	APP A	SZ	RC~R+	主草高, 主效高 主华大, 主大型 主效学門車	839		内字の立弦学門等 孝大、大政 事高 設高 の05」前東土は顧85、14世代北京東京 。各計3年代政由第の上口さ
7	発展の一位は、「計画者」とでは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「カックをは、」」とは、「カックをは、」」」というは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、」」とは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、」」」とは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、」」」とは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、」」」」とは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、「カックをは、」」」」。 「カック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事事を責任 イーネッチム	,	Re.Air.Aor	生事高 主华大 第一	BW	七ミナ甲海県寺を	。るも二台が013年申加州2050かに8分野
	17-17-00-18-8/A-P	製品を 東京シャイル	48	医神道表	PAR	影响·默蒙	254	SA BEGGE LOTEL

### ① 若年曆獻血者確保対策

平成23年度の数据目標	¥25	I				<b>具体的な対策·事業内容</b>	
千度20千度の製造目機	***	新規-維展	対象者	実施時期	. 图象	<b>子友培质</b>	- 内容(詳細(に記載すること)
親子会めた参加者数250名以上	なるほど散血教室	維統	小学校高学年とその保護 者	平成23年7月後半~8月 前半	<b>68</b>	広島県赤十字血液センター・日本来十字社広島県支部	小型4-08年と十の整理者を対象に、血液センター型学金を開催、将来の撤血者 環境に努めるともに需要者への減血値力を使す。第5万法は応島市内及びその 開鍵の小学校選挙を支援を対比に与うを認め、また集や市の情報とセンター PPで募集を行う。更学金には映像素質やパワーポイントを使用する。
訪問校數12校	家血收室	維税	高校献血実施校及び大 学・短大・専門学校生	平成23年4月~平成24 年3月	斑眸	各学校	献血実施性の生後を対象とし、献血の必要性を供薬。その後の牧内献血への参加 を養す。
受入被做S校	戰場体験学習	416	果內中學生	平成23年4月~平成24 年3月	REM	広島県赤十字血液センター	中学能かりキュラムの機場体数学習を領価的に受入し、参加主義に放血の必要性 を訴え将来の敵血者破倒に奔める。
10代←20代の献血率を27%にする。	献血セミナー	#4		平成23年4月~平成24 年3月	26	広島県非十字血液センター	放血に関するセミナーを開催し、放血への理解を深め、放血協力、呼びかけ、参及 の協力をお願いする。
10代の意由者を4%とする。	高校卒業予定者献 由広報資材配布	機能	(高校生(卒業予定者)	平成24年1月	18	<b>6学校</b>	事業予定の高校生に献血に関する広観責材を2000部配布する。 日頃から「敵血」が目に触れるように、また事業後も敵血に関心を持ってもらうため。 10代の敵血を44を目覚しても、

# ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の数値目標	¥26					具体的な対策・事業内容	
十元の十九の放送日報	****	新規·維接	対象者	実施時期	・商衆	予定基质	内容(詳細に記載すること)
4歳以上の血小板成分飲血短数者に対する 減血依頼で30%の応路率を確保する		新模	54歳以上の長原血者(血 小板飲血板装者)	48	18		献血基準の変更を、第54歳以上の自小板館血経験者の方にハガキでお知らせし、 引き設整協力のお願いをする。対象は1920年1月以降の自小板能血経験者では23年 2月末現在漢54歳以上の約700名。情報接続を少蔵血要漢を行うことにより、対象者の 約30%(210名)から由小板能血に協力いただく。
② 企業等における献血の推進対策			_				

ſ				<del></del>	<del></del>		異体的な対策・事業内容	
- 1	平成23年度の数能担係	事業名	.新規:維統_	対象者	美術物用	_ BR	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
:	新規敵血事業所TO団体確保	新規協力団体確保 対策	維接	家島未実施団体	4Я~ЗД	<b>1200</b>	各事業所等。	新規事業所の開拓を行う。
	<ul><li>④ 複数回献血協力者の確保対策</li></ul>					`\ `.'		

ıГ	平成23年度の後継号標	<b>486</b>					具体的な対策・事業内容	
Ł	<b>干水が干燥の水を砂塊</b>		新規·維統	対象者	突旋時期	田敷	方法	内容(終権に記載すること)
F	被数國家血者確保目標人数5,183人	複数回離血クラブ 会員募集	報報	複数国献血クラブ未登録者	平成23年4月。平成24年3 月	(E)	リーフレットの作成・配布と戦	会議血者を対象にリーブレットを記事し、曹様を長す。また、全献由金場にサイトス ンパーを導入し、より簡単に低金券できる環境を影響する。さらに豊賃者を増加させ る為パルティを作成し、その場で変量線した鉱血者に配布する。
	メール英語応義率15%を目標	収数顕彰血クラブ 全員家血製語	## E	複数団家血クラブ会員	平成23年4月一平成24年3 月	月1回以上		これまで不思時のみ配信していた献血依頼メールを月1回以上配信する。タイミンク は月間と、時候の被御等を含めた献血依頼を定開的に記述することにより、登録 者に複乗職敵血への協力を使す。
	月平均応発率27%を負保とする	ハガキによる献金 要請	釋級	血小板酸血铅力者	平成23年4月~平成24年3 月	月頃		誕生日を選える金小板家血者に向けて当月際に京血体積ハガキを送付。 対象者が 飲血参加した場合配本品を配布する。
	ハガキ要請応路率36%を告げとする	ハガキによる献血 要請	***	条件400mL家业協力者	平成23年4月~平成24年3 月	院時		移動製血金橋での協力者に向金塔での鉱血を依頼するハガキを送付し駅血協力を 使す。
. (	5) その他							

1	平成23年度の教徒名様	***					具体的な対策·草葉内容	
	<b>小型な水質の製薬目機</b>	780	新規·総統	対象者	実施時期	御業	方法	内容(詳細に記載すること)

#### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

ſ	平成23年度の微値目標	事業名		T			具体的应则策·事業內容	
٠.	一大の子供の数数目標	780	新規·維統	対象者	実施時期	1 数	子定場所	内容(辞稿に配催すること)
	30歳未満の家血者の割合を20%にする	セミナー開催	植株	山口県学生献泉福道信証 会(短大・高率・大学生)	遵年	年間2個開催	血液センター金細度	年2個服師を依頼し、禁止についての知識、理用の書及。他団体との交流を割り後 連絡力能を広げる。
	30歳未満の献血者の割合を20%にする	学生推進協議会役 員金	維経	山口県学生飲金排漁協議 会(短大・高等・大学生)	選挙	年間15種間僧	血液センター会接度	du口集学生推進協議会の企器、適当を行う、また加製団体との情報交換の模潔し モする。

# ② 献血者の年齢層に応じた献血権適対策

平成23年度の数額目標	事業名					具体的な対策·事業内容	
<b>マボジー扱い放送監督</b>	780	新教・維維	対象者	天皇時期	100	予定場所	内容(詳細に記載すること)
参加者合計250名	小学生観子血液センター見学体験数 宣	##	小学生高学年	要体み	6 <b>8</b>	血液センター	血液センター及び促血率・血液温能率の見学、血液・飲血についてスライドで説明 者禁DVDの上映、配血吸収体験
県下全牧の小・中・高牧を対象に合計40枚	放血出資調查	***	ホ・中・高校生	道华	406	6学校	血液・放血についてスライドで説明、音楽DVDの上映。
応募数ポスター150点、作文100点	献血推進ポスター・ 作文の募集	##	中 高校生	5月~10月	ia		集下金牧に募集し避寺委員により表彰を遅寺し集にて表彰。
17, 200\$	献血統本の配布	報報	中海技生	67	188	各学校	. 高校1年生全員及び中·高校名学級に1条、

## ③ 企業等における献血の推進対策

			·		<u> </u>					
. 1	平成23年度の微値目標	事業名:					具体的な対策・事業内容			
Ė	<b>一下八十級の数を目録</b>	<b>485</b>	· 新瀬·梅秋	対象者	- 英族特殊	御教	子发塔所	1	内容(詳細に記載すること)	
ı										1
- [		<b>「規能血能力企業</b>	雑帳 1	新規企業・休眠企業	通年	1銀ずつ	移動探血革·御定施設		集・市町と依頼を実施	ŀ
		D磁保		4.8					All the second of the second o	. 1

# ④ 複数図献血協力者の確保対策

平成23年度の数値目機	事業名	新娘 親線	<b>川 対象者</b>	東部門		具体的位射景 事業内容	
複数確認血能力者を400人の増 12月現在1、978人	テランの作成配布 60,000枚		※血管	<b>通</b> 年	<b>多数</b>	E#	安衛使期及び協力
400L原血者3, 000人の増	イベント・キャンペー ンの実施	線板	868	量年(特に減少時)	微圈	DM・タウンメール等によ る要請	参助機由車・値定施設で処認品を考えて

G) TOR				4.			
平成23年度の登録音機	事業名	6H-16	対象者	東族時間	60.00	具体的位対策·事業内容 方法	内容(詳細に記載すること)
各会場で400mL家庫者10名場	七夕家血	) 数点卷	7月	2	. E		ロロ集学生原由権道協議会の協力条目協議会の学生学生ポランティアによる呼び かけ、享前中に「ラジオ等」を活用、セタらし、レイベントの実施。
各会塔で400mL款血者で1名増	クリスマス家会	献血者	128	月 3			山口集学生駅高後遠路議会の協力当日協議会の学生学生ポランティアによる呼び かけ。事前PR(ラジオ等)を近席。クリスマスらしいイベントの実施。
副定施設の活性化当日100名の飲申協力	公開放道	飲血者	12)	, n	<b>8</b>	都定施設で実施	人気器雑にゲストを依頼し公開放送を企譲し、当日閲覧に来られた方の協力をあお ぐ。

		_ :						
1	平成25年度の微値 袋棚	事業名					具体的な対策・事業内で	
		7	新矮·維税	対象者	实施時期	西蒙	予定编版	内容(詳細に記載すること)
	参加者数を340名以上とする。	血液ゼミナール	維統	小学生(4~6年生) と保護者	7~8月	889	血液センター	2市2町の教育委員会の保証後、小学校55校に言葉テラン約12000枚を送付し、最 子を対象に写真を行い、血液についての学習会、血液センター見学、緊血装置体験 等を実施する。
	10代の献血構成比を5%にする。	高校献血	新規	高校生	4~3月	588	対象学校	現在休止している高校学内総画を推想さす。景像有委員会等に再開の説明を行い 400mL版施受け入れ可能な学校を対象とする。
	② 献血者の年齢層に応じた献血技	進対策						

- 1	平度23年度の散練四個	事業名					具体的左侧翼·军集内容	
- 1		7#0	新規·維接	対象者	実施時期	自放	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
	29歳までの献血循床率を25%にする。	大学献血	推铁	大学生	4~3月	10@	各大学很内	放血推進パネルの展示と響発DVD放映、ボランティアによる推進活動を実施する。 実施時期4月4会塔、9月4会塔、2月2会場の予定。
	*	次開献血推進	新規	10-20ft	7~2月	3@	各献血食場	7月、11月、2月を起点として、創車局隔が一年以上あいている撤車者(関定施設で 約)1000名、移動隊車で約2000名/平成23年1月時点)を検索し、依頼ハガキを進付 する。

# ③ 企業等における献血の推進対策

۱.	平成23年度の数値 目標	***					具体的な対策・事業内容	
1			新規・規模	対象者	<b>实施時期</b>	一	予定場所	内容(詳細に記載すること)
-	新規献出協力企業を10社増加する。	献血協力企業・団 体増加対策	維授	企業及び簡体	4~3月		各事業所	斯規事業所の親拓ならびに体観企業の繰り起こしを保健所と連携して行う。
		献血協力企業·囤 体增加対策	難板	企業及び団体	4~3月		各事素所	自波センテーで振みにくいる地域の企業状況(起席、既存企業の取員始向等)を保 促所から連絡してもらい一緒に推進する。

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の数値 自福	事業名			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		具体的な対策・事業内容	
The Part And Dist	7	新煙-維持	対象者	実施時期	回数	方法	内容(詳細に記載すること)
モバイル会員を300名増加する。	複数图家血協力者 確像対策	製紙	全家血管	4~3月		リーフレットの配布及び サイドスタンパーの設置	ORコード及びモバイル支援システムのサイドスタンパーを活用しモバイル会員増加 を強化する
複数函数血率を30%まで増加さす	複數國際血協力者 確保対策	維統	全聚血管	4~3月		1、ゲール先信による要請 2、検査サービスハガキ発 送時に依頼。	1、モバイル会員に対しメール発信にて依頼要請する 2、検査サービスハガキ発送時に核数回佐頼支面を記入する
う その他					:		

平成20年度の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
		新規·維基	対象者	実施時期	回數	方法	内容(詳細に記載すること)
移路探車車一台当たりの飲血者数40名以上 とする		框模	移動技血革配率管所全献 血者	4~3月			移効探血突絡を服所について時間効率を見直し配率する

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年際献血者確保対策

		·					• •		
	平成23年度の数値 四個	¥26					異体的な対策・事業内容		١.
. 1			斯提·模技	対象者	表施時期	倒数	予定場所	内容(詳細に記載すること)	Ė
:	10代・20代の禁止率を	家血セミナー	報報	大学生·専門学校生・ 高校生	4月~3月	10@	各学校	放血に関するセミナーを開催し放血への理解を繋めてもらい、放血協力を促す。参加予定人後:800名	ŀ
	現状より2%増加させる。	高校生街頭献血 キャンペーン	細様	高校生	7月-1月	25	西蘇家血現場	水血に関する物性会を行い、その後、製薬放血にて放血可びかけポランティアを行う。 このことにより、減血への理解を示めてもらい、発来の放血へのをっかけづくりを行う。 参加チェスト しっちゅう	

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

	·		<u> </u>		44. 4 to 12.	5 4 4 5			
- 1	平成23年度の最優 間標	平業名		, Y			具体的な対策・事業内容		1
		1	斯規·短技	対象者	安施時期	- 日本	予定場所	内容(評価(こ記載すること)	١.
	小学生の父兄世代(30代-40代)の 家島車を理状より2%増加させる。	血液センター 親子見学会	報紙	小学生	•Я	39		児童には、家血について分かりやすクイズ等を含めたスライド学習により、放血を 知っていただくことを目似とする。得来の敵血管代の拡充を図る。	-
		献血出的講座	推拔	小学生	10月~12月	10@	小学校	主た、同時に父兄向けに映像素材「ありがとうっていっぱい言わせて」を使用し、献 血の必要性を訴え、家魚協力地を囲る。	

# ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年底の数値目標・	事業名	新娘·旋枝	対象者	実施時期	1 5	<b>具体的公共集 事業內容</b>	
歌血協力企業・器体を50箇体 増加させる	献血協力団体 増加対策	維技	企業および団体	4月~3月		予定場所 各企業および団体	内容(詳細に配象すること) 市町投資者と時行して平果所を訪問し、新規平集所の開拓を行う。
④ 複数回蔵血協力者の確保対策			,				

### ④ 複数回載血協力者の確保対策

平成20年度の景徳日禄	- 事業名	新規·複技		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		具体的在対策·享重内容	
		新茂:義状	対象者	天花時期	- 月数	方法 1. 各献皇会場にて接敷 回献卓クラブ会員の募集	内容(評価に記載すること) 1. 名数金を場にて、投票部部金クラブ全員を受行より20%増加させる。
複数局敵血者を現状より20%増加させる。	被数据禁电協力者 確保対策	200	年1回の飲血者	4月から3月	ļ. ·	を強化する。 2、電子メール及びはがき	2,233名(平成22年12月末現在)
		<u> </u>	<u> </u>		L	にて複数固敵曲の協力体	2. 複数回転曲クラブ会員に対して、電子メールにて複数回の製血協力依頼をする。 (2,200名を対象に年30回程度)
⑤ その他							

i	早度23年度の效益目標	事業名	新規·維ィ	NAT I	支送時間	1 7 6 4	具体的位射第-事業内容	
	献血ルーム1接動50人	献血協養事業	報袋	<b>献血ルーム局辺企業及び</b>			禁止ルーム無刃の少また	内容(試験に記載すること) 歌血ルーム周辺を表及び大学・専門学校に、協力開降を1週間程度とした家血協力 を目的とした家血協質を被害する。 歌血ルームにて副血協力をいただいた企業等に対しては、ホームページに掲載する
				大学·専門学校・高等学校	4,2,53,4		••	国連ルームに下版的的をいたいた企業等に対しては、ホームページに掲載する 等、協力企業のアビールを行う。のことにより参生業の知名度を上げることにより 放血協力(独全質算工制)を実施しやすい環境づくりを行う。 末年度以降は、販金基本改訂で17億円を対している。 に対したでの数金セラー研選のび都全規を依頼する。

#### ① 若年層獻血者確保対策

平成23年度の数値長位	事業名					具体的な対策-事業内を	
	7-1	新規·雜誌	対象者	<b>支施時</b> 商	1. 童被	<b>予定程所</b>	内容(茶物に記載すること)
学内献金における協力者58地	家食セミナー	推註	大学生	4月~5月	844	各大学	新入学生対象のガイゲンス時に減血広報を実施(現在大学伝統中)するとともにお 日学内放射を実施し協力者の確保に努める パワーポインを使用して苦年器放血者の減少や、張内供給金の状況説明ならび! 広報用DVDの利用
小学生親子体教教宣(領子65組)	家典セミナー	維維	<b>小学生领</b> 子	8,A	5 <del>8</del>	血液センター 製血ルーム 松山非十字典数	小学生菓子を対象に、ビデオ等を使用する金組賞での医学や、ルームでの飲血見 学ならびに病院での独血見学を支援
出資金金の製造の技	出新教室	推铁	中·高校生	4A~2A	4	各中学校-基等学校	中学生を中心に蔵血に勝する広報、整直を実施し、青木の放血者を保に努める パワーポイントを使用し、新名が延伸としての体験調を増まえながら放血の重要性 を表明
② 献血者の年齢層に応じた献血権	進対策						

- 1								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
:1	平成23年度の敷殖自保	事業名	新規・報報				具体的な対策·事業内容	<del></del>
	<del></del>	<del>1</del>	表示 电数	万里里	東藍時用	自由	予定场所	内容(詳細に記載すること)
		1	l		1.07	1 :		4月の入学シーズンを放点として、大学生の確保に努める
1	学内献血密数の道(20会場/年)		/ 継続	高校生·専門学校生 領大生·大学生	4月~3月	20	#A	400〜前金が男性に限り行業に繰り下げられることから、これまで被職員のみを対象
1			.[	MAX A+X				にしていた学校での生徒の敵血、家た新規に協力いただける高等学校の開拓を、紫
	·····	<del></del>	<del></del>	<u> </u>				教育委員会の理解、協力を得ながら推進する

### ③ 企業等における献血の推進対策

ſ			· —	<del></del>					*
- 1	平成23年度の微鏡目提	事業名	-				具体的な対策・事業内容		
ł			新規·華様	対象者	実施時度		- 子定場所	内容(詳細に記載するこ	FI
- 1	EM. #### + A B O M + ( - 4 )	献血協力団体提加			1				
1	新規・体概製曲協力企業の増加(30社/年)	対策	規模	企業および優体	4月~3月	1	各字单层	ライオンズクラブ等の紹介により重視に努める	
Ų					1 .	177		2 14 2 2 1 2 2 4 2 4 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 1 2	

# 複数回蘇血協力者の確保対策

平成23年度の後値目標	平業名.			<b>具体的立分號·軍業内容</b>	
		新規 福経 対象者	実施時期	<b>製数 方法</b>	内容(辞稿に記載すること)
複単回数乗クラブ加入者の新規登録者確保 (900名/平度)	被数回献血協力者 政保対策	雑任 飲血対象者	4A~3A	を原産表現における複数 観察电クラブ会員の事業 強化	特に4月~8月に実施する大学(2万所)や企業(70万所程度)での飲血時(に、新人生 や新位を人に対して加血環境での勘論性を 複数回線を力ラ加入時の記名の工夫 実施記事を登約920台で1台につき1名の登録+ルームでの意味200名を最低目標 にして数定
<b>⑤ その他</b>			···		

平成23年度の敷籠目標	事業名	F#-161	<b>一 対象者</b>	* 英族時期	1 86	具体的な対策・事業内容	
	夏の献血キャン ペーン	, ,,	若年限ならびに初密献金!		18	小田俊	内容(詳細に配信すること) 学生ボランティアを等り、数点への協力ならびに思慮での呼び掛けを実施。 SRC・IRCをメイイに高校を全定体としたヤングボランナ・(アへの協力な紙、ならびに イベント会社による一般大学生のボランティア募集
	冬の郁血キャン ペーン	**	若年限ならびに初頭撤出。	成人式做	18	大型商業施設内でのイベ ・人間等	

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の教徒日復	¥#5 ¥#	RR L PRE	- 実施時期	ARNOHE FEAT	
翌年歴教会者を30%にする	<b>蘇血</b> セミナー 編	大学生・専門学校生 及び社会人	平成23年12日	《四、   两两中"打火"——10分	内容(技術に配収すること) ナーは地元ミュージン・ンによる献血ウイズを実施し、飲血の重要性と協力を呼 付る。さらに音楽ライブを実施し著年層の敵血参加を使す。(名日の若年層故 構成比古様を30%にする)

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

-							g van e	
1	平成23年度の数値目標	事業名	PH 45				具体的な対象・事業共享	
	平成21年度及び平成22年度1月末現在の6		新規・維装	対象者	宝施時期	自動	<b>手士华</b> 斯	- 内容(体験に記載すること)
- 1	0歳以上の家血者割合6、4%を7%にするた	1 1	新規	60MUL:	W			
٠.	めの献血者を募集する		<b></b>	OUBLE ,	平成23年6月-12月	2個	家会ルーム	60歳以上を対象に截由依領ハガキ進付(500名)
					<del></del>	<del> </del>	<del> </del>	
	若年環象血者を30%にする	若年者献血セミナー	報味	10ft~20ft.	48~3B	1		学生の興味をひくような故血管発ゲッズを活用し、若年度放血者を確保
-1			<u> </u>		""	1	<b>名表布門学校</b>	事前にデラシを作成し、名学校の掲示板へ依頼

### ③ 企業等における献血の推進対策

							and the second s	•		
	平成23年度の微値目標	事業者								
- 1	, man-man man ma	<b>₩</b> ₩₩	新級·無線	484			具体的な対策・事業内容			
				対象者			- 子定笔符		内容(肝臓に記載すること)	
			i ·							
	新規協力団体5億体地加		機械	金素及び個体	1			新規関拓及び休根事業	所の無り紀一1	
				_ Z.A.C.OEF .	4月~3月		長事業所等	<b>油を影響の水を収ま</b> し	を集・団体の組分等)をもとに、事業所	
						. 1			こか、四から出入 ふしんりだい かかり	パンアノローナしを来食!
							•••	単や家屋を及について	<b>音音に耐血性力に向びつける</b>	

	平成23年度の強領品提	事業名	新規·推模	州東省	****		ARRENT TARE	
•	新規メールクラブ会員を300名増加	複数函数点協力者 確保事業	報報	400ml.献血·成分献血 協力者	4月~3月	-	ノールクラブ加入推進用。 責付作成	内容(詳細に記載すること) 学生ポランティアと薬洗して、複数値メールクラブ加入促進イベントを実施し、接達時 に登儀用GRコード付のボックスティシュを作成し、英連品として提表する。
•	§ その他							The part of the state of the st

## ⑤ その他

						•
	平成23年度の敷養資額 事業名	新维·维维   新香香   東京東西	具体的な対策・事業内室	<del></del>	<del></del>	
			<b>自</b> 政 方法	内容(詳報に至	銀すること)	1
-1		<u> </u>				ŀ

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

平成23年度の教徒 雷 福	事業名					具体的な対策・事業内容	
		新規·維胺	対象者	実施時期	遊戲		内容(詳細に記載すること)
高校献血类施20被至30校に增加	高校家島の後遊	報報	高校生	4月~3月	30	学校及び血液センター	400mL家島基本改定に伴い、現在協力いただいている高校はもちろんのこと、さら に30役租度の高校にアプローチし、新規10校を目標に献命実施に向けての説明会 等を行う。
20代の献血平21年度実績 2296を25%にする	着年歴献曲七ミ ナー	報班	大学生	<b>6</b> 月	!		家典に関するセミナーを開催し、家魚への必要性・変要性の理解を求めてもらい、若 年者の家典を取の声上を図る。セミナーは年間・日とし、DVD・スライド等の放明用 質対を否用する。
② 献血者の年齢層に応じた献血者	建进対策						

平成23年度の数値回復	<b>事業名</b>				具体的な対策・事業内1	<b>8</b> .
· TRUTEORES	789	板塊-維税	対象者	美藤時間 御		内容(詳細に記載すること)
青少年等献血ふれあい事業実施10回を20個 に増加させる。	骨少年等献血ふれ あい事業	維接	小・中・萬生	4月~3月 20	血液センター	数胃委員会及び各校区会長を選じ、小・中・高校に対し動きかけてもらい、実施校を 増加させる。
	60歳以降の飲血率 の増加	維权	50~54歳の仮献血者	4月~3月		祭内居住の方で来年度60度になられる方を対象に64歳までに放血協力いただける 存な文書を添え、対帯による政命の位頼、(約2,000遠極度)

#### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の数値調 様	**4					具体的な対策・事業内容	
	1	新娘·维接	対象者	実施時期	包数	予定場所	内容(辞録に記載すること)
	基血協力団体地加	維接	企業及び団体	4月~3月		各事業所等	転換事業所の関拓を行う。(DVD・スライド等の設備用資料を活用し裏状を理解して
	対策				• •	E406014	t-65.)

#### ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の教徒日標	事業名	新規・機様	対象者	実施時度 1	日数	具体的空射量·事業內容 方法	内容(詳細に記載すること)
複数期款金の率をあげるため、複数回款金ク ラブ全員を新たに3,000名以上確保する。	複数図家血協力者 確保事業	複裝	被無回放血クラブ未会員 の400mに関血並びに成分 放血対象者	4月~3月		2はがきやDMで複数制 放血クラブ会員の募集を 有価的に行う。 3フリーベーバー等を利用 する。	1.各版会会場に於いて、専用のテランやポスケー等を作製し、それらを用いて複数 個数会クラブネルシスの販点をに対し金貨の実際を行う。 2は6分を704年Nで投資機能のラブスを設する。 3.フリーペーパー等を利用して、接換機能会クラブの総介や入会を始める。 4.センター保健は接換機能会プラブの配客の機能を増加させ、その情報技能 点着金貨人配本する。 5.FM放送高分付っている、独向にあるデジタルサイキージなどを利用して複数回路

### ⑤ その他

						and the second second		
平成22年度の表情問題	事業名					異体的な対策・事業内容	 	
, man-y-man-man-man-man-man-man-man-man-man-man		新規·維証	対象者	安施時期	通景	方法	 内事(禁婦に記載すること)	
	!			1.			 	$\overline{}$
- L.	i .	1	1		i i			. 1

佐賀県 赤十字の液センター

	平成23年度の勧請者標	事業名		具体的な対策と <b>す</b> 点内容					
1		7.00	新級·維経	対象者	天道時期	酸效	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)	
	献金及びセミナーの実施校4校、各々年2 上上の実施、1,006人以上の参加者	若年唐延保対策	雄枝	大学·短大·等門学校生	4月-12月		学内	学生ボランティアと協力しながらテラシ等の記者を行う。 また、けんけつちゃんの着くるみで呼びこみ等を行い、大学生が家血しやすい雰囲 気を作る。	
	10代~20代の献血者率25%以上	若年居驻保対策	維挟	10代~20代の献血者	遊年	6		各班大・専門学校等にチランを配布する。 また、10代~20代を対象に開放を決めてキャンペーン等を年6間実施するよう企脈 する。内容については今後検討していく。 参加日保入後 200人	

### ② 献血者の年齢階に応じた献血推進対策

平成23年度の後継目標	¥36					具体的な対策・事業内	8
1 MIO-101-101-101	7#0	新規·維統	対象者	実施時期	- 自要	予定場所	内容(詳細に記載すること)
80歳以上の献血者を5%以上増加・		新規	60歳以上の方	4月~12月	6	各家庭金塔	60歳~84歳までの期間に蒙血されていない家血者(約300人)に対し、家血佐様の はかきを出す。
禁血收查参加者100人以上	青少年ふれあい事業	推統	小学生	要体み	1		新聞広告等を利用し、祭内の小学生を対象に募集を行う。 スライド等を利用し、家血の必要性や重要性を少しでも理解してもらう。
出前献血教室 6校以上	青少年ふれあい事業	越級	高校生	9月~3月	•	学校内	現在家血を行っている高校5秒に対し、家血教室の事業賠償を指遣する。 また、家血教室についてはスライド、ホップ・ステップ・ジャンプ、DVD等を使用して起 血の必要性等を理解してもらう。

### ③ 企業等における献血の推進対策

平成23年度の登録目標	328					具体的な対策・事業内は	
	<del></del>	新規·模模	対象者	表施時期	四美	予定場所	内容(詳細に記載すること)
企業献血における献血者散を対路年比10% 増		新規	企業及び団体	通年		各事業所等	提挙者に現在の血液等為の環状や必要性を推進の中で説明し、理解を得る。 また、截曲した血液の利用状況等がわかるような資料を作成する。
献血サポーター新規登録企業10社以上	献血協質企業活動推進 事業	建模	企業及び団体	<b>3</b> *		*: -	企業及び団体へパンプレット・規約等を持事し推進する。
<ul><li>④ 複数四献血協力者の確保対策</li></ul>							

#### 後数国献血協力者の確保対策

Г	平成23年度の後側登場	事業名			<del>· · · · · · · · · · · · · · · · · · · </del>		具体的な対策・事業内容	
L	TALLTENALE		新規·課務	対象者	英庭時期	遊址	方法	内容(詳細に記載すること)
	(兼田家島クラブ会員総数を1300人以上	複數回線血協力者 確保対策	維殺	複数回献血者 (複数回献血クラブ未会 員)	通年		1.#4L740./C-10-12	複数回線点クラブ会員登録方法を記載した。レフレットを接取回線点は力者で未会 競の方に配布し、パンフレットのORコードとともにサイトスケンバーを導入して会員 の指便化を握る。
	複数回配血者30%以上	複數協獻血協力者 確保対策	維接	製血管	選年		・メールによる複数機能血 への協力依頼及びイベン ト等の案内	・協商部連合クラブ会員るでに製金管派の場合を中心に被強制製金への協力を呼びかける。 ・ 連絡ペベント等の情報を選信することで、血液センターや製金、(スへの再来のきっかけたしていたが、) ・ 最高的に実際放棄可能日をお知らせして早に2回以上来ていただけるよう推進する。

## ⑤ その他

	平成23年度の勤催日標	¥#6	L				具体的な対策・事業内容	
1			新規・軽技	対象者	突旋時期	回数	方法	内容(詳細に記載すること)
	血小板苯血者数5%增加		新規	55歳以上の男性	进年	•	はがき及びチラシ等によ る飲血依頼	55歳以上の男性歌曲者(約300人)へ基準変更のお知らせと歌曲依頼のはがきを送付する。
	献血プラザさがの献泉者数5%増加		新規	<b>副</b> 血対象者	選年	5	はがきによる敵血体領	過去:年間飲血されていない方(約200人)へはがきで飲血佐根を行う。

平成23年度6	の数値目標	事業名					具体的な対策・事業内容	
·		<del></del>	新規 機械	対象者	夹板時期	回散	ラ皮塩素	内容(詳細に記載すること)
年11	3	献血セミナー	***	大学生及び専門学校生	· UA	188	長梅集内	李文ポランティアの研修による娘後の活性化を図る。李城内外における敵血推進 独化とメンバー相互の連携を際にして情報を共有する。
#5	3	放血セミナー	機模	大学生及び専門学校生	4月~8月	5 <b>@</b>	九州プロック内	学生ボランティアの研修による機能の活性をを図る。学域内外における敵血推進 強化とメンバー 恒直の減損を密にして情報を共有する。
_a  ¥2	9	単血セミナー	繁規	中高生	10月-11月	26	長崎県内	使内行率として献血調査を実施。10位に依頼して2枚実施にむけてすすめる。依 ボ血実施資に学校側に献血の必要性を強く終える。
256	<b>.</b>	若年局硫保対策	###	高校生	4月~8月	122	各高技	17歳(男子)以上の400mL放棄の推進強化のための学校訪問。現在未実施校も1 で会学校前限し17歳からの飲食受け入れをお願いしていく。行政担当者も可能 担り向行いただく。
0歳~20歳代の歌曲率	を25K以上に増加する	若年唐確保対策	MIR	10数~20億代	4月~3月	5碗	家业会场	若者向け献血キャンペーンの実施。学師祭会場に献血ゴーナーを投産LPRする。

## ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の敬値首標	事業名				-	異体的な対策・事業内容	
		新規·整統	対象者	支施時期	· 88	予定場所	内容(詳細に記載すること)
年2校	有友会版血	₩₩.	小・中学生・生徒保証者及び教員	4月~3月	各校:童	血液センター・放血会場	収益事務説明会、飲血会場での小・中学生能血セミナー支援。「家血のしくみを知ろう」授票テキストル学生向付り数学年用し、所力ロックで作成したびみなの最近。 へいつまび受めかたう家血の質判を示用し、飲血会場や事前契明会で支援する。
年100人	若年者職保対策	推探	20集(新成人)	1月~2月	166	<b>聚血金</b> 塔	20歳(新成人)への家血ハガキ依頼。 通会 (年間に敵血) 間のみの協力者に対して依頼する。
60歳以上の献血者を35以上に増加する	献血者破保対策	新規	60歳以上	4月~3月	-	家庭会場	其条率の向上と課金基準の改正に伴う献金推進の強化。 特に血小板原血につい て次陽の予約や可能年齢変更のお知らせのはがき拡展をする。
年40人	体数学者	ME SEE	<b>小中高生</b>	4月~3月	各(屋	. 製血ルーム	献血等びかけ、鉱数見学。 新腰でのチラン記布や家血のしくみについての学習をする。
年20人	体験学習	1642	大学·挺大·専門校	4月~3月	61 <b>0</b>	RAA-4	放血呼びかけ。施設見学。減血体験や学生ポランティアの活動内容の把握と放血 のしるみをについて学習する。

## ③ 企業等における献血の推進対策

③ 企業等における献血の推進対策					: ::::::::::::::::::::::::::::::::::::		
平成23年度の最後目標	事業名	F# 40	NA T	<b>東海州</b>		<b>具体的交列第二苯基内</b>	
新規献血癌体等を30社増加する。	献业监力团件增加 対策	神経	企業及び団体	4月~3月	· _	- 予定場所	内容(原規に記載すること) 新規及び復り除こし団体・企業の開拓
42社の豊緑雑様	献血运营企業活動 推進事業	推報	企業及び団体	4月~3月	~		全集・団体等を訪問し、飲血の必要性を訴え、ご理解の上飲血サポーターの登録を お願いする。飲血サポーターマークの活用を進めていく。
年2回支施	新規団体などの額 拓	機械	ライオンズクラブ・一般全 業	4月~3月	各年2回		献血ルームでの歌点呼びかけと放血実施

		平成73年度の数値目標		*#4	新規・模様.	T 44.8		<u>_</u>		具体的な対策・事業内容	
		50 <b>-</b> E		被数周蒙血協力者 並びに非十字ボラ ンティア研修会		対象者 被単国家血協力者及び故 血協力者・ポランティア	実施勢期 3月中		18	方法 電話又はFAX、メールから 中し込む	内容(辞報)に記憶すること) ビデオ(八月の二重義)上映又はこれに関した外部誘導を招き探済会及び健康生活 支援短期顕音を開催する。
		応護率 400mL(35%)成分(50%)	<u> </u>	メールとハガキによ る故血後親	維税	被撤回献金クラブ会員、 献金協力者	每月		*2	ハガキによる依頼	400mL(600名)-成分(1200名)-区分位L(2700名)に対し寮由協力依頼。
		60種(120名)		「故命をして映画を 観に行こう」キャン ベーン	報報	被歌回献成クラブ会員、 献血協力者	4月中		15	雑件会せる	日頃から歌曲に協力いただいている方60種を感謝の気持ちを込めて映画に無料招待し、はじめに所張よりお礼と血液事業の現状について説明していた後に映画上映 をおこなう。
•	⑤ <del>そ</del> のŧ	it									

- 1				•		
	平成23年度の微値目標	¥86			具体的な対策・事業内容	
		- 新線·線線	対象者 字論:	- I	PROFEST AND	
					7.5	内容(詳細に記載すること)
. 4	月Sケ青実施 原島	考弦保対策の 神味	全献电影 4月~	I	イベント等にあわせた会	
			余献血管. 4月~		門実施	商業施設及びイベント会場等での休日における敵血の拡大

### ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の数値目標	¥#4					異体的な対策・事業内容	
TRATEGRA	782	新規·維統	対象者	实施特別	88.	<b>予定場所</b>	内容(詳細に記載すること)
10代-20代の献血者兼を30%まで 引き上げる。	大学内蒙血の強化	報報	大学生	選挙	20書	学内款业会場	事前広報活動でのDVD上映金(それぞれの学内でに装置を得り受けての上映金になるため人教育都は全大学で会計500名)
小学生300人	施設竞学会	賴權	小学生とその保護者	7A~8A	48	血液センター	体験型原金セミナーと象十字事業の紹介 展集方法としては①新翻訴込生活情能数(タブロイド語)資体み特集号配率講覧 ②メール金貨への参加者事業メール配信 ③中への変内機器
小学校防護(出算授業)10個	集內小學校	新規	小学生(保護者)	通年(夏冬休み以外)	1088	受入れ小学校。	パワーポイントやハーピット5使って乗しく歌点を学ぶ 出族型歌曲セミナー。 耳 第方法としては独有委員会被由で各小学校へ漏内文書の発送を予定(第一段階と しては数本市80枚)

# ②・献血者の年齢層に応じた献血推進対策・

# et 22	年度の数値書機	<b>平東名</b>					異体的な対策・事業内容	
T#23	千萬 9 萬 萬 有	780	新娘·雜練	対象者	実施時期	自動	子定场所	内容(詳細に記載すること)
			1					
10代~20代献	血省数を3%。上昇させる。		新規	大学生・高校生	要体み	. 168	血液センター	大学生ポランティアの企画運営によるオープンキャンパス型素会セミナーの開催

#### ③ 企業等における献血の推進対策

	平成23年度の数値数 4個	¥#6	<b>具体的证明第一年来内容</b>							
- 1	1,227,222,22	7.7.2	新技·複技	対象者	実施時期	<b>企</b> 數	予定場所	内容(詳細に記載すること)		
	献血協賛企業活動権進事業年間ロゴマーク 記者80社	献血验黄企業活動 推進事業	報報	企業・団体	道年		献血実施のための打合せ 時	献血協力企業に接領・情報誌でロゴマークのPR		
	新規事業所及び団体を10社	"		新規事業所及び団体	通年		企業・団体	全高訪問・各種団体での説明会・技術誌での協質全高紹介		

<b>L</b>	<u> </u>	<u> </u>	Ļ	L	<del></del>	<del></del>	
④ 複数回献血協力者の確保対策						- N	
平成23年度の数値目標	*#6	58-88	対象者	<b>実施時期</b>	1 88	具体的な対策-事業内容 方法	内容(体細に記念すること)
複数図献血者を35%に増加させる。	複数函數血協力者 發揮対策		年1回の献血者	道年		DMによる協力依頼と複数	原集後6カ月を保退した原集者に対して退付しているパースディハガキ献皇司 を選ぎたタイミングで退付。(年間約23,000選)
複数回献血クラブ会員30%増	複数回蔵車協力者 確保対策	組織・	複数囲献森クラブ会員	選挙	48		現在実施の健康トレッキング・中枢コンサートに加えて(変えて)健康ウォーキン ストレッチョガ誘撃会・薬島ウッキング教査の関係

# ⑤ その他

	初日者献血率10%に上昇	leta.		新規	高校生·大学生	選年			17歳への基準引き下げPRに併せて初回者及び初記 してハーピット系ぐるみストラップを進度。	副献血者を同伴した駅血者に対
	<b>予ルン3平点の</b>	双祖日 伊	<b>事業名</b>	斯規·維接	対象者	実施時間	創散	方法	内容(詳細に記載するこ	E)
- 1	草成23年度の		. ***	T				具体的な対策・事業内容		
	⑤ その他					• • •				
٠.	_	1.7			100	1.11			N	•
						***************************************			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
٠.				1		1			1	* * *

### 平成23年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための対策

### ① 若年曆献血者確保対策

平成23年度の数値音標	##5					体的な対策・事業内容	
T MASS TO BUSINESS OF THE SECOND	+***	新規·維採	対象者	実施時期	. 图数	予定場所	内容(詳細に記載すること)
20代の家血者率を20%まで上げる (平成21年度18.3%)	大分県学生献血サ ポーター	維統	学権協加盟の学生	7月、	ì	大分県内	球血パスに同行し、耐血金増無辺での飲血管長や大分トリニータのホームゲーム ピッチでの寮血協力の依頼をサポーターに向けて呼びかける。
20代の禁止者率を20%まで上げる (平成21年度18.3%)	二十歳の献血街頭 広報	模块	成人者(二十歲)	1,5	1	成人式会場(大分市)	版血に関する産来ブースを成人式会場に抜け、新成人に献血を理解していただく! の哲免を行う。
参加加重被10枚に増やす (各研修会等の参加が7枚/25枚)	受の献血ふれあい フェスタ	模疑	九州ブロック学権協	8月		佐賀県(輪番)	九州ブロックセンター連盟の若年度献血推進事業として開催し、各項の活動報告を そ行い献血の意思などを情報発信する。
参加加製故10敏に増やす (各研修会等の参加が7枚/25校)	大分·銀本県学推 協合開研修会	模块	学権協加盟の学生	2月	1.	篇本県	各条学権協の活動報告を行い、グループワーク等により今後の活動計劃を振識し 資質の向上や相互の連携強化を図る。
参加加盟牧10校に増やす (各研修会等の参加が7校/25校)	大分祭学推協全体 研修会	推程	学権協加盟の学生	5月	1	大分市内(研修施設)	学権協加盟技の学生に献血の意義、現状等を学んでいただき、学内献血や新蘭/ 血時のボランティアに活用させていく。
10-20代の家血者等を26%まで上げる (平成21年度227%)	クリスマス献亀キャ ンペーン(非十字ふ れあい広場」.	維接	地域往民・学推協	12月	1	センター	県内県十字施設とともに実施し、冬季の献血者確保と若学度献血の管免や県十年 活動の紹介をする。
10代の禁血者率を6%まで上げる (平成21年成4.43)	若年者故命セミナー	推探	高校生 (支部トレセン参加者)	6,79	1.	トレセン金塔	支部主催のトレーニングセンターに飲金セミナーとしてプログラムに取り入れてもらい、該金を発を贈る。
10・20代の家会者率を26%まで上げる (平成21年度22.7%)	学内400mL献血 キャンペーン	雑枝	学内献血者	##	-	学内献血会場	大学・坂大・専門学校の献血において、学生が好む処遇品を進度する。

1	平成23年度の養殖品標	事業名		具体的立列版"事業内容						
	<b>マルバー後の無量が扱</b>	78,0	新嫂·梨疾	対象者	実施時期	自動	予定場所	内容(詳細に記載すること)		
	参加者100名(各50名)	親子けんけつ教室	组铁	小・中学生の表子(80人)	8,9	2		部血の環境や九州センターを見学し、家血の必要性を理解していただき、将来の家 血者を破除する。		
	参加者10名 (各40名)	献血ふれあい	框段	小・中学生 (支部トレセン参加者)	-7・8月	<b>6</b> 100	トレセン会場	支部主管のトレーニングセンターに原金出資を宣(春えてけんけつちゃんDVD」 「みんなの家金:九州ブロック作成」を教材して世別としてプログラムに取り入れて もらい、家金の宣奏性を理解していただいている。		

平成23年度の差値目標	事業名					体的な対策・平黒内容	
- 一味の子供の声に合物	7.50	新療·總权	対象者	実施時期	<b>公</b> 数	予定場所	内容(終線に記載すること)
献血サポーターロゴマーク10社配布	献血者安定確保	新規	家鱼協力団体 (LC·事業所)	遊年	避回		地方経の夕刊に適:回蔽直協力団体へお礼のメッセージを掲載する。協力事業所の 社会質繁PRにもなるため、渉外による協力体領にも有効である。

# ④ 複数回献血協力者の確保対策

_		·						<u> </u>
	平成23年度の数値目標	事業名	新授·維殊	対象者			体的な対策・事業内容	
	クラブ会員の献血者100人場	複数回数率クラブ 会員サービス事業	報報	収集回転車クラブ会員	Ф97-27 (С Ф97 (С Ф27 (С	2章 )1章 )1章 )1章 )1章		内容(終明に記答すること) 情報体の表行及び医師等の誘致金の開催や程度相談(骨密度測定)を実施する。 また、監別などの由東不足時の歌曲脳力をメールにて依頼する。
٠L	<b>応諾率19%</b>	家血協力被務	製袋	複數图獻此者	#A 1	ΕĄ		衛展家血や事実所献血(依頼許可有り)での過去1~2年の興金場での歌曲者~ハ ガキによる敵血体制を遂付する。
	新提金員180名增	複数服献血クラブ 金角増負	報報	献血者	#39 T	E 89	QRコード入りの会員募集 テラシを献血会場で配付 する。	ORコード入りの会員募集テランを飲血金塔や単血ルームにて全蔵血者へ配付する。平成22年度より実施し、効果があるため継続して行う。

事業名	4 H. 44				体的な対策・事業内容	<del></del>
ライオンズクラブ級	- 引压 表现	一 用果有	実施時期	劉數	<b>大法</b>	内部(詳細に記載すること)
血推進セミナー及 び研修会	維統	LC会員	7月-11月	2個		県内37LC献血の推進拡大、会員も献血知道向上や更なる献血の重要性の理解 関系との、セミナー(1954年)の関係をバス州という。
#A-#/01-4-				<del></del>	三世の (海田市の田の	施し、LC協力禁止での禁止者を増やしていただく。
原相族	機械	常へモグロビン等により飲血がで きなかった協力者	1月~3月	<b>3</b> 18	常長士による健康協議	低へモグロビン等により収血ができなっかた方を中心に程度をサポートし、より多く の方に収血へ扱力いただけるよう栄養士等による栄養相談を実施する。
****				<del></del>		というこう ひとうかまますによりを表面表を発見する。
キャンペーン	框架	移動探血バス放血者	選挙	<b>#5@</b>	協力事業所の見直しや最 通品の見直し	年間5回(長1ヶ月)献血者安定確係ギャンペーン(処認品のプラスワン)を実施する。
	び研修会 低ヘモグロビン者値 厳相談 献血者安定確係	ライオンズクラブが、 血性進セミナー及 近郊体会 低へモゲロビン者能 底相談 歌曲者安定確係	プイナンスクラブ級 新版 授級 対象者 に立文員 (C文員 (MR) (C文員 (MR) (C文員 (MR) (MR) (MR) (MR) (MR) (MR) (MR) (MR)	7/オンズクラブ点 (日本) 1/1 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7(オンズ/ワブダ、 高性温セナー及 が設	7/オンズクラブ版 新規 規模 労養者 東議時間 日東 セミナー(を分列 ) 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

① 若年層獻血者確保対策

	平成23年度の敷織自標	事業名	新規·解釈				具体的な対策·事業内容	
				HAR	突旋時期	<b>B</b> 放	予定等所	内容(詳細に記載すること)
•		京山田佐	<b>業統</b>	高校·大学生·専門学校生	4月~3月	5四维	·各高铁·大学·车汽学校	献血に関するセミナーも含め、新血への理解を求めてもらい、新血協力をいただく (包修:学内献血対映年比200名地)
ř.,	20代の献血率を25%にする	学生献血接達団体 強化	維税	大学生·専門学校生	6 <b>月</b>		血液センター	学生歌曲推進団体の拡充を握り、学内献曲の協力者を増やすために、各学校の自 曲担島窓口を進し参加者を寄りとけーを翻き、メンバーの均員を行う(登録参加後5 61)
		自分への手級キャ ンペーシ	新維	16歳~18歳の献血者	選年	12.	教会ルーム	15歳~18歳の家命者に丹水の自分への怠いを書いていただき、駅島ルームで 雪し、裏生日の月に通り高す。(40人/月)
·		初めての献血キャ ンペーン	新規	学生(高校、専門学校、大学)	1月~2月の何	1.	##V-4	学生(高校、専門学校、大学)を対象に400mL、成分製血を除めて協力いたが した方に抽選で記念品をプレゼントする。

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の被値目標	¥#6	FR 182	444		<del></del>	具体的な対策·事業内容	
90歳以上の490mL単血者を5%増加させる	400mL献血者確保	-	対象者 60歳以上減血者	<b>突旋時期</b> 湯年		を 再集 会権	内容(辞稿に記載すること) 印度を通ぎて後年期最直接方がない方への数単値接はがを送付。特に60歳~64 歳までの方の協力を始むし、65歳以終の数点の協力組織を目指す。(日保送付対 多人数据べ1,000名)
	英年創金小板放金 者の確保	新規	55歳以上の撤血者	漢年			金小板鉄金の半動制度が延長になることから、直数年齢の血斑液血路力者(約700 人)に対象で血・板磁像の必要性と年齢制度の遊唳の説明をし、その50%切替を お願いまする。
③ 企業等における献血の推進対策							

### ② 企業等における献血の推進対策

内容(詳細に記載すること)
個体と協力し、市町村役場での協力団体の織り起こしを行い、撮影
間神と味力に、中町村被物での魅力団体の無り起こしを行い、撮影の構造をはかる。
777

## 後数回献血協力者の確保対策

_				and the second second				
L	平成23年度の数値目標	*#6	新城·鐵線	州赤省		17.	具体的专列策-事業內容	
Г				755	- AB-78	- B#_	方法	内容(詳細に記載すること)
L	広籍者3000人	メール発信	機能	<b>在新田市市</b>	基年	'50	ナールによる飲食物質	撤車ルームのキャンペーン情報など歌曲者のメリットとなる情報を2個/月送信する。 また、歌集の家曲値報要語のメールを確映に、家曲と報酬、型別に送信する。
L	応報者1800人	12#/E	<b>组统</b>	既献血者(被数据金員を 含む)	選挙	25	なみるに下が数単数数	なか月以上放血していない放血者を対象に、策者での放血更易をおこなう。(200枚 × 3個/月間点 予定応募率10%)
	智規会員500人	新規会員職保と被 景団家血	##	被単四支援会員及び新規 登録者	選年	363	製血ちゃんタオルによる新規 登録と複数器製血	数金ルームにおける新規登録会員を募集(家会ちゃんタオルを進退)する。また、既 登場者にも案件に、被登回家会者(リピーター)法律後する。
L		•	MAR		34	206	フナエステによる新規を提会	2月の平日に献血ルームの一角で15°の人/日程皮支施1、新規登録者を確保する。また、既登録者にも案内1、複数回放血者(リピーター)を確保する。

					` :			
٠.	平成23年虚の数値目標	<b>事業名</b>	5% #B	NA.			具体的な対策・事業内容	
٠.	「町、我ぐるみ故由参加運搬」の実施			783	突盖時期	- 日東	方法	内室(原稿に記載すること)
	(16回800名の確保)		機械	名布取料の住民、企業、商化等	4月~3月	.16	各市司計設備での飲血実施	行政や敵血能力団体と協力し、市町行歌場での協力団体の振り起こしを行い、被野 の広い協力機能機の機能をはかる。
	施設内有料託児施設の利用者の父母の献血					+	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	協力(年間60人)	託児養療	機模	有党中の父母	温年			時間にある転更施業の「一時預かり制度」を活用し、利用料金を血液センターで負担。 することにより、背更中の父母に放血協力振う。

# ① 若年層献血者確保対策

平成23年度の最適 音伝	¥#6					真体的な対策・事業内容	
	<del>                                     </del>	新規·被接	対象者	天施時期			内容(存储に記載すること)
京血路鹿夫施者號 1500名	<b>米血块在</b>	接接	10代20代対象	4月~3月	15	血液センター及び各学校を	高校・大学・専門学校等等等用を対象に配血計器のお願いの際、放血への理解を 認めてもらう為、放血調査のお願いも併せてする。小学校については、PTA収慮の 関係で実施しています。小学校・専門学校18校
短大·大学·车門学技能由者2000名	学生献血権進キャンペーン	提級	10代20代封象	4月~3月		各大学他	学生飲血推進協議会のキャンペーンにより処遇品等企图し若年度の飲血増につな げる。(県内敵血実施牧31枚)
② 献血者の年齢層に応じた献血	推進対策					•	

	A				100			
平成21年度の数値 景程	***					具体的な対策・事業内容		1
	T	新規·維統	· 対象者	<b>美族時期</b>	<b>函数</b>	予定場所	内容(詳細に記載すること)	ĺ
 领子参加数250名	会しく学ぼうキッズ最合	推続	小学生と発揮者	1.7	. 6	血液センター	小学生高学年と保証者を対象に献血の重要性と命の大切さを学んでもらう。 専馬方 注は県及び市の教育委員会経由でイベント募集テランを配布する。	1
18畫~39綠敵詹参加者1000名	市町村との協働に よる若年度対策率 来	維統	10代~30代対象	4月~3月	20	果内各市町村	市町村の若年屋の韓原増進を図る為、御保証条名と飲命との協議ということで30代 までをラーゲットに特定能診も一緒にイベントに呼ぎて敵曲を実施する。若年間の初 図名を増やす。	
中学生的名	職場体験学習の受 入れ	維隆	中学生	4月~3月	15	血液センター・凝血ルーム	版曲の重要性や命について学び、献血の呼び掛けを行い献血協力をしてもらえたと いうボウンティアの充実感を経験させ、将本への献血収入を掴る。	-

,	③ 企業等における献血の推進対策	r rank Lagranda					
	平成23年度の数値目標	平京名	新規·程統	対象者	天施時期	具体的位列量 事業內容 平定場所	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		新規獻血協力全 業、団体確保対策	模袋	担当者	年度内全期間	県下全域	これまで製造協力要補の無い金素、関係の組織者(可能な難り代表者)と面金し、 家血の必要性を強く訴え協力が得られるようお願いする。
	52团体	献命協質企業確保 対策	維殊	献血協力団体の極当者	年度內全期間	集下全域	窓血協力事業所の担当者に対し、歌血サポーター制度について説明し継続的な訳 血協力を抜雑する。

## ④ 複数回献血協力者の確保対策

平成23年度の数値 各様	¥#6.					具体的な対策・事業内を	
メール・ハガキによる鉱血製造(月に2回以	7	新規·維接	対象者	実施時期	<b>B</b> 食	方法	内容(詳細に記載すること)
	複数例献血協力者 確係事業	維統	複数回献血クラブ会員	<b>4</b> A	月IC2回程度	メール・ハガキ	メールは月に2節程度・ハガキは年に2節程度としているが、血液不足の散血体質は メール・ハガキともに年2世づっとしている。(通常は新作本・DVD案内、抽恵会、ハ ンドマッサージの案内等、家血者の利益となる内容のみ)
抽运金(年間10回程度)	複数回献血協力者 確保事業	新媛・維経	複数服象率クラブ会員が 主であるが、それ以外の 方も	血液不足時	不定期	メール・ハガキ	鉄站に見合った探点という順点から、血液不足時に実施。伝道手段は、メール・ハス キ、米一例: クリスマス格選金、物選参加対象者は受付者全員とし、景品は、ケトル (千円程度1年)、マフラー(五百円程度3年)、電波時計(五百円程度3年)、放くじ(百円程度1年)。
	複数函數血協力者 確保事業	解級	複数回家血クラブ会員が 主であるが、それ以外の 方も	寄做月	ニカ月に一 開程度	メール・携条板	ニカ月~三カ月に一回程度の実施。伝道手段は、メール、指示板であるため、複数 回家血者クラブの方が主となるが、時間的な条件があれば、会員以外の方も。
	複數團献血協力者 確保事業	維綾	技数图象点者	<b>\$</b> 8	₩6	<b>製上の用紙・掲示板</b>	次側の駅車者に駅車の予約をお願いしている。
	複数图献血協力者 確保事業	斯獎·維統	複数回家血クラブ会員・一 仮家血者・その他	不定順	¥=~80	メール・広報線	旅数回帳点クラブ会員へ優先的に案内し、不足分をその他の方で補う。ヨーガ・アロマ・リフレ等を実施する。
栄養講話+AED講習会(年1回)	複数回蒙血協力者 確保事業	維挟	被数回款血者クラブ会員	2月頃	年に一面	メール・掲示板	年に一個、複数回認血クラブの会員の方を対象に実施。

平成23年度の改築管標	事業名					具体的な対策·事業内容	
一十九八十九の双連目は	T#10	新規·総統	対象者	実施時期	回數	方法	内容(詳細に記載すること)
応諾率27%以上	はがきによる400m し献血依頼	模技	400mL聚血经软膏	年度内全期間	全献由金唱	厳血依頼はがきの蘇送	放血実施会場において過去3年以内に400mL放血度歴のある方を対象にデータを 抽出し似血協力を呼びかける。

### ① 若年層獻血者確保対策

平成23年度の数値目標	T === +			<del></del>		具体的な対策・事業内容	
<b>TREATMONERS</b>	事業名	新規·複接	対象者	実施時期	- 国表	* 李章等	内容(辞録に記載すること)
派血兼宣35個以上、 報塔体要-施敦見学10個以上	医库辅助事業	維接	高校生·導門学校生· 大学生	選年	458	各学校及び血液センター	集教育長名で各高等学校へ献血教室支援の文書送付を体験する。各高等学校、専 門学校、大学を被助路時、鉄血教室の製造を検索さら、島速センターでの興場体 機・振覧美学等管職機的に受け入れる。映像兼料・パワーポイント・考を活用する。
高等学校家血实施校30校以上	高等学校獻魚推進	<b>84.88</b>	高校生・教職員・	遵年	300	各高等学校	高等学校校長会で飲血実施更加を行う。5月の運体的までに各校を直接妨碍し、私 血実施を依頼する。実施時期を分散し実施校を増やすよう問盤する。
専門学校蒙血実施校25校以上	TOTORARE	***	專門学校生·雅典	<b>3</b> 4 ,	308	各事門学校	歌血未実施技へ電接納際し、歌血変施・再絡を依頼する。 資料等により、系内の血 家職保の厳しい選択を説明する。

### ② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

平成23年度の数値目標	¥#6					其体的な対策·軍業內容		
家皇教室2回以上。		新規·模様	対象者	実施時期	- 但此	<b>予定编</b> 页	内容(禁錮に企業すること)	
東京東京2世紀だり 電場体験・競技見学8番以上	国庫補助事業、	模様	小-中学生	温年	10篇	各学校及び血液センター	血液センターでの職場体験・施設見学等を管理的に受け入れる。JRCは に家血教室実施を依頼する。映像素材・パワーポイント・小曲子等を活	増放を中心 明する。

### ③ 企業等における献血の推進対策

				Li_	1.	4	
③ 企業等における献血の推進対策				-			
平成23年度の数値直接	*#6	F#-4#	. 対象者	****	F 88	具体的な対策・事業内容 ・ 予定場所	内全(詳細(こ記載すること)
休戦協力企業・趣体の復活(10個体以上)	体収益力企業。 個体の復活	報報	過去3年以上撤血実施が 途絶えている企業・団体	道年	102		73年(紀代) - 東京 3 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -
新規協力企業・団体の開拓(10団体以上)	新規協力企業 ・団体の制拓	報報	献血来実施の企業・団体	選挙	108	<b>各企業・団体</b>	献血未実施企業・団体へ可能的に計画し、減血実施をお願いする。
複数個献金協力企業・趣体の開拓(S団体以上)	複数回数金修力企 業団体の関拓	報號	年1個実施の企業・団体	34	5関	各企業-団体、	概何的に複数概候曲協力を依頼する。
新観劇曲実施場所の開拓(5か折以上)	新職献血実施場所 の制施	報線	集客力のある商業施設・ 大型ショッピングセンター	<b>温</b> 年	5@	各施設-団体	地元企業が選ばする大型ショッピングセンター等での皆様飲血実施を依頼する。

<ul><li>後数回献血協力者の確保対策</li></ul>							
平成23年度の数値目標	*#6	<b>新規・基接</b>	州名章	*集件第	- 44	具体的公司策·辛里內 方法	<b>内閣は何に記載すること)</b>
年間2個以上協力	メールによる協力 依頼	機能	メール会員(840名)	34	1回以上	1	門里原理(三原東する) は 関点協力者へ感謝のつどしのイベントを年に1個以上支施し款点も同時支施。 会 員の方ペサービス接供の情報配位と同時に放出協力を依頼。
年第2種以上協力	ハガキによる献血 依頼	推板	対象者(15,606)	<b>五</b> 年、		名選修業献金場所の前値 協力者に対し、実施協力 依親ハガキを送付	献血変態機体で、再度献血変施する際には、前機軟血協力者へ、ハガキにて、協 力体制。
年間2回以上協力	電話による献金供報	雑様	全家在管州家	選集			平日、一台平均原島予定本股33本ですが、予定本股に達しない日がつづいた場合、 会、航車等機関機器単をツリアしている原金者へ、400小設施協力者を選求の前号 配金へ協力をよびかける。 第条時に際えて成分版施の協力を、版由ルームの近 原本享用の能力者リストを報告作成し協力を呼揚げる。
年期2回以上	処温品の見重し	機能	全家食者対象	選年	2周	300円以内の商品	年2回以上品を変え複数回数金鉱力者へ提供
<b>⑤ その他</b>							

### ⑤ その他

平成2:	年度の数値音標	平成名				具体的な対策・事業内容		
			新規·義統	対象者	東維時間	自然 方達	内容(詳細に記載	FECE)
	** . * .		1					
1		1	<u> </u>					

別紙

### 供血者から始まる遡及調査実施状況

				ম	成22年11	月30日現在
対象期間		21年4月1 成22年3月			22年4月1 成22年11月	
	HBV	HCV	HIV	HB∨	HCV	ΗIV
(1)遡及調査実施内容						
① 調査の対象とした献血件数(個	別NAT実施	件数)				
1)総数		1,806			1,146	
2)個別件数	1,688	69	49	1,067	52	27
② 上記①のうち、調査の対象とし	た輸血用血	液製剤の本	数			
1)総数		2,014			1.286	
2)個別本数	1,877	84	53	1,200	55	31
③ 上記②のうち、医療機関に情報	<b>设提供を行っ</b>	た本数	,	•		•
1)総数		2,014			1,022	
2)個別本数	1,877	84	53	954	43	25
(2)個別NAT関連情報						
① 遡及調査実施対象[(1)①]の	うち、個別N	ATの結果が	「陽性となっ	た献血件数		
1)総数		144			65	
2)個別件数	144	0	0	65	0	0
② 上記①のうち、医療機関へ供給	合された製剤	に関する報	告件数			
1)使用された本数	140	0	.0	64	0	0
2)医療機関調査中	0	0	0	0	0	O.
3)院内で廃棄	6	0	0	5	0	0
4)不明	6	0	0	3	. 0	0
計	152	0	0	72	0	0
③ 上記②のうち、受血者情報が料	判明した件数	t .				
1)陽転事例	1	0	0	3	0	0
2)非陽転事例	55	0	0	17	0	; 0
3)死亡	55	0 _	0	30	0	0
4)退院·未検査	19	0	0	10	0	0
5)陽性だが輸血前不明	10	0	0	4	0	0
Ħ	140	0	. 0	64	0	0
④ 上記③のうち、医薬品副作用	感染症報告:	を行った件数	女		<del></del>	
報告件数	1	0	0	3	0	0

+血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン(平成20年12月26日一部改正)に基づく遡及調査対応基準を適用。

HBV: HBa抗原CLEIA法確認試験(中和試験)又は個別NAT陽性の場合は遡及調査を行う。

: HBe抗体CLEIA法陽転の場合は遡及調査を行う。

:HCV抗体CLEIA法陽転の血液及び前回の血液について個別NATを実施し、いずれかが陽性の

HIV : HIV抗体CLEIA法で陽転し、確認試験(WB法)又は個別NAT陽性の場合は遡及調査を行う

:スクリーニングNAT陽転の場合は遡及調査を行う

ک 6 <u>U</u> (前回報告分以降 B لد 116 食の 印事 弫 洣 S 定

- きる 親る **温剤** 张数 た血 つ用 #8.⊞ が輪 加は ä 規除 (新規のを) 电节 報る 11-6 四篇 21改 四颗 24 年し の独 2謡 マコ £ ¥. 分に 和報 日の駅 るかの例例例報 成を輸日CHそ **16** − 0 0 47
- ··· fla
- 多兵 41 が陽転 X (# HBV-DNA) 画 ۳
- ₩ 巫 ± 秋 - 室 一 密 品 ±e 例と 6 - 1 二、然 ح سِ -<u>≥</u> ↓J 則死 e<sub>4</sub> 盲原 年の 色も 青古 血叉 た疾 液血 00
- 室存 事抗 報後
- 血後NATで陰性 例け 2要 はを 壑和 (番) 事報 性の 愈 陽と 0 Tた < → 倒ほ Z\_ 耐く ₩ 回條 # B# ے が陽転 体门 検死 管る 民よ 栅 **6** □ (# HCV-RNA) 者 因 且原 献の た他 しょ × 供又 提惠 を疾 新原 液亡 たに 笄目室瓩目 **ω** ω

陽性は

۳

贫 福田

讏

to

×

壑

0

倒け

40

又は独自

世

3

後 NAT

目

化多 氘

藝

壓

0

- の管る は保よ 座のこ 事者因 た血原 し献の 転た他 陽しは が供又 等提惠 查を疾 検知原 **长数** 网话液仁 - 00
- # 匧 .41 倒り の要 はを 室和 事報 性の よ劉 H 44. **4** ) Z\_ 瓦~ 回体 **6** # · tu 倒核死

0

- 27 世 の田銀口
- 0 羅 例 如 如 如 如 如 如 如 如 如 如 如 。 対象して 离例 無事 **6** 11 体上 檢受 管定 保告 **の報** 者の 国と 。献た 例だし は供く 医螺丝 事をを **布架** U 報製死 陸血よ のて困 以おの

	44.	<del>,</del>	·						
供血者発謝及の場合の 供血者の検査値			協議機能を定義を使わり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	当該係要債体と商金債体の のウイルスの協議の資金 (こっているの協議の資金 (こっては、また、関金に、 (こっては、また、関本に、 (1)のでは、また、関本に、 (1)のでは、また、関本に、 (1)のでは、また、関本に、 (1)のでは、 (1)のででは、ここの、 (1)ので (1)ので	鉄 の の の の の の の の の の の の の				/
*	Ļ,		### E	<b>55</b> K					
級 級 報 報 数 報 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	L		***	<b>被</b>					
庭 梅 岳 子 雅 ※ 中 本 宏			展 編 型 と を と と と と と と と と と と と と と と と と と	発生を ・					
四一株 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			田田    田田    田田    田田    田田    田田	本の展料を 院   本の条 権 (本の条 観音。					
余 他 他 然			4750+CV縣 延修主訴 (佐)	1/0					
使単數用位	<u>[</u> .		44. 包含	7 # (b)					
*			15.7-15.4.4. 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株	(本会) (本会) (本会) (本会) (本会) (本会) (本会) (本会)					
<b>年後数</b> 田英堂	П								
交			報報 総称は HOV-RW(-) TAHCV- RW(-)	を を を を を を を を を を を を を を					
	П		### ### ##############################	#1.8					
日来农与後 海鱼 枝子 依			(+) HEV-BHA (+) HE	HCV-RNA (+) (10/11)					
是									
<b>货与後装置(年月)</b>			(10/10) (10/10) (10/10) (10/10) (10/10)	HCV-RMA(+) HCV-Ma(+) HCV/JM-E'-/7 2. (10/11)					
商 整	染練告例(疑い例を含む。)		HCV-ALK-). (06/10).	HCV-4b (一) (0) /ባን)					
<b>设杂</b>	<u> </u>		A 数件 本 00 / 12 1 / 10 / 12	○퍼Բ*K					
原依納 形染供布	看		<b>证代除代明</b> 心就详求	日・坦・蘇疾感消化器疾患その C 型肝支					
<b>邮业和</b> 学 件表	W	Н	¥ X	R R					
医死名(	多ハントタイニ」中等		2 - 4 - 2010 2010 (7 年本年 2010 2010 10 (7 年本年 2010 2010 10 (7 年本年 2010 2010 10 10 年 2010 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	3 - A - 2010 2010 解除基础的 100 100 / 1/7 / 2/2 (新聞報告人 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					
<b>新東</b> 田 布盤			2010 711/ 5	28 10 7.127 14					
神 神 明 日 日 日		供血者隔性事例	2010 /10/ 28	2010					
<b>英雄</b>	$\perp$	自	1000 0062	A 1000					
四条律中		玉	. 5 <u>8</u> °	Ÿ <del>5</del> <b>8</b> °					

献血件数及びHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
		陽性件数 ()内女性	
年	献血件数	[]内核酸	10 万件
	(検査実施数)	増幅検査のみ陽性	当たり
	件	件	件
1987年 (昭和62年)	8,217,340	1.1(1)	0.134
1987年 (昭和62年)	7,974,147	9 ( 1)	0.134
1989年 (平成 元年)	7,876,682	13(1)	0.113
1990年 (平成 2年)	7,743,475	26(6)	0.105
1991年 (平成 3年)	8,071,937	29(4)	0.359
1991年 (平成3年)	7,710,693	34(7)	0.339
1993年 (平成 4年)	7,710,693	35(5)	0.441
1993年 (平成3年)	6,610,484	36(5)	0.460
1994年 (平成 6年)	6,298,706	46(9)	0.343
1995年 (平成7年)	6,039,394	46(5)	0.730
1997年 (平成9年)	5,998,760	54(5)	0.900
1998年 (平成 9年)	6,137,378	56(4)	0.900
1999年 (平成11年)	6,139,205	64(6)	1.042
	0,133,203		1.042
2000年 (平成12年)	5,877,971	6.7(4)	1.140
2001年 (平成13年)	5 7 7 4 0 6 0	[3] 7 9 (1)	1200
2001年 (平成13年)	5,774,269	(1)	1.368
2002年 (平成14年)	5,784,101	82(5)	1,418
		[2]	
2003年 (平成15年)	5,621,096	87(-8)	1.548
		[2]	
2004年 (平成16年)	5,473,140	9 2 ( 4) [2]	1.681
2005年 (平成17年)	5,320,602	78(3)	1,466
2000+ (17217-7)	0,020,002	[2]	1,400
2006年 (平成18年)	4,987,857	87(5)	1.744
2007年 (平成19年)	4020550	[1] 1 0 2 (3)	7.044
2007年 (平成19年)	4,939,550	[6]	2.065
2008年 (平成20年)	5,077,238	107(3)	2.107
2009年 (平成21年)	5,287,101	[0] 102(6)	1,929
		[2]	
2 0 1 0 年 (平成 22 年) (1 ~ 1 2 日)	5,318,586	8 6 (3)	1.617
(1~12月)	(速報値)	[1]	

(注1)・ 昭和61年は、年中途から実施したことなどから、3,146,940件、 うち、陽性仲数11件(女性0)となっている。 (注2)・ 抗体検査及び核酸増幅検査陽性の血液は廃棄され、製剤には使用されない。 ・ 核酸増幅検査については、平成11年10月より全国的に実施している。 (注3)・ 平成22年は、1月~12月の速報値で集計している。

### 2. 舒道府県別(献血地別)

多道序	<b>F県別</b>	(献z	地別	<b>)</b>					:			•	2 8 44,	)		÷.						y				v			
県. 別	61年			元年 (件)	2年 (件)	3年(件)		'							12年						.:		1		224		講服制含	現性歌曲 件 数	ック別 構成 計合
北海道 青 章	1117	1117	1 2	1 1	172	1	2		1	1	(11)	1	1	3	2	2	3	2	(件) 2 2	3	( # ) 2	(#) 3	( #)	( # ) 2	2	(件) 38 13	2.6 0.9	(#)	(%)
岩 手 宮 婦								,		,		,		1			- (1			2			ļ.	3 2	]	5 13	0.3	北海道	
秋 B 山 夢											i i		,				,		1				1	,	1	4	0.3	東北	
英城			-	-		1	4	.2	-	-	<del>  ,</del>	2	-	1	1 2	-	, 1	<del>  '</del> -	-	<u> </u>	-	-		5	1	25	1.7	85	<u>5.</u>
括本	٠.,			ŀ	3	1		1		2	. '	. 1		, ;	3	. 3		2		3	4	2 2		3	1	23 20	1. 6 1. 4		
領法		'				- 1	1	5	2	2	3	7	3 2	3	3 5	, 3	5	3	3	2	. 2	3 6	:	8	3 6	56 77	3.9 5.4	開東	
東 東 神楽川	10	8	4	10	10 I	11	: 12 1	11	14	21 2	18	18	. 19 4	27 3	26 5	29 3	23 5	. 25 5	24 8	22	24 . 5	. 17 5	21	1	25	446 80	31.0 5.6	727	50
新潟				1	2	1		1						1		. 2	,		1		2			2		11	0.8		
石川福井					-											2				٠,	'	. 3		,		7	0.5	北陸·	; ·
山梨			<b>'</b>		1	ŧ				2	ı	7	. :	•		1	1	<b>1</b>	-							5 4	0.3	甲信越	:
長野			-	<u> </u>		•	1	1	-		2	-				1	1				-		ļ.,	2	+	- 7	0.5	40	2
胖 脚 爱 知		,			3	1 2	3	3	1	. ,			4	3	1 2	- 1 3	2	1 2	1	4	Ś	4	- 10	. 2		16	1. 1 4. 2	東海	
三 數			<u> </u>	· ·				<b> </b>			1	1	_ 1			1	3	-		2	, -					8	0.6	91	6.
東等大阪	1.	٠,	1		3			2		2		1		٠		2	. 5	2		4	5	1	. '	2	2	7 27	0.5 1.9		ŀ
兵庫		'		.1	1	2	'		1	. 2	1	8	14	2	8	10	10 4	15	17 3	19	· 17	26 3	26 4	13	18 2	222 35	15. 4 2. 5	近畿	
聚 良 和歌山	,			ı.						'	2	3	. 1		1	1	'	- 1	. 1 2				1	;		13	0.9	309	. 21.
<b>為取</b> 為模						. 1			'												1		.1		1 3	5 5	0.3		
四山							2	,	2				í				1	2 2	1	2	2 2	3 <sup>-</sup> 2	1			13 23	0.9 1.6	ф <b>Б</b>	
<u>ш</u> п					_1					-	2				٠.					_			i		_1	5	0.3	51	3.
春 川					` , .		, i,			۱'				. 1					,	'		1	2	1 2	,	8	0.4	, pg 55	
<b>发 堤</b> 高 知								*		]			. 1	1	2	. 3	.2	1		1	1	2	,			16 6	1.1 0.4	36	2.
権質性質					T		1		2	2	2	1	1	1	1	2	4	2	2		3	1	3	2	4	34 0	2.4		
基 埼 旅 本	.									2	ا, .				2		2	2		,		ا: ٠	1	2		6	0.4		
大分文集									ି ସ				ļ		- 1	.		2	٠,		. '	2	2	2		19 4	1	九州	
<b>東元島</b>							1		ļ			.	2	2		- 1	٠,		- 1	2	,	ا: ۱	2	1	2	12	0.5	·沖縄	
<b>井 吳</b>	11	11	9	13	26	29	34	35	36	46	46	54	56	64	67	79	82	2 87	92	78	87	5 102	107	3 102	1 86	1439	1.3	100	6.

<sup>「</sup> 構成制合」は極致地域しているため。 合計が必ずしも100%にはならない 平成22年については、1月~9月の確定機と10月~12月の返開機で集計

XMRVに関する文献報告(続報)(平成23年2月18日)

血液事業部会運営委員会委員 岡田 義昭

文献番号		報告国	要約
1	Robinson M J,Ertwein O W,Kaye S, et al., Retrovirology. 2010, 7:108.  Mouse DNA contamination in human tissue tested for XMRV	英国	英国292後体、韓国139検体、タイ6検体の計437検体の前立腺組織から DNAを抽出し、XMRV遺伝子を検出したところ21例(4.8%)が陽性となった。一方、同じDNAを用いてマウスの intracistemal A particle(IAP) 遺伝子を検出したところ、115例が陽性であり、XMRV陽性例は全てIAPも陽性であった。これらの結果から実験室のヒトの検体にマウスのDNAが高率に混入していることが明らかになった。これまでマウスDNAの混入を検出するためにマウスミトコンドリアの遺伝子が使用されていたが、IAPの方がコピー数も多く、混入をより高感度に見つけることができる。
2	Oakes B,Tai A, Cingoz O, et al., Retrovirology 2010, 7:109 Contamination of human DNA samples with mouse DNA can lead to false detection of XMRV-like sequences	米国	特異的なXMRVのプライマーを用いて112人のCFSと36人の健常人からXMRVの遺伝子を検出したところ、陽性例はなかった。一方、内因性のマウス白血病ウイルスも検出できるプライマーを用いて上記検体を測定すると、健常人から19人、CFS患者の2人からPCR産物が増幅され、15種の異なるマウス白血病ウイルス株が特定できた。増幅産物が得られた検体全でにマウス由来のDNAが混入していた。増幅が認められなかった検体も含めると健常人検体の33%、CFS患者検体の53%にマウスDNAが混入していたことになる。適切な感度を持った測定法でマウスDNAの混入をモニターする必要がある。
3	Sato E, Furuta R, Miyazawa, Retrovirology. 2010, 7:110  An endogenous murine leukemia viral genome contamination in a commercial RT-PCR kit is amplified using standard primers for XMRV	日本	市販されている RT-PCRキットに少量の内因性のマウス白血病ウイルスの遺伝子が混入している 場合があり、XMRV遺伝子を検出する際にキットの評価を慎重に実施する必要がある。なお、混入し ていたウイルスは、polytropic endogenous MLVと99.4%のホモロジーがある他、CFS患者から検出さ れたウイルス(前回の運営委員会資料の文献10)と99.6%ホモロジーがあった。
4	Hue S, Gray E R, Gall A, et al., Retrovirology. 2010, 7:111  Disease-associated XMRV sequences are consistent with laboratory contamination	英国	報告されたXMRV特異的なPCRプライマーは、マウスの内因性ウイルスの遺伝子も増幅できることを示した。さらに、XMRVが持続感染している細胞株由来のXMRVの塩基配列と患者由来のXMRVとを比較すると、患者由来のXMRVは持続感染細胞由来であることが示された。以上から高感度のPCR法で検出されたXMRVは、マウスDNAの混入の結果かもしれない。

### (参考)

XMRVの疫学に関する主な文献一覧(平成22年5月18日作成、平成22年11月24日改訂)

**血液塞拿部会通觉**委员会委员 窗田 盖胶

(Fi	<b>可立腺癌関係</b> 】	1.2					
文献	文献名		XMRVの陽性率 慢性疲労症候群	健康人	検出法(組織)	報告開	要約
	Urisman A, et al., PLoS Pathog. 2006 Mar;2(3):e25.	9/86 10.5%	A	HAZ.		· .	
	Identification of a novel Gammaretrovirus in prostate tumors of patients homozygous for R462Q RNASEL variant.	(遺伝子の型による 内訳) QQ 8/20 40% RQ 0/14 0% RR 1/52 1.9%		-	RT-PCR (前立線)	米国	DMAアレイによって前立路がん朝後から新たなウイルス(XMRV)を発見した。RMsseLにホモ型変異(QOXにもつ前立路感の40%からXMRVが検出さたが、変異がない前立線感(RR)では1.9%であった。
2	Fischer N, Hellwinkel O, Schutz C, Chun FK, Huland H, Aepfelbacher M, Schlomm T. J Clin Virol. 2008 Nov;43(3):277- 83. Prevalence of human gammaretrovirus XMRV in sporadic prostate cancer	1/871.2% (非家族性)	•	1/70 1,42%	RT-PCR (前立線)	ドイツ	非家族性の耐立能が心能機からXMRVの格出が試みられた。その結果、 州北部においてはほとんど検出されなかった。但し、本研究において、 RitaseLi-本モ型変異(QQ)をもつサンブルは8%来滅であったことに注意を 変する。
. 3	Hohn O, Krause H, Barbarotto P; Niederstadt L; Beimforde N, Denner J, Miller K, Kurth R, Bannert N. Retrovirology. 2009 Oct 16:5:92.	0/589 0% (PCR)		0/5 0%	PCR、RT-PCR (前立線)		589例(76例の RNasoL木モ型変異型を含む)の前立腺癌組織からDNAと RNAを補出し、核酸増幅法を用いてXMRVの遺伝子の有無を調べたが核と
	Lack of evidence for xenotropic murine leukemia virus-related virus(XMRV) in German prostate cancer patients	0/146 0% (抗体)		(抗体)	ELISA(血清)		できなかった。また、血清中からもXMRVに反応する抗体は検出できなかった。
	Schlaberg R, Choe DJ, Brown KR, Thaker HM, Singh IR. Proc Natl Acad Sci U S A. 2009 Sep 22;106(38):16351-6	14/233 6.2% PCR		2/101 2% PCR	PCR (前立腕)		233例の前立課表中は例からPCR法によってXMRV遺伝子が検出できた。
•	XMRV is present in malignant prostatic epithelium and is associated with prostate cancer, especially high-grade turnors	54/233 23% ウイルス抗原		4/101 4% ウイルス抗原	組織染色	米国	RNaseLの変異とは間道がなかった。XMRVのタンパクは上皮細胞に存在していた。
	Danielson B.P. Ayala G.E., and Kimata J.T. JID.2010 Nov.202:1470-77		Alamain.				米国の南部にある州での約立線集患者からXMRV達伝子の検出を行なっ
	Detection of xenotropic murine leukemia virus-related virus in normal and turnor tissue of patients from the southern United States with prostate cancer is dependent on specific polymerase chain reaction conditions	32/144 72.2%			PCR (育立線)	米臨 (南部)	本語が内容にある時代でいましまからのMAを抽出し、PCRを実施で可能はした。 特が隔性であった。内容的は正常能能と振幅を各位に使材できた。 物が隔性であった。MATの報告をご相談と振幅を各位に使材できた。18例に 別方と隔性であった。MATの報告例ではMASに選ば一方の意見やgeaso soore(病理組織分類)との間に有意な差は認められなかった。
14	Aloia AL, Stanos KS, Isaacs WB, Zheng Q, Maldarelli F, De Marzo AM, Rein A; Cancer Res; Published OnlineFirst October 21 2010 XMRV: A New Virus in Prostate Cancer?	0/#5800 0%	, ,		PCR (前立線) 組織染色 (前立線)	米国	新900の前立競技体について、リアルタイムPCRと免疫組織染色を用い、 XMEYの検出を起かた。その結果、前立競艦にXMEYは乗られなかった。 XMEYは実際にはには感染を記こしていない可能性がある。もし感染し いても、このデータは前立機能をの因素関係を支持しない。

文献	文献名	1.0	XMRVの陽性率	, ,			
書号		前立線がん	慢性疲労症候群	健康人	検出法(組織)	報告国	<b>要約</b>
5	Lombardi VC, Ruscatti FW, Das Gupta J, Pfost MA, Hagan KS, Paterson DL, Ruscatti SK, Bagrin RK, Patrow-Sadowski C, Gold B, Dean M, Silverman RH, Mikovits JA, Science. 2009 Oct 23:326(5952):585-9 Detection of an infectious retrovirus, XMRV, in blood cells of patients with chronic fatigue syndrome		68/101 67%	8/218 3.7%	PCR (末梢単核球)	. <b>米国</b>	慢性変労性症候群(CFS)患者の87%からXMRV遺伝子が検出され、XMRV に感染したCFS患者の細胞や血漿中に感染性ウイルスが存在した。また、一 器の症例ではウイルスと抗体が共存していた。 健常人の3.7%からもXMRV が後出された。CFS由来のXMRVは塩基配剤が削立腺感由来のものとクラス ターを形成していた。
6	Ertwein O, Ka'ye S, McClure MO; Weber J, Wills G, Collier D, Wessely S, Cleare A. PLoS One. 2010 Jan 6;5(1):e8519. Failure to detect the novel retrovirus XMRV in chronic fatigue syndrome.		0/186 0%		PCR (全血)	イギリス	慢性疲労性症候群188例を対象に全血から核酸増幅法によるXMRV遺伝子の検出を行ったが、検出できなかった。
7	Groom HC, Boucherit VC, Makinson K, Randal E, Baptista S, Hagan S, Gow JW, Mattes FM, Breuer J, Kerr JR, Stoye JP, Bishop KN. Retrovirology. 2010 Feb 15;7:10 Absence of xenotropic murine leutxeemia virus-related virus in UK patients with chronic fatigue-syndrome		0/136 0% DNA 0/140 0% RNA	0/95 0% DNA 0/141 0% RNA	PCR(全血) RT-PCR(血 清)	イギリス	全血及び血液から接触を抽出し、核酸増幅法を用いてXMRVの遺伝子を検出したが、慢性疲労性症候群及び酸常人から検出されなかった。
8.	van Kuppeveld FJ, de Jong AS, Lanke KH, Verhaegh GW, Melchers WJ, Swanink CM, Bleijenberg G, Netea MG, Galama JM, van der Meer JW, BMJ, 2010 Feb 25;240;c1018 Prevalence of xenotropic murine leukaemia virus-related virus in patients with chronic fatigue syndrome in the Netherlands: retrospective analysis of samples from an established cohort		0/32 0% RNA	0/43 0% RNA	RT-PCR (宋福単核球)	オランダ	1991~1992年に凍結保存されていた末梢単板球からRNAを抽出し、核酸 増幅法によってXMRV遺伝子を検出したが、慢性疲労性症候罪及び観察人 から1例も検出されなかった。
9	Switzer WM, Jia H, Hohn O, Zheng HQ, Tang S, Shankar A, Bannert N, Simmons G, Hendry RM, Falkenberg VR, Reeves WC, Heneine W, Retrovitology 2010, 7:57 Absence of evidence of Xenotropic Murine Leukemia Virus- related virus infection in persons with Chronic Fabgue Syndrome and healthy controls in the United States	-	0/51 0% DNA	0/56 0% DNA	PCR (末梢単核球) 免疫学的試験	米国	米園カンザス州とジョージア州のCFS患者51名とコントロール56名の血漬に ついて、PCRと近休徳変が行われた。その結果、いずれからもXMRYは検出 されなかった。この結果は、XMRVとCFSの関係を支持しない。
10	Lo SC, Pripuzova N, Li B, Komaroff AL, Hung GC, Wang R, and Alter H.J.PNAS.2010,107.1470-77  Detection of MLV-related virus gerie sequences in blood of patients with chronic fatigue syndrome and healthy blood donors.		32/37 86.5% DNA (XMRVとは異な るウイルス)	3/44 6.8% DNA (XMRVとは臭 なるウイルス)	PCR (末梢単核球)	米国	既に報告されているgua情域のプライマーを用いて37人のCFS末梢血を解析 したところ、32人からマウス白血病に顕似したレトロウイルスが進出された。 塩基配列からは、XMRVよりもpolytropic(多種指向性)マウス内田性レトロウ イルスに顕似していた。
11	Barnes E., Flanagan P., Brown A., Robinson N., Brown H., McClure M., Oxenius A., Collier J., Weber J., Gunthard H.F., Hirschel B., Fidler S., Phillips R., and Frater J. JID 2010 Failure to detect xenotropic murine leukemia virus-related virus in blood of individuals at high risk of blood-borne viral infection	•	0/151 0% DNA 0/79 0% RNA		PCR (末梢単核球) RT-PCR (血漿)	英国 西3一 ロッパ	来国と西ヨーロッパの HIV-I 感染者163人(後性期84人、急性期79人)とHOV 感染者67人(慢性期)において、後性感染者からは ONA、急性期79人)とHOV 感染者67人(慢性期)において、後性感染者からは ONA、急性別分の 着からはRNAを抽出し、NAT接受主義に上が、XMRVの遺伝子は株出でき なかった。そらにangに対するT細胞の反応性も63人で検討したが、反応性は 認められなかった。以上から、英国や西ヨーロッパでは血液や性的感染リス クを持つと下のXMRV感染率は高くなかった。
	Hnrich T.J., Li J.Z., Felsenstein D., Kotton C.N., Plenge R.M., Pereyra F., Marty F.M., Lin N.H., Grazioso P., Crochiere D.M., Eggers D., Kuritzkes D.R., and Tsibris A.M.N.JD.2010 Xenotropic mueine leukemia virus-related virus prevalence in patients with chronic fatigue syndrome or chronic limmunomodulatory conditions		0/198 0% DNA	0/95 0% DNA	PCR (末梢単核球)	米国	ボストン開閉にある大学病院において、XMRV感染の頻度を調べるために CFS32人、HV感染者43人、幹細胞及び躁器移植患者26人、関節リュウマラ (RA)患者97人、RAのコントロールの患者95人計230人から DNAを抽出し NAT検査を行なった。XMRVの遺伝子は検出できなかった。

## 資料3-3

#### 献血血液の研究開発等での使用に関する指針 (案)

平成23年3月8日付

#### 前文

血液製剤は、国民の善意の献血によって得られる血液(以下「献血血液」という。)を主たる原料とする貴重な物であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)」(以下「血液法」という。)においても、その適正な使用が求められている。血液製剤は、元来患者の治療を目的として製造され、使用される物であるが、血液製剤の製造に伴って副次的に得られた物及び本来の用途に適しない又は適しなくなった物も含め、輸血の有効性・安全性の向上のための研究、検査試薬の製造及び品質管理試験等(以下「研究開発等」という。)に際し、使用せざるを得ない場合がある。

献血血液が研究開発等に使用される場合にあっては、倫理的な観点からの慎重な配慮が求められる。また、献血血液の研究開発等での使用により、治療のために供給される血液製剤が不足したり、医療に支障が生じることがあってはならない。

一方で、検査で不適となった献血血液や、有効期限切れの血液製剤を研究開発等に使用することは、献血者の善意を無駄にせず、有効利用につながる意義 もある。

かかる状況を踏まえ、ここに献血血液の研究開発等での使用に関する指針を 定める。 \*

#### 第1 基本的な考え方

#### 1 目的 `

本指針は、献血血液が、国民の善意によって得られる貴重な物であることを踏まえ、献血血液の研究開発等での使用について、関係者が遵守すべき事項を定め、もって適正にとり行われることを目的とする。

#### 2 適用範囲

本指針は、献血血液を、研究開発等を目的に使用する場合を対象とする。なお、医療機関における治療を目的とした血液製剤の患者への適応外使用については、本指針の対象としない。

3 研究開発等に用いられる可能性がある献血血液 研究開発等に用いられる可能性がある献血血液及びその概要は以下のとお り。 ① 血液製剤の規格に適合しない血液 具体例:検査等により不適合となった血液、有効期限切れ血液

② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られた物 具体例:検査用検体残余血液、11年の保管年限を超えた調査用の血液、 血漿分画製剤の製造過程で得られた中間体・廃棄画分

- ③ 血液製剤としての規格に適合する血液
- 4 献血血液を研究開発等に使用できる者

献血血液は、採血事業者により採血され、保管・管理されている。また、血液製剤(輸血用血液製剤及び血漿分園製剤)の製造過程にある原料血液は、血液製剤製造販売業者により保管・管理されている。そのため、献血血液は、法律的には採血事業者又は血液製剤製造販売業者が占有しているが、献血血液が国民の善意の行為によってしか得られない物であり、国民は患者の治療に役立てることを目的として血液を提供することに鑑みると、理念的には国民の共有財産とも考えられる。そのため、献血血液の研究開発等への使用に当たっては、献血者の理解が得られ、かつ、血液製剤の有効性・安全性の向上又は国民の公衆衛生の向上に資する目的であれば、一定の手続きの下、可能な限り多くの者により有効利用が図られるべきである。

#### 第2 献血血液を用いることができる研究開発等

- 5 以下に掲げる研究開発等については、第3以降に記載されている所定の手続きを経ることにより、第1 3に記載された献血血液を用いることができる。
- (ア) 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用血液製剤の安全性については、採血時の問診、各種感染症に対するスクリーニング検査等、現在様々な取組がなされており、その向上に向けた不断の努力が求められている。また、血液製剤の製造・使用に対する新たな技術の導入に際しては、血液製剤の有効性が低下する可能性も否定できないことから、その影響を十分に確認する必要がある。かかる状況を踏まえ、所定の条件を満たし、かつ、所定の手続きを経た場合において、以下に記載する目的のため、献血血液を用いることができる。
- ① 研究開発

具体例:人工赤血球の開発、血小板製剤の有効期限に関する研究

② 品質管理試験

具体例:血液製剤の製造に必要な検査機器の精度管理用コントロール血清

③ 検査試薬

具体例:血液型判定試薬、抗血小板抗体試薬

④ 疫学調査·研究

具体例:血液を通じて感染するおそれがある病原体の疫学研究

⑤ その他

具体例:血液フィルターの性能評価、採血基準に関する評価

(イ) 広く国民の公衆衛生の向上を目的とした使用

人の血液の中には様々な蛋白が含まれており、疾病の診断、病態の解明、 疫学研究等、疾病の克服や健康状態の改善に重要な役割を果たしている。か かる状況を踏まえ、所定の条件を満たし、かつ、所定の手続きを経た場合に おいて、以下に記載する目的のため、献血血液を用いることができる。

① 研究開発

具体例:新たな診断薬の開発

② 品質管理試験

具体例:新生児スクリーニング検査精度管理用コントロール血清

③ 検査試薬

具体例:体外診断薬の試薬

④ 医薬品製造

具体例: 培地への血漿の利用、安定化剤としてのアルブミンの利用

⑤ 疫学調査·研究

具体例:インフルエンザ等の感染症流行予測調査

⑥ その他

#### 第3 献血者への対応

#### 6 インフォームド・コンセントについて

献血者は、自らの血液が患者への治療に役立てられることを期待し献血を行うものであるので、献血血液が研究開発等へ使用される可能性があることについて、献血者に対し、献血の実施前に文書による説明を行い、同意を得る必要がある。また、「疫学研究に関する倫理指針(平成14年6月17日 文部科学省、厚生労働省)」等の関連指針の対象となる研究を実施する場合においては、当該関連指針におけるインフォームド・コンセントに係る規定が遵守されなければならない。

#### 7 個人情報の保護について

採血事業者及び血液製剤製造販売業者は、個人情報を取り扱う場合において、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」を遵守し、研究開発等の利用のために献血血液を用いる又は第三者に提供する場合は、匿名化(連結不可能匿名化又は連結可能匿名化であって対応表を提供しない場合をいう。)を行い、献血血液から献血者を特定できなくする措置を講じなければならない。ただし、血液製剤の有効性・安全性の向上及び公衆衛生の向上等の目的のため、個人情報の利用が不可欠である場合であって、インフォームド・コンセントの受領も含め、「個人情報の保護に関する法律」及び当該研究開発等に係る関連指針の規定に基づき実施される場合においては、この限りでない。

#### <注>

連結可能匿名化とは、必要な場合に個人を識別できるように、その人と新たに付された符号又は番号の対応表を残す方法による匿名化をいう。

連結不可能匿名化とは、個人を識別できないように、その人と新たに付された符号又は番号の対応表を残さない方法による匿名化をいう。

#### 8 ヒト遺伝子解析・検査等について

輸血による副作用を防止する観点から、献血血液に対し、赤血球型、白血球型(HLA型)、血小板型及び血漿蛋白に対する遺伝子検査を実施する場合がある。かかる限定的な遺伝子検査を実施するに当たっては、献血者に対し、献血の実施前に文書による説明を行い、同意を得ることが必要である。また、献血血液を用いてそれ以外のヒト遺伝子解析・検査等を実施する場合においては、当該献血者に対し、個別に内容を説明し、同意を得る必要がある。さらに、献血血液を用いたヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施する場合は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(平成13年3月29日 文部科学省、厚生労働省、経済産業省)」を遵守しなければならない。

#### 第4 献血血液の研究開発等への使用の手続き

献血血液の研究開発等への使用に際しては、以下の手続きを経るものとする。

- 9 薬事・食品衛生審議会薬事分科会血液事業部会運営委員会での事前評価
- ① 血液事業部会運営委員会における事前評価を必要とする場合

以下のいずれかの場合においては、当該使用の可否について、血液事業 部会運営委員会において事前に評価を行う。ただし、血液製剤の安全性の 向上のための技術開発及び献血者の保護等を行うことは、血液法で定めら れた採血事業者及び血液製剤製造販売業者の責務であることから、血液製 剤の有効性・安全性又は献血の安全性の向上を目的として採血事業者又は 血液製剤製造販売業者が使用する場合は、この限りでない。

- i 使用目的が、第2 5 (ア)④の「疫学調査・研究」又は第2 5 (イ) の「広く国民の公衆衛生の向上を目的とした使用」に該当する場合。
- ii. 使用者が、営利を目的とした者である場合。
- iii. 使用する献血血液が、第1 3 ③の「血液製剤としての規格に適合する血液」に該当する場合。
- iv. 使用方法に、ヒト遺伝子解析・検査等が含まれる場合。
- v. その他、血液事業部会運営委員会での評価が適当と思量される場合。

#### ② 血液事業部会運営委員会での評価事項

血液事業部会運営委員会では、特に以下の観点から、献血血液の研究開発 等への使用の妥当性について、評価を行う。

#### i. 使用目的

(留意点)血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上又は広く 国民の公衆衛生の向上を目的とした使用であることが明らか でなければならない。

#### ii. 使用する献血血液

(留意点) 血液製剤としての規格に適合する血液の使用は限定的でなければならず、使用する場合においては、その目的を達成するため、当該製剤以外では代替できないことが明らかでなければならない。また、献血血液に対する感染症検査が陽性となった血液については、感染拡大防止の観点から、血液製剤の安全性向上を目的とした検査精度管理等に用いられる場合を除き、原則、用いてはならない。

#### iii. 使用量

(留意点) 血液製剤としての規格に適合する血液を使用する場合においては、血液製剤の安定供給に支障が生じないよう特段に配慮しなければならない。規格不適合血や検査残余血を用いる場合においても、特定の者に使用量が偏ることがないよう、配慮しなければならない。また、使用量が多くなることで、採血事業者及び血液製剤製造販売業者に過度の業務負荷がかり、血液製剤の供給の遅滞等、医療に支障が生じることがあってはならない。

#### iv. 使用者

(留意点) 本指針及び関連指針等を遵守し、献血血液の使用が適切に 行われる体制が整備されていなければならない。なお、使用 者とは、研究開発等の主たる実施者であり、共同研究等の場 合においては、研究代表者を意味する。

#### v. 献血者からのインフォームド・コンセントの受領状況

(留意点) 当該使用に係る献血者からのインフォームド・コンセント の受領が、関連指針等の規定に照らし、適切になされていな ければならない。

#### vi. 倫理面への配慮

(留意点) 研究対象者に対する人権擁護上の配慮がなされ、かつ、疫 学研究が行われる場合は「疫学研究に関する倫理指針」が、 ヒトゲノム・遺伝子解析研究が行われる場合は「ヒトゲノ ム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」が、その他の研究が 行われる場合は「臨床研究に関する倫理指針(平成 20 年厚 生労働省告示第 415 号)」の第 2「研究者等の責務等」及び 第 3「倫理委員会」が規定する事項が遵守されていなければ ならない。

#### ③ 血液事業部会運営委員会での評価方法

血液事業部会運営委員会での評価に際しては、必要に応じ参考人を招致 することができる。また、企業の営業上の秘密等に配慮し、必要に応じ、 使用者の匿名化や、評価を非公開とすることができる。

#### ④ 血液事業部会運営委員会での評価を要さない研究開発等

第4 9 ①に掲げる場合を除いた研究開発等への使用については、必ずしも血液事業部会運営委員会での事前の評価は必要としない。かかる場合、採血事業者及び血液製剤製造販売業者においては、第4 9 ②の評価事項を参照に、献血血液の研究開発等への使用について評価を実施するとともに、使用状況について、定期的に血液事業部会運営委員会に報告するものとする。

#### 10 使用の申請方法

献血血液の研究開発等への使用を希望する者は、採血事業者又は血液製剤製造販売業者に対し、使用を希望する旨の申請書を提出する。採血事業者及び血液製剤製造販売業者は、献血血液の研究開発等への使用を希望する者からの申請を受け付ける窓口を設け、第4 9 ①に掲げる場合の申請については、社の見解を附して、厚生労働省に送付するものとする。第4 9 ①に掲げる場合を除いた研究開発等への使用については、使用目的や使用量等を踏まえ、採血事業者及び血液製剤製造販売業者において評価を実施し、適切に対応するものとする。

#### 11 費用の徴収

採血事業者及び血液製剤製造販売業者が、献血血液を第三者に提供する場合においては、実費程度の費用を徴収することができる。

#### 第5 その他

### 12 市場に流通している血液製剤を用いた研究開発等

市場に流通している血液製剤が研究開発等への使用される場合においても、 血液法の基本理念に鑑み、適切にとり行われなければならず、また、血液製 剤の安定供給に支障が生じることがあってはならない。血液製剤の製造販売 業者においては、当該利用に疑義が生じた場合は、厚生労働省に適宜報告す るものとする。

### 13 残余血液が生じた場合への対応

献血血液を研究開発等に使用する者は、当該血液に残余が生じた場合、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年 12 月 25 日法律第 137 号)」等の関連法規を遵守し、適切に処理しなければならない。また、採血事業者又は血液製剤製造販売業者から提供された献血血液を、無断で第三者に譲渡してはならない。

#### 14 危害の防止のため報告

献血血液を研究開発等に使用する者は、当該献血血液により保健衛生上の危害が発生し、又は拡大するおそれがあることを知ったときは、直ちに厚生労働省に報告しなければならない。

#### 15 不適切な使用への対応

献血血液の研究開発等への使用において、本指針に照らし不適切な使用等が認められた場合は、必要に応じ、血液事業部会運営委員会において対応につき審議する。

### 16 献血血液を用いた疫学研究の実施に係る留意事項

献血血液を用いた疫学研究の実施は、血液の安全性の向上のみならず、医学の発展や国民の健康の保持増進に多大な役割を果たすことが期待される反面、多くの献血者の血液を用いる必要があることや、その結果が献血者へ及ぼしうる影響に鑑みると、特段の配慮が求められる。そのため、献血血液を用いた疫学研究を実施する場合においては、以下の点が遵守されなければならない。

- ① 「疫学研究に関する倫理指針」の対象となる疫学研究を実施する場合においては、当該指針が遵守されること。疫学研究であって、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施する場合においては、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」が遵守されること。
- ② 血液の安全性の向上を目的とした研究にあっては、研究の実施者に採血事業者又は血液製剤製造販売業者が参画していること。
- ③ 当面の間の措置として、採血事業者、血液製剤製造販売業者、国若しくは 地方自治体が設置する研究機関により実施される研究又は公的補助金を 受け実施される研究であること。

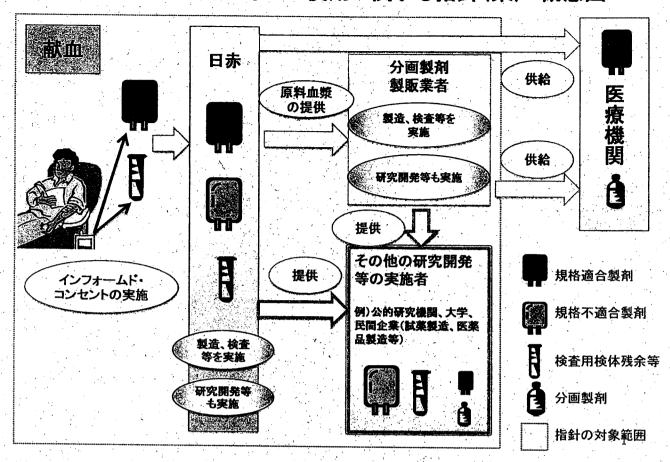
#### 17 細則

本指針に定めるもののほか、必要に応じ、本指針の施行に関る細則を別に定める。

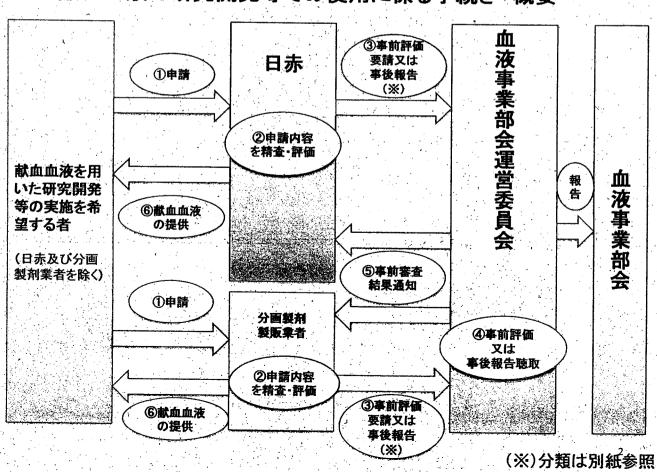
#### 18 指針の見直し

必要に応じ、又は施行後5年を目途として、献血血液の研究開発等への使用 状況を踏まえ、本指針の見直しの検討を行うものとする。

# 献血血液の研究開発等での使用に関する指針(案) 概念図



# 献血血液の研究開発等での使用に係る手続き 概要



# 献血血液の研究開発等での使用に係る評価方法

				使用者		
<b>G</b>	用目的等	採血 血液製剤 事業者 製販業者	公的 研究機関	大学等 研究機関	営利を目的と する者	その他
70 70 - 3	①研究開発	(a) 採血事業者又は	血液製剤製	造販売業者		
(ア)血液製剤 の有効性・安	②品質管理試験	において評価を実施 委員会に対し、使用		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
全性及び献血の安全性の向	③検査試薬		与する。			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
上を目的とし た使用	④疫学調査・研究					
to see to see to	⑤その他					
tige in automatic from the transport and an area in a payment different	①研究開発					
	②品質管理試験					
(イ)広く国民 の公衆衛生の	③検査試薬					•
向上を目的と した使用	④医薬品製造	(b)血液事業部:	<b>企</b> :雷学汞昌:	会において	<b>車前に郭麻太</b>	宝饰
	⑤疫学調査・研究	(1)皿/汉尹未即:	女连凸女员:	Z1-836. C.	中的では関す	大心。
	⑥ぞの他					
(血液製剤の有効) の向上を目的とし	・検査等が含まれる場合 生・安全性又は献血の安全性 て採血事業者又は血液製剤 使用する場合を除く。)					
規格適合	製剤を用いる場合	(a)に同じ。				3

# 献血血液の研究開発等での使用に係る評価事項(抜粋)

## 1. 使用目的

血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上又は広く国民の公衆衛生の向上を目的とした使用であることが明らかでなければならない。

## 2. 使用する献血血液

血液製剤としての規格に適合する血液の使用は限定的でなければならず、使用する場合においては、その目的を達成するため、当該製剤以外では代替できないことが明らかでなければならない。また、献血者に対する感染症検査が陽性となった血液は、感染拡大防止の観点から、特別な場合を除き、原則、用いてはならない。

## 3. 使用量

血液製剤としての規格に適合する血液を使用する場合においては、血液製剤の安定供給に支障が 生じないよう配慮しなければならない。規格不適合血や検査残余血を用いる場合、特定の者に使用量 が偏ることがないよう配慮しなければならない。また、使用量が多くなることで、採血事業者及び血液 製剤製造販売業者に過度の業務負荷がかかり、血液製剤の供給の遅滞等、医療に支障が生じること があってはならない。

## 4. 使用者

本指針及び関連指針等を遵守し、献血血液の使用が適切に行われる体制が整備されていなければならない。

# 献血血液の研究開発等の使用に関する指針案 ~その他の留意事項~

- ・献血者に対するインフォームドコンセントの実施
- 個人情報保護の徹底
- ヒト遺伝子解析・検査等に対する配慮
- ・安定供給への影響に対する配慮
- ・疫学研究に係る留意事項

# 英国滞在歴に関する制限緩和に伴う献血状況(報告)

20110218 日本赤十字社血液事業本部

「採血時の欧州等滞在歴による献血制限の見直しについて」(平成 21 年 12 月 11 日付け薬食発 1211 第 6 号厚生労働省医薬食品局長通知) により、1980 年から 1996 年の間の英国滞在歴による献血制限について、「1 日以上の英国滞在歴を有する者」から「1ヵ月以上の英国滞在歴を有する者」に変更されたところである。

日本赤十字社では、平成 22 年 1 月 27 日採血分から、緩和された制限による献血受入を開始したところであるが、対象となる献血受付者数(実数)の推移及び関連広報の展開について、以下のとおり概要を報告する。

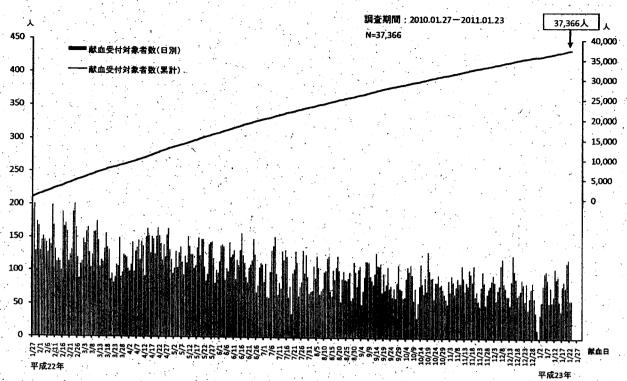
なお、調査実施期間は、平成 22 年 1 月 27 日から平成 23 年 1 月 31 日までの 1 年間(九州、沖縄については平成 22 年 1 月 27 日から平成 23 年 1 月 24 日までの間)とした。

1. 対象となる献血受付者数(実数)は37,366人であった(グラフ1)。また、調査実施期間(1年間)内における献血協力回数を1.7回/年として献血受付者数(延数)を試算すると、約64,000人になるものと推定される。

\*平成21年度の献血者一人当たりの平均献血回数(全国値)

- 2. 献血受付者数(実数)の滞在期間別の分布をみると、1 週間以内が全体の 80.3%、また 2 週間以内では 94.9%となっており、その大部分が 2 週間以内の滞在歴であった(グラフ2)。
- 3. また、広報展開として、①テレビ CM の放映、②新聞 43 紙(全国紙 3 紙, 各地域で購読率の高い地方紙 36 紙, スポーツ紙全国版 4 紙 計 4,076 万部)への掲載、③ラジオ番組での周知、④ポスターの作製(B3 版 9,400 部)掲出、及び⑤日本赤十字社 HP への関連情報の掲載並び に各献血会場でのデジタルサイネージ(映像配信機器)を用いた周知等を実施した(参考)。
- 4. 上記により、当該献血制限の緩和の実施は、献血者確保の増加に有効であるものと判断される。今後も、一度離れた献血者はもとより広く国民に対して献血にご協力いただくため、引き続き、国と連携して積極的な広報活動を継続的に行う必要があるものと考える。

# グラフ1 献血受付対象者数の推移(日別, 累計)

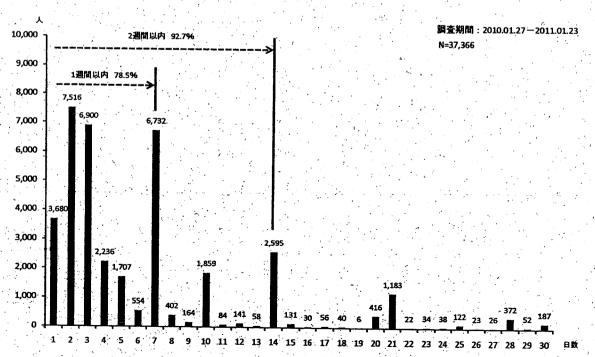


・九州、沖縄については平成22年1月27日から平成23年1月16日までの集計であること。

2

20110218 日本赤十字社血液事業本部

# グラフ2 献血受付対象者数の推移(滞在期間別)



\*九州、沖縄については平成22年1月27日から平成23年1月16日までの集計であること。

#### [参考]

### I テレビ CM 放映 (別添 1 参照)

### 1. 第1回目

### (1)番組提供(全国放送)

放送局	番組名	日付	曜日	放送時間
日本テレビ	2010PGA CHAMPION SHIP	Tr. 00 75 8 45 40 5	1	15 時 30 分-16 時 55 分
ロ本プレビ	第78回日本プロゴルフ選手権大会日清カップヌードル杯	平成 22 年 5 月 15-16 日	土. 日	15時00分-16時25分
TBS	関ロ宏の東京フレンドバークIISP	平成 22 年 4 月 5 日	Я	19時00分-20時54分
フジテレビ	アンビリーバボースペシャル	平成 22 年 4 月 1 日	*	19時00分-22時24分
JOTOL	LIVE2010 ニュース&すぼると	平成22年4月3日,10日	±	24 時 00 分-24 時 15 分
テレビ朝日	さんま&EXILE の世界に一つだけの歌	平成 22 年 4 月 9 日	金	19時00分-21時48分
ナレに射口	世界の子どもが SOS! THE☆仕事人パンク	平成 22 年 4 月 11 日	В	19時00分-20時54分
テレビ東京	アスリート感動劇場 1億の心に響く物語Ⅱ(仮)	平成 22 年 4 月 14 日	水	22 時 00 分-23 時 24 分

<sup>・</sup>上記番組中に30秒のCMを1回又は2回放映したこと。

### (2)スポット放映

(=// 41///	//·/			
地区		放	送局	
関東	日本テレビ		TBS	
関西	讀賣テレビ		朝日放送	
名古屋	中京テレビ		東海テレビ	

<sup>\*</sup>各放送局の空き時間帯に放映を依頼したこと。

20110218 日本赤十字社血液事業本部

### 2. 第2回目

### (1)番組提供(全国放送)

放送局	番組名	日付	曜日	放送時間
日本テレビ	Going!Sports&News	平成 22 年 11 月 6 日, 14 日, 20 日, 28 日	土, 日	23 時 55 分-24 時 35 分
TBS	朝ズバッ!	平成 22 年 11 月 1 日, 3 日, 5 日, 9 日, 11 日, 15 日, 17 日, 19 日, 23 日, 25 日, 29 日	月一金	5時30分-8時30分
フジテレビ	LIVE2010 ニュース JAPAN	平成 22 年 11 月 6 日, 20 日	±	24 時 00 分-24 時 15 分
JOTOL	LIVE2010 すぽると!	平成 22 年 11 月 6 日, 20 日	±	24 時 00 分-24 時 15 分
テレビ東京	アド街ック天国	平成 22 年 11 月 6 日, 13 日, 20 日, 27 日	土	19時00分-19時57分

<sup>\*</sup>上記番組中に30秒のCMを1回又は2回放映したこと。

### (2)スポット放映

地区	放送局			
北海道	札幌テレビ	北海道放送	北海道文化放送	北海道テレビ
仙台	宮城テレビ	東北放送	仙台放送	東日本放送
岡山·香川	西日本放送	山陽放送	岡山放送	瀬戸内海放送
福岡	福岡テレビ	RKB 毎日放送	テレビ西日本	九州朝日放送

<sup>\*</sup>各放送局の空き時間帯に放映を依頼したこと。

<sup>\*</sup>各血液センターにおいても地元放送局(上記放送局以外も含む)に対し空き時間帯に放映を依頼したこと。

### Ⅱ 新聞広告掲載(別添2参照)

### 1. 掲載紙

全国紙(読売新聞・朝日新聞・日本経済新聞)3紙・地方主要紙36 紙・全国版スポーツ新聞(スポーツ報知・日刊スポーツ・スポニチ・サンケイスポーツ)4 紙の合計43 紙 合計約4,076万部

#### 2. 掲載規格

全 5 段モノクロ

#### 3. 掲載日

- (1) 第1回目: 平成22年1月27日
- (2) 第2回目:平成22年3月20日から28日までの間で各1日
  - (3) 第3回目:平成22年11月20日から27日までの間で各1日

### Ⅲ ラジオ番組での告知

JFN38 局ネットにより毎週月曜日から金曜日の6時30分から10分間放送している「LOVE in Action」において、逐次、当該献血制限緩和情報を提供したこと。

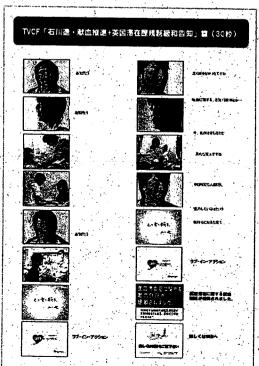
### IV ポスター製作及び配布等

当該献血制限緩和に係るポスターを 9,400 部製作し、各血液センターに配布するとともに、各献血ルームに整備してあるデジタルサイネージ (映像配信機器)においてポスターを掲出したこと (別添 3 参照)。また、献血 Walker(一般国民向け献血推進小冊子)への関連記事を掲載したこと (別添 4 参照)。

6

20110218 日本赤十字社血液事業本部

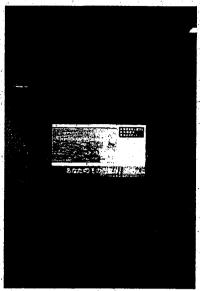
### 別添 1(テレビ CM)



### 別添 2(新聞広告)



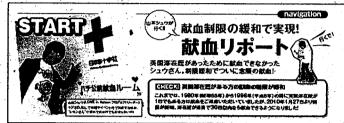
### 別添 3(デジタルサイネージ)



(例:秋田県赤十字血液センター)

### 別添 4(献血 Walker)





# 採血基準改正に伴う準備状況(報告)

20110218 日本素十字計曲海事業本部

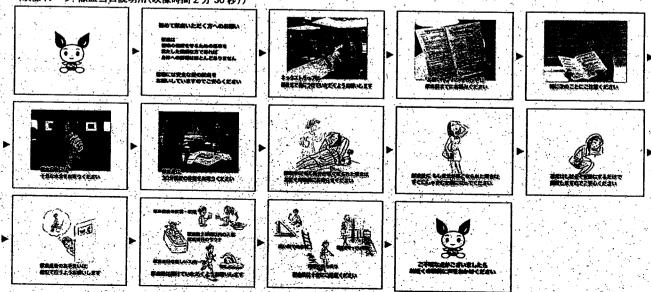
1. 採血時におけるリスクとその対応策を事前にわかりやすく情報提供(HP, 印刷物, 献血現場の表示等)

#### (1) 事前説明

#### ア. 初回献血者向け事前説明用 DVD の作製

内容	400mL 全血献血の下限年齢を男性に限り 18 歳から 17 歳に引き下げることについて、初回献血者に対して、献血の受付時に献血前後の注意事項等の映像を視聴していただき、採血副作用の防止対策の一助とする。 移動採血は再生機器で視聴、献血ルーム等の固定施設は問診票回答システムで視認する。 内容としては、献血の流れや献血前後の注意事項等に重点を置いたものとし、献血当日説明用(映像時間 2 分 30 秒)と献血日前の事前説明用(映像時間 10 分)の二種類を作製する。
運用開始時期	平成 23 年 4 月より実施

# (映像イメージ, 献血当日説明用(映像時間 2分 30 秒))



#### イ、ホームページの改修

ф 🕏	献血の意義と感謝並びに献血	者の安全性確保のた	めの献血時に	おけるリスク及び	<b>「採血副作用防止</b>	への注意事項等を、事前
l n e	に献血者へ情報提供する。		40.57			
運用開始時期	平成 21 年度末(実施済)	•		•	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	

### (日本赤十字社ホームページ "血液事業" より)

#### 初めて献血される方へ

献血は、輸血を受けられる方の安全と献血をされる方の健康を守るため、様々な基準がございま

また、まれに採血に伴う副作用が生じることがありますので、以下の内容をご理解のうえ献血に こ。協力いただけますようお願いいたします。

#### ☑ 献 献血前には「お願い」をお読みください

「お願い」の用紙は各献血会場で献血前にお渡ししています。 献血基準に関することや、採血に伴う副作用などについて記載していますので、 必ずお読みください。

Ð



#### ▮ 「「ネックストラップ」の着用で初めての献血も安心

初めて献血される方は、採血に伴う副作用が生じたり、献血を行う緊張に より具合が悪くなることがあります。

各職員が初回献血者の方をサポート出来るよう、「ネックストラップ」の 着用をお願いいたします。

(省略)

20110218 日本赤十字社血液事業本部

#### (2) 献血会場入口

#### ア. 固定施設における映像配信システム(デジタルサイネージシステム)

内 容	献血の意義と感謝並びに献血者の安全性確保のための献血時におけるリスク及び採血副作用防止への注意事項等を、献血ルーム等の固定施設に入る前に献血者へ情報提供する。 同システムについては、平成 21 年 11 月から順次導入を開始し、現在、全国の各赤十字血液センター及び献血ルームへの整備を完了している。
運用開始時期	平成 21 年度末(実施済)
AE/IIDIIAUFIWI	なお、初回献血者向け事前説明(献血前・献血時・献血後等)用映像の配信は平成 23 年 3 月より

#### (献血ルームへの導入事例)

【岡山県赤十字血液センター 表町出張所】





#### (提供情報例)

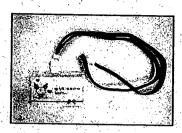
- ① 献血基準
- ② 献血の流れ
- ③ 受付時に配布している「お願い」情報
- ④ 初回献血者向け事前説明用映像 (献血前·献血時·献血後等)
- ⑤ 輸血用血液製剤の在庫情報
- ⑥ 献血推進に係る広報(CM 素材)
- ⑦ 献血推進キャンペーン情報
- ⑧ 血液の知識 等

#### (3) 献血受付

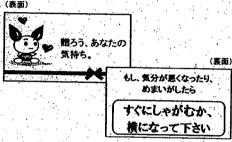
# ア. 初回献血者とわかる目印となるもの(ネックストラップ)等の作製

	初回献血者とわかる目印となる物を身に付けていただくと共に、献血の手順やお願い事項等を記載したリーフレ	7
内 容	ット (三つ折) を手渡し、受付、採血、検診及び接遇の全職員が初回献血者であることを把握し、常に注意を払い、安全性確保に努める。	
運用開始時期	平成 22 年 3 月(実施済)	┨

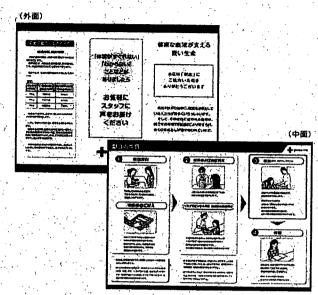
#### (ネックストラップ)







#### (リーフレット)

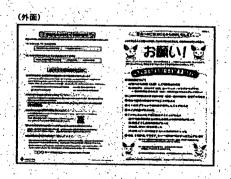


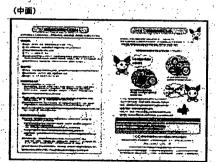
20110218 日本赤十字社血液事業本部

# イ、「お願い」リーフレットの改訂

	献血者に手渡している「お願い」リーフレット(二つ折)について、インフォームドコンセントに係る内容(将 血時に生じる副作用、献血していただいた血液、血液検査で異常を認めた場合のお知らせ 等)を簡潔明瞭にす
	る。
運用開始時期	平成 23 年 4 月より

#### (「お願い」リーフレット)





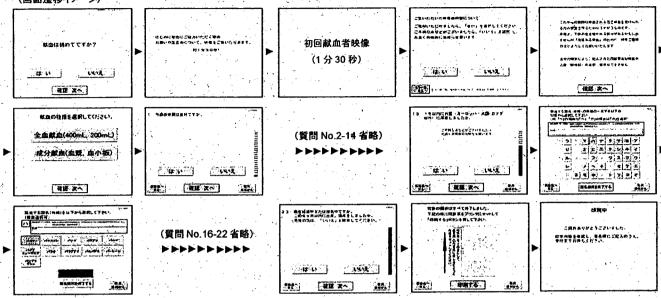
#### ウ. 血液事業統一システムの改修

内 容	採血基準の改正及び問診票の改訂に適合したシステムとする。	$\neg$
運用開始時期	平成 23 年 4 月より実施	$\dashv$

### エ. 問診票回答システムの改修

	探血基準の改正に併せて実施される問診票の改訂(質問事項 14 項目から 23 項目に変更)に伴い、献血ルーム等
内 容	の固定施設における問診票回答システムの改修を行う。
	なお、前述の1. 事前説明における初回献血者事前説明用 DVD の作製 に係る内容も盛り込むこととする。
運用開始時期	平成 23 年 4 月より実施

#### (画面遷移イメージ)



20110218 日本赤十字社血液事業本部

#### (4)事前検査

#### ア 採血基準を血色素量に統一

運用開始時期	平成 23 年 4 月より実施
	設(全体の85%)で簡易ヘモグロビン装置による血色素判定に移行している。
	を、本年度中に追加導入することとしている。なお、平成23年1月末時点で、既に全国の血液センター47施設中40施
n e	現在、国内で使用できる簡易型へモグロビン測定装置は 1 機種のみであるが、危機管理上の面から 2 機種以上の機器
内 容	<b>一する。</b>
	血基準の判定に用いている国は少ないことから、判定結果の客観性向上のためにも血色素(ヘモグロビン)による判定統
	今後、硫酸銅比重液の使用量の低下により、メーカーの生産中止が予想されること、また欧米では、硫酸銅比重液を採

# 2. 採血後十分に休憩できる環境整備

# (1) 献血ルーム等における献血後休憩スペースの拡張等

献血ルーム等の固定施設において、施設面積、献血者数及び改装計画等の調査を行い、実態を把握する。 社内の施設基準検討プロジェクトにおいて、採血室・待合スペース等の標準レイアウトの検討等を実施し、施設の平準化 を図りガイドラインを策定する。また、設計に関する専門家(外部コンサルタント)の意見も反映する。

(平成22年9月に「献血ルーム施設整備ガイドライン」作成済)

運用開始時期

平成 22 年度より実施

#### (平成 22 年度以降の環境整備の実例)

・埼玉県赤十字血液センター 【大宮献血ルーム ウエスト】





大阪府赤十字血液センター 【まいどなんば献血ルーム】





新潟県赤十字血液センター 【献血ルーム・干秋】





8

20110218 日本亲十字社血液事業本部

#### 3. 低比重者などへの対応

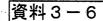
# (1) ヘモグロビン不足により献血できなかった献血者への栄養相談の実施

内 容	ヘモグロビン不足により献血できなかった献血者にパンフレットを使用し、栄養相談を行うことにより、次回の献血に繋げ
運用開始時期	で 21 年度より実施

(パンフレット)









報道関係者 各位

### **Press Release**

平成 23 年2月 25 日

【照会先】

医薬食品局血液対策課

課 長三宅 智 (內線 2900)

企画官安田 尚之(内線2901)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2395

フィブリノゲン製剤納入先医療機関の追加調査について

平成16年12月9日に公表したフィブリノゲン製剤納入先医療機関を対象として、平成19年 11月7日付で実施した追加調査の結果について、平成23年2月14日までに回収した医療機 関からの回答を取りまとめた状況をお知らせいたします。

- 1 回答状况
- (1)追加調査実施期間 平成 19 年 11 月7日~12 月5日(※1) (ただし、現在も回収中)
  - (※1)(1)の調査以降、平成20年8月25日及び平成21年1月16日にも元患者の方へのお知らせ 状況等について再度調査を行っており、(3)回答施設数以降はそれらの結果を反映したもの である。
- (2) 追加調査対象施設数 医療機関 6,610 施設 (平成16年公表施設のうち、所在地等が不明であった施設を除いた医療機関)

#### (3)回答施設数

- ・ 平成16年公表時に存続していた5,397施設のうち、5,291施設(98%)から回答があった。
- ・ なお、このほか平成 16 年公表時に廃院等していた 1,213 施設のうち、508 施設から回答があった。

#### 2 主な調査結果

(1)投与の年月について回答があった医療機関数と元患者数

医療機関数

930 施設

元患者数

14,174 人 (投与年別は別表)

(2)上記以外に、過去に投与の事実をお知らせしたという記録が残されているが、現在では投与 の年月は特定できないとする回答があった医療機関数と元患者数

医療機関数

95 施設

元患者数

312 人

(3)(1)と(2)の合計

医療機関数

1,006 施設(※2)

元患者数

14,486 人

(※2) 厚生労働省ホームページ「C型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ(フィブリノゲン製剤納入先 医療機関名の再公表について)」の公表医療機関等リスト上の該当医療機関の「備考」欄に、 「フィブリノゲン製剤を投与されたことが判明した元息者の方がいるとの報告あり。」と記載した。

#### (4) 元患者の方への投与の事実のお知らせの状況

		元患者数
お	知らせした	8,409人 (58%)(※3)
お	知らせしていない	6,072人 (42%)
理	投与後に原疾患等により死亡	1,981人 (14%)
	連絡先が不明又は連絡がつかない	2,919人 (20%)
由	肝炎ウイルス検査の結果が陰性	456人 (3%)
.	今後お知らせする予定である	235人 (2%)
	その他(未記入含む)	486人 (3%)
1	아 카	14,486人

(※3) 元患者の方に一人でも投与の事実をお知らせした医療機関は829 施設であった。

#### (5)診療録等の保管状況

平成6年以前の診療録等が次のいずれかにより保管されている施設数 (括弧内は調査対象施設数に対する割合)

2,043 施設(31%)(※4)

#### (内訳)(※5)

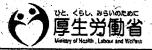
	診療録(カルテ)			1,499 施設	(23%)
	手術記録あるいは分娩記録		. ,	1,578 施設	(24%)
	製剤使用簿			136 施設	-
	処方箋			144 施設	
	輸液箋あるいは注射指示箋			276 施設	
٠	レセプトの写し			83 施設	(1%)
	入院サマリーあるいは退院サマリー	• •		296 施設	(4%)
	その他の書類			295 施設	(4%)

- (※4) 平成 16 年の調査では「昭和 63 年6月 30 日以前にフィブリノゲン製剤を投与した記録(診療 録、使用簿など)が保管されていますか。」との設問であったのに対し、今回の調査では、「平 成6年以前のカルデ等の各種書類が保管されていますか。」との設問であったため、保管して いると回答した施設の割合が異なったものと思われる。
- (※5)厚生労働省ホームページ「C型肝炎ウイルス検査受診の呼びかけ(フィブリノゲン製剤納入先 医療機関名の再公表について)」の公表医療機関等リスト上の「カルテ等の有無」欄に、平成 6年以前のカルテ等の記録が一部でも保管されている場合、Δ印を付していたが、さらに保 管されている記録の保管期間、保管状況等を記載した。

#### (別表)

投与の年月について回答があった元患者数の投与年別の内訳

投与4	Ŧ	人数	<u>·</u> ,
昭和 39年	:	0人	
40年		7人	
41年		8人	
42年		·12人	
43年		16人	· :
44年		18人	
45年		19人	
46年		22人	•
47年		25人	
48年		34人	•
49年		48人	
50年		47人	
51年		67人	
52年		89人	۲.
53年		127人	
54年		198人	
55年		331人	
56年		440人	
57年	1 1 1 2 1	570人	·
58年		976人	
59年	·	1,508人	
60年		1,774人	•
61年		2,454人	-
62年		2,991人	j
63年		1,720人	1
平成 元年	1	233人	
2年		178人	1
3年		104人	
4年		62人	
5年	. 1	52人	
6年		44人	1
計		14, 174人	7



### **Press Release**

平成 23 年2月 25 日 【照会先】

医薬食品局血液対策課

課 長三宅 智 (内線 2900)

企画官安田尚之(内線2901)

(代表電話) 03(5253)1111 (直通電話) 03(3595)2395

報道関係者 各位

血液凝固因子製剤の納入先医療機関の調査について

血液凝固因子製剤の納入先医療機関を対象として、平成20年2月5日付で実施した血液凝固因子製剤の投与実態等の調査の結果について、平成22年2月23日までに回収した医療機関からの回答をとりまとめた状況についてお知らせいたします。

#### 1. 調査等の状況

- (1) 調査実施期間 平成20年2月5日~平成20年3月14日 (ただし、現在も回収中)
- (2) 対象製剤 28 製剤
- (3) 対象製剤納入企業数 12社(現在の存続会社は6社)
- (4) 対象施設数
  - ・企業から提出された対象製剤の納入先施設数 2,899 施設(名称がカタカナのみの施設や不明施設等を含む)
  - ・このうち、所在地等が不明であった施設を除いた 2,630 施設に調査票を送付
- (5) 回答施設数
  - ・調査票を送付した 2,630 施設のうち、2,442 施設(93%)から回答がありました。 (なお、118 施設(4%)は廃院・住所不明等により調査票が未達でした)

#### 2. 調査結果の概要

#### (1) 施設ごとの血液凝固因子製剤の投与の実態

	4	
A. 全て血友病の患者のみに投与した	921 施設 (34 施設)	32%
B. 書類等により製剤を患者へ投与した事実がないことを確認した。	162 施設 (1 施設)	6%
C. 製剤を患者に投与したかどうか確認できない	775 施設 (8 施設)	27%
D. 血友病の患者にのみ製剤を投与したかどうか 確認できない	437 施設	15%
E. 血友病以外の患者に製剤を投与したことを確認した	191 施設	7%
F.未回答の施設	70 施設	2%
G. 文書が到達せず、他の情報も存在しないため 分類不能	75 施設	3%
H. 住所等不明により文書を送付できなかった施設(カタカナ名のみ及び名称不明合む)	269 施設	9%
合 計	2,899 施設	

<sup>※</sup> かっこ内の数字は、調査票が未達であった 118 施設のうち、平成8年調査結果等の情報により分類された施設数。

この表のうち、C〜Hの分類に該当する施設を、血友病以外の患者に血液凝固因子製剤を投与した可能性がある施設(1,816 施設)として、ホームページで医療機関名等を公表しました。

#### (2) 血友病以外の患者への血液凝固因子製剤の投与実態

血友病以外の傷病で血液凝固因子製剤の投与が判明した医療機関数と元患者数

- ◆ 医療機関数 191 施設
- ◆ 元患者数 ~1.760 人

(なお、元患者数については、複数の製剤を重複して投与されている方もおられることから、集計上、のべ人数としている)

#### 【内訳】

#### ① 加熱・非加熱別の投与実態

◆ 非加熱製剤 1,449 人\* (82%)

◆ 加熱製剤 311人(18%)

※ なお、非加熱血液凝固因子製剤の投与実態を調査した平成 13 年調査の時点では、製剤の投与を受けたと特定された人数は 1,754 人であった。

#### ② 製剤の種類ごとの投与実態

◆ 第WI因子製剤 162 人 (9%)

◆ 第IX因子製剤 1,594 人 (91%)

◆ その他製剤 4人 (0%)

#### ③ 対象製剤ごとの投与実態

1	70	_		
		非	15 クリスマシン	984 人
2 プロフィレート	3人	熟	16 PPSB-ニチャク	218人
3 コンファクト8	4人	第	17 コーナイン (ミドリ十字)	7人
4 ヘモフィルS	1人	卤	18 コーナイン (カッター)	- 72人
5 ヘモフィルH		型製	-19 プロプレックス	29人
6 クリオブリン	、5人	剤	20 ベノビール	
7 コーエイト	6人	加	21 クリスマシンHT	45 人
8 ハイクリオ	. 39人	熟第	22 PPSB-HT「ニチャク」	177人
9 コンコエイトHT	9人	XX	23 ノバクトF	
10 コンファクトF	· 14人	子製	24 ゴーナインHT	14人
11  ヘモフィルS-T		剤	25 プロプレックスST	48 人
12 ヘモフィル <b>H</b> -T [		Z	26 オートプレックス (非加熱)	
13 コーエイトHT	1人	製の	27 ファイバ「イムノ」	2 人
14 ハイクリオHT	1人	/"他	28 オートプレックス (加熱)	2人
単純合計(重	複あり	)	1,760人	
重複投与を限	会く人業	¥	1,652人	
	4 ヘモフィルS 5 ヘモフィルH 6 クリオブリン 7 コーエイト 8 ハイクリオ 9 コンコエイトHT 10 コンファクトF 11 ヘモフィルS-T 12 ヘモフィルH-T 13 コーエイトHT 14 ハイクリオHT 単純合計(重	2 プロフィレート     3人       3 コンファクト8     4人       4 ヘモフィルS     1人       5 ヘモフィルH     5人       6 クリオブリン     5人       7 コーエイト     6人       8 ハイクリオ     39人       9 コンコエイトHT     9人       10 コンファクトF     14人       11 ヘモフィルSーT     12       12 ヘモフィルHーT     1人       13 コーエイトHT     1人       14 ハイクリオHT     1人       単純合計(重複あり)	2 プロフィレート     3人       3 コンファクト8     4人       4 ヘモフィルS     1人       5 ヘモフィルH     5人       6 クリオブリン     5人       7 コーエイト     6人       8 ハイクリオ     39人       9 コンコエイトHT     9人       10 コンファクトF     14人       11 ヘモフィルSーT     12       12 ヘモブィルHーT     1人       13 コーエイトHT     1人	2 プロフィレート       3人       非加熱       16 PPSBーニチャク         3 コンファクト8       4人       17 コーナイン (ミドリ十字)         4 ヘモフィルS       1人       18 コーナイン (カッター)         5 ヘモフィルH       9 プロプレックス       20 ベノビール         7 コーエイト       6人       加熱         8 ハイクリオ       39人       21 クリスマシンHT         9 コンコエイトHT       9人       22 PPSBーHT [ニチャク]         10 コンファクトF       14人       23 ノバクトF         11 ヘモフィルSーT       24 コーナインHT         12 ヘモフィルHーT       1人       その利他         13 コーエイトHT       1人       その利他         14 ハイクリオHT       1人       28 オートブレックス (加熱)         単純合計(重複あり)       1,760人

### (3) 元島者の方へのお知らせの状況

患者総数(重複投与を除く)	1,652人	割合
お知らせした	437人	26%
お知らせしていない	1,215 人	74%
投与後に原疾患等により死亡	(846 人)	(70%)
連絡先が不明又は連絡がつかない	(148 A)	(12%)
B型・C型肝炎陰性であることが判明したため	(31 人)	(3%)
今後お知らせする予定	(174 人)	(14%)
その他(未記入含む)	(16 人)	(1%)

#### (別表)

投与年について回答があった元患者数の投与年別の内訳及び特定製剤の投与年別の内訳

			人数		
投与年	aa #ii *ii	<del>                                     </del>		製剤*	
12-7-	28 製剤	4.11 - 3.3	PPSB-	コーナイン	クリスマシン
	山町	クリスマシン	ニチヤク	(ミドリ十字)	
昭和47年	0人	1	0人	0人	
昭和 48 年	0人		0人	0人	
昭和 49 年	.4人		4人	0人	
昭和 50 年	4人		4人	0人	
昭和 51 年	7人	0人	7人	0人	
昭和 52 年	4人	0人	, 4人	0人	
昭和 53 年	68 人	56 人	0人	7人	
昭和 54 年	79人	62 人	12入	- 0人	
昭和 55 年	131 人	112人	7人		
昭和 56 年	150人	118人	5人		<del> </del>
昭和 57 年	221人	156人	25 人	77.	
昭和 58 年	200人	148人	15 人	. ,	
昭和 59 年	176人	108人	21 人	• • • • •	
昭和 60 年	167人	122 人	13 人		0人
昭和 61 年	<i>77</i> 人	42人	6人 -		5人
昭和 62 年	22 人	6人	0人		3人
昭和 63 年	27人	-2人	3人	*	1人
昭和 64 年	24 人				
/平成元年	24 八		·		14人
平成2年	12人		: "		8人
平成3年	3 人				3人
平成4年	4人				2人
平成5年	1人				0人
平成6年	6人				0人
平成7年	6人				
平成8年	7人				
平成9年	16人	. 4			
平成 10 年以降	183 人				
投与年不明	161人	52 人	92 人	0人	9人
合計	1,760人	983 人	218人	7人	45人

<sup>※「</sup>特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第IX因子製剤によるC型肝炎感染被害者を教済するための給付金の支給 に関する特別措置法」に規定する製剤



# **Press Release**

平成23年3月3日

#### 【照会先】

医薬食品局総務課医薬品副作用被害対策室

室長補佐 信沢 正和 (内線2717) 管理係長 内沼 裕之 (内線2718)

(代表電話) 03(5253)1111 (直通電話) 03(3595)2400

### C型肝炎訴訟の和解について

本日、岡山地方裁判所において、下記のとおり和解が成立しましたので、お知らせ します。

平成20年1月以降、同地裁に係属している原告(患者数1人)についての和解。 製剤はフィブリノゲン製剤。

上記の症状は、無症候性キャリアである。

#### (参考)

- 〇和解等成立人数\*1 1,708 人
- 〇新規提訴等人数\*2 1,913人 (3月2日現在)
- ※1「和解等成立人数」は、今回の和解成立者は含まず、これまでに和解が成立した人数(患者数)である。また、調停が成立した4人を含む。
- ※2「新規提訴等人数」は、救済法施行後に提訴等し、訴状等が国に送達された人数(患者 数)である。このうち、1,500人は既に和解等が成立している。

# 資料4-1

### 血漿分画製剤の供給のあり方に関する検討会 中間報告

#### 検討会の目的

血漿分画製剤の製造・供給体制のあり方については、これまでにもさまざまな議論が行われてきたが、血漿分画製剤が国民の献血により得られた血液を原料とするものであることを踏まえ、国内自給及び供給体制等に係る諸問題について改めて検討を行い、将来にわたり安定供給が可能な体制の構築を図る。

#### 【検討会開催実績】

- 第1回検討会(平成22年11月8日)
  - 血漿分画製剤をとりまく諸問題に係る自由計議
  - ・アルブミン製剤の国内自給率低下の要因について
  - ・ 血漿分画製剤のコスト構造について(国内製剤・輸入製剤の比較等)
  - ・ アルブミン製剤と免疫グロブリン製剤の使用実態について
  - ・ 患者及びその家族へのインフォームド・コンセントについて
  - ・血液凝固第四因子製剤の国内血漿由来製剤のシェア低下について
  - 遺伝子組換え製剤の長期的な観点からの評価のあり方について
  - ・ 個別製剤(輸入に依存している製剤等)の供給動向について
- 第2回検討会(平成23年1月21日)
  - 1. 血漿分画製剤をとりまく諸問題に係る自由討議
  - ・アルブミン製剤及び免疫グロブリン製剤の使用実態について
  - ・血漿分画製剤のコスト構造について
  - 2. 論点整理
- ●第3回検討会(平成23年2月7日) 非公開で事業者ヒアリングを実施
- ●第4回検討会(平成23年3月3日) 検討会中間報告・案について討議

### 検討会の今後の進め方

中間報告の「第6 今後さらに検討が必要な課題」に示された諸課題について、平成23年4月以降の検討会において引き続き検討し、本年12月に薬事・食品衛生審議会薬事分科会血液事業部会への最終的な報告を行う予定。

#### 検討会の構成

(敬称略·分野別)

		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
分野	氏 名	所属・役職
患者団体代表	大平 勝美	はばたき福祉事業団 理事長
患者団体代表	花井 十伍	ネットワーク<医療と人権> 理事
法律学	小帽 純子	上智大学法科大学院長
医学 (輸血・血液内科)	牧野 茂義	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 輸血部長
医学 (輸血・血液内科)	溝口 秀昭	東京女子医科大学 名誉教授
医学 (血液・腫瘍内科)	直江 知樹	名古屋大学医学部·大学院医学系研究科 教授
医学(教命救急)	益子 邦洋	日本医科大学 救急医学講座 教授 日本医科大学干葉北総病院 救命救急センター長
医学(循環器外科)	小山、信彌	東邦大学医療センター大森病院 (医学部外科学講座 心臓血管外科 教授)
医学(肝臓内科)	井廻 道夫	昭和大学医学部教授 (内科学講座 消化器内科学部門)
薬学(病院薬剤部)	林 昌洋	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部長・治験事務局長
経済·経営学	三村 優美子	青山学院大学経営学部 教授
医療関係団体	鈴木 邦彦	日本医師会 常任理事
報道関係者	前野 一雄	統売新聞東京本社 編集委員

◎:座長

#### 血漿分画製剤の供給のあり方に関する検討会 中間報告

#### 第1 はじめに

#### (1)検討の経緯

わが国の血漿分画製剤の製造・供給体制のあり方については、これまでにもさまざまな議論が行われてきたが、近年、主な血漿分画製剤であるアルブミン製剤の国内自給率の低下の問題や遺伝子組換え製剤の伸長による血漿由来製剤のシェア低下等の状況が生じている。こうした状況を受けて、血漿分画製剤が国民の献血により得られた血液を原料とするものであることを踏まえ、将来にわたり安全な製剤の安定的な供給が可能な体制の構築を図ることを目的として、血漿分画製剤の国内自給や供給体制等に係る諸問題について改めて検討を行うこととし、平成22年11月に本検討会を設置し、検討を行ってきたものである。

今般、これまでの検討会での議論を踏まえ、特に国内自給率低下の要因として論点となった血漿分画製剤のコスト構造の問題(「国内製剤は輸入製剤に比べ価格が高い」)及び国内製品の競争力強化の問題への解決策を中心に現時点でのとりまとめを行ったので、ここに報告する。

#### (2)これまでの血液事業の経緯と議論の必要性

わが国の血液事業においては、非加熱製剤によるHIV感染問題等を踏まえ、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保等を図るための法的な枠組みとして、平成14年7月に公布された一部改正法により、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(昭和31年法律第160号。以下「血液法」という。)が平成15年7月から施行された。

血液法第3条第2項には、基本理念のひとつとして、「血液製剤は国内自給が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。」ことが規定され、また、血液法第4条第2項においては、国の責務として「国は、血液製剤に関し国内自給が確保されることとなるように、献血に関する国民の理解及び協力を得るための教育及び啓発、血液製剤の適正な使用の推進に関する施策の策定及び実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」こととされている。さらにこの法律の国会審議における委員会決議では、「血液製剤は、人体の一部である血液を原料とするものであることから、倫理性、国際的公平性などの観点に立脚し、国民の善意の献血による血液によって、国内自給を達成できるよう、全力を傾注すること。」が付された。

こうした背景やこれまでに血液事業をめぐって行われてきた議論及びその経緯等を踏まえ、さらに、血漿分画製剤が高齢社会を迎えるわが国に必要不可欠な極めて重要な製剤であり、将来にわたる安定的な供給が強く望まれていること及び平成14年8月から平成19年11月にかけて開催された「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討

会」における検討からの一貫性・継続性も考慮しつつ、検討を行った。

#### 第2 血漿分画製剤をとりまく環境・問題点

#### (1)血漿分画製剤の特徴

血漿分画製剤は、ヒトの血液の成分である血漿中に含まれる「血液凝固因子」、「アルブミン」、「免疫グロブリン」などのタンパク質を抽出・精製したものである。これらはコーン分画法により順に抽出される(:連産品)。

製品は安定性が高く、有効期間が長い(国家検定合格の日から2年間)のが特徴である。

数千人分以上の血漿をまとめて製造するため、万一ウイルス等が混入した場合、多数の患者が感染するおそれがある。しかしながら、現在では、最先端のウイルス除去・不活化処理工程を導入した結果、製剤の安全性が飛躍的に高まっている。

#### (2)輸血用血液製剤、一般の医療用製剤との違い

輸血用血液製剤は、採血された血液を遠心分離し、「赤血球製剤」、「血漿製剤」、「血 小板製剤」、「全血製剤」に分けたものであり、わが国では唯一の採血事業者でもある日 本赤十字社のみが製造し、大部分を医療機関に直接供給している。輸血用製剤は薬価 基準(保険償還額)での販売が行われている。

一方、血漿分画製剤は、現在、4つの国内事業者及び2つの海外事業者が製造又は輸入並びに供給を行っている(国内献血由来製剤は、日本赤十字社から各事業者に原料血漿が配分される)。製剤の多くは市中の卸売販売業者を介して医療機関に供給されているため、価格競争が生じ、製剤の薬価基準(保険償還額)は実勢価格の下落とともに年々低下している状況である。また、流通において、一部では「総価山買い」といった不適切な価格交渉が行われているとの意見もある。

血漿分画製剤は、ヒトの血液中のタンパクから製造される製剤であるため、画期的な 新薬の開発の可能性はほとんどなく、一般の医療用医薬品とは収益構造が異なり、新 薬の開発を繰り返すことにより開発費用を回収することが困難である。このため、前述の 価格競争により薬価が下落すると、その分利益が圧縮され続け、やがては採算性が悪 化し供給不能となるリスクを抱えている。

#### (3)血漿分画製剤の国内自給の必要性

#### ①倫理性の問題

血漿分画製剤は、臓器と同じように人体の組織である貴重な血液から製造されるものであり、その供給や使用にあたっては高い倫理性が求められる。こうした特殊な製剤が一般の医療用医薬品と同様に市場性を理由に国境を越えて売買されることは倫理性の観点から問題であり、また、現在でも一部の国で行われている有償採血を助長する結果にもつながりかねない。世界保健機構(WHO)においても、1975年の総会で無償の献血を基本とする血液事業を推進することを、また、2010年の総

会で国内自給を達成するため必要な措置をとることを加盟国に勧告している。

#### ②国際的公平性の問題

1980年代半ば、わが国ではアルブミン製剤の使用量が世界生産量の1/3に達し、前述の世界保健機構(WHO)の勧告との関係においても問題となったところであるが、世界的に血液の需要が高まる中、かつて問題となったように新興国から大量の血漿を採集し製造された血漿分画製剤を先進国で使用するようなことがあれば、それは国際的公平性の観点から大きな問題がある。

#### ③安定的確保の面での問題

2001年に発生した輸入の遺伝子組換え型血液凝固第個因子製剤の一時供給停止問題の際には、医療需要を満たすために国内献血由来の血液凝固第個因子製剤の増産を緊急に行う等、各方面に多大な影響が生じたところである。また、国内での製造量が一定量を下回った場合、企業としての事業継続が困難になるおそれもある。

製剤供給の大部分を輸入に頼る体制は、近年、アルブミン製剤及び免疫グロブリン製剤の世界的な需要の変動が著しいこと、また、世界の医療が均一化に向かっており、今後、新興国等でのこれら製剤の需要が高まる可能性があることから、危機管理的な観点からも製剤の安定的確保の面で問題があると考えられ、引き続き血漿分画製剤の国内自給に向けた取組が必要である。

#### ④血漿分画製剤の安全性について

国内献血由来製剤と輸入製剤において、現状、検査が実施され、不活化工程が有効なHBV、HIV、HCV等の既知の感染症に対する製剤の安全性に明確な差はないと考えられる。しかしながら、不活化工程の効果が確認されていないプリオン病や未知の感染症あるいは非感染性の副作用を起こす因子に対する安全性の差異について現時点で喜及することは困難である。また、未知のリスクに対する備えについては、その国ごとの方策により必要な体制を構築しており、アプローチに若干の差異がある(米国:安全性向上のため感染症リスクを考慮し、大都市圏には採血所を設置していない。初回供血者の血漿は使用しない。等/日本:輸血用血液と同様に献血者個人単位の保管検体を11年間保存している。等)。

#### (4)血漿分画製剤の国内自給の状況

アルブミン製剤については、かつて1980年代に、わが国が世界生産量の1/3を使用していた時期には、同製剤の国内自給率は極めて低い状況にあったが、その後、適正使用の推進により製剤の使用量が大幅に減少するとともに、海外事業者の撤退もあり、平成19年度にはアルブミン製剤の国内自給率が62.8%まで上昇した。しかし、平成20年度以降、特にDPC病院において国内製剤と比較して安価な輸入製剤への切り替えが進んでおり、平成22年度上期のアルブミン製剤の国内自給率は58.4%まで低下している。

また、アルブミン製剤は大きく高張製剤(25%製剤及び20%製剤)と等張製剤(5%製剤及び4.4%製剤)に分けられるが、高張製剤は膠質浸透圧の改善が主な適応であり、特に消化器内科等で多く使用され、国内自給率は平成21年度において72.3%である。一方、等張製剤は循環血漿量の是正が主な適応であり、胸部外科、消化器外科及び救命救急科等で多く使用されており、平成21年度の国内自給率は23.8%と極めて低い状況にある。

なお、近年、欧米諸国においては免疫グロブリン製剤の使用量が大きく増えているが、連産品構造の中でのアルブミン製剤との生産比率からみると、アルブミン原料に 余剰が発生していることが推察される。

- 免疫グロブリン製剤は、前述したとおり、近年、欧米諸国での使用量が大きく増えている状況であるが、同製剤のわが国における使用量はほぼ横ばいであり、その国内自給率は平成21年度において95.1%と高い状態を維持している。これは、輸入製剤のわが国での適応が国内献血由来製剤に比べて少ないこととともに、海外事業者のわが国の市場に対する事業戦略が影響しているものと推察される。
- 血液凝固第四因子製剤においては、血漿由来製剤としては、平成6年度に国内自給100%を達成したところであるが、一方で平成5年9月に輸入の遺伝子組換え製剤の発売が開始され、以後、輸入遺伝子組換え製剤が大幅に伸長しているが、これも含めた国内自給率は年々低下しており、平成22年度上期においては23.7%まで低下している。
- ・ 各製剤の国内自給率の状況は、以下の6つのグループに分けることができる。 (国内自給率は平成22年度上期)
- ①国内自給率100%を達成しているもの又は極めて自給率が高いもの 乾燥人フィブリノゲン、トロンビン(人由来)、乾燥濃縮人アンチトロンビン皿、乾燥 濃縮人活性プロテインC、人ハプトグロビン(以上100%)、人免疫グロブリン製剤 (95.3%)
- ②製剤の価格差により国内自給率が低下しているものアルブミン製剤(58.4%)
- ③輸入の遺伝子組換え製剤の伸長により国内自給率が低下しているもの 血液凝固第1四因子製剤(23.7%)、乾燥濃縮人血液凝固第1区子(66.7%)
- ④国内で抗体価の高い献血者の血漿確保が容易でないため国内自給率が低いもの 抗HBs 人免疫グロブリン(2.1%)、抗破傷風人免疫グロブリン(0%)、乾燥抗D (Rho)人免疫グロブリン(0%)

⑤海外メーカーが先行して供給しており、国内メーカーが現時点で参入できる状況に ないもの

インヒビター製剤(0%)、人血漿由来乾燥血液凝固第XIII因子(0%)、乾燥濃縮人C1-インアクチベーター(0%)

⑥その他の要因で国内自給率が低い状態で推移しているもの 組織接着剤(47.9%)

#### (5)血漿分画製剤のコスト構造と市場規模

事業者からのヒアリングを通じ、血漿分画製剤のコスト構造等について、以下が判明した。

#### 【国内事業者】

#### (原料血漿確保まで)

・ わが国においては原料血漿の採漿は、輸血用血液製剤と共通の施設、資材及び 手技で行われ、製品及び献血者への安全対策も輸血用血液製剤と同一の対応が行 われている。また、採血所が医業にあたることから、医師の配置が必要である。さら に、無償の献血であるため、好立地の採血所の開設や普及啓発に相当の経費が必 要となる。

#### (製造工程から供給まで)

- ・事業者によりコスト構造の内訳は異なるが、製造原価の割合が高いことは共通。
- ・販売管理費の占める割合は自社MRを多く抱える事業者が高い。
- ・流通経費の占める割合は、販社に供給を委ねている事業者が高い。
- ・日本赤十字社は、輸血用血液製剤の供給システム(各血液センターから医療機関に直接納入)を活用できるため、販売管理費及び流通経費の占める割合が他の事業者と比べ極めて低い。
- ・アルコール分画の年間処理能力は、国内事業者全体で120万Lであるが、各事業者とも製造する製剤の種類が限られていることから、連産品構造の中で効率的な製造が難しい状況(連産ギャップ)。
- ・ わが国においては、昭和41年以降、全ての血液製剤を国民の貴重な献血血液により賄う体制を構築する等の観点から、輸出貿易管理令の運用により血液製剤の輸出を認めていない。これにより、国内事業者は、国内市場でしか連産ギャップの吸収を行い得ない。

### 【海外事業者】

#### (原料血漿確保まで)

・海外事業者においては、子会社が原料血漿を採集する採漿センターを運営しており、採漿の際の資材は輸血用血液に用いるものとは異なる(輸血用バッグではなく樹脂製のボトルなど)。また、規制当局の基準により、必ずしも医師の配置は求められていない。

- ・ 日本では一律に行っている白血球除去や初流血除去を原料血漿に対しては行っていない。
- ・ドナー1人1回あたりの採漿量も600~800mLと、日本(平均430mL)と比較すると多い。
- ・ 供血者に対する1回採漿あたりの報酬として20~30ドル程度が支払われている。
- ・安全性向上のため感染症リスクを考慮し、大都市圏には採血所を設置していない。

#### (製造工程から供給まで)

- ・アルコール分画の年間処理能力は、海外事業者1社でわが国全体の5倍程度の 能力を有しており、国内事業者とは生産規模が大きく異なる。
- ・ 相当のスケールメリットが得られ、製品は市場性に応じて国境を越えて供給され、製品数も多いため、連産ギャップの調整を世界規模で行うことが可能。

#### 第3 論点

#### (1)なぜ、輸入製剤に比べ国内献血由来製剤の価格が高いのか

検討会における議論では、「原料血漿確保までのコスト構造」と「製造工程から供給までのコスト構造」に分けて議論するべきとの意見が示された。前述したとおり、わが国における原料血漿の採漿が輸血用血液製剤と共通の施設、資材及び手技で行われ、輸血用血液製剤と同一の安全対策が行われていることが欧米諸国と大きく異なる点であることから、まずは製造工程から供給までのコスト構造について事業者ヒアリング等を通じて分析し、国内事業者と海外事業者の比較を行うべきであるとの意見が示された。

#### (2)国内献血由来製品の競争力強化のために何が必要か

検討会における議論では、国策として血漿分画製剤の国内自給を推進するのであれば、競争力強化のために国が関与する又は国からの何らかの政策支援が必要なのではないかとの意見が示された。また、血漿分画製剤は、人の血液中のタンパクから製造される製剤であり、画期的な新薬の開発の可能性はほとんどなく、一般の医療用医薬品とは収益構造が異なることから、国内事業者、海外事業者ともに現行の医療保険制度における血漿分画製剤の取扱いに問題意識を持っており、検討会の事業者とアリングにおいても複数の事業者から医療保険制度に対するさまざまな要望が示されている。

さらに、いずれの国内事業者も海外事業者に比べると事業規模が小さく、工場の年間のアルコール分画能力にして20~40万L程度であり、さらに4つの国内事業者の製剤の多くが競合している点が効率的でないこと等から、例えば国内事業者を統合するといった施策が必要ではないかとの意見も示された。

### (3)アルブミン製剤の適正な使用を一層推進すべきではないか

診療科や病態ことに使用状況がさまざまであるアルブミン製剤について、適正な使用を一層推進すべきではないかとの問題意識が示された。

#### (4)輸血用を含めた血液製剤全般の価格構造のあり方について

わが国における現行の原料血漿と輸血用血液製剤のコストの考え方の基本部分は 平成2年当時に設計されたものであるが、20年間を経た現在において見直す必要がないか検証すべきとの認識が示された。

#### (5)血漿分画製剤のインフォームド・コンセントのあり方について

患者の選択権・知る権利を満たすためのインフォームド・コンセントのあり方について、 医療現場での実効性のある運用が可能かどうかをも見据えつつ検討すべきとの認識が 示された。

#### (6)血漿分画製剤の輸出について

わが国においては、1966年以降、血液製剤の輸出を認めていないが、前述したとおり、製剤を輸出できないことが国内事業者の事業効率に大きな影響を与えていると考えられる。倫理性や国際的公平性に問題が生じない形で血漿分画製剤の輸出を行うことができないかの検討をすべきとの認識が示された。

#### (7)国内自給化が困難な製剤の供給のあり方について

抗HBs 人免疫グロブリン等の特殊免疫グロブリンの国内自給化の取組については、 今後、日本赤十字社を中心にできる限りの努力をすべきであるとの認識が示された。

#### (8)血漿由来製剤と遺伝子組換え製剤のあり方について

輸入の遺伝子組換え製剤のシェアが伸長し続けている状況であるが、例えば血漿由来製剤の製造が停止した場合等に、安定供給が保証されるのかといった問題意識から、今後、国内の血漿由来製剤のシェアは何%が望ましいのかといった議論が必要ではないかとの認識が示された。

#### (9)各製剤の国内自給推進方策

各製剤の国内自給率の状況は、第2(4)で前述したとおり、6つのカテゴリーに分類できるが、未だ国内自給率が低い製剤は、その要因がカテゴリーごとに異なるため、今後、個別に具体的な国内自給推進方策を検討することが必要との認識が示された。

#### 第4 提善

#### (1)製造効率の向上

血漿分画製剤の製造効率に影響する要素としては、大きく「①原料血漿確保まで」と「②製造工程から供給まで」の2つに分けて検討することが妥当である。

#### ①原料血漿確保まで

わが国の原料血漿の採漿は、第2(5)で前述したとおり、輸血用血液製剤と共通の施設、資材、手技により行われ、製剤及び献血者への安全対策も輸血用血液製剤と同一の対応がなされている。また、無償の献血であるため、好立地の採血所の開設や普及啓発に相当の経費が必要となる。

一方、海外事業者の原料血漿の採漿は、子会社が採漿センターを運営し、原料血漿の採集に特化している点や、安全性向上のため感染症リスクを考慮し、大都市圏に採血所を設置していないこと、1人あたりの採漿量が異なること、成分採血により採漿しているため、白血球除去処理や初流血除去は原料血漿については不要であるとの考えからこれらを行っていないこと等、わが国とは環境が相当に異なっており、こうした部分での効率性やコストに差が生じていると考えられる。

わが国の現行の採血・採漿システムは、過去からのさまざまな安全対策に係る検討を経て築き上げられたものであるため、直ちに欧米の採漿システムに倣うことは妥当ではないものの、引き続き、現行の採血・採漿システムの検証を行い、十分な安全性を確保しつつ、わが国の血漿分画製剤の製造効率の向上に資する改善点があるならば、費用対効果も踏まえ、積極的に見直していくことが望まれる。

#### ②製造工程から供給まで

第2(5)で前述したとおり、海外事業者の生産規模は国内事業者よりもはるかに 大きく、製剤の供給も世界規模で行っていることから、大きなスケールメリットを享受 でき、連産ギャップの調整を世界規模で行える等、その製造効率は相当に高いと考 えられる。

将来にわたり血漿分画製剤の安定的な供給を維持するために、国内事業者においては、新たな製品開発や免疫グロブリン製剤の適応追加等による生産ライン稼働 率の向上・連産ギャップの吸収等、製造効率向上のための不断の努力が望まれる。

なお、第2で述べたとおり、アルブミン製剤のうち、特に等張製剤(5%製剤及び4.4%製剤)の国内自給率が極めて低い状況が続いていることから、当面、当該製剤の国内自給促進に向けた国内事業者の特段の努力が望まれる。

#### (2)事業規模の拡大・事業基盤の強化

(1)でも述べたとおり、海外事業者との生産規模の差は歴然としていることから、今後、国内献血由来製剤の安定的な供給を継続し、わが国の血液事業を健全に維持していくためには、国内事業者の事業規模の拡大等による事業基盤の強化が不可欠である。事業基盤の強化にあたっては、現在の4国内事業者の事業規模から考察すると、4事業者のうちの複数を統合すること等により、せめて欧州並み(2007年当時の年間アルコール分画能力:平均70万L弱)の生産能力を確保し、製造効率の向上を図るとともに、国内製剤に同一規格製剤が多数存在する状況から、不要な競合を解消する等、効率的な供給体制を構築することが望まれる。その際、日本赤十字社の供給体制を有効に活用する形での統合等の検討が極めて有効な手段であると考えられる。

なお、血液事業が献血者、医療関係者及び患者をはじめとする国民の理解により成り立っていることから、将来の新たな事業体の構築にあたっては、高い倫理性と透明性の確保が必須条件となることは言うまでもなく、各国内事業者をはじめ関係者の今後の努力が期待される。

#### (3)製剤の流通取引における留意点

血漿分画製剤の卸と医療機関の間の流通取引においては、国内献血由来製剤、輸入製剤ともに製品の価値が価格に正当に反映されるよう単品単価取引を原則とするべきである。

#### (4)製剤の使用環境の改善

血漿分画製剤の国内自給の必要性については、第2の(3)で述べたとおり、倫理性の問題、国際的公平性の問題及び製剤の安定的確保の問題から、引き続き国内自給化に向けた取組が必要であるが、平成15年7月の血液法の施行から一定期間が経過していること及び一部製剤の国内自給率が低下していること等から、今一度、献血者、医療関係者・関係学会及び患者をはじめとする国民に向け、血漿分画製剤の国内自給の必要性を訴える必要がある。国をはじめ、関係者はこのことを強く意識するとともに、国民の理解が得られるよう不断の努力をすることが強く望まれる。

#### (5)安定供給・国内自給促進を支援する施策

第2(2)及び(3)で述べたとおり、血漿分画製剤は、人の血液中のタンパクから製造される製剤であるため、画期的な新薬の開発の可能性はほとんどなく、一般の医療用医薬品とは収益構造が異なるとともに、人体の組織である貴重な血液を無償の献血により採集し製造されるものであることから、供給や使用にあたっては高い倫理性が求められる。このように血漿分画製剤は高齢社会を迎えるわが国に必要不可欠な極めて重要な製剤であるとともに、上記のように特殊な位置づけの製剤でもある。

安定供給・国内自給促進を国策として行うものであること及び血漿分画製剤の特殊性から考察すると、製剤の安定供給を維持し、国内自給を促進していくため、国として行える施策について検討を進めることが強く望まれる。

#### 第5 その他の意見

検討会において、診療科や病態ごとに使用状況がさまざまであるアルブミン製剤について、適正な使用を一層推進するべきではないかとの問題意識が示されたが、この課題については、引き続き、薬事・食品衛生審議会薬事分科会血液事業部会適正使用調査会又は同部会安全技術調査会の場において製剤の使用実態を調査等により的確に把握し、最新の知見を踏まえた議論を行うことが適当である。

#### 第6 今後さらに検討が必要な課題

以下の課題については、平成23年4月以降の検討会において、引き続き検討することとする。

#### (1)輸血用を含めた血液製剤全般の価格構造のあり方について

平成2年当時に設計された現行の原料血漿と輸血用血液製剤のコストの考え方の基本部分について、見直す必要がないか引き続き検証。

#### (2)血漿分画製剤のインフォームド・コンセントのあり方について

患者の選択権・知る権利を満たすためのインフォームド・コンセントのあり方について、 医療現場での実効性のある運用が可能かどうかをも見据えつつ引き続き検討。

#### (3)血漿分画製剤の輸出について

わが国では、血漿分画製剤を輸出できないことが国内事業者の事業効率に大きな影響を与えていると考えられること等から、倫理性や国際的公平性に問題が生じない形で血漿分画製剤の輸出を行うことができないかについて引き続き検討。

#### (4)国内自給化が困難な製剤の供給のあり方について

抗HBs 人免疫グロブリン等の特殊免疫グロブリンの国内自給化に向けた今後の取組について引き続き検討。

#### (5)血漿由来製剤及び遺伝子組換え製剤のあり方について

輸入の遺伝子組換え製剤のシェアが伸張し続けている状況から、今後の血漿由来製剤及び遺伝子組換え製剤の安定供給のあり方について引き続き検討。

#### (6)各製剤の国内自給推進方策

未だ国内自給率が低い製剤について、その要因によるカテゴリーごとに具体的な国内自給推進方策を検討。

# 資料 4-2

平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画 (案) について

. •	
•	平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画(需給計画)(案)・・・
•	平成23年度に配分される原料血漿の標準価格の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
i.	
<₹	<b>参考&gt;</b>
•	平成23年度需要見込関連表・・・・・・・・・・・・・・・14
•	血漿分画製剤の自給率の推移(年次:供給量ベース)【実績】・・・・ 15
•	主な血漿分画製剤の自給率の推移(年度・供給量ペース)・・・・・16
•	原料血漿確保実績 (H 20 年 4 月~ 23 年 1 月) · · · · · · · · 1 7
:•	原料血漿価格(日米)の推移・・・・・・・・・・・・・・・・18
	アルブミン製剤の供給量(遺伝子組換え型含む)と自給率・・・・19
•	免疫グロブリン製剤の供給量と自給率・・・・・・・・・20
•	血液凝固第四因子製剤の供給量(遺伝子組換え型含む)と国内血漿
	由来製剤の割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	需給計画の状況 (平成 21 年度~平成 23 年度)・・・・・・・・2 2

厚生労働省発薬食0307第47号 平成23年3月7日

薬事・食品衛生審議会会長 望 月 正 隆 殿

諮問 #

平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画を定めることについて、安全な血液 製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)第25条第5項 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。 平成23年度の血液製剤の安定供給に関する計画 (需給計画)(案)

平成 年 月 日 厚生労働省告示第 号

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(以下「法」という。)第3条に規定する基本理念に基づき、血液製剤(法第25条第1項に規定する血液製剤をいう。以下同じ。)の安定供給を確保することを目的とするものである。

これにより、血液製剤の需要と供給等の動向を把握し、本計画に沿った製造、輸入等が行われることを確実なものとするとともに、供給等の実績をきめ細かく把握し、適時、適切に対応できる体制を構築するものとする。

なお、本計画において、次の各号に掲げる血液製剤は、それぞれ当該各号 に定めるものとする。

- 1 アルブミン 加熱人血漿たん白、人血清アルブミン及び遺伝子組換え 型人血清アルブミン
- 2 組織接着剤 フィブリノゲン加第XⅢ因子及びフィブリノゲン配合剤
- 3 血液凝固第WI因子 乾燥濃縮人血液凝固第WI因子及び遺伝子組換之型 血液凝固第WI因子
- 4 乾燥濃縮人血液凝固第IX因子 乾燥人血液凝固第IX因子複合体 (国内で製造されるものに限る。)、乾燥濃縮人血液凝固第IX因子及び遺伝子組換え型血液凝固第IX因子
- 5 インヒビター製剤 乾燥人血液凝固第IX因子複合体(輸入されるものに限る。)、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体及び遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子
- 6 トロンビン トロンビン (人由来のものに限る。)
- 7 人免疫グロブリン 人免疫グロブリン、乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン、乾燥スルホ化人免疫グロブリン、pH4 処理酸性人免疫グロブリン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン
- 8 抗HBs人免疫グロブリン 抗HBs人免疫グロブリン、乾燥抗HB s人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロ ブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン
- 9 抗破傷風人免疫グロブリン 抗破傷風人免疫グロブリン、乾燥抗破傷 風人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロ ブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン

### 第1 平成23年度に必要と見込まれる血液製剤の種類及び量

平成23年度において必要と見込まれる血液製剤の種類及び量は、血液製剤の製造販売業者等(製造販売業者及び製造業者をいう。以下同じ。)における供給見込量等を基に別表第1のとおりとする。

第2 平成23年度に国内において製造され、又は輸入されるべき血液製剤の 種類及び量の目標

第1及び血液製剤の製造販売業者等における血液製剤の製造又は輸入の見込量を踏まえ、平成23年度に国内において製造され、又は輸入されるべき血液製剤の種類及び量の目標は、別表第2のとおりとする。

第3 平成23年度に確保されるべき原料血漿の量の目標

第2を踏まえ、平成23年度に確保されるべき原料血漿の量の目標は、 9.5万リットルとする。

第4 平成23年度に原料血漿から製造されるべき血液製剤の種類及び量の目標

平成23年度に原料血漿から製造されるべき血液製剤の種類及び量の目標は、別表第3のとおりとする。

#### 第5 その他原料血漿の有効利用に関する重要事項

#### 1 原料血漿の配分

倫理性、国際的公平性等の観点に立脚し、国内で使用される血液製剤が、原則として国内で採取された血液を原料として製造され、海外の血液に依存しなくても済む体制を構築すべきである。このため、国内で採取された血液を有効に利用し、第4に掲げる種類及び量の血液製剤の製造等により、その血液が血液製剤として安定的に供給されるよう、採血事業者が原料血漿を血液製剤の製造販売業者等に配分する際の標準価格及び配分量を次のとおり規定する。

1 原料血漿の標準価格は、(1)から(5)までに掲げる原料血漿の種類ご とに、それぞれ(1)から(5)までに定めるとおりとする。

(1) 凝固因子製剤用 11,150円/L

(2) その他の分画用 10,180円/L

(3) PⅡ+Ⅲペースト 42, 910円/kg

(4) PIV-1ペースト 12,910円/kg

(5) PIV-4ペースト 13,510 円/kg

2 血液製剤の製造販売業者等に配分する原料血漿の種類及び見込量 は、それぞれ(1)から(3)までに定めるとおりとする。

(1) 一般財団法人化学及血清療法研究所

イ 凝固因子製剤用 20.5万L

ロ その他の分画用

575 L

(2) 日本製薬株式会社

イ その他の分画用 14/5万L

ロ PII+IIペースト 6.5万L相当

(3) 株式会社ベネシス

イーその他の分画用 26万L

ロ PIV-1ペースト 20万L相当

ハ PIV-4ペースト 17万L相当

- 1 「凝固因子製剤用」とは、採血後6時間又は8時間以内に凍結 させた原料血漿であって、血液凝固第個因子を含む全ての血漿分 画製剤を作ることができるものをいう。
  - 2 「その他の分画用」とは、採血後6時間又は8時間以上経過し た後に凍結させた原料血漿又は凝固因子製剤用から血液凝固第四 、因子を取り出して生じるもの(脱クリオ分画用プラズマ)であっ て、血液凝固第WI因子以外の血漿分画製剤を作ることができるも のをいう。
- 2 血液製剤の安定供給の確保のために望ましい在庫について

平成13年3月に、遺伝子組換之型血液凝固第個因子の出荷一時停止等 の問題が生じたことを踏まえ、このような緊急事態に対応できるよう製造 販売業者等は一定量の在庫を保有することが望ましい。

別表第1 平成23年度に必要と見込まれる血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類	換算規格	需要見込量
アルブミン	25% 50ml 1瓶	0.000.000
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	3,093,000
組織接着剤	cm*	4,200
血液凝固第V亚因子	1000単位 1瓶	11,177,200
乾燥濃縮人血液凝固第1X因子 インヒビタ一製剤	1000単位 1瓶	434,500 75,400
	延人数	16,700
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第XⅢ因子 トロンビン	1瓶	128,500
	10000単位 1瓶	21,200
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	1,663,900
式HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	18,300
た燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	9.700
亢破傷風人免疫グロブリン - 1873年	250単位 1瓶	65,700
を燥濃縮人アンチトロンピン皿	500単位 1瓶	
た燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	427,600
、ハプトグロビン	2000単位 1瓶	1.00
「燥濃縮人CI-インアクチへーター	1瓶	41,600

別表第2 平成23年度に製造・輸入されるべき血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類			製造・輸	入目標量 1		22年度末	供給可能量
血液袋剤の種類	換算規格	国内血质由来	輸入血漿由来	遺伝子組換え	11+	在庫量(見込)	
アルブミン		<b></b>	100			<del> </del>	
	25% 50ml 1瓶	1,664,100	1,238,600	21,600	2,924,300	907,800	3,832,10
<b>乾燥人フィブリンゲン</b>	1g 1瓶	5,200	i 0	_	5,200	2,600	7,800
組織接着割	cm	5,640,000	5,487,600	_	11,127,600		13,925,200
血液凝固第個因子	1000単位 1瓶	100,000	o	359,800	459,800	165,500	625,300
乾燥濃縮人血液凝固第以因 子	1000単位 1瓶	39,700	0	38,500	78,200	41,800	120,000
インヒビター製剤	延人数	0	3,500	14,700	18,200	10,000	28,200
-}血漿由来乾燥血液凝固第 K II 因子	1瓶	0	112,000		112,000	33,500	145.500
・ロンピン	10000単位 1瓶	19.400	0	_	19,400	12,600	32,000
<b>、免疫グロブリン</b>	`2.5g 1瓶	1,560,200	118,000	_	1,678,200	505.800	2,184,000
tHBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	400	22,200	_	22,600	13,500	36,100
を燥抗D(Rho)人免疫グロブ シ	1000倍.1瓶	0	14,000	_	14,000	5,600	
た破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	0	47,400			;	19,600
た機濃縮人アンチトロンビン皿	500単位 1瓶	436,600	47,400		47,400	47,900	95,300
た燥濃縮人活性化プロテイン	2500単位 1瓶	436,600	0		436,600	77,800	514,400
ハブトグロビン	2000単位 1瓶	37,300	0		0 0	400	400
を燥濃縮人CI−インアクチペーター	1瓶	37,300	3,500	-	<u>37,300</u> 3,500	15,900	53,200 4,400

<sup>(</sup>注)

別表第3 平成23年度に原料血漿から製造されるべき血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類	換算規格	製造目標量
アルブミン	25% 50ml 1瓶	1,664,100
乾燥人フィブリンゲン	1g 1瓶	5,200
組織接着剤	cm <sup>*</sup>	5,640,000
血液凝固第四因子	1000単位 1瓶	100,000
乾燥濃縮人血液凝固第IX因子 インヒビター製剤	1000単位 1瓶	39,700
「して」 一級由来乾燥血液凝固第XⅢ因子	延人数	0
トロンピン	1瓶	0
人免疫グロブリン	10000単位 1瓶	19,400
抗HBs人免疫グロブリン	2.5g 1推	1,560,200
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	400
抗破傷風人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	Ò
乾燥濃縮人アンチトロンピン皿	250単位 1瓶	0
乾燥濃縮人活性化プロテインC	500単位 1瓶	436,600
人ハプトグロビン	2500単位 1瓶	0
乾燥濃縮人CI−インアクチペ−タ−	2000単位 1瓶	37,300
	1瓶	0

<sup>「22</sup>年度末在庫量(見込)」及び「供給可能量」の表は、参考である。

# 血漿分画製剤の分類内訳表

種類	内	訳
アルブミン	加熱人血漿たん白	
	人血清アルプミン	
	遺伝子組換え型人血清アルブミン	<del>.</del>
乾燥人フィブリノゲン	乾燥人フィブリンケン	<del></del>
組織接着剤	フィブリノケン加第X亚因子	-
	フィブリノケン配合剤	٠
血液凝固第四因子(遺伝子組換え型含む)	乾燥濃縮人血液凝固第VII因子	<del></del>
	遺伝子組換え型血液凝固第個因子	
乾燥濃縮人血液凝固第区因子(複合体及び 伝子組換え型含む)	乾燥人血液凝固第以因子複合体(国内製剤)	
	乾燥濃縮人血液凝固第区因子	
	遺伝子組換え型血液凝固第区因子	
インヒビター製剤	乾燥人血液凝固築区因子複合体(輸入製剤)	
	活性化プロロンとン複合体	
	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	
	遺伝子組換え活性型血液凝固第70因子	
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第X皿因子	ヒト血漿由来乾燥血液凝固第XⅢ因子	
トロンビン(人由来)	トロンピン(人由来)	•
人免疫グロブリン	人免疫グロプリン	
	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫ク゚ロプリン	
	乾燥スルホ化人免疫グロプリン	
	pH4処理酸性入免疫ク゚ロプリン	
	乾燥pH4処理人免疫グロプリン	٠.
	乾燥へブッン処理人免疫ケロブリン	
	ボリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	
Strang Land Committee	乾燥ホリエチレング・リコール処理人免疫グ・ロブ・リン	: 1
抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	
	乾燥抗HBs人免疫ク゚ロプリン	
	ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	
	乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	
を燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	乾燥抗D(Rho)人免疫ク゚ロプリン	
t破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロプリン	
	乾燥抗破傷風人免疫ク゚ロプリン	
	ボリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	
AR We don't	乾燥ホリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン	.
「燥濃縮人アンチトロンピン皿	乾燥濃縮人アンチトロンピン皿	
保護縮人活性化プロテインC	乾燥濃縮人活性化プロテインC	$\dashv$
ハプトグロビン	人ハプトグロビン	_

<sup>(</sup>注)安全な血液製剤の安定供給等の確保に関する法律施行規則に掲げる需給計画の対象となる血液製剤をその適応により分類した。

# 平成23年度に配分される原料血漿の標準価格の考え方

#### <基本的考え方>

日本赤十字社では輸血用血液の確保と原料血漿の確保が並行して行われているが、 人員をはじめ施設、装置等は兼用されている。このため、これらを明確に切り分ける ことは困難であるが、採血関連業務の中で、原料血漿の確保のために必要と考えられ る部分について費用を積算し、原料血漿の価格を計算する。【原価計算方式】

- 〇<u>血漿成分採血は、必要経費を積算</u>。但し、献血全般に共通する事項や他の献血者 にも同様に広く行われるサービスに係る経費を除く。
- ○全血採血及び血小板成分採血は、主として、赤血球製剤及び血小板製剤を製造するために行われることから、原料血漿の確保に係る費用の一部に限定して積算。 但し、赤血球製剤の白血球除去の導入に伴い原料血漿の製造に生じた費用は含む もの。

#### 1 凝固因子製剤用

(1) 原料血漿の配分量

· 配分量は、確保目標量と同量の<u>95万リットル(A)</u>とする。

(2) 価格の算定方法

原料血漿95万リットルの確保から供給までに必要な経費を積み上げ、この必要経費の総額を95万で除し、5%の消費税を加えて1リットルの単価(B)とする。

(3) 算定の根拠

日本赤十字社が提出したデータを使用することとし、材料費等(材料費、人件費、経費、輸送保管費等)の<u>単価(C)については直近の実績である平成20年度及び21年度の平均</u>を使用する。

(4) 採血方法別の原料血漿の配分量

各採血方法別の確保量の割合で95万リットルを按分し配分量(D)とする。 確保量の割合は、平成23年度献血推進計画(案)に則り日本赤十字社が策定 した平成23年度の事業計画(案)とした。

計算式: B = Σ (C n × D n) / A × 1 . 0 5 (1 0円未満四括五入) (n は採血方法を示す。)

#### 2 その他の分画用

血液凝固第四因子製剤が製造できない点を考慮して、凝固因子製剤用から所要額を割り引くものとするため、前年度標準価格に凝固因子製剤用原料血漿の価格改定率を乗じ新価格とする。(10円未満切り上げ)

#### 3 中間原料

前年度標準価格に凝固因子製剤用原料血漿の価格改定率を乗じ新価格とする。(10 円未満切り上げ)

#### 積算する費用(凝固因子製剤用)

経 費	採	<u>m</u>	種、別	
	全血(200 及び 400)	血小板成分	血漿	成 分
材料費	一部 (シンングルパック代相当、製	品表示ラベル代)	止血・消毒用	
人件費	原料血漿の凍結	・一時保管費	(製剤職員費)	A
			医師(検診)看 検査職員(生化 事務職員(受付	
経 費	<製造>機器等保守料	斗・減価償却費	及び光熱水料(ス	東結・保管費)
	白血球除去の導入に 伴い生じた経費(減 価償却費、リース料 等)		く採血>:装置 保守	、処遇費(記念品) 【借料、減価償却、 送料、光熱水料
			機器	保守、減価償却
管理供給 調査研究費	原料血漿輸送・貯留の	米質経費(管理	センター及び分画センタ	−の連営費)

#### 材料費

全血採血及び血小板成分採血については、原料血漿として分離後の凍結・一時保管に 関するもの等を積算する。血漿成分採血は全額を積算。

#### 人化物

全ての採血種別で原料血漿の凍結に要する費用を積算する。

血漿成分採血では献血者に対応する医師、看護師及び事務職員の人件費並びに血液検査の実施に係る人件費も積算する。

#### 終曹

全血採血及び血小板成分採血については、原料血漿として分離後の凍結・一時保管に関するものを積算する。血漿成分採血では、成分献血登録者に対する献血依頼経費、献血者に対する処遇費、採血、検査、製造(凍結)に関する経費も含めて積算する。

全血採血において、白血球除去の導入に伴い、原料血漿の製造に生じた経費 (減価 償却費、リース料等) も積算する。

#### 搬送・貯留保管費

管理供給・調査研究費のうち、原料血漿の搬送・貯留保管に要する経費を積算する

<b>8</b> 8	全血200	全血400	血小板成分	自然成少	負担する費用	食糧の区分
数数数	222.91 FB	272.16 гл	270.85 FR	7,588.03 FF	血液ハッグ代(全血はングよいが作用等、血体症は全血 400c回り、発血も大(血液成分尿血のみ) 製品表示シル 素品度(成分凝血の原存液、生理食塩液など) 止血・消毒用消耗品 検査試験(血液型、NAT用など)	<b>骨数点公路員ので</b> "
	32.27 FB	53.05 PR	31.97 m	3,353,90 -F5	機能令 (O 跨位投資保険、美自命包贴與(D)的O(A) 《不由》 第二個投資經濟之、美國保學與(深自裝開公) 採用收斂係之、美國保學與(深自裝開公)	自教成分録目のや 自教成分録目のや をBul-1の名材 美層質担 製は最近したい
					《茶香》 被香枝存近 光髓水料等 食脂糖酶聚中中·減酯資却費	血漿成分採曲のみ
					へ数据が 製造機構等の中型・減価度型割 ・光影大型 (原本血液の減結・一部の他に関するもののよ)	種信用点法数数の数後に係るものは負担しない。 今ものは負担しない。 今年前をの3
本本	56.40 FB	108:10 円	98.71 ਸ਼	8,023.64 гд	医原体体验 者医原体检查 探血・探血射像の準備) 於實施員(七十年時一等 原来医療型) 對為第二條在每の受付、採血後の及対) 製造業員(其他一路保管)	直教徒分様値のみ "
管理供給·調査研究費	137.04 FB	262.66 H	239.82 円	513.90 FB	原料血漿輸送: 跨盟媒管資用/血液管理6/7-00管 理都門接責合心) 1/74過たり単価名: 探血当たり単価に変換:	製品供給費、研究館発費、その他の施設の管理部門権要 は食用しない。
**	448.62 гя	695.97 FF	641.35 FB	19,479.47 円		
1.採血あたりの原料血漿 登 合計(1リットルあたり単価) ①	3,867.41 FR	0.236 n 2.949.03 H	3.054.05 FI	0.45 TZ 43.287.71 FB		
(田本篇二田田姓) 美名字文文学学 2	(田存蔵が田)	,				

#### 積算内訳

その他の分画製剤用

現行価格 凝固因子製剤用血漿の価格変動割合

12,380 円

11,300 円/リットル 11,150 円 10.177.30 円/リットル → 10,180 円

12,380 円  $\Pi + \Pi$ 

現行価格 凝固因子製剤用血漿の価格変動割合 47,640 円/kg

11,150 円 12,380 円 42,906.79 円/kg 42.910 円 V-1

現行価格 凝固因子製剤用血漿の価格変動割合 14,330 円/kg

11,150 円 = 12,906.26 円/kg 12,910 円 12,380 円 IV-4

現行価格 凝固因子製剤用血漿の価格変動割合 15,000 円/kg 11,150 円 = 13,509.69 円/kg → 13,510 円

日本赤十字社血液事業本部

# 日本赤十字社事業計画に基づく原料血漿の採血方法別確保目標

日本赤十字社は、平成23年度の献血の推進に関する計画における目標量に則り、全血採血で約145万リット ル、成分採血で約62万リットル、合計で約207万リットルの血液確保計画を作成し、当該年度に必要な95 万リットルの原料血漿を確保することとしております。

# 献血の推進に関する計画 (案)

1	採血方法	全血献血	成分献血
	血液量(L)	1.450.007	血小板 血漿 小計 合 計
ا ر		1,452,267	351,152 264,563 615,715 2,067,982



# 日本赤十字社の事業計画について一

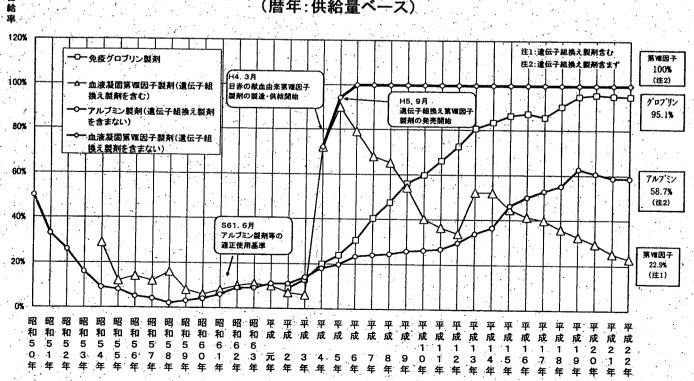
全国の輸血用血液製剤の需要動向を踏まえて、採血方法別の必要血液量を算出します。 当該年度の原料血漿確保目標量(95万L)については、輪血用血液として使用しない血漿と血漿成 分献血で確保する計画としております。

# 日本赤十字社事業計画(案)における血液量

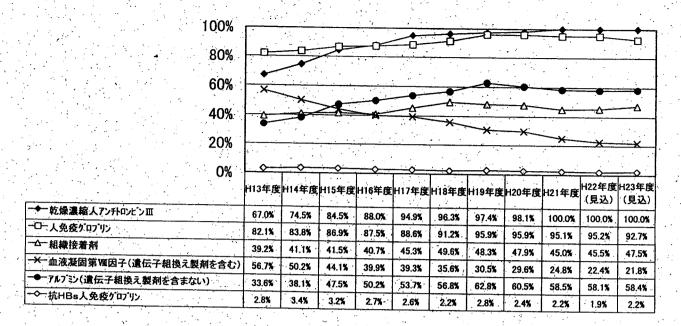
	A do the do					
				成分献血		
	400mL	小計	血小板	加粉	d \$4	合計
80,646	1,371,621	1.452.267	351 152		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
38.054	691 202				615,715	2,067,982
36 931				80,735	250,917	980,173
			164,863	179,346	344,209	950,000
3,001	111,559	117,220	16,107	4,482	20,589	137,809
	200mL 80,646 38,054 36,931 5,661	80,646 1,371,621 38,054 691,202 36,931 568,860	200mL     400mL     小計       80,646     1,371,621     1,452,267       38,054     691,202     729,256       36,931     568,860     605,791	200mL     400mL     小計     血小板       80,646     1,371,621     1,452,267     351,152       38,054     691,202     729,256     170,182       36,931     568,860     605,791     164,863       5,661     111,650	200mL     400mL     小計     血水板     血漿       80,646     1,371,621     1,452,267     351,152     264,563       38,054     691,202     729,256     170,182     80,735       36,931     568,860     605,7\$1     164,863     179,346       5,661     111,559     117,000     10,000     10,000	200mL         400mL         小計         血小板         放势           80.646         1,371,621         1,452,267         351,152         264,563         615,715           38,054         691,202         729,256         170,182         80,735         250,917           36,931         568,860         605,791         164,863         179,346         344,209           5,661         111,559         117,320         36,107         36,107         36,107

		A .	8	С	D=B+C	E	F=D-E	G
種 類	換算規格	H22年度 供給見込	H22年度末 在庫見込	H23年度製造 輸入見込量	H23年度 供給可能量	H23年度需要 見込量	H23年度末 在庫見込量	在庫量(5 月分)
プルブミン	25% 50ml 1瓶	3,138,700	907.800	2.924.300	3.832.100	3.093.000	739,100	2.
佐燥人フィブリノゲン ◆	1g 1瓶	5,300	2,600	5,200	7,800	4,200	3,600	10.
且織接着剤	Cm	12,084,500	2,797,600	11,127,600	13,925,200	11,177,200	2,748,000	3.
血液凝固第1位因子(遺伝子組換え型 含む)	1000単位 1瓶	406,400	165,500	459,800	625,300	434,500	190,800	5.3
吃燥濃縮人血液凝固第以因子(複合 本含)	1000単位 1瓶	62,400	41,800	78,200	120,000	75,400	44,600	7.
インヒビター製剤	延人数	24,000	10,000	18,200	28,200	16,700	11,500	8.
:卜血漿由來乾燥血液凝固第X亚因 子	1瓶	122,300	33,500	112,000	145,500	128,500	17,000	, 1.0
・ロンピン(人由来)	10000単位 1瓶	24,100	12,600	19,400	32,000	21,200	10,800	6.
<b>人免疫グロブリン</b>	2.5g 1瓶	1,657,500	505,800	1,678,200	2,184,000	1,663,900	520,100	3.8
元HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	21,300	13,500	22,600	36,100	18,300	17,800	11.
を燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	10,100	5,600	14,000	19,600	9,700	9,900	12.
<b>亢破傷風人免疫グロブリン</b>	250単位 1瓶	68,900	47,900	47,400	95,300	65,700	29,600	5.4
5燥濃縮人アンチトロンビン皿	500単位 1瓶	439,400	77,800	436,600	514,400	427,600	86,800	2.4
を燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	200	400	0	400	100	300	36.0
ハプトグロビン	2000単位 1瓶	43,300	15,900	37,300	53,200	41.600	11,600	3.3
た保濃縮人CI-インアクチへ・ター	1瓶	1,100	900	3,500	4,400	3,100	1,300	5.0

# 血漿分画製剤の自給率の推移 (暦年:供給量ベース)



# 主な血漿分画製剤の自給率の推移(年度・供給量ベース)

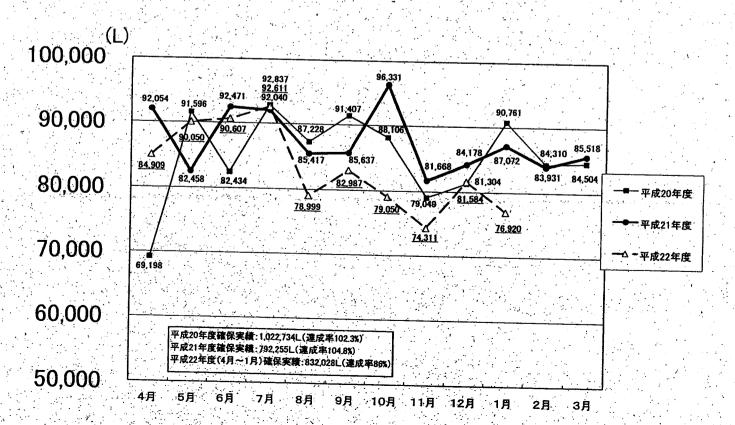


自給率100%のもの

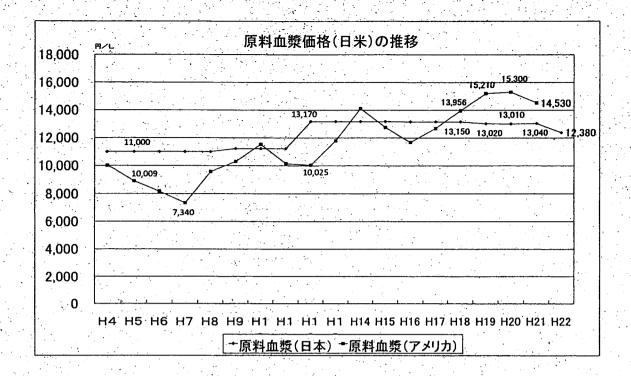
乾燥人フィブリゾン、血液凝固第極因子(血液由来に限る)、乾燥濃縮人血液凝固第以因子(複合体含む、血液由来に限る)、トロンピン、乾燥濃縮人活性化プロティンで、人ハブトグロビン 自給率0%のもの

インヒビター製剤、乾燥濃縮血液凝固第XⅢ因子、乾燥抗D(Rho)人免疫がロブリン、抗破傷風人免疫がロブリン、乾燥濃縮人CIーインアクチペーター

# 原料血漿確保実績(平成20年4月~平成23年1月)



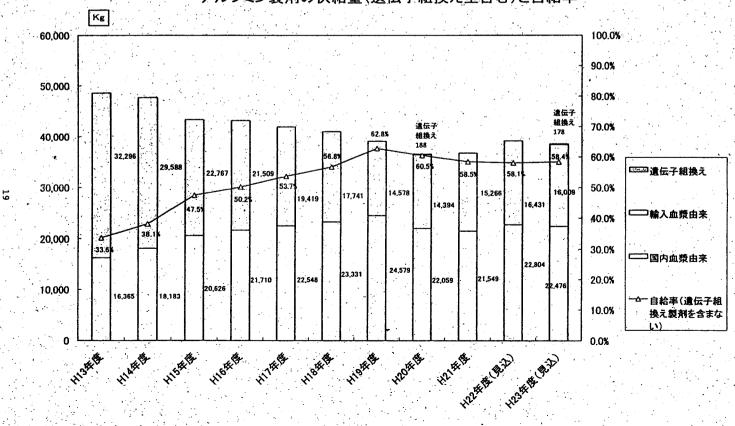


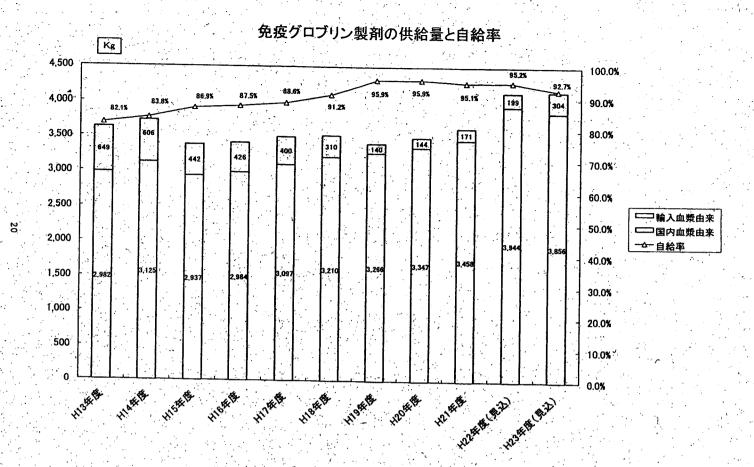


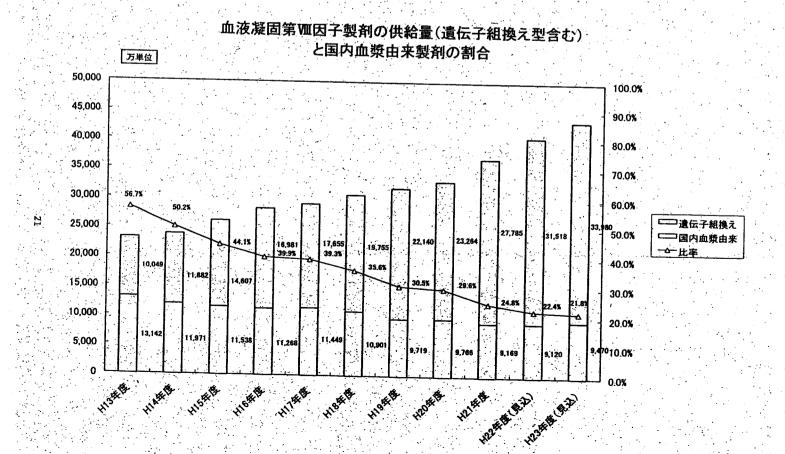
H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 米国の原料血漿価格(ドル 79 80 80 78 88 85 88 89 33 97 112.5 110 108 115 120 130 150 148 為智レート(円 ドル) 122.7 1112 102.2 94.1 108.8 121.0 130.9 113.9 107.8 121.5 125.4 115.9 108.1 110.2 116.3 117.0 102.0 98.2

米国における原料血漿価格はThe Plasma Fractions Markets in the United States

### アルブミン製剤の供給量(遺伝子組換え型含む)と自給率







# 需給計画の状況(平成21年度~平成23年度)

#### (平成21年度需給計画)

		, Li				平成2	1年度			·	
製剤名	換算規格	製造	14.5	<b>#</b>					実績		<del></del>
			国内血漿由来		供給 関内血漿由来	国内自給率	製造	· MA		供給	
アルブミン ※	25% 50ml 1#E	2,923,800	1,784,900	3,078,500		59.1%		国内血漿由来 1,748,644		国内血漿由来	
乾燥人フィブリノゲン	1g 1HE	3,600	3,600	3,700					2,945,240		- 7777
組織接着剤	emi	11,326,400	4,923,000	10,722,800					4,470		100.0
血液凝固第個因子 ※	1000単位 1框	381,300	94,300	358,000							45.0
乾燥濃縮人血液凝固第区因子	1000単位、1版	43,600	43,800	42,400	- 11111				369,538	91,687	24.8
インヒビター製剤 ※	延人数	13,600	43,000	16,400			56,454	56,454	46,796	46,796	100,0
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第X皿因子	188	93,000	- 0			0.0%	12,041		15,424	. 0	0.01
トロンピン	10000単位 1組 .	18,000	18,000	111,800		. 0.0%	127,917		116,953	0	0.09
人免疫グロブリン	2.5g 1 %	1,439,500		23,100		100.0%	27,035	27,035	22,369	22,369	100.09
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶		1,339,700	1,546,600	1,456,300	94.2%	1,344,047	1,274,854	1,383,129	1,314,823	95,19
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000年11版	28,200	500	19,100		3.1%	13,243		17,643	385	2.29
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	9,800		9,500		0.0%	8,847	. 0	9,528	0	0.09
乾燥濃縮人アンチトロンビンII		73,300	0	70,600		0.0%	56,082	0	56,812	. 0	0:09
	500単位 1瓶	416,300	416,300	440,000	440,000	100.0%	365,034	365,034	405,926	405,926	100.09
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	400	400	400	400	100.0%	33	33	180		100.01
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	37,400	37,400	38,000	38,000	100.0%	42,620	42,620	40,904	40,904	100,01
乾燥濃縮人CI-インアクテヘーター ※:違伝子組換え製剤を含む。	1瓶		0	.700	0	0.0%	2081	0	970		0.0%

#### (平成22年度無給計画)

	1	·				<b></b> 平成2	2年度				
製剤名	換算規格	4/14	・輸入	計画				実績(平	成21年4月~	12月)	
	Territoria de la compansión de la compan	\$4 RX 15.	国内血漿由来	100	供給 国内血漿由来	国内自給率		<b>M</b> A		供給	
アルブミン ※	25% 50ml 1抽	3,045,700		3,076,100				国内血质由来		国内血损由来	
吃燥人フィブリノゲン	1g 1拼页	3,900	<del></del>	3,700			0,000,000	1,380,940		11221212	
組織接着刺	спі	11,330,500		10,526,600					4,011	4,011	100.0
血液凝固第2個因子 ※	1000単位 1瓶	418,200	11.001.00					4,081,960	9,063,394	4,119,945	45,5
乾燥濃縮人血液凝固第以因子	1000単位 1瓶			390,600				81,497	304,787	68,399	22.4
インヒピター製剤 ※		81,800		62,300		75.0%	58,984	33,972	46,809	29,865	63.8
	延人数	19,900		17,800	0	0.0x	19,750	0	18,032	0	0,0
ト血漿由来乾燥血液凝固第又皿因子	1瓶	129,000	0	128,300	0	0.0%	74,952	0	91,741	0	0.0
トロンピン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10000単位 1瓶	29,000	29,000	18,800	18,800	100.0%	22,720	22,720	18,077	18,077	100,0
人免疫グロブリン	2.5g 1.瓶	1,724,100	1,596,400	1,646,100	1,531,800	93,1%	1,008,215	950,138	1,243,108	1,183,299	95.2
式HBs 人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	19,400	. 500	17,400	500		12.575	530	15,977	302	
吃燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	10,200	0	9,500	. 0	0.0%	11,689	330	7.540		1.9
亢破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	65,200	. 0	83,400	0	0.0%	51,244	- 0			0.0
た燥濃縮人アンチトロンピン皿	500単位 1瓶	455,800	455,800	429,200	429,200	100,0%	275,195	075105	51,652	0	0.0
な燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	-0	0	300	300			275,195	329,544	329,544	100.0
<b>しハプトグロビン</b>	2000単位 1瓶	40,100	40,100	40,000	40,000		0	. 0	161	161	100.0
を嫌濃縮人CIーインアクチペーター	1推	3,000			40,000		31,484	31,484	32,508	32,508	100.0
※:遺伝子組換え製剤を含む。	1.00	3,000	<u> </u>	2,100	- 0	0.0%	880	. 0	· 849	0	0,0

#### (平成23年度需給計画

		平成23年度						
製剤名	換算規格	製造・		計画 供給				
			国内血漿由来		国内血漿由来	国内自給率		
アルブミン ※	25% 50ml 1 推	2,924,300	1,664,100	3,093,000		. 58.4		
乾燥人フィブリノゲン	1g 1粧	5,200	5,200	4,200	4.200	100.0		
組織接着剤	cm	11,127,600	5,640,000	11,177,200		47.5		
血液凝固第2四因子 ※	1000単位 1瓶	459,800	100,000	434,500		21.8		
乾燥濃縮人血液凝固第以因子 ※	1000単位 1瓶	74,200	39,700	75,700		57.6		
インヒピター製剤 ※	延人数	18,200	0	16,700	0	0.0		
こと血漿由来乾燥血液凝固第又並因子	1瓶	112,000	D	128,500	0			
トロンビン	10000単位 1瓶	19,400	19,400	21,200		100.09		
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	1,678,200	1,560,200	1,663,900		92,75		
抗HB®人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	22,600	400	18,300	400	2.21		
吃燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	14,000	0	9,700	0	0,01		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1版	. 47,400	0	65,700	0	0.09		
<b>吃燥濃縮人アンチトロンピン</b> 皿	500単位 1瓶	436,600	436,600	427,600	427,600	100,01		
た燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	0	, 0	100	100	100.02		
<b>、ハブトグロビン</b>	2000単位 1瓶	37,300	37,300	41,600	41,600	100,01		
た燥濃縮人CI-インアクチへ・ーター	1瓶	3,500	3,,000	3,100	41,000	0.0%		

#### ※:遠伝子組換え観劇を含む

#### (平成21年度原料血漿確保目標量:100万L) 確保実績:104.9万L

(平成21年度原料血粉配分畫)

金社名	810		突續
(財)化学及血清療法研究所	凝固因子製剤用	23. 0万L	23. 0万L
(3) 7 10 7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	その他の分面用	4. 0万L	4, 075L
日本製薬(株)	その他の分画用	19.075L	19, 0万L
	中間原料201十四	8. 1万L相当	8. 2万L相当
	凝固因子製剤用	0.75L	0. 775L
(株)ペネシス	その他の分園用	24.5万L	.24. 5万L
	中間原料PIV-I	20.1万L相当	20. 2万L相当

#### (平成22年度原料血漿確保目標量:96万L) 確保実績·52万L(4日~0日

#### (平成22年度原料而进配公告

会社名	1†19				
(財)化学及血清療法研究所	凝固因子製剤用	20.075L			
(两)10子及血清深温斯克内	その他の分画用	3.075L			
日本製薬(株)	その他の分箇用	16, 2756			
山か秋泉(杯)	中間原料PI+II	8.0万L相当			
	その他の分画用	26. 0万L			
(株)ベネシス	中間原料PIV-1	20. 0万上相当			
	中間原料PIV-4	5. 5万L相当			

#### (平成23年度原料血漿確保目標量:95万二)

(平成23年度原料血漿配分量·案)

会社名	計圖				
(財)化学及血清療法研究所	凝固因子製剤用	20. 5万L			
(場)10十五星海水及6(元/5)	その他の分園用	5. 0万L			
日本製菓(株)	その他の分画用	14. 5万L			
	中間原料PI+II	6. 5万L相当			
	その他の分面用	26, 0万比			
(株)ベネシス	中間原料PIV-1	20.075L			
	中間原料PIV-4	.17. O万L相当			

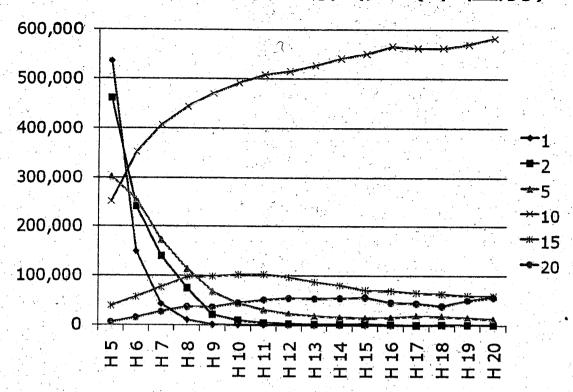
# 血小板がすべて成分採血由来と なった経緯等について

(日本赤十字社提出資料)

# 血小板がすべて成分採血由来となった経緯

- 安全性(感染や抗HLA抗体産生リスクの低減)及び医療機関からの要望(輸血業務の効率化:1単位ごとの交差適合試験が不要となる、等)を考慮し、昭和61年に成分採血由来血小板を導入した。
- 平成12年の時点で、血小板の殆ど全てが5単位以 上の成分採血由来製剤へ移行していた。
- 平成15年4月に全製剤を白除する方針が決定された際、未プールの全血採血由来血小板は血小板数、容量が少なく、白血球を除去することが困難であったため、1、2単位は成分採血由来血小板を分割して製造することとした。

# 血小板供給本数の推移(単位別)



全血採血由来血小板を導入した際に発生するコスト等について

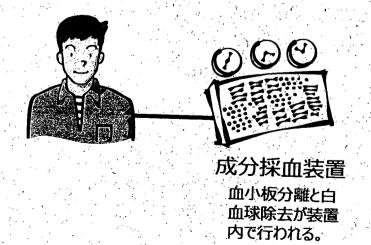
# 全血採血由来血小板を導入した際 のコスト計算の考え方

全血採血由来血小板を製造することにより、赤血球及び血漿の製造方法も変更になる。



血小板のコストのみでなく、同時に製造される赤血球や血漿のコストを含めて 比較する必要がある。

成分採血血小板(1人から10単位採取)の製造工程 (現在の方法)

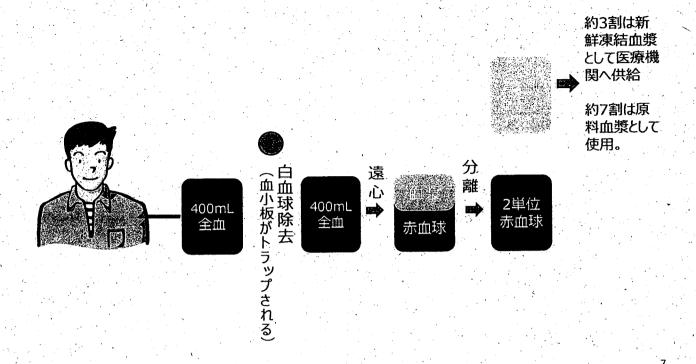




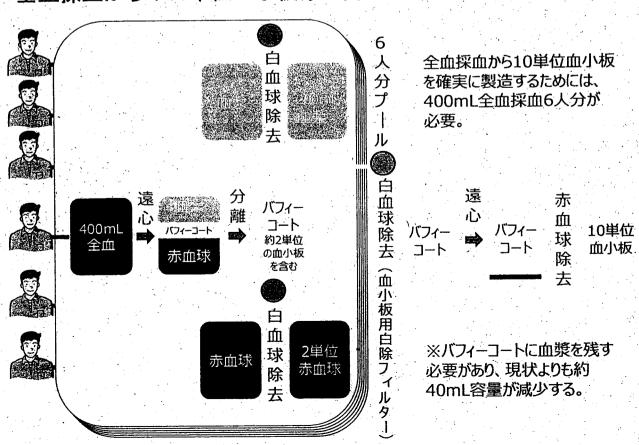
位血 小板 全て原料血 漿として使用。

10単

# 400mL全血採血からの赤血球、血漿の 製造工程(現在の方法)

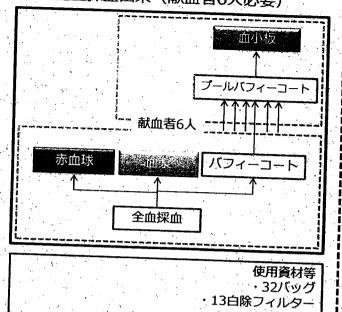


# 全血採血からの10単位血小板等の製造工程(現在は行っていない)

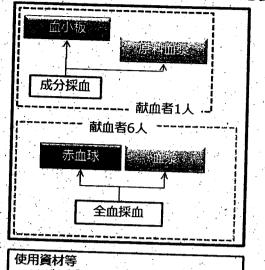


# 血小板10単位1バッグ、赤血球6バッグ及び血漿6 バッグを製造するのに必要な資材等の比較

全血採血由来(献血者6人必要)



成分採血由来 (現状:献血者7人必要)



- ・18バッグ
- ・6白除フィルター
- ・1成分採血キット
- ・検査7回

同時に製造される赤血球や血漿の製造に必要な資材等を含めて比較

・検査6回

全血採血由来血小板に切り替えた場合の資材費等の増加額 (血小板10単位1バッグ、赤血球6バッグ及び血漿6バッグの製造を想定)

# 14バッグ+ 7白除フィルター-1成分採血キット-検査1回

次++ <u>*</u> **	161	白除フィルター		
資材等	バッグ	赤血球用 血小板用	成分採血キット	検査
単価※	@+270	@+2,730 @+3,19	0 @-11,778	@-3,094
個数	14	6	1	1
小計	+3,780	+16,380 +3,19	0 -11,778	-3,094
総計	+8,478 (	増加額は白除フィルター	の価格により増	減する)

※各資材等の単価は、白除フィルターを除き実際の購入価格、検査費用を記載した。白除フィルターについては、以下の材料価格基準の価格を記載した。ただし、血漿用のフィルターが販売されていないため赤血球用と同額とした。また、検査費用には試薬等の材料費に検査機器のリース費用等の経費を加えた。輸血用血液フィルター(赤血球製剤用白血球除去用) 2,730円、(同血小板製剤用) 3,190円 [材料価格基準:平成二十二年厚生労働省告示第七十一号]

9

# 全血採血した原料血液から血小板を製造するとした場合に予想される影響

### 安全面

- ・1製剤あたりの献血者数が1人から6人 に増加するため、抗HLA抗体の産生増 加が懸念される。
- ·プールによる感染症のリスクの増大が 懸念される。

### 供給面

- ・NAT結果判明後にプールし製造するため、全血採血由来血小板の出庫は半日程度遅くなる。
- ・全血採血の全てからは血小板を製造することができないため、成分採血由来 血小板も約40万バッグ製造し供給する 必要がある。
- ・バフィーコートに血漿を残す必要があり、全血採血由来の血漿製剤及び原料血漿の容量が約40mL減少する。

### 献血者確保面

・血小板成分採血は約40万減少するが、 血小板成分採血と同時に採取される原 料血漿等を確保するため、血漿成分採 血を増やす必要があり、献血者の大幅 な減少は見込めない。

#### コスト面

- ・全ての輸血用血液に白血球除去が必要 なこと、血漿成分採血が増加すること 等から、資材費等の増加が見込まれる。
- ・工程数が大幅に増えるため製剤部門の 人件費が増加する。

٠,

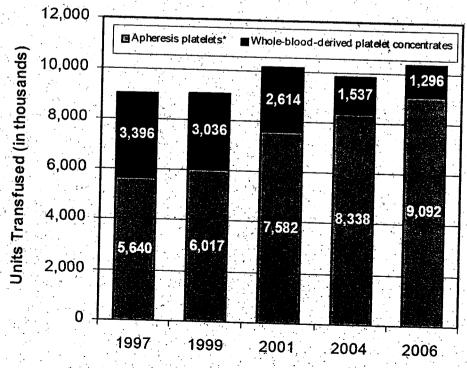
# 海外の状況

# 各国の成分血小板の割合

国名	成分血小板の割合[%]
アメリカ	87.5
イギリス	43.1
イタリア	50.4
オランダ	8.9
ドイツ	62.1
フランス	87.7
ベルギー	45.8
日本	100

Report on the collection, testing and use of blood and blood components in Europe in 2004 (EDQM)及びTHE 2007 NATIONAL BLOOD COLLECTION AND UTILIZATION SURVEY REPORT (HHS) より抜粋

米国における全血採血由来及び成分採血由来血小板製剤の供給状況



\*expressed as platelet concentrate equivalent units.

Figure 11-3. Trends in platelet transfusions.

THE 2007 NATIONAL BLOOD COLLECTION AND UTILIZATION SURVEY REPORT (HHS) & 9 13

# Report on the collection, testing and use of blood and blood components in Europe in 2004 (EDQM)

In Europe, platelets are generally recovered from 4 to 5 buffy coats of whole blood donations. Discussions on blood safety in relation to variant Creutzfeldt- Jakob Disease (vCJD) later led to the setting up of programmes to enhance the use of random single-donor platelets by aphaeresis in order to reduce donor exposure in recipients. These programmes may have been influential in some member states where the use of aphaeresis platelets in relation to recovered platelets is relatively high. The extent to which donors are willing to undergo aphaeresis may be limited, as no supply ever reaches 100% aphaeresis platelets. On average, in 32 reporting member states, 38% (range 0-88) of the adult therapeutic doses of platelets are produced by (random) single donor platelets by aphaeresis.

15

# Report on the collection, testing and use of blood and blood components in Europe in 2004 (EDQM)

ヨーロッパでは、血小板は一般的に4~5人分の全血採血由来バフィーコートから調製されてきた。変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)に関連した議論は、後に、ドナー暴露数を減少させるために成分採血による単一供血者由来血小板の使用を増加させるプログラムの策定へと導いた。これらのプログラムは、全血由来血小板に比して成分採血由来血小板の使用量が比較的多い加盟国に大きな影響を与えた。成分採血由来血小板の供給が未だ100%になっていないのは、成分採血をする意思のある供血者の数には限度があるためと思われる。報告のあった32加盟国の平均で、成人への投与量の38%(範囲 0-88)が、成分採血された単一供血者の血小板から製造された。

# 成分採血由来と全血採血由来血小板の価格

アメリカ	\$655.33	\$142.21	-	2010	成分は15単位、全血 は2.75単位(NYBC)
オランダ	\$1,027.00	\$697.00	(5)	2009	12.5単位
スペイン	\$702.80	\$349.27	(4)	2009	成分は20単位、全血 は10単位
ドイツ	\$909.63	\$389.04	(4)	2009	10-20単位、成分は HLA typed
フランス	\$276.99	\$95.51	(4-5)	2010	成分は10単位、全血 は5単位
日本	¥77,270				成分は10単位

ibpn news及びAABBホームページより